

私立大学研究ブランディング事業（2017～2019 年度）

東京歯科大学研究ブランディング事業



顎骨疾患の集学的研究拠点形成：

包括的な顎口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現

（顎骨疾患プロジェクト）

Multidisciplinary Research Center for Jaw Disease (MRCJD):
Achieving Longevity and Sustainability by Comprehensive Reconstruction
of Oral and Maxillofacial functions

活動報告書

2020 年 4 月

顎骨疾患プロジェクト推進委員会

目次

I. はじめに.....	1
II. 事業実施内容と成果の概要.....	2
1. 事業目的.....	2
2. 研究期間.....	2
3. 実施体制.....	2
4. ブランディング戦略の具体的工程の実施状況と成果.....	4
5. 若手・次世代研究者育成について.....	9
6. 「世界展開型」プロジェクトへの進展.....	11
7. 各研究グループの研究成果概略.....	13
III. 東京歯科大学研究ブランディング事業各種委員会.....	25
IV. 東京歯科大学研究ブランディング事業実施記録等.....	26
1. 東京歯科大学研究ブランディング事業推進委員会開催記録.....	26
2. 東京歯科大学研究ブランディング事業関連研究助成.....	32
3. 東京歯科大学研究ブランディング事業共催セミナー等開催実績.....	35
V. 研究業績.....	40
VI. 各賞受賞者.....	140
VII. 社会への情報発信.....	142
VIII. 事業収支決算書.....	144
IX. おわりに.....	146
参考資料 1 2019 年度事業外部評価内容.....	147
参考資料 2 2019 年度自己点検・評価内容.....	152

I. はじめに

東京歯科大学は1890年（明治23年）に高山歯科医学院として創立され、本年2月に創立130周年を迎えた。本学は、19世紀から21世紀へと3世紀に亘って、歯科医学・歯科医療を牽引し、国民から信頼される我が国最古の歯科医学教育機関としての使命を果たしてきた。この長い歴史の中で、本学が歯・骨などの硬組織研究で優れた研究業績を蓄積してきたことが本事業立案の基盤となっている。

顎骨は、食べる、話す、笑うなどの口腔機能を維持し、我々の基本的生活を支えるために必須な組織である。一方、顎骨に発症する疾患はオーラルフレイル、口腔機能低下症、口腔機能障害などを惹起することがあり、それらは全身疾患の発症にも関与することがある。そのため種々の顎骨疾患の病態や発生機序を理解し、治療法、予防法の開発などを含めた総括的研究を推進することが現在の歯科医学の重要な課題となっている。本事業では、このような歯科医学の現状を鑑み、東京歯科大学の長い歴史で蓄積してきた優れた硬組織研究を継承して、顎骨疾患の集学的研究拠点を形成し、口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現に貢献することを目的とする。そして、本事業の推進により、東京歯科大学の研究ブランド力を強化し、最先端の教育と医療をもって社会に貢献するという本学の「将来ビジョン」を具現化する。

本事業は、2017年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業のタイプB（世界展開型）として選定され、2017～2021年度までの5年間の予定で開始した。しかし、文部科学省の支援は2017年度で打切られることになったため、本報告書では、東京歯科大学における私立大学研究ブランディング事業「顎骨疾患の集学的研究拠点形成：包括的な顎口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現」の2017～2019年度までの活動報告をまとめることとした。5年間の研究計画を完了することができなかったことは極めて残念であるが、本事業が、今後、東京歯科大学の「教育・研究・臨床の3本の矢」をさらに骨太なものとし、その強靱さを大学の総合的なブランド力とするための一助となることを期待している。

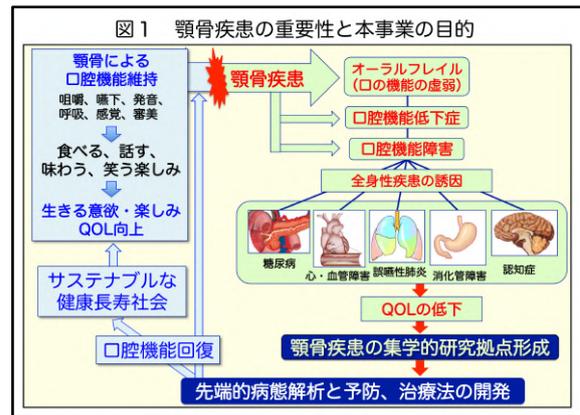
なお、本事業の中止により本学における研究ブランド力の低下を防ぐために、大学当局のご理解により、2020年度は大学からの予算措置で、さらに1年間本事業を継続することとなっている。改めて大学当局のご理解とご支援に感謝いたします。

東京歯科大学研究ブランディング事業
推進委員会

II. 事業実施内容と成果の概要

1. 事業目的

顎骨は、咀嚼、嚥下、発音、呼吸、感覚、審美性の維持などの機能を担い、食べる、話す、味わう、笑うなどの人間の生活に基本的な活動を獲得・維持して、生きる意欲・楽しみを与えて、QOLの向上に極めて重要な組織である。一方、顎骨に発症する種々の疾患は、オーラルフレイル、口腔機能低下症、口腔機能障害などを惹起する原因となる。これらの病態、疾患は誤嚥性肺炎、消化器障害、糖尿病、心・血管障害、記憶障害・認知症などの全身性疾患の誘因ともなる。そのため、種々の顎骨疾患の病態、発症メカニズムを理解し、治療法、予防法を開発することが喫緊の課題となっている。そのため、本事業では東京歯科大学に世界初の顎骨疾患の集学的研究拠点形成して、口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現に貢献する（図1）。さらに、本事業の推進により、「ヒューマニズムとリサーチマインドを堅持する歯科医師を育成する大学」をブランド化し、最先端の教育と医療をもって社会に貢献できる確かな基盤を構築するという本学の「将来ビジョン」を具現化することを目的とする。



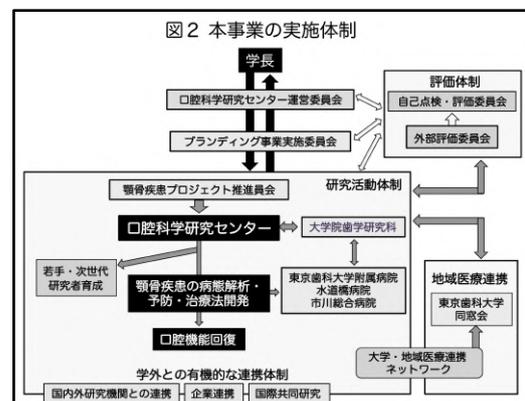
2. 研究期間

本事業は、2017年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業のタイプB（世界展開型）として選定され、2017～2021年度までの5年間、文部科学省の支援を受けることで開始した。しかし、文部科学省の都合で本事業の支援は2019年度までとなった。そのため、5年間の研究期間で立案した研究を遂行できないのは断腸の思いであるが、東京歯科大学における私立大学ブランディング事業「顎骨疾患の集学的研究拠点形成：包括的な顎口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現」の研究期間は2017～2019年度までの3年間となった。

3年間で培った研究ブランド力をさらに充実させ、継続するために大学当局のご理解により、2020年度は文部科学省の支援を受けずに、大学からの研究費の補助で東京歯科大学研究ブランディング事業を実施している。

3. 実施体制

1) 事業実施体制



本事業は学長のリーダーシップの下、全学的に顎骨疾患の集学的研究拠点を形成する体制とした（図2）。学長の直下に口腔科学研究センター運営委員会

（24頁参照）、ブランディング事業実施委員会（24頁参照）を設置し、具体的な研究活動は顎骨疾患プロジェクト推進委員会（24頁参照）」の下で、口腔科学研究センターを中心として多くの研究者が参加して研究を推進した（表1）。大学院歯学研究科、東京歯科大学附属病院（水道橋病院、市川総合病院）とも連携して全学的な研究活動体制を構築した。また、若手・次世代研究者育成を推進も構築した。国内外大学、研究機関、企業などと連携して、学外との有機的な連携体制を整えた（表2）。今回は企業からの連携研究者がいなかったため、今後、企業との連携を強化するためにも検討する必要がある。

さらに、東京歯科大学同窓会と連携して大学・地域医療連携ネットワークを構築し、地域医療連携に貢献できる体制を整えた。

事業実施体制、研究推進体制などに関しては外部評価委員会（表3）を設置し、その意見を反映させて、自己点検・評価委員会（25頁参照）で事業の見直しや改善を行いPDCAサイクルを回転させながら、事業を推進した。

2) 研究推進体制

本事業では「講座の壁を超えた異分野連携・共同研究体制」を構築して研究を推進するために、事業発足時の2017年度は「分子・細胞ラボ（リーダー：東俊文教授）」、「感染制御ラボ（リーダー：石原和幸教授）」、「ファブラボ（リーダー：後藤多津子教授）→片倉朗教授」の3グループで研究を開始したが、「包括的口腔機能回復」を強化するために2018年度から「咀嚼・嚥下ラボ（阿部伸一教授）」を設置し、4グループで研究を推進した（図3）。その結果、2017年度には十分に取り組んでなかった咀嚼・嚥下に関する具体的な研究戦略を立案でき、関連研究も推進できた。各ラボの連携により「講座の壁を超えた異分野連携・共同研究体制」を推進できる基盤ができた。今後、この基盤を用いてさらに異分野連携を深化させ、独創

表1 年度別本事業構成員数

年度	推進委員会委員	研究分担者・WG	合計
2017	13	18	31
2018	15	33	48
2019	15	42	57

表2 国内外連携研究者（五十音順）

氏名	所属/役職
小野 卓史	東京医科歯科大学教授
小崎 健次郎	慶応義塾大学医学部教授
杉本 真樹	国際医療福祉大学大学院准教授
高野 直樹	慶応義塾大学理工学部教授
妻木 範行	京都大学IPS細胞研究所増殖分化機構研究部門長
鄭 雄一	東京大学大学院工学系研究科/医学系研究科教授
名倉 武雄	慶應義塾大学医学部特任准教授
中川 種昭	慶応義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室教授
西村 一郎	カリフォルニア大学ロサンゼルス校歯学部 ワイトロープ研究所教授
Johan Wolfaardt	アルバータ大学医学部教授

表3 外部評価委員会委員（五十音順）

委員名	所属/役職
岩田 久	埼玉歯科医師会学術部副部長
岡野 栄之	慶應義塾大学医学部教授
奥村 康	順天堂大学医学部特任教授
佐々木 朗（委員長）	岡山大学歯学部教授
豊澤 悟	大阪大学歯学部教授
中尾 潔貴	株式会社ジーシー代表取締役社長
中野 貴由	大阪大学工学部教授
森山 啓司	東京医科歯科大学教授



的でレベルの高い研究成果を生み出すことが期待される。

表4 本事業の具体的工程の実施状況と成果

工程	細項目	成果指標	2017年度	2018年度	2019年度
1) 将来ビジョン実現	社会への公表	ホームページの開設・充実	ホームページの開設	ホームページの充実	ホームページの充実
	研究活動	国際学術誌への論文発表 研究成果報告書の公表	69編(事業参加者) 公表済み	85編(事業参加者) 公表済み	76編(事業参加者) 平成30年4月に公表予定
	歯科医療への情報発信	歯学研究ネットワークの構築	大学・同窓会のネットワーク 基盤を構築	大学・同窓会のネットワーク 活動強化	大学・同窓会のネットワーク 活動強化
2) ステークホルダーへの効果	受験生・保護者	ホームページでの紹介	実施した	実施した	実施した
		大学案内パンフレットでの紹介	実施なし	実施した	実施した
		オープンキャンパス回数・参加者	5回・769名	5回・900名	5回・875名
		オープンキャンパスでの事業紹介	実施なし	実施した	実施した
		大学パンフレットによる事業の紹介	実施なし	実施した	実施した
		在学学生	学生用WEBサイトでの紹介	実施なし	実施した
		卒業論文作成支援	実施なし	実施なし	実施なし
		大学院セミナー共催開催 Travel Award(大学院生)	共催セミナー回数:8回 該当者なし	共催セミナー回数:13回	共催セミナー回数:13回 5名
		大学院研究助成	5名	7名	7名
	地域医療関係者	ホームページでの紹介	実施なし	実施した	実施した
		同窓会との連携強化	実施中	実施中	実施中
		各附属病院の地域連携	実施中	実施中	実施中
	地域住民・患者	市民公開講座	年5回/参加者73名	年1回/参加者200名	年1回/参加者(水道橋病院)(114名) 年1回/参加者(市川総合病院)(114名)
		ペイシャント・コミュニティーの活用	市民公開講座年5回 学部生のコミュニケーション 学への参加(年4-8回、各 2-6名)	一般公開講座(名称変更) 2回/参加者60名	ペイシャント・コミュニティー が中止となったためパンフ レットで紹介
	研究連携機関・学術界	国際学術誌への論文発表	75編(事業参加者)	85編(事業参加者)	76編(事業参加者)
		学会発表(一般講演)	141回/年(推進委員会委員 分のみ)	135回/年(推進委員会委員 分のみ)	149回/年(推進委員会委員 分のみ)
		学会発表(招待講演)	47回(推進委員会委員分のみ)	35回/年(推進委員会委員 分のみ)	23回/年(推進委員会委員 分のみ)
	企業	受託研究	11件(水道橋病院) 51件(市川総合病院)	9件(水道橋病院) 73件(市川総合病院)	4件(水道橋病院) 52件(市川総合病院)
		奨学研究寄付金	68件(大学全体)	67件(大学全体)	174件(大学全体)
	3) 大学のイメージ・認知度向上の方策と把握・分析	認知度向上の方策	発表論文の「数」から「質」への転換	・英文誌論文数52編 ・IF 2以上の雑誌:23編 ・IF 3以上の雑誌:10編 ・IFなしの雑誌:9編 (推進委員会委員分のみ)	・英文誌論文数46編 ・IF 2以上の雑誌:24編 ・IF 3以上の雑誌:12編 ・IFなしの雑誌:10編 (推進委員会委員分のみ)
歯科学報・同窓会報を用いた情報発信			実施した	実施した	実施した
同窓会と連携したセミナー・講演会			実施した	実施した	実施した
新聞・関連雑誌での紹介			実施した	実施した	実施した
把握・分析		アンケート調査や意見聴取などによる分析	実施なし	実施なし	実施なし
4) 若手・次世代研究者育成	研究助成	若手研究助成	8名	8名	4名
		大学院生研究助成	5名	7名	7名
		Travel Award(若手教員)	1名	5名	該当者なし
	自主的研究活動の推進・支援	若手サイエンスアカデミーの設置と活動	研究発表会・抄読会実施	研究発表会・抄読会実施	研究発表会・抄読会実施
		シンポジウムの企画・実施	実施なし	実施なし	アジア若手シンポジウム企画・実施
		他大学との研究情報交換	実施なし	実施なし	他大学(東京大学)との合同研究報告会実施
	大学院セミナーの企画	実施なし	実施なし	実施した	

	目標を十分に達成
	ほぼ目標を達成
	目標に到達せず

4. ブランディング戦略の具体的工程の実施状況と成果 (表4)

表4に申請時に立案したブランディング戦略の具体的工程の実施状況をまとめた。2017年度は研究期間が短かったためにピンク色で示すように「目標に到達せず」の項目が多かったが、2018,2019年度は黄色、緑で示す「ほぼ目標を達成」「目標を十分に達成」がほとんどであった。研究期間が3年となったが、当初計画していた3年間の具体的工程の多くを順調に推進することができた。

1) 将来ビジョン実現に向けた位置付け

- 本事業が東京歯科大学の「将来ビジョン」に向けた取組であることをホームページ、大学機関誌、同窓会報、講演会、学会発表などで周知し、研究ブランド力をアピールした。ホームページへのアクセス数は増加した。
- 研究成果をよりレベルの高い雑誌に発表して、ブランド力をアピールした。
- 2017, 2018年度の研究成果報告書をホームページにアップロードして、学内外に公開して情報発信をした。
- 歯科開業医研究ネットワークの構築について
 - * 歯科開業医研究ネットワーク構築に向けて東京歯科大学同窓会と本事業の連携を強化し、ネットワーク基盤を構築した。
 - * 東京歯科大学同窓会のホームページに本事業のホームページのバナーを設置し、同窓会会員に本事業を周知した。
 - * 定期的に発行される同窓会報に「東京歯科大学研究ブランディング事業からの情報発信」として事業の研究内容をわかりやすくシリーズで掲載中。
 - * 本事業推進委員が各同窓会支部で講演する場合には本事業を紹介した。
 - * 2019年5月に東京歯科大学同窓会と大学の連携セミナー《歯学研究最先端：東京歯科大学「顎骨疾患プロジェクト」からの医療情報発信》を開催し、他大学の卒業生を含む117名が参加した(図4)。2020年4月には本事業が中心となって東京歯科大学リカレント教育セミナーとして《基礎と臨床の架け橋：本音で語ろう「歯髓》を開催予定(図5)(リカレント教育セミナーは新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、2020年3月25日に開催を延期することに決定した。開催予定日未定)。

図4 同窓会・大学連携セミナー
 「歯学研究最先端」～東京歯科大学「顎骨疾患プロジェクト」からの医療情報発信～

図5 基礎と臨床の架け橋：本音で語ろう「歯髓》を開催予定(図5)(リカレント教育セミナーは新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、2020年3月25日に開催を延期することに決定した。開催予定日未定)。

2) ステークホルダーへの効果

受験生、保護者

- ホームページ、大学案内パンフレット、オープンキャンパス、学生用WEBサ

イトなどにて本事業の紹介を実施した。

在校生

- ・ ホームページで本事業の紹介を周知した。
- ・ 学部学生の卒業研究の支援は学部教育との重複を避けるために、実施できなかった。
- ・ 学部学生にも本プロジェクトへの関心を持たせるために、デザインを趣味とする学生にプロジェクトのロゴを作成してもらい、使用することとした。
- ・ 毎年新入学した大学院生に対し、5月に実施する大学院新入生学外総合セミナーで本事業を紹介し、大学院早期に研究に対するモチベーションを上げる対策を講じた。
- ・ 大学院生には、大学院セミナーや若手サイエンスアカデミーを開催して先端的研究に興味を持たせる対策を講じた。
- ・ 大学院生のためにブランディング事業研究助成を学内公募し、受賞者には各40万円の研究助成をした（31-34頁参照）。
- ・ 大学院生も含めて外国での学会への Travel Award を設定し、大学院生も対象とした（32-34頁参照）。
- ・ 大学院生が大学院セミナーの講師を推薦して、実施するシステムを構築中。このシステムで2019年度は来日中であったミネソタ大学のPhDコース研究者の大学院セミナーを開催した。

地域医療関係者

- ・ 同窓会との連携強化、各附属病院の地域連携、市民公開講座開催などにより、地域医療関係者に本事業を紹介して、連携を強化した。

地域住民・患者

- ・ 2017, 2018年度は東京歯科大学患者の会である「ペイシャント・コミュニティー」を活用して公開講座やパンフレットに地域住民患者に本事業を紹介した。2019年度はこの会が中止となったため実施はしなかった。

研究連携機関との共同研究

- ・ 本事業参加者が以下の海外の16の大学と共同研究を実施した。
米国5校：Harvard School of Dental Medicine, Harvard Medical School, New York University College of Dentistry, Albert Einstein College of Medicine, Nova Southeastern University College of Dental Medicine、中国3校：West China School of Stomatology, Yanbian University Medical College, Peking University School of Stomatology、韓国3校：Yonsei University, Wonkwang University School of Medicine and Hospital, Chonbuk National University, Sungkyunkwan University、ドイツ1校：Heidelberg University Hospital、スペイン1校：Faculty of Medicine, Complutense University of Madrid、カナダ1校：Calgary University School of Kinesiology、台湾1校：College of Oral Medicine, Taipei Medical University、香港1校：Faculty of Dentistry, The University of Hong Kong。
- ・ 国内では、歯学部関係では15大学（北海道大学、北海道医療大学、東北大学、東京医科歯科大学、日本大学、新潟大学、松本歯科大学、大阪大学、岡山大学、広島大学、九州大学、長崎大学、福岡歯科大学）と、医学部関係で

は4大学（東京大学、慶應義塾大学、日本医科大学、順天堂大学）と、工学部関係では5大学（東北大学、茨城大学、慶應義塾大学、早稲田大学、東京工業大学、大阪大学）と、研究所関係では2施設（国立長寿医療センター、国立がんセンター）と共同研究を行なった。

- ・ 以上のように現在国内外の多くの研究機関と共同研究を実施しているので、次年度もこれらを継続して、より充実した学際的な研究を推進させる。

企業連携

- ・ 大学・水道橋病院における受託研究数は2019年度は66件、2018年度は82件、2019年度は56件で、やや減少した（表5）。

年度	2017	2018	2019
受託研究	66	82	56
共同研究	3	3	3
奨学寄付金	68	67	174
大学全体の総数			

- ・ 大学・水道橋病院における企業との共同研究（企業・大学間協定締結分）は、事業期間中に旭化成ファーマ株式会社、サントリグローバルイノベーションセンター株式会社、豊田中央研究所、株式会社ゼンショーホールディングス、株式会社金印などと実施した（表5）。
- ・ 現在、正式な受託研究、共同研究を締結はしていないが、株式会社ジーシー、吉田製作所、和田精密歯研株式会社、株式会社松風などの歯科関係企業などの10社と共同研究を推進している。
- ・ 本学では企業と正式に締結した受託研究、共同研究が少ないので、本事業推進委員会を中心として、さらに増加させるよう努力したが、十分な結果には至らなかった。そのため、学内で産学連携を担当する部署を早急に設置し、産学連携を活性化することが本学の今後の重要な課題であると考えられた。

3) 大学のイメージ・認知度の把握・分析（英文原著論文の「数」から「質」への変換）

- ・ 英文原著論文の「質」の向上への方策

*英文校正費助成

Impact Factor (IF) 2以上の雑誌に投稿する場合は、その論文の英文校正費を本事業で負担することとし、よりレベルの高い雑誌への投稿、発表を促した。

*顎骨疾患プロジェクト内競争的資金の設定

本資金として600万円計上し、2017年度における推進委員会各委員のIF 2以上の論文のIFの合計値で按分比例して研究費を配分し、よりレベルの高い雑誌への投稿、発表を促した。

- ・ 本事業における論文の「数」と「質」の動態

本事業推進委員会の研究業績（表6）

*本事業推進委員会委員の全論文数は2017年度に比べて2018、2019年度で減少したが、全論文のImpact Factor (IF)は2018年度が2017、2019年度より高かった。

*IF 2以上、IF 3以上の論文数と平均IFは2018年度が2017、2019年度より多かった。

*IFなしの論文数は3年間で大きな変動がなかった。

*本事業推進委員会委員は、最終年度に「質」の高い論文にチャレンジしている傾向が見られ、2019年度の成果はまだ出ていないと思われるが、論文の「数」より「質」への転換の兆しが窺える。
本事業参加者全体の研究業績（表6）

*表6の下段に示すように、事業構成員の英文論文総数と平均IFは2018年度が2017、2019年度より高かった。

*IF2以上及びIF3以上の英文論文数と平均IFも2018年度が2017、2019年度より高かった。

*2017年度は他施設との共同研究で *Nat Commun* に、2018年度は *Immunity*, *J Clin Invest* などのIF10以上の雑誌へ4編の掲載があったが、2019年度はそのような雑誌への掲載がなかった。2019年度の研究成果が今後このような雑誌に掲載されることが期待されている。

本事業の波及効果

*本学では平成8-22年の間に継続的に文部科学省の私立大学研究支援事業に採択され、それらの研究を推進することにより、現在の口腔科学研究センターを設置し、本学の研究体系の基盤を構築してきた（図6）。

*図6の下部に過去のhrc7, hrc8のプロジェクトと本事業の概要をまとめた。

*本事業では、学内の事業参加者が多く、より全学的な体制で事業をすすめた（図6）。

*本事業の期間全体の英文論文数、年間平均論文数は、hrc7, hrc8に比べて多く、さらに1論文の平均IFはhrc7, hrc8より高かった（図6）。

*事業費から換算した1論文経費は、本事業ではhrc7, hrc8に比べて非常に低く、効率よく論文を発出することができた（図6）。

*これらの結果から、本事業は本学の論文の「質」を高めて、研究レベルを向上させるとともに集学的研究体制を強化したと考えられた。

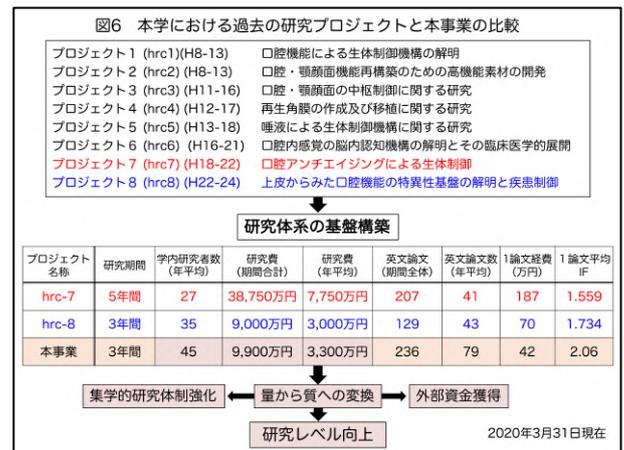
表6 各事業年度における論文の「数」と「質」の変動
顎骨疾患プロジェクト推進委員会委員分のみ

成果指標	2017 論文数(平均IF)	2018 論文数(平均IF)	2019 論文数(平均IF)
英文誌論文数	52 (1.80)	46 (2.43)	44 (1.76)
IF 2以上の雑誌	23 (3.23)	24 (3.98)	17 (3.27)
IF 3以上の雑誌	10 (4.12)	12 (5.39)	9 (3.94)
IFなしの論文数	9	10	9

事業構成員全員

成果指標	2017 論文数(平均IF)	2018 論文数(平均IF)	2019 論文数(平均IF)
英文誌論文数	69 (1.84)	85 (2.48)	76 (1.81)
IF 2以上の雑誌	31 (3.61)	42(4.55)	29 (3.15)
IF 3以上の雑誌	14 (4.92)	23 (6.18)	10 (4.11)
IFなしの論文数	22	26	18

2020年3月31日現在



※本事業の副次的効果として科学研究費を中心とした外部資金獲得の増加に貢献した。図7左に示すように、本事業の申請準備期間

(2015, 2016年度)

は、科研費の採択件数、配分額は以前と大きな差はなかったが、本事業が開始した2017年度から採択

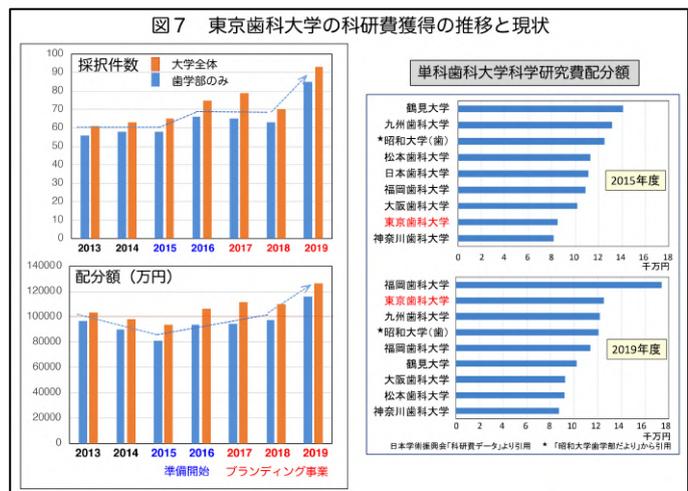
数、配分額共に上昇傾向が見られた。また、図7右に示すように

2015年度の科研費配分額は我が国の単科歯科大学では下位の方であったが、2019年度は2位に上昇した。さらに図8に示すように、科学研究費の中区分(口腔科学およびその関連分野)の採択件数では、本学は全国28歯

科大学・歯学部で13位で、私立大学では2位であった。また、2019年度の40歳未満の採択率は全国研究機関で3位で、若手スタート支援の採択件数は全国歯科大学・歯学部で3位であった。これらの結果より、本事業の推進が科学研究の獲得に貢献し、特に若手研究の躍進にも貢献したことが窺える。

5. 若手・次世代研究者育成について

- 1) 基礎・臨床融合カンファレンスとして「若手サイエンスアカデミー」を設置した。本カンファレンスは隔週水曜日の朝8:00から8:45まで開催し、研究内容のディスカッションと論文紹介を行なっている。現在、コアメンバー6名(溝口利英、中村貴、石井武展、松永智、菊池有一郎、大野建州)と大学院生を含めた若手研究者18の合計24名で推進しているが、今後大学院生を含めてさらに参加者が増加すると期待している。
- 2) 本カンファレンスの実施は、若手研究者間で「講座の壁を超えた異分野連携・共同研究」構築の基盤形成に貢献している。講座内のディスカッションだけではなく、他講座・研究分野の者たちと議論を深めることを若い世



代から身につけて、さらに幅が広く、深い研究心を持って成長してくれることを期待している。

- 3) 「若手サイエンスアカデミー」参加者が中心となって、アジアの若手を集めたシンポジウムを企画し、2019年6月29日に実施した(図9)。この様なシンポジウムを企画・実施することで若手研究者が国際感覚を身につける良い機会となった。2020年度も中国、韓国、台湾から若手研究者を招待して同様のシンポジウム開催を企画している。
- 4) 「若手サイエンスアカデミー」と東京大学医学部口腔顎顔面外科学講座の若手が中心となって、2020年1月28日に東京大学にて「第1回東京大学・東京歯科大学合同研究報告会」を開催し、若手研究者の交流を図った。今後の共同研究の展開が期待される。
- 5) 本事業期間中に34回の大学院セミナーなど共催した。その内、12名は海外からの演者で、海外の研究動向に関する情報を大学院生、若手研究者に与えることができた。また、2019年度から「若手サイエンスアカデミー」で希望する講演者を推薦し、自ら講演を交渉し、セミナーの進行も行なった。この様な経験により、若手研究者の自発的研究推進意欲を促すことができた。
- 6) 若手研究者のためのブランディング事業研究助成を学内公募し、2017年度8名、2018年度8名、2019年度4名に各々50万円の研究助成金を与えた(32-35頁参照)。
- 7) 大学院生の研究助成を学内公募し、3年間で22名の大学院生に各々40万円の研究助成金を与えた(32-35頁参照)。
- 8) これらの研究助成受賞者の研究を多角的に指導するためにブランディング事業推進委員会委員出席のもとで、受賞者全員参加の研究進捗状況発表会を行い、さらに研究を発展させるためのアドバイスを与えた。
- 9) 若手研究者の学際的共同研究のモチベーションを上げるために、各研究グループに若手の異分野研究者で構成するワーキンググループを設置した。

図 9 若手アジアシンポジウム

東京歯科大学 私立大学研究ブランディング事業
顎骨疾患の集学的研究拠点形成
Multidisciplinary Research Center for Jaw Disease (MRCJD)
A MEXT Private University Research Branding Project

**Asian Rising Sun Symposium
at Tokyo Dental College 2019**

2019.6.29 (Sat) 13:00 - 17:30
会場：東京歯科大学水道橋校舎西棟ラウンジ

Keynote Lecture 15:20-16:00
■ **Tadaihiro Iimura** (Hokkaido University)
HIV-mediated cellular signaling and bone pathophysiology

Speakers

■ Keiko Yamashita (Tokyo Dental College)	東歯大
<i>Treponema denticola</i> TDE 0344, an AhrB-like transcriptional regulator, is involved in switching of the flagellar motor	
■ Eun Jo Du (Sungkyunkwan University)	韓国
Analysis of phototoxin taste correlates nucleophilicity to Type-1 phototoxicity	
■ Ming-Heng Wu (Taipei Medical University)	台湾
Normalizing tumor microenvironment for cancer treatment	
■ Chena Lee (Yonsei University)	韓国
Outcomes of oral squamous cell carcinoma with perineural invasion in imaging	
■ Suen Long Kiu (Novus Life Sciences Limited)	シンガポール
Chemosensory perception in human brain -The interaction of taste and smell as a simplified flavour model-	
■ Zhang Jianyun (Peking University)	中国
Odontogenic keratocyst -The role of PTCH1 and Hedgehog signaling in its pathogenesis	
■ Shoko Onodera (Tokyo Dental College)	東歯大
Multi-layered mutation in hedgehog-related gene in patient with Gorlin syndrome	

問合せ：東京歯科大学口腔科学研究センター
(Email : osc@tdc.ac.jp tel : 03-6380-9114)

しかし、この企画は一部では期待通りの効果を生み出したが、目的を理解せずに期待外れになった者がいたので、今後は事前に目的をよく説明し、目的に協力的な者でワーキンググループを設置する必要がある。

- 1 0) 外国での学会への Travel Award を設定し、事業期間中に 11 名に 20 万円を支給し、海外の学会発表の補助を行なった (32-35 頁参照)。受賞者は毎年 6 月に開催される東京歯科大学学会のポスターセッションで研究成果を報告することを義務付けた。
- 1 1) 大学院生の自発的研究向上心を促すために、大学院生が聴きたい研究者をリストアップし、それらの方に大学院セミナーを依頼するシステムを構築中である。2019 年度はミネソタ大学歯学部 PhD コースの学生が来日しており、大学院生から大学院セミナーに招聘したいという要望があったので、英語で講演をしていただいた。大学院生にはアメリカの歯学部の PhD コースの一部を垣間見ることができた良いチャンスであった。
- 1 2) 本事業では、若手研究者の自主的研究活動を啓蒙する企画を立案し、多くの企画に若手研究者が自主的に協力して、研究活動を推進した。また、若手研究者を中心とした「講座の壁を超えた異分野連携・共同研究」体制が構築できつつあり、5 年、10 年後の本学の研究活動を担う次世代研究者の育成に貢献できた。

6. 「世界展開型」プロジェクトへの進展

- 1) 前述したように海外の 16 研究施設と共同研究を実施し、今後、海外の研究施設との共著論文の増加が期待される。
- 2) 「Travel Award」を設定して若手の海外での研究発表を促進した。
- 3) 東京歯科大学大学院歯学研究科と共催した 34 回の大学院セミナーで、12 回は米国の大学研究者に講演していただき、大学院生を含む若手研究者に外国で研究を行う楽しさ、重要性を理解するチャンスを与えた。
- 4) Asian Rising Sun Symposium の企画と開催について (図 9)
中国、韓国、台湾、シンガポールから本事業に関連する研究を推進している若手研究者を招聘し、2019 年 6 月 29 日 (土) に学内で Asian Rising Sun Symposium 2019 を開催した。企画、実施は若手サイエンスアカデミーのコアメンバーが中心となって行い、プログラムを作成した。本学からのシンポジストは、東京歯科大学研究ブランディング事業研究助成および大学院研究助成の研究成果発表会の演者より、若手サイエンスアカデミーのコアメンバーが候補者を選び、英語のプレゼンテーションの評価を踏まえて 2 名を選出した。シンポジウムには 100 名を超える参加があった。
- 5) “2019 International Symposium: Tokyo Dental College Research Branding Project” の開催 (図 10) 2018 年 10 月より、2019 年度に開催する国際シンポジウムの準備を開始し、2019 年 10 月 19 日 (土) に学内で国際シンポジウムを開催した (図 10)。米国から 2 名 (Olsen 教授: Harvard 大学、Hajishengalis 教授 Pennsylvania 大学)、国内他大学から 3 名 (小守壽文教授: 長崎大学、高柳広教授: 東京大学、村上伸也教授: 大阪大学)、本学か

ら2名（東俊文教授、石原和幸教授）のシンポジストとして発表した。これらの国内外のシンポジストと今後、共同研究の推進が期待できる。

2020年度は10月17日にスウェーデンとスイスから各1名のシンポジストを招待して歯髄を中心とした国際シンポジウムを開催する予定である。

図10 2019年度東京歯科大学国際シンポジウム



第307回 東京歯科大学学会・総会

東京歯科大学 私立大学研究ブランディング事業
顎骨疾患の集学的研究拠点形成
Multidisciplinary Research Center for Jaw Disease (MRCJD)

2019 International Symposium

Molecular Science in Bone Biology and Periodontology



シンポジウム参加費：無料 2019.10.19 (土) 13:00~17:35
会場：東京歯科大学水道橋校舎 新館8階

Speakers

Session 1: 13:05 – 14:50 (moderator: Ichiro Nishimura, UCLA)



Bjorn Reino Olsen (Harvard School of Dental Medicine)
Disorders with excessive loss of jaw bones : lessons from genetic and clinical studies



Toshihisa Komori (Nagasaki University)
What is a real function of osteocalcin?



Toshifumi Azuma (Tokyo Dental College)
Runx2 governs nuclear function and chromatin dynamics: New Runx2 Paradigm

Session 2: 15:00 – 17:30 (moderators: Akira Yamaguchi, Atsushi Saito)



Hiroshi Takayanagi (The University of Tokyo)
Periodontitis, arthritis and osteoimmunology



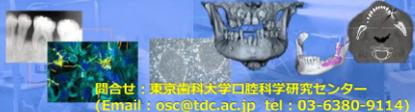
George Hajishengallis (University of Pennsylvania)
DEL-1: Integrating anti-inflammatory and pro-resolution signals



Kazuyuki Ishihara (Tokyo Dental College)
Strategy for colonization by periodontal pathogen *Treponema denticola* in periodontitis



Shinya Murakami (Osaka University)
The future of cytokine and stem cell therapies for periodontal regeneration



問合せ：東京歯科大学口腔科学センター
(Email: osc@tdc.ac.jp / tel: 03-6380-9114)



7. 各研究グループの研究成果概略

分子・細胞生物学ラボ 活動報告

要旨

- ・ 疾患遺伝子異常を次世代シーケンス解析し、RUXN2 遺伝子 P2 プロモーターが iPS 細胞骨芽細胞分化で優位に働くことを発見した。
- ・ 特定の microRNA が RUNX2 遺伝子依存性に発現し機能を制御することを発見した。
- ・ Gorlin 症候群では複数の原因遺伝子が多重変異をきたしていることを発見した。
- ・ CCD, Gorlin, McCuen-Albright, Q22.1 欠損, Apert, HajduCheney、各症候群 iPS 細胞を樹立した。
- ・ RUNX2 遺伝子変異は核膜タンパク質発現をコントロールし核膜形態異常を生じさせ、核膜病（ラミノパチー）と同様の状態を引き起こすことを発見した。
- ・ 核膜タンパク質は核形態異常とともに 組織特異的遺伝子発現を制御する。
- ・ 東京大学、慶應大学と共同研究を行い、成果を論文発表した。
- ・ ハーバード大学と共同研究を遂行した。

緒言

分子・細胞生物学ラボは疾患 iPS 細胞の開発と、その応用によって遺伝性稀少顎骨疾患の病態を分子細胞学的に解明することを主たる研究と位置づけて行ってきた。6 疾患に特異的 iPS 細胞樹立した。また iPS 細胞のみならず、遺伝子編集技術、疾患モデル遺伝子改変マウス開発も重要なテーマとして研究を遂行した成果をまとめる。

遺伝子疾患の次世代シーケンス解析

遺伝子疾患では、しばしばシグナル伝達経路の重要な分子に遺伝子異常が存在することが原因となるため、結果として複数のシグナル経路が影響を受け、生じる病態が複雑、かつ複数の標的臓器にわたる多彩な症状を呈することがある。症状が複雑なため、临床上確定診断を下せない症例が認められる。そこで遺伝子診断が確定診断として重要となるわけだが、本研究で対象とした Gorlin 症候群では遺伝子変異部位が比較的大きな遺伝子である *PTCH1* 遺伝子など 4 つの遺伝子全長にわたるため、解析には非常な苦労があった。そこで 次世代シーケンス解析法のエクソーム解析により、変異部位を網羅的に一括解析したところ 実に意外な新しい発見をした。

Gorlin 症候群は Hedgehog 経路の恒常活性化をきたす遺伝子変異が原因となる。現在まで *PTCH1*, *PTCH2*, *SFU*, *SMO* 遺伝子における変異が疾患と重要な関係があることが示され、本邦における診断基準ではこれら遺伝子変異は Gorlin 症候群診断に重要とされている。これまでは 遺伝子 Exon を丁寧に PCR 増幅しそれぞれはサンガー法で直接塩基配列を決定してきた。そのため、*PTCH1* に遺伝子異常を見出すとそれ以上の解析は行われず、*PTCH2*, *SFU*, *SMO* 遺伝子の解析は行われてこなかった。しかし、我々が次世代シーケンス解析のエクソーム解析を行って患者 DNA を網羅的に解析したところ、4 名の患者の内 2 名において *PTCH1* と *PTCH2* 両者に遺伝子変異を見出した。従って、これまでは 単一原因遺伝子に起因する疾患として考えられてきた

Gorlin 症候群は実は複数の多重遺伝子変異が原因となることを発見し Plos one に報告した。

現在 7 例の遺伝子解析が終了し 4 例が PTCH1、PTCH2 に重複して変異をもつことが判明した。従って重複した遺伝子異常が疾患病態の複雑性に影響を与えている可能性がある。そこで我々は これら遺伝子を一括してより簡便かつ低コストで解析するための 遺伝子診断パネルを開発したこの診断パネルは PTCH1, PTCH2, SFU, SMO 遺伝子変異を一括して次世代シーケンス解析できる。本パネルはこれら遺伝子全長をほぼ 100%解析することが可能である。今後本パネルを臨床診断に応用できるよう解析を進める。

iPS細胞を用いた移植医療法への展開

遺伝子疾患においては変異遺伝子を正常化する遺伝子治療または正常化した細胞の移植治療法が有効と考えられる。その場合患者細胞に対して遺伝子を正常化することができれば移植における拒絶反応も無く理想的と言える。我々は鎖骨頭蓋骨異形成症疾患 iPS細胞の変異遺伝子を遺伝子編集技術により正常化することに成功した。遺伝子を正常化した細胞は *in vitro* の骨芽細胞分化誘導において正常 iPS細胞と同等の分化を示した。さらに SCIDマウスに移植したところ、疾患 iPS細胞に比べ明らかに再生骨組織形成が増加し、遺伝子正常化 iPS細胞が移植医療材料として有用であることが示された。

・疾患特異的 iPS 細胞作製と解析

本プロジェクトにおいて 以下の疾患特異的 iPS 細胞の作製に成功した。

- Cleidocranial dysplasia (CCD) iPS 細胞
- Gorlin 症候群 iPS 細胞
- McCuneAlbright 症候群 iPS 細胞
- q 22.1 欠損 iPS 細胞
- HajduCheney 症候群 iPS 細胞
- Aper 症候群 iPS 細胞

CCD iPS 細胞解析

RUXN2 遺伝子変異のため骨芽細胞分化が正常に進まず遅延することと、遺伝子編集により変異遺伝子部を正常塩基に入れ替えると骨芽細胞分化が正常化することが判明した。さらに遺伝子編集技術を用いて、CCDiPS の RUXN2 遺伝子をホモに同一変異を有する (KO iPS) を作成し、iPS 細胞を検討した。すると、CCD KO-iPS 細胞は正常核を有するのにも、骨芽細胞へ分化誘導すると極端な核変形をきたした。この核変形の原因として核内構造タンパク質の関与を疑い、核内構造タンパク質を網羅的に解析したところ、重要な核膜タンパク質が RUNX2 依存性に発現を低下させていることが判明した。これら核膜タンパク質はその遺伝子変異が『核膜病：ラミノパチー』という遺伝子病の原因となることが知られ、同じような核変形をきたすことがわかっている。

RUNX 2 遺伝子変異存在下にこれら核膜タンパク質を強制発現させると骨芽細胞分化も回復することが判明し、RUXN2 遺伝子変異は実は核膜タンパク質発現を制御することにより、骨芽細胞特異的タンパク質発現を制御し、最終的には骨芽細胞分化を抑

制することが判明した。現在、これら核膜タンパク質発現ノックアウトマウスを作成して病態解明を進めている。

Gorlin 症候群 iPS 細胞解析 McCune-Albright 症候群 iPS 細胞解析

Hedgehog 遺伝子恒常的活性化をきたす Gorlin 症候群では 骨芽細胞分化亢進と石灰化過剰をきたし、McCune-Albright 症候群では Hedgehog シグナル低下による骨芽細胞分化障害に基づく未成熟骨芽細胞と石灰化不全をきたすことを示し、それぞれ Hedgehog 情報経路が疾患病態と密接に関係することをしめし、論文発表した。

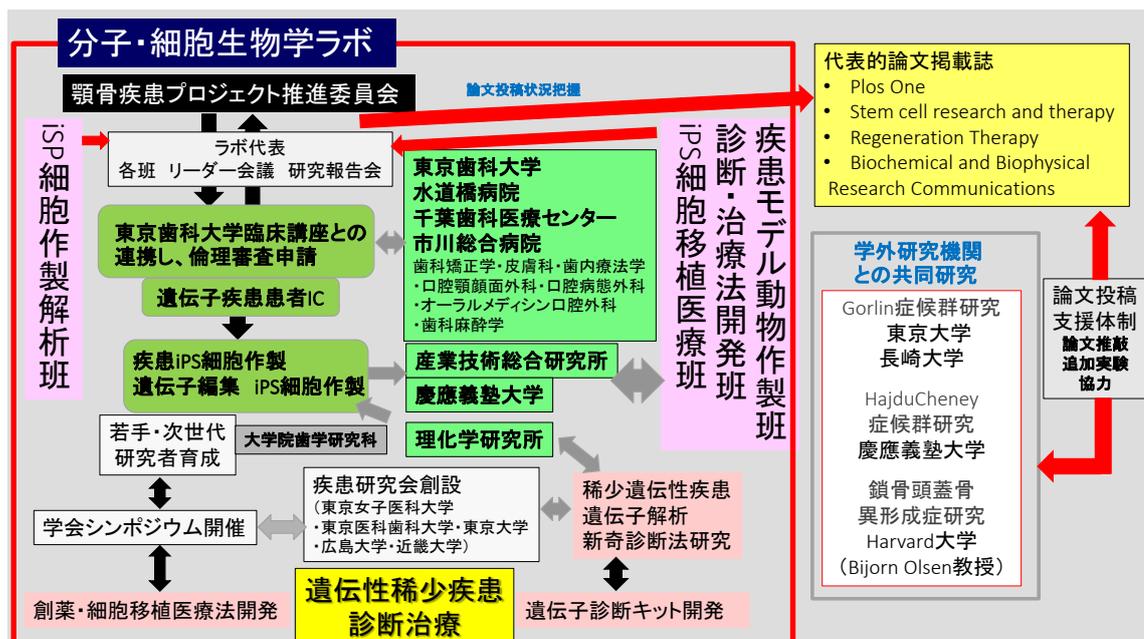
Gorlin 症候群では基底細胞癌発症と遺伝子変異の関係、および紫外線によるアポトーシス抑止との関係を明らかにし、McCune-Albright 症候群では消化器組織発癌との関係を示した。

共同研究の推進

- ・ 東京大学、慶應大学と共同研究を行い、成果を論文発表した。
- ・ ハーバード大学と共同研究を遂行した。

社会貢献

学内外のセミナー、講習会、公開講座においてメンバーが講演した。



感染防御ラボ 活動報告

要旨

- 歯周処置によるマイクロバイオームの変動を明らかにするとともに、掌蹠膿疱症患者での唾液マイクロバイオームが健常者と異なっている事を明らかにできた。
- 根尖病巣形成に関わる *P. micra*, *F. nucleatum* 間の相互作用、*T. denticolat* と *P. gingivalis* の共凝集に関わる因子を明らかにすることができた。
- *T. denticola* の鞭毛の switching (方向転換) の調節、酸素応答に関わる調節遺伝子を明らかにする事ができた。
- 硬組織形成細胞における G タンパク質結合型受容体とストア依存性カルシウムチャネル発現の外的環境依存性機能連関を細胞内遊離 Ca^{2+} 濃度計測で明らかにした。
- 外的刺激誘発性骨形成においてキーとなると考えられる多刺激受容タンパク質・機械感受性イオンチャネルが骨芽細胞で発現していることを明らかにした。
- 象牙質を形成する特異的化合物である「石灰化因子 C 化合物」の同定を行い、それが結合する細胞膜センサータンパク質を標的とする硬組織形成薬剤の創薬スクリーニングを行なった。

微生物解析班

微生物解析班では、歯周病を中心とした疾患の病因解明を、マイクロバイオーム解析、マイクロバイオーム中の細菌間相互作用、細菌の適応に関わる遺伝子発現調節、感染による宿主細胞のエピジェネティック制御により解明する事を目的としている。

マイクロバイオーム解析

1) 歯周処置による病態の変化と歯肉縁下マイクロバイオームの解析

健常部位におけるスケーリング前後のマイクロバイオームは、処置によって差は認められなかった。これに対し、歯周炎部位では、*Porphyromonas*, *Treponema*, *Fusobacterium* をはじめとする属多認められているが、歯周基本治療 2 週間後には、*Actinomyces*, *Rothia*, *Streptococcus* 等の健常な細菌叢に認められるものが主要な属になったことから、スケーリングにより健常なマイクロバイオームに戻り、それが 1 ヶ月程度安定して維持されることが明らかになった。また、歯周炎病巣の菌群と処置後のものには拮抗関係が認められた。健常者でスケーリングによる変化が少ないことから、健常部の菌叢は歯周炎部位のものに比べ、組成の安定性が強いと考えられた。

2) 掌蹠膿疱症患者の唾液マイクロバイオームの解析

掌蹠膿疱症は、慢性の嚢胞性疾患手や足の皮膚に認められる疾患であり、その病因に慢性歯周炎によって引き起こされる免疫応答の関与が示唆されている。この関係について解析するために健常者と掌蹠膿疱症患者の唾液中のマイクロバイオームを解析した。掌蹠膿疱症患者と健常者のマイクロバイオームは異なっていた ($P <$

0.05)。現在症例を増やし、症状の程度、喫煙、歯周炎、掌蹠膿疱症性骨関節炎と細菌叢についても検討を進行中である。

3) 補綴物に形成されるマイクロバイオームの解析

補綴物表面に付着する微生物は、義歯性口内炎や誤嚥性肺炎の発症にかかわる。義歯床の材料として用いられる acrylic resin と コバルトクロム合金表面に形成されるバイオフィルムの組成について検討すると、唾液等の被覆による作用から、天然歯と類似していることが明らかにした。

細菌間相互作用解析

1) *Fusobacterium nucleatum* と *Parvimonas micra* 間における共生作用の解析

F. nucleatum と *P. micra* は、根尖性歯周炎から高頻度で分離される。これらの菌群がバイオフィルムを形成し共生していることを明らかにすることにより、これらの2菌種の共生が根尖部での病変形成に寄与していることを示唆することができた。

2) *P. gingivalis* と *T. denticola* の共凝集因子の解明

P. gingivalis は、*T. denticola* と共凝集によって凝集塊を形成し、歯周病原性プラークの形成に関わる。共凝集に関わる *P. gingivalis* Hgp44 の付着ドメインを解明するため、組み替えタンパクを用いて解析を行った。Hgp44 を code する遺伝子から r-Hgp44₁ (residues 1-124), r-Hgp44₂ (1-199), r-Hgp44₃ (1-316), r-Hgp44₄ (199-419), r-Hgp44₅ (124-198), r-Hgp44₆ (199-316)の組換えタンパクを用いて共凝集性を解析し、アミノ酸 199-316 の部分が共凝集に関わる事を明らかにした。

外的環境への適応の解析

1) *P. gingivalis* シグマ因子の機能解析

Porphyromonas gingivalis の extracytoplasmic (ECF) sigma factor (SigP, SigCH, PGN_0450, PGN_0970, and SigH) による遺伝子発現調節について解析した。SigP は、本菌の定着に関わる自己凝集性、赤血球凝集性、病原因子であるプロテアーゼ Rgp と Kgp の発現調節に関与し、SigH は、Kgp 活性の調節への関与していた。sigP は、ampicillin に対する感受性、membrane vesicle 形成に関わっており、SigP が、本菌のストレス応答と病原性調節に重要な役割を果たしていることを明らかにした。

2) *T. denticola* の環境ストレス応答機構の解明

T. denticola は、血清制限下では、ArsR family の transcriptional regulator の発現低下が認められ、血清成分の減少に順応し特定の遺伝子を調節していることが示された。marR 様 transcriptional regulator は、周囲の酸素濃度の減少に伴い下流に存在する iron-sulfur cluster-binding protein の発現を抑制するとともに、TDE_0127 の発現に影響を与えていた。さらに、Msp の欠損で上昇が認められた tdsR (*Treponema denticola* switching regulator)は、鞭毛の回転方向を換える switching の調節に関わっていることが明らかにできた。この調節機構は、今まで他の細菌では認められておらず、そのメカニズムについて解析を進めている。

石灰化分子標的班

近年、硬組織形成細胞に、外的環境を監視する感覚受容細胞膜タンパク質群（細胞膜センサータンパク質）の発現が多く報告されている。本研究では、細胞膜センサータンパク質に着目し、その生体物理学的特性、薬理学的特性の解明、歯周病・う

蝕原性細菌との関連、石灰化を促進する細胞外刺激候補因子のスクリーニングを行った。

細胞膜センサータンパクの生体物理学的特性、薬理学的特性の解明

1) 硬組織形成細胞における G タンパク質結合型受容体とストア依存性カルシウムチャンネル発現の外的環境依存性機能連関

硬組織形成細胞における G タンパク質結合型受容体とストア依存性カルシウムチャンネル発現の外的環境依存性機能連関を細胞内遊離 Ca^{2+} 濃度計測で明らかにした。硬組織形成細胞である象牙芽細胞には、Gq タンパク質結合型受容体であるフォスホリパーゼ (PLC) -coupled receptors (ADP/核酸受容体[P2Y 受容体]・ムスカリン受容体) が発現していた。加えてイオンチャンネル型 ATP 受容体である P2X 受容体も発現していた。細胞外 ATP は、象牙芽細胞間では autocrine/paracrine シグナルとして、また、象牙芽細胞とニューロン間では、細胞間伝達物質として神経性連絡に重要な役割を演じていた。加えて、歯質に感染した細菌は、周囲に ATP を放出することが近年報告されている。細胞外 ATP が、細胞間のシグナルとしてだけではなく、細菌-硬組織形成細胞間のシグナル伝達に関与する可能性が示される。

2) 多刺激受容タンパク質・機械感受性イオンチャンネル

骨芽細胞に多刺激受容タンパク質・機械感受性イオンチャンネルが発現していた。骨芽細胞に直接機械刺激を加えると、細胞内遊離 Ca^{2+} 濃度が、機械刺激依存性に増加した。骨形成には、外的な環境変化としての機械刺激が重要であることが報告されているが、その機械刺激受容タンパク質は明らかではなかった。今回、骨芽細胞に見出した多刺激受容タンパク質・機械感受性イオンチャンネルは、外的刺激誘発性骨形成においてキーとなる細胞膜タンパク質であると考えられた。

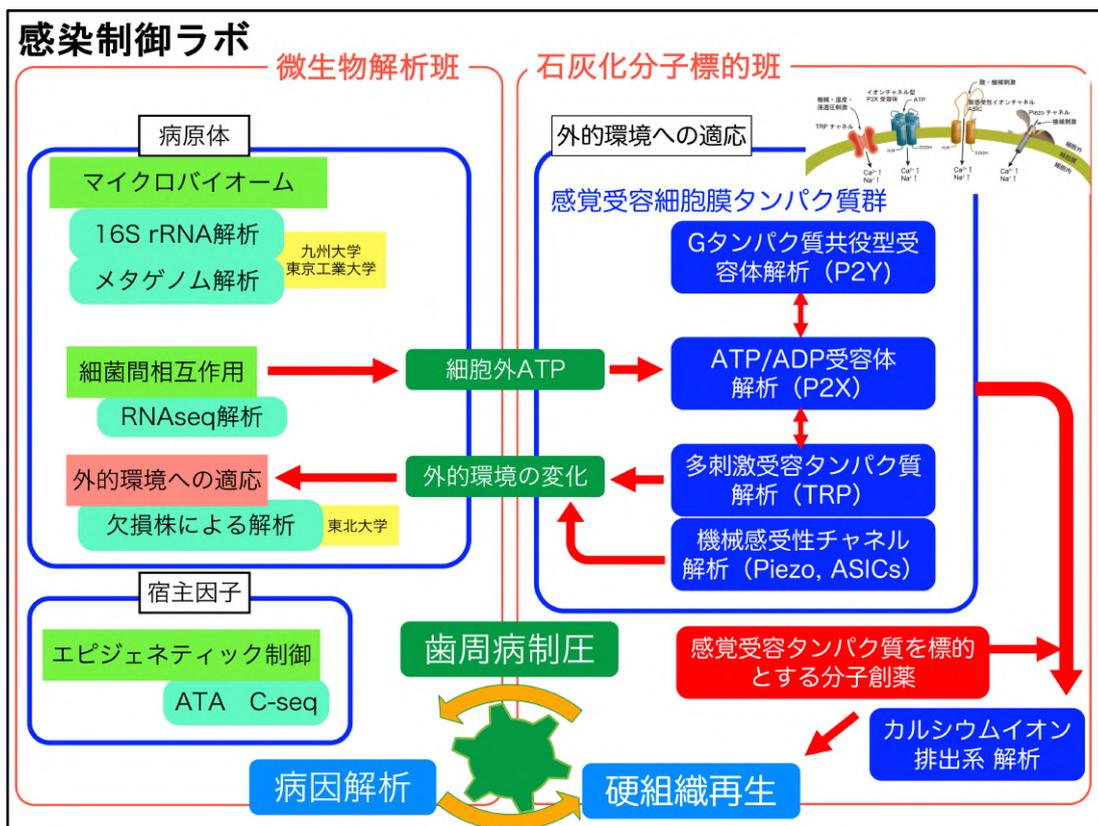
象牙芽細胞の石灰化能に対する Ca^{2+} 輸送系の影響

1) 象牙芽細胞の石灰化能に対する Ca^{2+} 輸送系の影響を検討した。 Ca^{2+} 輸送系 A を阻害すると、象牙芽細胞による石灰化が抑制された。この結果は、 Ca^{2+} 輸送系 A が、象牙質石灰化前線への細胞内 Ca^{2+} 輸送の役割を演じていることを示唆していた。

2) 加えて、他の Ca^{2+} 輸送系 B の象牙芽細胞における発現を検討したところ、いくつかのサブタイプ発現が観測された。また細胞外環境を変化させると、細胞内 Ca^{2+} は増加し、 Ca^{2+} 輸送系 B との機能連関が計測された。象牙質石灰化に対する Ca^{2+} 輸送系 A および B の寄与率を検討し、また、象牙質を形成する特異的化合物である「石灰化因子 C 化合物」の同定を行った。

3) 細胞外環境を変化させる「石灰化因子 C 化合物」を象牙芽細胞に投与すると、硬組織形成・石灰化が促進した。石灰化因子 C 化合物が結合する細胞膜センサータンパク質を標的とする硬組織形成薬剤の創薬スクリーニングを行なった。

4) 象牙芽細胞において、① calcium release-activated calcium チャンネルによるストア依存性 Ca^{2+} 流入、② Gs/Gi タンパク質と共役するアデニル酸シクラーゼと細胞内 cyclic-AMP(cAMP)のライブイメージング、③ 電位依存性カリウムチャンネルアルファサブユニット (Kv) の Kv1.1、Kv1.2、Kv1.6 発現を示した。



ファブラボグループ活動報告

要旨

- ・ファブラボグループでは、CAD/CAMに代表されるデジタルデンティストリーへのパラダイムシフトを牽引するため、臨床応用を目指した基礎研究の段階から躍進し、臨床に直結したトランスレーショナルリサーチを加速させた。
- ・口腔外科学領域の手術支援システムでは、PC上でのヴァーチャルオペレーションを術中に高精度に再現するための3Dジグデバイスを開発し、実際の手術でその精度検証を行った。
- ・歯科補綴学領域では、3Dプリンタを用いた義歯作製の臨床応用するために造形精度の検証を行った。
- ・味覚機能と脳機能では、ヒトの加齢による脳の味覚領域の変化をfMRIにより検証した。
- ・さらに卒前・卒後の歯学教育においてもその用途を拡大する試みを実施した。
- ・いずれもの領域においても学士論文を含めた誌上発表を行うことができ、研究・診療・教育の分野で貢献をすることができた。

研究実績

1) 口腔外科領域の手術支援

PC 上でのヴァーチャルオペレーションを術中に高精度に再現するための 3D ジグデバイスの開発を行った。Le Fort I 型骨切り術による上顎骨移動・固定において、CT 画像をもとに作製した 3D データに対してヴァーチャルオペレーションを行い、設定した上顎骨切り線を再現するカッティングデバイスと、上顎骨移動後を再現したジグデバイスを 3D プリンタで作製し手術に応用した。術後 CT との重ね合わせの精度検証によって、このテクニックが同様の技術を使う他の方法と比べて非常に高精度であることを明らかにした。さらに Microsoft 社 HoloLens®を用いて Virtual Reality (VR) による術野の臓器や血管を術中患者に対して投影しながらナビゲーション手術を行うことに成功した。

現在は、Le Fort I 骨切り術において 3D プリンタで作製したデバイスと HoloLens®を用いた MR 手術支援の両方を用いることで、安全で良好な手術精度を得ている。

2) 歯科補綴治療への導入

3D プリンタを用いた義歯作製の臨床応用実現性について精査するため、造形精度の検証を行った。その結果、3D プリンタを用いてつくられた義歯床は、従来法を用いて作られた義歯に匹敵する高い精度を有していることが明らかとなった。しかしその一方で、積層造形という造形材料を上積み重ねていく作製方法による制約で、アンダーカット部に滑沢な面が得られず、造形精度が低下することが判明した。これらの臨床応用を考慮した基礎的研究により、3D プリンタを用いた義歯制作はすでに実用化の前段階まで到達しており、機器性能から考えれば十分な精度を有していることが判明した。

3) 口腔と脳機能

ヒトは加齢により塩味と甘味を感じにくくなる。71 名のヒトの舌に規格的に塩味溶液を呈示すると若者群 (45 名) に比べ高齢者群 (26 名) の方が有意に低く認知した。これを fMRI によって塩味と甘味で脳活動を解析した。また、歯の喪失とアルツハイマー病、歯の MRI についても準備を行い、倫理審査委員会の承認を経て被検者の収集に至った。

4) 歯学教育への応用

臨床研修中の研修歯科医師にヘッドマウントディスプレイを装着させ、造影 CT から作製した画像を指導者の視点と同一の VR を共有して、360 度から観察することができる立体画像により血管内部、骨内部の観察する実習を行い、その教育効果を検証した。

社会貢献

- 1) 本プロジェクトの成果である口腔外科領域の手術支援システムについて、(公社)日本口腔外科学会第 64 回学術大会において研修セミナーを行って、精度と安全性を担保できる本方法を広く国内に紹介した。
- 2) (公社)日本歯科医師会雑誌 12 月号にも本プロジェクトを総説として発表し、CAD/CAM の普及によるデジタルデンティストリーへのパラダイムシフトを日本の歯科医師全体に啓発した。
- 3) プロジェクトにかかわるメンバーが市民講演会、当院との地域医療連携報告会などで研究成果を発表した。

4) 社会への情報発信、その他

【テレビ出演】

1) 「第6の味覚《脂肪味》」に関連する放送

出演者：安松啓子

放送：クローズアップ現代+ NHK 総合 2019年6月13日放送

世界一受けたい授業 日本テレビ 2019年10月12日放送

健康カプセルゲンキの時間 TBS 系列 2019年10月27日放送

あさイチ NHK 総合 2020年2月26日放送

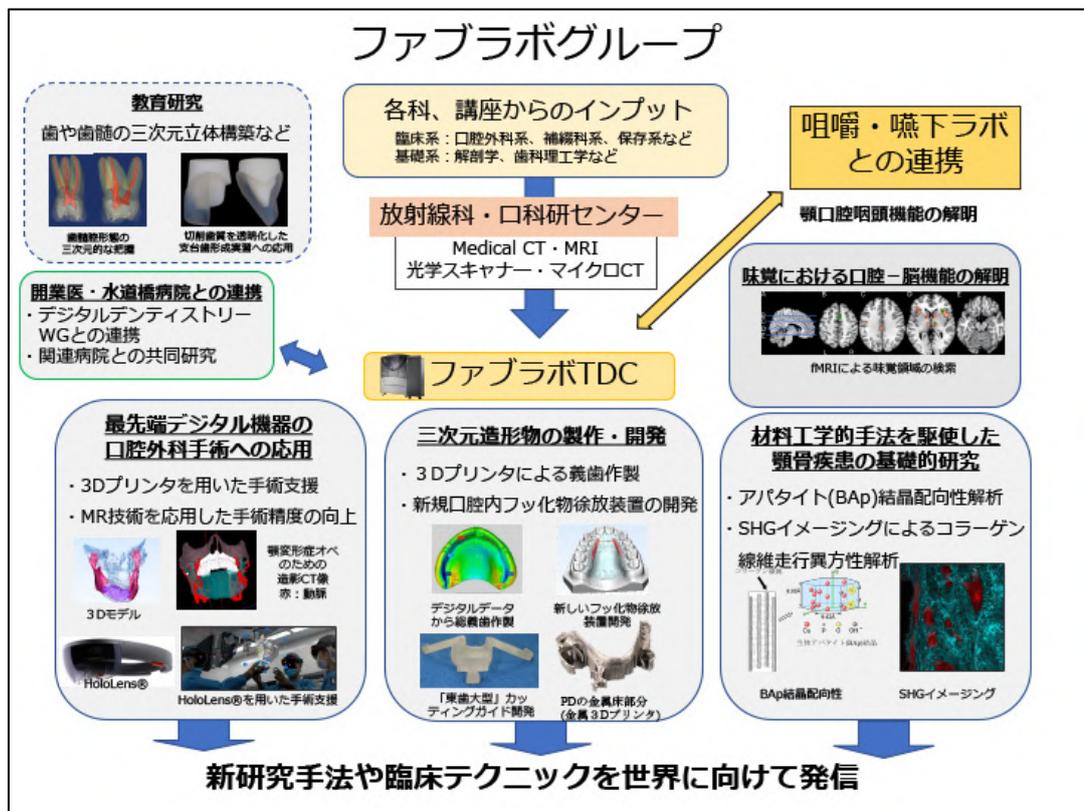
2) MR 手術支援システムと MR 技術を使った医学・歯学教育に関する放送

出演者：片倉朗、杉本真樹（連携研究者）

放送：カンブリア宮殿 テレビ東京 2020年4月放送予定

【新聞掲載】

- ・「下顎骨の構造解明：東京歯科大学／阪大 疾患治療に道」（松永智、阿部伸



一、山口朗、中野貴由) 日本工業新聞 2020年1月14日

咀嚼嚥下ラボ活動報告

要旨

- ・咀嚼・嚥下・発音などを担う口腔・咽頭は、ヒトの生活に欠かせない生きる意欲・楽しみを維持するために重要な場である。
- ・咀嚼嚥下ラボでは、周囲軟組織と顎骨を一つのユニット（機能的単位）と捉え、その機能的単位が担う構造、機能を4つのグループで解析した。
- ・これらの研究により咀嚼嚥下の形態と機能を統合的に解析・理解できる研究グループを構築できた。
- ・他のラボや国内外の他大学との共同研究を推進した。
- ・大学院生の研究成果を向上させ、若手育成に貢献できた。

咀嚼嚥下機能解析グループ

1) 画像診断装置を用いた摂食嚥下機能の解析

超音波エラストグラフィのうち Strain elastography (SE) を用いて、安静時と液体保持時による舌の硬さの変化の測定を行った。安静時と水およびとろみ水 3ml を保持した状態の舌の硬さと厚さを、超音波診断装置の Real-time Tissue Elastography®の Strain Ratio (SR) を用いて測定した。SR 値は安静時と比較して水およびとろみ水保持時では舌が有意に硬くなった。また舌の陥凹深度は、舌の硬さとの間に負の相関関係が認められた。個々の安静時の舌の硬さが水分保持時の陥凹形成といった舌の活動時の力を反映している可能性があると考えられる。今後 SE を用いて、安静時の舌の硬さから活動時の舌の硬さが予測可能であるかについても検討を行っていきたい。

2) 要介護高齢者における MMASA の診断精度の検討

身体機能の低下などの問題を有する要介護高齢者に有用な摂食嚥下機能障害のスクリーニングテストの開発を本申請期間では目指し、Modified Mann Assessment of Swallowing Ability (MMASA) が有効であることを立証できた。その中で MMASA の誤嚥の予測に最適なカットオフ値と診断精度を算定すること、および評価に有用な評価項目を検討し、有効な値を明らかとした。その結果、より診断精度の高い要介護高齢者に適した摂食嚥下障害のスクリーニングテストの開発を行う研究につなげることが出来た。

咀嚼機能に関する生理学的研究グループ

1) オーラルフレイル早期発見のための複合センサによる口唇機能の検証

本申請期間では、2017年7月付けで特許が認められた「口腔または咽頭の気圧をモニタリングする装置」（特許第6174965）を応用し、口腔内圧、口輪筋の筋電図、口唇閉鎖圧を同時に測定できる複合センサを用い、口唇閉鎖圧、口腔内圧、口輪筋活動を同時記録し検討した。その結果、複合センサでの口輪筋の筋電図記録は、従来の表面電極で記録されたものと高い相関があった。複合センサによる口輪筋の筋電図記録は正確性があり、同時に口唇閉鎖圧および口腔内圧を測定も可能であった。従って複合センサは、口唇機能の評価のための有効なツールとなり得ることが示唆された。

2) ラット単離細胞を用いた象牙質痛に関する生理学的研究

象牙芽細胞が受容した刺激を中枢に伝達するための神経との連絡機構についての不明な点を本申請期間に明らかにした。すなわち象牙芽細胞と歯髄支配神経である三叉神経節細胞との連絡機構について検索し、象牙芽細胞への機械刺激は、刺激象牙芽細胞だけでなく非接触の周辺の象牙芽細胞と三叉神経節細胞の細胞内カルシウムイオン濃度も増加させ、ATPを受容した三叉神経節細胞には局所応答が生じ、電依存性ナトリウムイオンチャネルの開口が誘導されて活動電位が生じることを明らかにした。

咀嚼機能を担う口腔組織の形態形成研究グループ

運動器は身体運動と構造安定のために協調する効率的な組織の集合体である。近年、腱と骨格系は腱-骨格系前駆細胞群から各々の組織に分化することが明らかとなり、また一方骨格筋は腱や骨格系とは異なる経路で分化することが知られている。しかしながら、腱-骨格系前駆細胞群と筋原基という2つの細胞集団が如何にして運動器を組織構築していくのかを観察した報告はなく不明な点が残されていた。そこで本申請期間では、腱-骨格系前駆細胞群と筋原基の結合過程を経時的に観察することにより、運動器の組織構築機序を検索した。その結果、胎生期の腱-軟骨接合部にSox9の発現が残存するものは、将来の線維軟骨型の付着形態に分化し、腱-膜骨付着部にSox9の発現が減弱するものは線維型の付着形態に分化する事を明らかにし、発生初期の運動器はどの部位においても腱-骨格系前駆細胞群と筋原基が接触するという同一の形態を示すことを確認した。

インプラントと顎関節症に関する研究グループ

1) インプラント周囲軟組織の特異的発現遺伝子の解明

インプラントの粘膜貫通によって形成されるインプラント周囲軟組織は、生体防御機構が弱く感染の起点となることが知られている。レーザーマイクロダイセクションによるサンプル採取からの網羅的遺伝子発現解析により、インプラント周囲軟組織を構成するインプラント周囲上皮、結合組織において特異的に発現変化する遺伝子を同定することを試みた。その結果、インプラント周囲上皮では抗菌タンパク (*Lpo*)、好中球の機能調整する *Pla2g2a* などの生体防御機構の向上に関与する遺伝子の発現が増加していた。一方でインプラント周囲結合組織では、マイクロファージの誘導因子 (*Lbp*) の発現増加と活性酸素分解酵素 (*Sod3*) の発現低下が特異的に生じていることが明らかとなった。この成果から、これらの遺伝子の発現調整を可能とする薬物=インプラント周囲炎予防薬の開発へつなげることが出来た。

2) 変形性顎関節症モデルマウスの作出と解析

顎関節症の一つの型である変形性顎関節症 (TMJ-OA) の病態解明のため、マウス関節円板を部分的に除去し変形性顎関節症モデルマウス (OAマウス) を作出し、研究に用いる事を計画に用いた。その結果、関節円板切除後その力学的負荷の増大から下顎頭軟骨層直下に経時的にプロテオグリカンの発現を増加させ、一定期間は下顎頭の外形に変化はないものの、関節円板切除後数週間経過後から持続的な軟骨層の破壊が開始され、次の段階として外側翼突筋停止部筋束付近において、筋線維の壊死・筋膜や腱の断裂・肥厚がみられることを確認した。また軟骨層の破壊が始まる時期に、軟骨創傷の治癒過程に関与することが報告されている NG2 プロテオグリ

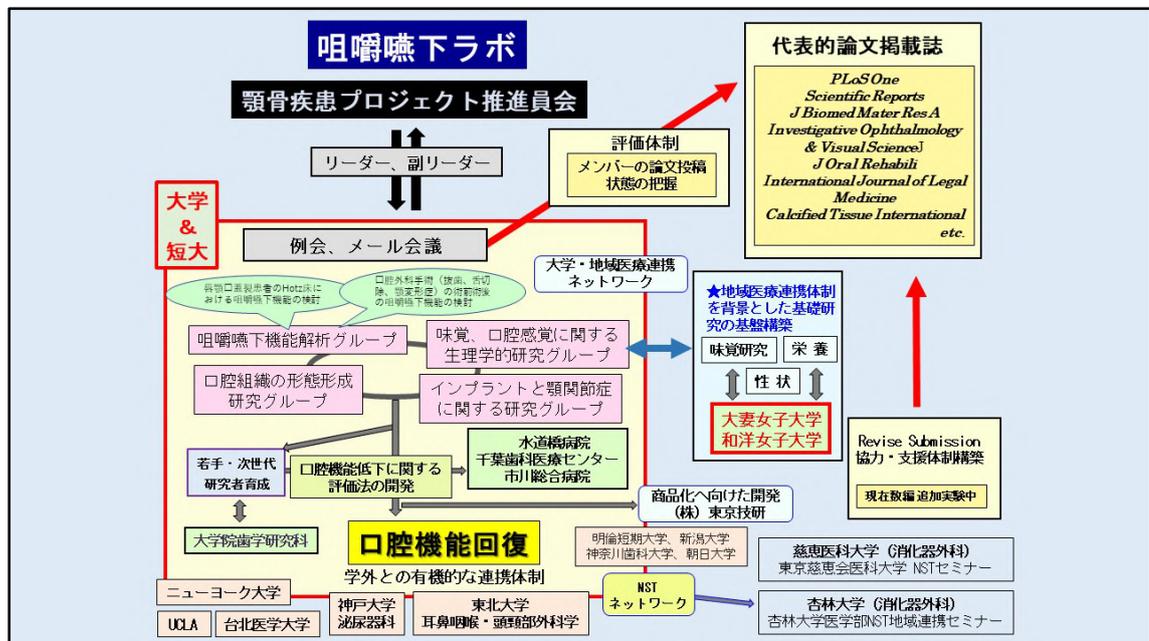
カン(NG2)が、細胞周囲から細胞内へ位置を変化させていることを見出した。さらにNG2が病態の進行とともに細胞質内で発現部位を変えている可能性もある事から、膜結合型NG2が切断され細胞内に取り込まれるタイミングが軟骨層破壊の起点であると考えられた。よってTMJ-OA進展において起こるNG2の内在化は、下顎関節軟骨の初期退行性変化におけるシグナル制御に関与する事が明らかとなった。すなわち骨破壊から周囲軟組織の器質的変化へ連動して波及する現象において、NG2を細胞内に取り込むエンドサイトーシスの現象がTMJ-OAの初期破壊の起点であり、OAマウスにみられる器質的障害の波及が開始される指標となると考え、その起点から続く周囲軟組織破壊のメカニズムを明らかにする研究につなげることが出来た。

社会貢献

- 1) 口腔機能低下に関する評価法では、開発機器の特許を取得し、(株)東京技研と商品化へ向けて開発を進めた。
- 2) 摂食嚥下リハビリテーションに関する高度な業務実践の知識・技能を有する認定歯科衛生士講習会の講師をメンバーが担当し、咀嚼嚥下ラボでの研究成果を解説した。
- 3) 医学部が主催するNST講習会、市民講座などの講師をメンバーが担当し、咀嚼嚥下ラボでの研究成果を啓発した。

その他

- 1) 東京歯科大学と東京歯科大学短期大学の共同研究を推進した。
- 2) 国外(NY大他)、国内(神戸大学他)の他施設との共同研究を推進し、論文も共同で複数作成した。



Ⅲ. 東京歯科大学研究ブランディング事業各種委員会

1) 東京歯科大学口腔科学研究センター運営委員会

委員長	井出 吉信	学長
委員	一戸 達也	副学長
	橋本 正次	副学長
	東 俊文	口腔科学研究センター所長
	新谷 誠康	口腔科学研究センター副所長
	櫻井 薫	大学院研究科長(2017-2018年度)
	矢島 安朝	大学院研究科長(2019年度)
	石原 和幸	研究部長
	加藤 靖明	事務局長
陪席	山口 朗	口腔科学研究センター
	渡辺 靖明	会計課長
	田島 大地	口腔科学研究センター事務室

2) 東京歯科大学研究ブランディング事業“顎骨疾患プロジェクト”実施委員会

委員長	井出 吉信	学長
委員	一戸 達也	副学長/千葉歯科医療センター長
	橋本 正次	副学長/研究担当
	矢島 安朝	水道橋病院長(2017-2018年度)
	片倉 朗	水道橋病院長(2019年度)
	西田 次郎	市川総合病院長
	山口 朗	顎骨疾患プロジェクト委員長
	櫻井 薫	大学院研究科長(2017-2018年度)
	矢島 安朝	大学院研究科長(2019年度)
	石原 和幸	研究部長
	村松 敬	研究部副部長
	後藤多津子	研究部副部長(2017-2018年度)
	齋藤 淳	研究部副部長(2019年度)
	東 俊文	口腔科学研究センター所長
	新谷 誠康	口腔科学研究センター副所長
	橋本 貞充	広報・公開講座部長
	加藤 靖明	事務局長
	渡辺 和輝	会計課長(研究費運営サポート)
陪席	田島 大地	口腔科学研究センター事務室

3) 東京歯科大学研究ブランディング事業推進委員会

委員長	山口 朗	顎骨疾患プロジェクト委員長 (口腔科学研究センター客員教授)
委員	東 俊文	口腔科学研究センター所長 (生化学講座教授)
	新谷 誠康	口腔科学研究センター副所長 (小児歯科学講座教授)
	石原 和幸	研究部長(微生物学講座教授)
	村松 敬	研究部副部長(保存修復学講座教授)
	後藤多津子	研究部副部長(歯科放射線学講座教授) (2017-2018年度)
	片倉 朗	口腔病態外科学講座教授

	齋藤 淳	研究部副部長（歯周病学講座教授） （2019年度）
	阿部 伸一	解剖学講座教授
	笠原 正貴	薬理学講座教授
	澁川 義幸	生理学講座教授
	松永 智	解剖学講座准教授
	大久保 真衣	摂食嚥下リハビリテーション准教授
	溝口 利英	口腔科学研究センター准教授
	佐藤正樹	教養系研究室（生物）講師
陪席	田島 大地	口腔科学研究センター事務室
	野々峠 美枝	口腔科学研究センター事務室
	佐藤 美樹子	事務担当

4) 顎骨疾患プロジェクト 自己点検・評価委員

委員長	井出 吉信	学長
委員	一戸 達也	副学長/千葉歯科医療センター長
	橋本 正次	副学長
	矢島 安朝	水道橋病院長（2017-2018年度）
	片倉 朗	水道橋病院長（2019年度）
	西田 次郎	市川総合病院長
	櫻井 薫	大学院研究科長（2017-2018年度）
	矢島 安朝	大学院研究科長（2019年度）
	古澤 成博	図書館長
	山下秀一郎	臨床教授連絡会幹事（2017-2018年度）
	石原 和幸	臨床教授連絡会幹事（2019年度）
	村松 敬	研究部長
	澁川 義幸	研究機器管理部長（2017-2018年度）
	山本 仁	研究機器管理部長（2019年度）
	杉原 直樹	基礎教授連絡会幹事（2017-2018年度）
	石井 拓男	基礎教授連絡会幹事（2019年度）
	加藤 靖明	法人主事
		事務局長

IV. 東京歯科大学研究ブランディング事業実施記録等

1. 東京歯科大学研究ブランディング事業推進委員会開催記録

2017年度

1. 第7回顎骨疾患プロジェクト推進委員会

日時：2017年5月10日（水）16：00～

内容：2018年度活動報告について

今年度の事業計画について

次期ブランディング事業の申請について

2. 第8回顎骨疾患プロジェクト推進委員会

日時：2017年6月21日（水）16：00～

内容：2017年度顎骨疾患プロジェクト研究助成の採択について

2017年度 各研究部門の「研究計画」と「研究費の執行」について

顎骨疾患プロジェクト大学院生研究助成運用基準（案）について

顎骨疾患プロジェクト学部学生卒業論文作成研究助成について

推進委員会への新委員加入について

3. 第9回顎骨疾患プロジェクト推進委員会
 日時：2017年11月15日（水）16：00～
 内容：2017年度私立大学研究ブランディング事業選定状況について
 事業推進工程の再確認について
 キックオフシンポジウムの開催について
 歯科医学教育セミナーにおける研究関連分野の開催について
 大学院学外総合セミナーでの講演について
 事業推進役割分担について
 同窓会理事会提出資料について
 本事業の英語名について
 推進委員会委員の追加とWGの設置について
 ポスドクの公募について
 次期事業についての対策について
4. 第10回顎骨疾患プロジェクト推進委員会
 日時：2017年12月6日（水）18：30～
 内容：推進委員会への新委員加入について
 本事業の英語名について
 キックオフシンポジウム・外部評価委員会の開催について
 同窓会との連携について
 ホームページの作成について
 事業予算と執行について
 今後の事業の推進について
 ワーキンググループ(案)について
5. 「第11回顎骨疾患プロジェクト推進委員会」
 日時：2018年1月11日（木）11：15～
 内容：本事業における実施体制と目標と咀嚼嚥下WGの位置付けについて
 今年度の研究費と来年度の予算について
 ホームページの開設について
 キックオフシンポジウムについて
 外部評価委員会について
 平成29年度Travel Awardについて
 平成30年度シンポジウムについて
 平成29年度顎骨疾患プロジェクト研究助成・大学院生研究助成受賞者成果発表について
 今後の検討事項について

メール会議実施一覧

1. 2017年4月25日（火）【メール会議】
 内容：科研費講演会について
2. 2017年4月27日（木）【メール会議】
 内容：平成29年度研究助成について
3. 2017年4月27日（木）【メール会議】
 内容：私立大学研究ブランディング事業申請準備について
4. 2017年5月11日（木）【メール会議】
 内容：研究助成応募資格について
5. 2017年8月21日（月）【メール会議】
 内容：大学院生研究助成の審査について
6. 2017年9月6日（水）【メール会議】

- 内容：プロジェクトの英語名について
7. 2017年9月13日（水）【メール会議】
内容：英文論文校正費助成について
 8. 2017年9月21日（木）【メール会議】
内容：英文論文校正費助成について
 9. 2017年11月16日（木）【メール会議】
内容：プロジェクトの英語名について
 10. 2017年11月22日（水）【メール会議】
内容：キックオフシンポジウムと歯科医学教育セミナーにおける研究関連分野の開催について
 11. 2017年11月24日（金）【メール会議】
内容：推進委員会新委員の推挙について
 12. 2017年11月29日（水）【メール会議】
内容：プロジェクトの英語名について
 13. 2017年12月5日（水）【メール会議】
内容：（報告）ブランディング事業英語名について
 14. 2017年1月26日（金）【メール会議】
内容：Travel Award 2017の評価結果について

2018年度

1. 第14回顎骨疾患プロジェクト推進委員会
日時：2018年5月29日（火）10：00～
協議・報告事項
 - 1) 2018年度顎骨疾患プロジェクト関連研究助成金の審査について
 - 2) 研究助成（50万円×8名）
 - 3) 大学院研究助成（40万円×7名）
 - 4) Travel Award（25万円×5名）
 - 5) 各ラボのサブリーダーの選出と新規研究分担者の追加について
 - 6) 同窓会連携構築について
 - 7) 第305回東京歯科大学学会（2018年6月2日開催）について
 - 8) 第306回東京歯科大学学会（2018年10月20日開催）シンポジウムについて
 - 9) 平成31年度国際シンポジウムについて
 - 10) 歯科医学教育セミナーについて（6月18日開催、10月に開催予定）
 - 11) ロゴマークについて
 - 12) 2017年度進捗状況及び研究活動報告書について
 - 13) 各研究ラボ、WGの進捗報告について
 - 14) その他
2. 第15回顎骨疾患プロジェクト推進委員会
日時：2018年7月17日（金）14：00～
協議・報告事項
 - 1) 第360回東京歯科大学学会シンポジウム（2018年10月20日）について
 - 2) 来年度以降のシンポジウムについて（国際シンポジウムを含めて）
 - 3) 今年度ブランディング事業研究助成、大学院生研究助成受賞者の研究進捗状況について
 - 4) その他
3. 第16回顎骨疾患プロジェクト推進委員会

日時：2018年10月16日（火）14：00～

協議・報告事項

- 1) 2018年度 ブランディング事業シンポジウムについて
- 2) 歯科学報「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」シリーズについて
- 3) 若手サイエンスアカデミーの再開
- 4) 同窓会との連携関連事項
- 5) 今年度ブランディング事業研究助成、大学院生研究助成受賞者の研究進捗状況報告会
- 6) 今年度の事業推進状況と今後の対策について
- 7) 外部評価委員会について
- 8) 2019年度予算案について
- 9) 2019年度 ブランディング事業国際シンポジウムの開催日程とシンポジストについて
- 10) Asian rising star symposium について
- 11) 創立130周年（2020年）の時にブランディング事業・同窓会連携のシンポジウム開催について
- 12) 次期の文部科学省私立大学研究補助について

4. 第17回顎骨疾患プロジェクト推進委員会

日時：2018年12月1日（土）13：30～

協議・報告事項

- 1) Asian Rising Sun Symposium の開催概要について
 - ・開催日時の決定
 - ・本学からのシンポジストを含むシンポジストの選定
- 2) 若手サイエンスアカデミーのコアメンバーを中心とした実行委員会の設置について
- 3) その他

5. 第18回顎骨疾患プロジェクト推進委員会

日時：2019年2月26日（火）18：20～

協議・報告事項：

- 1) 今後の研究ブランディング事業について
- 2) 私立大学等改革総合支援事業について
- 3) その他

メール会議開催記録

1. 2018年4月4日（水）
顎骨疾患プロジェクトのロゴについて
2. 2018年4月10日（火）
顎骨疾患プロジェクトのロゴについて
3. 2018年4月13日（金）
プロジェクトの役割分担について
4. 2018年4月24日（火）
顎骨疾患プロジェクトのロゴについて
5. 2018年4月25日（水）
顎骨疾患プロジェクトロゴの再アンケートについて
6. 2018年4月25日（水）
顎骨疾患プロジェクト英文校正費助成について
7. 2018年8月22日（水）
若手サイエンスアカデミーの再開について

8. 2018年9月12日(水)
大学院セミナーの共催について
9. 2018年9月13日(木)
大学院セミナーの共催について
10. 2018年9月21日(金)
卒業論文作成支援について
11. 2018年10月17日(水)
平成30年度外部評価委員会の開催について
12. 2018年10月26日(金)
大学院セミナーの共催について
13. 2018年10月31日(水)
大学院セミナーの共催について
14. 2019年11月26日(月)
研究ブランディング事業 研究助成・大学院生研究助成研究進捗状況報告会について
15. 2018年11月30日(金)
国際シンポジウムシンポジスト選定について
16. 2019年12月5日(金)
Asian Rising Sun symposiumの日程と国際シンポジウムの特別講演について
17. 2019年12月21日(金)
Asia Rising Sun Symposiumにおける本学からのシンポジストの選考について
18. 2019年1月9日(水)
マスタープラン 2020 準備のためのアンケート依頼へのご協力依頼について
19. 2019年1月28日(月)
大学院セミナーの共催について
20. 2019年2月14日(木)
2019年度 顎骨疾患プロジェクト Travel Awardの「応募資格」変更について
21. 2019年3月6日(水)
マスタープラン 2020 の応募書類(案)について
22. 2019年3月12日(火)
私立大学研究ブランディング事業の見直し説明会の報告
23. 2019年3月13日(水)
歯科学報「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」連載記事の執筆順番について
24. 2019年3月14日(木)
大学院セミナーの開催について

2019年度

1. 第19回顎骨疾患プロジェクト推進委員会
日時：2019年4月4日(木) 16:00～
協議・報告事項
 - 1) 平成31年度の実施方針と実施体制について
 - 2) 平成31年度のブランディング事業競争的研究資金の配分について
 - 3) Asian Rising Sun Symposium (ARSS) プログラムについて
 - 4) その他
2. 第20回顎骨疾患プロジェクト推進委員会

日時：2019年6月11日（火） 11:00～

協議・報告事項

- 1) 2018年度事業終了について
- 2) 2020年度の事業について
- 3) 大学院生の研究も含めた共同研究の推進について
- 4) 各グループの今年度の研究方針について
- 5) 新規研究分担者の加入について
- 6) アドバイザーの設定について
- 7) ブランディング事業メンバーの全体会議について
- 8) その他

研究助成、大学院研究助成受賞者の歯科基礎医学会でのポスター発表について

3. 第21回 顎骨疾患プロジェクト推進委員会

日時：2019年11月21日（木） 15:00～

協議・報告事項

- 1) 来年度も大学からの支援でブランディング事業の推進するかについて
- 2) 推進する場合の予算案の検討について
- 3) 理事長・学長への依頼書について
- 4) その他

4. 第22回 顎骨疾患プロジェクト推進委員会

日時：2020年1月18日（土） 13:30～

協議・報告事項

- 1) 2020 Asian Rising Star Symposiumの概要について
- 2) 2020 International Symposiumの概要について
- 3) 2020年度ブランディング事業予算案について
- 4) その他

東京歯科大学リカレント教育セミナーについて
2019年度 外部評価委員会について
2019年度 研究業績の提出について

メール会議開催記録

1. 2019年5月21日（火）
研究助成・大学院生研究助成の選考について
2. 2019年5月25日（土）
研究助成・大学院生研究助成の選考について報告
3. 2019年6月13日（木）
学位論文共著者数について
4. 2019年6月26日（水）
2020年度同窓会・大学連携セミナーについて
5. 2019年9月30日（月）
顎骨疾患プロジェクト主催セミナーについて
6. 2019年12月12日（木）
2020年度国際シンポジウムについて
7. 2020年2月27日（木）
Travel Awardの欠席対応について
8. 2020年3月2日（月）
Travel Awardの欠席対応について

2. 東京歯科大学研究ブランディング事業関連研究助成

2017-2019 年度において以下の 3 つの研究助成を行なった。

①東京歯科大学研究ブランディング事業研究助成

応募資格：応募年度に大学卒業後 15 年以下の東京歯科大学研究者(専任教員、リサーチレジデント、レジデント、PF)

助成内容：年間 50 万円の研究費を助成（原則毎年 8 名まで）

②東京歯科大学研究ブランディング事業大学院研究助成

応募資格：本助成の応募資格は、本学の大学院歯学研究科に在籍する大学院生

助成内容：年間 40 万円の研究費を助成（原則毎年 8 名まで）

③東京歯科大学研究ブランディング事業 Travel Award

応募資格：大学卒業後 15 年以下の東京歯科大学研究者及び大学院生

助成内容：アジアで開催される学会には旅費を含めて 15 万円、ヨーロッパ、アメリカで開催される学会には旅費として 20 万円を支給（原則毎年 5 名まで）

各年度の各助成受賞者及び研究課題を以下の表に示す。また、本助成を受けた研究課題で論文発表、学会発表している者に関してはそれらを赤字で示した。この中で 13 名の受賞者は既に英文原著論文を発表している。2018 年度からは当該年度の 12 月または 1 月に研究課題の進捗状況を把握するために、推進委員会委員およびこれらの賞受賞が参加して研究発表会を行い、研究課題推薦へのディスカッション、アドバイスをを行なった。受賞者ではまだ研究課題を推進中で論文発表に至っていない者もいるが、論文発表へ向けて努力を継続している。各賞受賞者の今後の研究活動を追跡する必要があるが、本事業での研究助成は若手・次世代研究者の育成に貢献できたと考えられた。

2017 年度

①東京歯科大学研究ブランディング事業研究助成受賞者名及び研究課題

所属	氏名	職種	研究課題
生化学	齋藤 暁子	助教	鎖骨頭蓋骨異形成症特異的 iPS 細胞由来の骨芽細胞における 細胞核形態異常の検討 論文発表： Stem Cell Res Ther. 22;9(1):12,2018
歯周病学	鈴木 瑛一	助教	骨形成過程における未分化間葉系細胞の骨細胞への分化機構の解明:遺伝子改変マウスを使用した検討 学会発表： American Academy of Periodontology, 103rd Annual Meeting, Sept 10th, 2017, Boston, USA
生化学	小野寺晶子	講師	歯原性角化嚢胞への寄与遺伝子と候補薬剤の同定 学会発表： 第 60 回歯科基礎医学会、2018 年 9 月
歯科放射線学	渡邊 素子	助教	甘味認知における主観的感覚と脳機能:甘味摂取習慣との関連 学会発表： 第 305 回 東京歯科大学学会、2018 年 6 月
解剖学	小高 研人	助教	インプラント周囲骨における骨質特性の分析 論文発表： Materials Transactions 2017;58:107-112.
オーラルメディスン・口腔外科学	鈴木 大貴	レジデント	3 薬剤関連顎骨壊死におけるテリパラチド適時・適量投与による 治療法の開発 学会発表： 第 305 回 東京

			歯科大学学会、2018年6月；第73回日本口腔科学会、2018年4月
口腔顎顔面外科学	吉田 秀児	助教	三次元シミュレーションソフトを用いた手術用デバイス開発に関する研究 学会発表：第305回 東京歯科大学学会、2018年6月
老年歯科補綴学	竜 正大	講師	顎欠損患者における口腔機能の回復と補綴装置の評価に関わる 因子との関係 論文投稿中

②東京歯科大学研究ブランディング事業大学院研究助成受賞者名及び研究課題

氏名	所属	研究課題
門田枝里子	微生物学	歯周治療前後の歯周炎局所細菌叢の網羅的解析 学会発表：第305回東京歯科大学学会、2018年6月2日 論文投稿準備中
佐藤 仁美	歯科放射線学	加齢による塩味強度の認知低下の要因を探る:脳機能画像による脳活動量の強さと口腔における認知の強さとの関連について 学会発表：第59回日本歯科放射線学会 2018年05月27日
吉川 幸輝	歯周病学	Treponema denticola に対する Porphyromonas gingivalis Hgp44 の付着ドメインの 解明 論文発表： <i>Pathogen and Disease</i> , 76(5),2018
吉田 航	歯周病学	副甲状腺ホルモン製剤の全身投与および中性自己組織化ペプチドの 局所応用がラットの歯周組織欠損の治癒に及ぼす影響 論文発表： <i>J Clin Periodont</i> 46:1030-1040, 2019
渡辺 豪士	口腔顎顔面外科学	McCune-Albright 症候群モデル疾患特異的 iPS 細胞の樹立およびその応用 学会発表：96th General Session IADR:London, July, 2018

③東京歯科大学研究ブランディング事業 Travel Award 受賞者名及び研究課題

氏名	所属	職名	研究課題
四ツ谷 護	クラウンブリッジ補綴学	講師	NG2 Potentiates Prechondroblastic Cell Signaling During Mandibular Condylar Cartilage Development 論文発表： <i>Sci Rep</i> 9(1),2019

学会発表 American Association for Dental Research, Annual meeting, USA -March 21-24, 2018

2018 年度

①東京歯科大学研究ブランディング事業研究助成受賞者名及び研究課題

所属	氏名	職種	研究課題
生化学	齋藤 暁子	助教	鎖骨頭蓋骨異形成症特異的 iPS 細胞を用いた骨分化における RUNX2 と核膜タンパク質による転写制御の検討 学会発表：第305回東京歯科大学学会
生化学	小野寺晶子	講師	骨ヘッジホッグ経路が誘導する石灰化メカニズム 論文発表： <i>Stem Cell Report</i> (under revision)
歯周病学	今村健太郎	助教	歯周病原細菌の宿主免疫回避機構における PD-1/PD-L1 の役割 学会発表：第307回東京歯科大学学会
薬理学	高橋 有希	助教	低ホスファターゼ症における石灰化不全改善のための新規治療法の開発 論文発表： <i>Calcif Tissue Int</i> (in press)
歯周病学	久永 幸乃	レジデント	歯周組織再生に向けた iPS 細胞とエナメルマトリックスタンパク質の応用 論文発表： <i>J Periodontal Res</i> 53:240-249,2018

衛生学	佐藤 涼一	助教	3D プリンター成型による口腔内フッ化物徐放装置開発 学会発表：第 307 回東京歯科大学学会
口腔顎顔面外科学	加藤 宏	助教	McCune-Albright/線維性骨異形成症 iPS 細胞を用いた 基礎的研究 学会発表：第 307 回東京歯科大学学会
老年歯科補綴学	竜 正大	講師	義歯床用材料に付着したマイクロバイオームの 16s rRNA シークエンサーを用いた網羅的検討 学会発表：第 127 回日本補綴歯科学会 論文投稿中

②東京歯科大学研究ブランディング事業大学院研究助成受賞者名及び研究課題

氏名 (年次)	所属	研究課題
三友 啓介 (2)	保存修復学	鎖骨頭蓋異形成症における蝶形骨形成障害の病態解明 論文発表： BONE 120:176-186,2018
渡邊 豪士 (4)	口腔顎顔面 外科学	遺伝子編集技術を用いた GNAS1 変異 iPS 細胞の樹立 および病態解明 学会発表：第 307 回東京歯科大学学会
北村友里恵 (3)	歯周病学	<i>Treponema denticola</i> 表層病原性成分の遺伝子調節 機構の解明 学会発表：97 th General Session of the IADR 他 2 回
井上 博之 (3)	歯科麻酔学	骨破壊・歯周疾患を制御する P2X7 受容体の生物物理学的特性の検討 学会発表：97 th General Session of the IADR 他 5 回
山下 慶子 (4)	歯周病学	<i>Treponema denticola</i> における AbrB family transcriptional regulator の機能解析 学会発表：第 307 回東京歯科大学学会, ARSS 2019
森田 奈那 (4)	オーラルメ ディシン・ 口腔外科学	基底細胞母斑症候群の病態解明と新規診断・治療法の 開発 論文投稿中
小倉 弘之 (3)	歯科矯正学	疾患特異的 iPS 細胞を用いた Apert 症候群の病態解明と治療法の探索 学会発表：第 307 回東京歯科大学学会

③東京歯科大学研究ブランディング事業 Travel Award 受賞者名及び研究課題

氏名	所属	職名	研究課題
小野寺晶子	生化学	講師	Enhancement of osteogenic potential in iPSCs derived from Gorlin syndrome 論文発表： Stem Cell Report (under revision)
木村 麻記	生理学	講師	Activation of Gs-protein-coupled receptors increases intracellular cAMP level in odontoblasts 論文発表： Front Physiol. 9:443,2018
佐藤 涼一	衛生学	助教	Light conditions affect rhythmic expression of Anol in submandibular glands 論文発表： Heliyon , 5(11),e02792, 2019
吉川 幸輝	歯周病学	レジデント	Investigation of adhesion of <i>Porphyromonas gingivalis</i> Hgp44 to <i>Treponema denticola</i> 論文発表： Pathogen and Disease , 76(5),2018
渡邊 豪士	口腔顎顔面外 科学	大学院生	Establishment Of iPS Cells Of McCune-Albright Syndrome Model Using CRISPR/CAS9

学会発表：96th General Session & Exhibition of the IADR:London, England - July 25-28, 2018

2019 年度

①東京歯科大学研究ブランディング事業研究助成受賞者名及び研究課題

所属	氏名	職種	研究課題
----	----	----	------

生化学	小野寺晶子	講師	ncRNA による骨芽細胞分化に対する調節機構の解明 学会発表：第 61 回歯科基礎医学会学術大会 2019 年
歯周病学	喜田大智	助教	歯周病原性バイオフィルムの制御における Capnocytophaga 属が菌表層に付着する細菌を運搬 するメカニズムの解明
歯周病学	今村健太郎	講師	歯周病発症における PD-1/PD-L1 機構の関与の解明
老年歯科補綴学	齋藤 壮	レジデント	軟質床用材料に対する清掃効果の検討 -機械的清掃、化学的清掃、機械的及び化学的清掃の 併用-

②東京歯科大学研究ブランディング事業大学院研究助成受賞者名及び研究課題

氏名 (年次)	所属	研究課題
平田吉敬 (2)	生化学	鎖疾患特異的 iPS 細胞を用いた鎖骨頭蓋骨異形成症 治療薬の探索
小倉弘之 (4)	歯科矯正学	疾患特異的 iPS 細胞を用いた Apert 症候群の病態 解明と治療法の探索
中村彩乃 (3)	歯周病学	骨芽細胞におけるメカノセンシング機構の解明 学会発表予定：106th ANNUAL MEETING AAP Honolulu 2020
奥平貴人 (4)	口腔顎顔面外科学	Lamin A の生体に及ぼす影響と機能の探索
井上博之 (4)	歯科麻酔学	歯周疾患における炎症・疼痛に関与する P2X ₄ ・P2X ₇ 受容体と、Pannexin-1 チャンネル間の相互作用 の検討 学会発表：9 th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies congress, Kobe, March, 2019
深澤俊也 (3)	歯周病学	Treponema denticola の環境ストレス応答機構の解明 学会発表：第 62 回秋季日本歯周病学会学術大会 2019 年 10 月
吉田 航 (4)	歯周病学	副甲状腺ホルモンの間歇的全身投与と中性自己組織化ペプチドの局所応用の併用がラットの歯 周組織欠損の治癒に及ぼす影響 論文発表：J Clin Peiodont 46:1030-1040, 2019

③東京歯科大学研究ブランディング事業 Travel Award 賞受賞者名及び研究課題

氏名	所属	職名	研究課題
北村友里恵	歯周病学	大学院生	Investigation of a Novel DNA Binding Protein of Treponema denticola
松上 大亮	歯周病学	大学院生	Effects of designer self-assembling peptide hydrogels on periodontal healing

学会発表：97th General Session & Exhibition of the IADR, Vancouver, June 19-22nd, 2019

3. 東京歯科大学研究ブランディング事業共催セミナー等開催実績 2017 年度

1. 第 415 回大学院セミナー

日時：2017 年 4 月 20 日 (木) 19:30～

場所：東京歯科大学 水道橋校舎本館 第 2 講義室

演題：Saving Teeth: Advances in Periodontal and Bone Regeneration

講師：University of Maryland School of Dentistry Division of Periodontics, Professor Mark A. Reynolds

2. 第 417 回大学院セミナー

日時：2017 年 5 月 10 日 (水) 18:00～

場所：東京歯科大学 水道橋校舎西棟 ラウンジ

演題：シェーグレン症候群疾患モデルを用いた病態機序の解明と新規治療戦略

講師：徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔分子病態学分野 教授

- 石丸 直澄 先生
3. 第 419 回大学院セミナー
 日時：2017 年 6 月 20 日（火）18：00～
 場所：東京歯科大学 水道橋校舎西棟 ラウンジ
 演題：骨代謝を司る骨髄間葉系幹細胞の同定と機能解析
 講師：松本歯科大学総合歯科医学研究所 講師
 溝口 利英 先生
 4. 科研費講演会
 日時：2017 年 7 月 13 日（木）18：00～
 場所：東京歯科大学 水道橋校舎本館 第 2 講義室
 演題：科研費の申請のポイントと戦略-私の応募経験を振り返って-
 講師：大阪大学大学院歯学研究科 生化学教室 教授（大阪大学副理事、歯学部
 副学部長、日本学術振興会・学術システム研究センター専門研究員）
 西村 理行 先生
 5. 第 1 回顎骨疾患プロジェクトセミナー
 日時：2017 年 9 月 27 日（水）18：00～
 場所：東京歯科大学 水道橋校舎本館 第 2 講義室
 演題：Wnt シグナルによる骨吸収制御機構
 講師：松本歯科大学総合歯科医学研究所硬組織機能解析学教授
 小林 泰浩 先生
 6. 第 421 回大学院セミナー
 日時：2017 年 11 月 21 日（火）18：00～
 場所：東京歯科大学 水道橋校舎西棟 ラウンジ
 演題：The Wnt agonist R-spondin 3: an unexpected negative regulator of
 bone formation
 講師：Dept. of Oral Medicine, Infection and Immunity Harvard School of
 Dental Medicine
 永野 健一 先生
 7. 第 422 回大学院セミナー
 日時：2017 年 11 月 30 日（木）18：00～
 場所：東京歯科大学 水道橋校舎本館 第 2 講義室
 演題：分子細胞学的歯周組織再生を考える
 講師：広島大学大学院医歯薬保健学研究所 応用生命科学部門 歯周病態学
 教授 栗原 英見 先生
 8. 第 169 回歯科医学教育セミナー
 日時：2018 年 1 月 29 日（月）18：00～
 場所：東京歯科大学 水道橋校舎本館 第 1 講義室
 演題：本学における私立大学研究ブランディング事業(文部科学省) の概略と取
 り組み
 講師：東京歯科大学口腔科学研究センター 客員教授 山口 朗
 東京歯科大学生化学講座 教授 東 俊文
 東京歯科大学微生物学講座 教授 石原 和幸
 東京歯科大学歯科放射線学講座 教授 後藤多津子
 東京歯科大学解剖学講座 教授 阿部 伸一

2018 年度

- 1) 2018 年度大学院新入生学外総合セミナー（2018 年 5 月 18 日、御殿場：時の栖）
 演題：The anatomy of discovery: Cogunitively guided STE(A)M education
 講師：UCLA School of Dentistry, Professor Ichiro Nishimura
- 2) 第 173 回歯科医学教育セミナー（2018 年 6 月 18 日）
 演題：大学院生の研究指導

- 講師：東京歯科大学大学院歯学研究科 大学院研究科長 櫻井 薫
東京歯科大学口腔科学研究センター 客員教授 山口 朗
- 3) 第 176 回歯科医学教育セミナー (2018 年 10 月 29 日)
演題：チーム医療こそがあるべき形
講師：東京大学附属病院副病院長、東京大学大学院医学系研究科外科学専攻感覚運動機能医学講座整形外科学 教授 田中 栄 先生
- 4) 第 430 回大学院セミナー (2018 年 5 月 16 日)
演題：Peripheral clock regulation specific to maxillary and mandibular tissues during wound healing and regeneration
講師：UCLA School of Dentistry, Professor Ichiro Nishimura
- 5) 第 431 回大学院セミナー (2018 年 5 月 29 日)
演題：骨形成の阻止に関する研究：20 年間のアメリカでの研究生活で得たもの、失ったもの
講師：University of Maryland School of Medicine, Department of Orthopaedics, Professor Masahiro Iwamoto
- 6) 第 434 回大学院セミナー (2018 年 6 月 27 日)
演題：骨・軟骨形成機構の理解と多能性幹細胞を用いたインビトロ骨組織モデリング
講師：東京大学大学院医学系研究科 附属疾患生命工学センター臨床医工学部門 准教授 大庭 伸介 先生
- 7) 第 436 回大学院セミナー (2018 年 7 月 17 日)
演題：骨代謝細胞ネットワーク再現系を用いたカップリング制御機構の解析
講師：東京大学大学院医学系研究科 セル&ティッシュ・エンジニアリング 寄付講座 特任准教授 疋田 温彦 先生
- 8) 第 437 回大学院セミナー (2018 年 9 月 4 日)
演題：コラーゲンメンブレンを応用した細胞成長因子徐放化による骨再生
講師：New York University College of Dentistry, Prosdontics, Associate Professor Seiichi Yamano
- 9) 第 439 回大学院セミナー (2018 年 9 月 14 日)
演題：細胞移植療法による歯周組織再生療法の試み
講師：東北大学大学院歯学研究科 口腔修復学講座歯科保存学分野 教授 齋藤 正寛 先生
- 10) 第 440 回大学院セミナー (2018 年 10 月 4 日)
演題：The evolution of the surgical techniques in periodontal regeneration
講師：Department of Periodontology, Dental School University of Milano Professor Giulio Rasperini
- 11) 第 441 回大学院セミナー (2018 年 11 月 5 日)
演題：Genetic regulation of early calvarial development
講師：New York University, Basic Science and Craniofacial Biology Associate Professor Juhee Jeong
- 12) 第 443 回大学院セミナー (2018 年 12 月 5 日)
演題：ES 細胞からの機能的唾液腺組織の作出
講師：昭和大学歯学部口腔病態診断学講座 口腔病理学部門 教授 美島 健二 先生、助教 田中 準一 先生
- 13) 第 447 回大学院セミナー (2019 年 2 月 28 日)
演題：Resting zone of the growth plate houses a unique class of skeletal stem cells
講師：University of Michigan, School of Dentistry, Dr Koji Mizuhashi
- 14) 歯周病学講座特別講演 (2018 年 11 月 29 日)
演題：新規歯周組織再生療法が変える再生歯科医療の未来

講師：大阪大学大学院歯学研究科歯周病分子病態学歯周病診断制御学
(口腔治療学教室)
教授 村上 伸也 先生

2019 年度

- 1) 第 448 回大学院セミナー (2019 年 4 月 12 日)
演題：顎顔面複合組織の再生をめざすトランスレーション研究
-骨生体時計を窓口に-
講師：UCLA 歯学部、工学部教授
ワイントロープ再建生体工学研究所
UCLA 工学部生体工学 NeuroEngineering 系大学院コディレクター
西村 一郎 先生
- 2) 第 449 回大学院セミナー (2019 年 5 月 29 日)
演題：骨免疫相互作用による生体防御
講師：東京大学大学院医学系研究科免疫学 日本学術振興会特別研究員 (PD)
塚崎 雅之 先生
- 3) 第 450 回大学院セミナー (2019 年 8 月 19 日)
演題：遺伝性疾患における遺伝子治療の現状と今後の展望
講師：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
理事・神経研究所所長
武田 伸一 先生
- 4) 第 451 回大学院セミナー (2019 年 9 月 9 日)
演題：顎顔面矯正学的立場から見た矯正歯科医療の現在と未来
講師：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面矯正学分野 教授
森山 啓司 先生
- 5) 第 452 回大学院セミナー (2019 年 10 月 15 日)
演題：Osteonecrosis of the Jaw、トランスレーショナル研究
講師：UCLA 歯学部、工学部教授
ワイントロープ再建生体工学研究所
UCLA 工学部生体工学 NeuroEngineering 系大学院コディレクター
西村 一郎 先生
- 6) 第 453 回大学院セミナー (2019 年 10 月 18 日)
演題：Dysbiosis and inflammation interplay in the periodontium
講師：Thomas W. Evans Centennial Professor
University of Pennsylvania School of Dental Medicine
Professor George Hajishengallis D.D.S., Ph.D.
- 7) 第 454 回大学院セミナー (2019 年 10 月 30 日)
演題：癌内線維芽細胞による癌細胞の浸潤・転移促進機構
講師：順天堂大学医学部 病理・腫瘍学講座
順天堂大学大学院医学研究科 医学専攻環境と人間系 分子病理病態学
准教授
折茂 彰 先生
- 8) 第 456 回大学院セミナー (2019 年 11 月 28 日)
演題：破骨細胞研究から学んだこと
講師：松本歯科大学総合歯科医学研究所 特任教授
高橋 直之 先生
- 9) 歯周病学講座特別講演 (2019 年 12 月 5 日)
演題：これからの歯周医学研究を考える
講師：九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座 歯周病学分野 教授
西村 英紀 先生
- 10) 第 457 回大学院セミナー (2019 年 12 月 18 日)

演題：低酸素応答の分子メカニズムから、その臨床応用まで

講師：群馬大学 大学院医学系研究科 生化学講座 教授

南嶋 洋司 先生

- 11) 第 458 回大学院セミナー (2020 年 1 月 14 日)

演題：Dentistry and the Evolving Role of MRI

講師：TMD and Orofacial Pain, University of Minnesota Dental Fellow

Beth R. Morrey 先生

- 12) 第 459 回大学院セミナー (2020 年 1 月 21 日)

演題：口腔顔面の異所性痛覚過敏発症に関与する非神経細胞と分子

講師：日本大学歯学部生理学講座 教授

岩田 幸一 先生

- 13) 第 460 回大学院セミナー (2020 年 2 月 18 日)

演題：骨ミネラル代謝におけるビタミン D と Wnt シグナルの作用機序の解明

講師：松本歯科大学 総合歯科医学研究所 硬組織機能解析学 講師

中道 裕子 先生

V. 研究業績（英文原著論文のみ）

（下線は推進委員会委員、研究分担者、WG委員、連携研究者）

英文原著論文

2017年度

1. Fujise K, Kikuchi Y, Kokubu E, Okamoto-Shibayama K, Ishihara K: Effect of extracytoplasmic function sigma factors on autoaggregation, hemagglutination, and cell surface properties of *Porphyromonas gingivalis*. **PLoS One** 12: e0185027, 2017. doi: 10.1371/journal.pone.018502.
2. Fujiseki M, Yamamoto M, Ubaidus S, Shinomiya T, Abe S, Tazaki M, Yamamoto H: Localization and expression patterns of TRP channels in submandibular gland development. *Arc Oral Biol* 74:46-50, 2017.
3. Harada R, Kokubu E, Kinoshita H, Yoshinari M, Ishihara K, Kawada, E: Takemoto S. Corrosion behavior of titanium in response to sulfides produced by *Porphyromonas gingivalis*. **Dent Mater** 34: 183-191. doi: 10.1016/j.dental.2017.10.004.
4. Hasegawa D, Shino H, Onodera S, Nakamura T, Saito A, Onda T, Watanabe K, Nishimura K, Ohtaka M, Nakanishi M, Kosaki K, Yamaguchi A, Shibahara T, Azuma T: Gorlin syndrome-derived induced pluripotent stem cells are hypersensitive to Hedgehog-mediated osteogenic induction. **PLoS One** 31;12(10):e0186879, 2017.
5. Hirano-Kawamoto A, Honkawa Y, Kobayashi Y, Murakami G, Abe S, Katori Y: Enteric neurons of the esophagus: an immunohistochemical study using donated elderly cadavers. **Surg Radiol Anat** 39:477-484, 2017.
6. Hirata A, Kasahara M, Matsuura N, Ichinohe T: Remifentanyl decreases oral tissue blood flow while maintaining internal carotid artery blood flow during sevoflurane anesthesia in rabbits. **J Vet Med Sci** 2017. doi:10.1292/jvms.17-0319.
7. Ide F, Kikkuchi K, Kusama K, Muramatsu T: An old report of idiopathic gingival papillokeratosis with crypt formation. **Oral Surg, Oral Med, Oral Pathol, Oral Radiol** 123: 515, 2017.
8. Ide F, Kikkuchi K, Sakashita H, Muramatsu T, Kusama K: Unusual findings in common peripheral ossifying fibromas: transepithelial elimination and epithelial inclusion. **Histopathol** 70:834-837, 2017.
9. Ide F, Muramatsu T, Kikkuchi K, Kusama K: Solving the remaining mysteries. **J Oral Pathol Med** (in press)
10. Ide F, Ito Y, Muramatsu T, Miyazaki Y, Nishimura M, Kikuchi K, Kusama K. The Advent of Studies on Jaw Cysts with Keratinization: A Review of Overlooked Papers on Odontogenic Keratocyst and Orthokeratinized Odontogenic Cyst. **Head Neck Pathol**. 2019 doi: 10.1007/s12105-019-01115-0.
11. Ide F, Muramatsu T, Miyazaki Y, Kikuchi K, Kusama K. Calcifying Odontogenic Cyst Showing a Varied Epithelial Lining: An Additional Case with Implications for the Divergent Differentiation Capacity of the Cyst Epithelium. **Head Neck Pathol**. 13(2):251-254, 2019. doi: 10.1007/s12105-018-0899-1.
12. Ikawa H, Koto M, Takagi R, Ebner DK, Hasegawa A, Naganawa K, Takenouchi T, Nagao T, Nomura T, Shibahara T, Tsuji H, Kamada T: Prognostic factors of adenoid cystic carcinoma of the head and neck in carbon-ion radiotherapy: The impact of histological subtypes. **Radiother Oncol**. 123:387-393, 2017. doi: 10.1016/j.radonc.2017.04.026.
13. Imai H, Makiguchi T, Arakawa A, Tashiro A, Yonezu T, Shintani S: Alveolar Growth of Japanese Infants -Comparison between Now and 40 Years Ago-. **Bull Tokyo Dent Coll** 58:9-18, 2017.
14. Irokawa D, Okubo N, Nikaido M, Shimizu H, Konobu H, Matsui T, Fujita T, Goto H, Takeuchi T, Ishii Y, Saito A: Periodontal regenerative therapy of intrabony defects using deproteinized bovine bone mineral in combination with collagen barrier membrane: A multicenter prospective case-series study. **Int J Periodont Rest Dent** 37:393-401, 2017.

15. Irokawa D, Takeuchi T, Noda K, Goto H, Egawa M, Tomita S, Sugito H, Nikaido M, Saito A: Clinical outcome of periodontal regenerative therapy using collagen membrane and deproteinized bovine bone mineral: a 2.5-year follow-up study. *BMC Research Notes* 10:102, 2017,doi: 10.1186/s13104-017-2426-y.
16. Jin, ZW, Cho KH, Jang HS, Murakami G, Rodríguez-Vázquez JF, Yamamoto M, Abe S: Coccygeal body revisited: an immunohistochemical study using donated elderly cadavers. *Anat Rec* 300:1826-1837, 2017.
17. Kakuya T, Mori T, Yoshimoto S, Watabe Y, Miura N, Shoji H, Onidani K, Shibahara T, Honda K: Prognostic significance of gene amplification of ACTN4 in stage I and II oral tongue cancer. *Int J Oral Maxillofac Surg.* 46:968-976,2017. doi: 10.1016/j.ijom.2017.03.001.
18. Kida K, Tanabe K, Sasaki H, Furuya Y, Miura T, Yoshinari M, Yajima Y: Release properties of atelocollagen-gelatin complexes as carriers for local administration of fluvastatin. *Dent Mater J* 36:408-414,2017.
19. Kim H, Sakamoto T, Yamaguchi H, Sueishi K.: Evaluation of Chewing Movement in Skeletal Class III Patients with Orthognathic Treatment. *Bull Tokyo Dent Coll.* 58:213-221, 2017.
20. Kishimoto T, Matsuura N, Kasahara M, Ichinohe T: Effect of topical anesthesia using an adhesive patch and anesthetic solution. *Anesth Prog* 64: 73-79, 2017.
21. Kitamura K, Cho KH, Jang HS, Murakami G, Yamatmoto M, Abe S: Distance between intramuscular nerve and artery in the extraocular muscles: a preliminary immunohistochemical study using elderly human cadavers. *Surg Radiol Anat* 39:3-9, 2017
22. Kobayashi K, Cho KH, Yamamoto M, Mitomo K, Murakami G, Abe S: Tree of vater-pacinian corpuscles in the human finger and thumb: a comparison between the late fetal stage and old age. *Surg Radiol Anat* 39, 2017. doi: 10.1007/s00276-017-1894-z.
23. Kojima Y, Kimura M, Higashikawa A, Kono K, Ando M, Tazaki M, Shibukawa Y: Potassium currents activated by depolarization in odontoblasts. *Front Physiol* 8: Article 1078, 2017. doi: doi.org/10.3389/fphys.2017.01078.
24. Kokubu E, Inoue T, Ishihara K: Response of epithelial cells infected by *Treponema denticola*. *Oral Dis* 24: 14-18, 2018. doi: 10.1111/odi.12794.
25. Kuwahara R, Tomita R, Ogawa N, Nakajima K, Takeda T, Uehara H, Yamanobe T: Crystallization and hardening of poly(ethylene-co-vinyl acetate) mouthguards during routine use. *Sci Rep.* 7:44672,2017. doi: 10.1038/srep44672.
26. Lee JW, Hoshino A, Inoue K, Saitou T, Uehara S, Kobayashi Y, Ueha S, Matsushima K, Yamaguchi A, Imai Y, Imura T: The HIV co-receptor CCR5 regulates osteoclast function. *Nat Commun.* 8:226. doi: 10.1038/s41467-017-02368-5.
27. Michiyoshi Kouno, Akihiro Nishiyama, Masaki Minabe, Naohiko Iguchi, Kenichiro Ukichi, Takeshi Nomura, Akira Katakura, Shinichi Takahashi: Retrospective analysis of the clinical response of palmoplantar pustulosis after dental infection control and dental metal removal. *J. Dermatol* 2017:1-4,2017. doi:10.1111/1346-8138.13751.
28. Mira Kin, Takeshi Nomura, Shuji Namiki, Yoshihiro Takeyasu, Takeo Shibui, Yasuhiro Kizu, Akira Katakura: Biomechanical analysis of maxillary prosthodontic reconstruction using implants after resection for maxillary cancer. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 29:156-162, 2017.
29. Mitsuyoshi Ohshima, Keisuke Sugahara, Kiyohiro Kasahara and Akira Katakura: Metabolomic analysis of the saliva of Japanese patients with oral squamous cell carcinoma. *Oncol Rep* 37 2727-2734, 2017. doi:10.3892/or.2017.5561.
30. Miura T, Egawa M, Ito T, Eguro T, Tanabe K, Yoshinari M: Debridement effect on periodontal pathogen *Porphyromonas Gingivalis* cultured on titanium by application of atmospheric-pressure plasma. *J Biomedical Science and Engineering* 10: 51-59,2017.
31. Morita M, Iwasaki R, Sato Y, Kobayashi T, Watanabe R, Oike, T, Nakamura S, Keneko Y, Miyamoto K, Ishihara K, Iwakura Y, Ishii, K, Matsumoto M, Nakamura M, Kawana H,

- Nakagawa T, Miyamoto T: Elevation of pro-inflammatory cytokine levels following anti-resorptive drug treatment is required for osteonecrosis development in infectious osteomyelitis. *Sci Rep* 7: 46322, 2017. doi: 10.1038/srep46322.
32. Nara M, Kitamura K, Yamamoto M, Nagakura R, Matsunaga S, Hinata N, Abe S: The developmental mechanism of muscle-tendon-bone complex in fetal soft palate. *Arc Oral Biol* 82:71-79, 2017.
 33. Nomura S, Morozumi T, Nakagawa T, Sugaya T, Kawanami M, Suzuki F, Takahashi K, Abe Y, Sato S, Makino-Oi A, Saito A, Takano S, Minabe M, Nakayama Y, Ogata Y, Kobayashi H, Izumi Y, Sugano N, Ito K, Sekino S, Numabe Y, Fukaya C, Yoshinari N, Fukuda M, Noguchi T, Kono T, Umeda M, Fujise O, Nishimura F, Yoshimura A, Hara Y, Nakamura T, Noguchi K, Kakuta E, Hanada N, Takashiba S, Amitani Y, Yoshie H et al.: Site-level progression of periodontal disease during a follow-up period. *PLoS One* 2017, <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0188670>.
 34. Ohata Y, Tsuchiya M, Hirai H, Yamaguchi S, Akashi T, Sakamoto K, Yamaguchi A, Ikeda T, Kayamori K: Leukemia inhibitory factor produced by fibroblasts within tumor stroma participates in invasion of oral squamous cell carcinoma. *PLoS One* 13:e0191865,2018. doi: 10.1371/journal.pone.0191865.
 35. Ohkubo M, Sugiyama T, Ohira M, Yamamoto M, Iguchi T, Shibahara T, Takano N, Ishida R: Swallowing Rehabilitation Affects Period of Hospitalization after Surgery for Tongue Cancer. *Bull Tokyo Dent Coll.* 58:19-26,2017. doi: 10.2209/tdpublication.
 36. Okamoto-Shibayama K, Kikuchi Y, Kokubu E, Ishihara K: Possible involvement of surface antigen protein 2 in the morphological transition and biofilm formation of *Candida albicans*. *Med Mycol J* 58:E139-E143, 2017. doi: 10.3314/mmj.17-00008.
 37. Okamoto-Shibayama K, Sekino J, Yoshikawa K, Saito A, Ishihara K: Antimicrobial susceptibility profiles of oral *Treponema* species. *Anaerobe* 48: 242-248, 2017.
 38. Ono M, Oshima M, Ogawa M, Sonoyama W, Hara ES, Oida Y, Shinkawa S, Nakajima R, Mine A, Hayano S, Fukumoto S, Kasugai S, Yamaguchi A, Tsuji T, Kuboki T: Practical whole-tooth restoration utilizing autologous bioengineered tooth germ transplantation in a postnatal canine model. *Sci Rep* 7:44522,2017. doi: 10.1038/srep44522.
 39. Onodera S, Saito A, Hasegawa D, Morita N, Watanabe K, Nomura T, Shibahara T, Ohba S, Yamaguchi A, Azuma T: Multi-layered mutation in hedgehog-related genes in Gorlin syndrome may affect the phenotype. *PLoS One* 12:e0184702,2017. doi: 10.1371/journal.pone.0184702.
 40. Osawa E, Shintani S, Yamamoto H: Histological and Immunohistochemical Observation of the Furcation Area Formation with the Subpulpal Lobus of Rat Molar. *J Hard Tissue Biol* 26:149-156, 2017.
 41. Otonari-Yamamoto M, Nakajima K, Sakamoto J, Imoto K, Watanabe M, Kotaki S, Kuroda M, Matsuzaka K, Shibahara T, Curtin HD, Goto TK: MR Appearance and Histopathological Findings of a Dermoid Cyst Arising in the Floor of the Mouth. *Bull Tokyo Dent Coll* 2017. (in press)
 42. Saito A, Ooki A, Nakamura T, Onodera S, Hayashi K, Hasegawa D, Okudaira T, Watanabe K, Kato H, Onda T, Watanabe A, Kosaki K, Nishimura K, Ohtaka M, Nakanishi M, Sakamoto T, Yamaguchi A, Sueishi K, Azuma T: Targeted reversion of induced pluripotent stem cells from patients with human cleidocranial dysplasia improves bone regeneration in rat calvarial bone defect model., *Stem Cell Res Ther* 9:12,2018. doi:10.1186/s13287-017-0754-4.
 43. Sakio R, Sakamoto Y, Ogata H, Sakamoto T, Ishii T, Kishi K: Effect of Platelet-Rich Plasma on Bone Grafting of Alveolar Clefts. *J Craniofac Surg.* 28(2):486-488.2017.
 44. Satou R, Sato M, Kimura M, Ishizuka Y, Tazaki M, Sugihara N, Shibukawa Y: Temporal Expression Pattern of Clock Genes and Aquaporin 5/Anoctamin 1 in Rat Submandibular Gland Cells. *Front Physiol* 8: Article 320, 2017. doi: 10.3389/fphys.2017.00320.
 45. Seshima F, Aoki H, Takeuch T, Suzuki E, Irokawa D, Makino-Oi A, Sugito H, Tomita S, Saito A: Clinical evaluation of periodontal regenerative therapy with enamel matrix

- derivative in the treatment of intrabony defects: a two-year prospective study. *BMC Res Notes* 10:256, 2017
46. Seshima F, Aoki H, Takeuchi T, Suzuki E, Irokawa D, Makino-Oi A, Sugito H, Tomita S, Saito A: Periodontal regenerative therapy with enamel matrix derivative in the treatment of intrabony defects: a prospective two-year study. *BMC Research Notes* 10:256, 2017, doi: 10.1186/s13104-017-2572-2.
 47. Shima C, Motegi E, Horiuchi A, Ishii T, Nomura M, Nakao M, Sueishi K: Efficiency of ClosedMastication of Gummy Evaluated with Gnatho-hexagraph. The Bulletin of Tokyo Dental College.58(1); 27-32.2017.
 48. Shiozaki Y, Sato M, Kimura M, Sato T, Tazaki M, Shibukawa Y: Ionotropic P2X ATP receptor channels mediate purinergic signaling in mouse odontoblasts. *Front Physiol* 8: Article 3, 2017. doi: 10.3389/fphys.2017.00003.
 49. Shiraishi Y, Jin ZW, Mitomo K, Yamamoto M, Murakami G, Abe H, Abe S: Fetal development of the human gluteus maximus muscle with special reference to its fascial insertion. *Folia Morphologica* 2017. doi: 10.5603/FM.a2017.0060.
 50. Sugahara K, Katsumi Y, Koyachi M, Koyama Y, Matsunaga S, Odaka K, Abe S, Takano M, Katakura A: Novel condylar repositioning method for 3D-printed models. *Maxillofac Plast Reconstr Surg* 40:4,2018. doi: 10.1186/s40902-018-0143-7.
 51. Suzuki K, Takano T, Takemoto S, Ueda T, Yoshinari M, Sakurai K: Influence of grade and surface topography of commercially pure titanium on fatigue properties. *Dent Mater J* 2017 doi: 10.4012/dmj.2017-125.
 52. Tachiki C, Nishii Y, Takaki T, Sueishi K.: Condition-specific Quality of Life Assessment at Each Stage of Class III Surgical Orthodontic Treatment –A Prospective Study. *Bull Tokyo Dent Coll.* 59:1-14, 2018. doi: 10.2209/tdcpublication.2016-0042.
 53. Takano M, Kasahara K, Sugahara K, Watanabe A, Yoshida S, Shibahara T: Erratum to: Usefulness and capability of three-dimensional, full high-definition movies for surgical education. *Maxillofac Plast Reconstr Surg.* 39:28, 2017. doi: 10.1186/s40902-017-0124-2.
 54. Takano M, Kasahara K, Sugahara K, Watanabe A, Yoshida S, Shibahara T: Usefulness and capability of three-dimensional, full high-definition movies for surgical education. *Maxillofac Plast Reconstr Surg.* 39:10,2017. doi: 10.1186/s40902-017-0107-3.
 55. Takano N, Takizawa H, Wen P, Odaka K, Matsunaga S, Abe S: Stochastic prediction of apparent compressive stiffness of selective laser sinstered lattice structure with geometrical imperfection and uncertainty in material property. *Int J Mech Sci* 134:347-356,2017.
 56. Takeda T, Kawakami Y, Konno M, Matsuda Y, Nishino M, Suzuki Y, Kawano Y, Nakajima K, Ozawa T, Kondo Y and Sakatani K : PFC Blood Oxygenation Changes in Four Different Cognitive Tasks. *Adv Exp Med Biol* 977: 199-204, 2017.
 57. Tanabe K, Miura T, Yang L, Kasahara M, Tsukagoshi E, Yoshinari M: The effect of dexamethasone on the proliferation and osteoblastic differentiation of human mesenchymal stem cells treated with fluvastatin. *J Oral Tissue Eng* 14:151-156, 2017.
 58. Teruhide Hoshino, Masahito Yamamoto, Kiyohiro Kasahara, Akira Katakura: Comparison of age-related morphological changes in the masseter muscles of senescence-accelerated mouse (SAM). *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 30:44-49, 2018.
 59. Wakoh M, Sasaki Y, Otonari-Yamamoto M, Goto TK, Ogane S, Matsushima J, Nakatani Y: Imaging Findings in AIDS-related Oral Kaposi's Sarcoma. *Bull Tokyo Dent Coll* 58, 145-154, 2017.
 60. Wisitrasameewong W, Kajiya M, Movila A, Rittling S, Ishii T, Suzuki M, Matsuda S, Mazda Y, Torruella MR, Azuma MM, Egashira K, Freire MO, Sasaki H, Wang CY, Han X, Taubman MA, Kawai T: DC-STAMP Is an Osteoclast Fusogen Engaged in Periodontal Bone Resorption. *J Dent Res.* 96(6); 685-693.2017.
 61. Y.Yajima, M.Kawaguchi, M.Yoshikawa, M.Okubo, E.Tsukagoshi, K.Sato, A.Katakura: The effect of 2,3-dimercapto-1-propanesulfonic acid (DMPS) and meso-2,3,-

- dimercaptosuccinin acid (DMSA) on the nephrotoxicity in the mouse during repeated cisplatin (CDDP) treatments. *J Pharmacol Sci* 134:108-115, 2017.
62. Yamatmoto M, Kojyo U, Yanagisawa N, Mitomo K, Takayama T, Sakiyama K, Abe S: Morphology and relationships of the biceps brachii and brachialis with the musculocutaneous nerve. *Surg Radiol Anat* 2017. doi: 10.1007/s00276-017-1919-7.
 63. Yamauchi M, Yamamoto M, Kitamura K, Morita S, Ryotaro N, Matsunaga M, Abe S: Morphological examination and elucidation of the muscle fiber characteristics of suboccipital muscles. *Anat Sci Int* 2017.
 64. Yanamoto S, Umeda M, Kioi M, Kirita T, Yamashita T, Hiratsuka H, Yokoo S, Tanzawa H, Uzawa N, Shibahara T, Ota Y, Kurita H, Okura M, Hamakawa H, Kusukawa J, Tohnai I: Multicenter retrospective study of cetuximab plus platinum-based chemotherapy for recurrent or metastatic oral squamous cell carcinoma. *Cancer Chemother Pharmacol*. 81:549-554,2018. doi: 10.1007/s00280-018-3531-x. Epub 2018 Jan 30.
 65. Yang L, Tanabe K, Miura T, Yoshinari M, Takemoto S, Shintani S, Kasahara M: Influence of lyophilization factors and gelatin concentration on pore structures of atelocollagen/gelatin sponge biomaterial. *Dent Mater J* 36:429-437, 2017
 66. Yeung WKA, Goto TK, Leung WK: Affective value, intensity and quality of liquid tastants/food discernment in the human brain: An activation likelihood estimation meta-analysis. *Neuroimage* 169:189-199. 2017.
 67. Yeung WKA, Goto TK, Leung WK: At the Leading Front of Neuroscience: A Bibliometric Study of the 100 Most-Cited Articles. *Front Hum Neurosci* 11:363, 2017. doi: 10.3389/fnhum.00363.
 68. Yeung WKA, Goto TK, Leung WK: Brain responses to stimuli mimicking dental treatment among non-phobic individuals: a meta-analysis. *Oral Dis* 2017. doi: 10.1111/odi.12819.
 69. Yoneda T, Hagino H, Sugimoto T, Ohta H, Takahashi S, Soen S, Taguchi A, Nagata T, Urade M, Shibahara T, Toyosawa S: Antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaw: Position Paper 2017 of the Japanese Allied Committee on Osteonecrosis of the Jaw. *J Bone Miner Metab*. 35:6-19,2017. doi: 10.1007/s00774-016-0810-7.
 70. Yoneda T, Hagino H, Sugimoto T, Ohta H, Takahashi S, Soen S, Taguchi A, Nagata T, Urade M, Shibahara T, Toyosawa S: Erratum to: Antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaw: Position Paper 2017 of the Japanese Allied Committee on Osteonecrosis of the Jaw. *J Bone Miner Metab*. 35:20,2017. doi: 10.1007/s00774-017-0816-9.
 71. Yonezu Y, Shintani S: Relationship between Interdental Spacing and Colonization by *Streptococcus mutans* in Children. *Bull Tokyo Dent Coll* 58:111-116, 2017.

2018 年度

1. Asai T, Okamoto-Shibayama K, Kikuchi Y, Ishihara K: Characterization of a novel potential peptide import system in *Treponema denticola*. *Microb Pathog*123:467-472, 2018.
2. Asami R, Aboshi H, Iwawaki A, Ohtaka Y, Odaka K, Abe S, Saka H: Age estimation based on the volume change in the maxillary first premolar crown using micro CT. *Legal Medicine* 37:18-24, 2019
3. Baba A, Goto TK, Ojiri H, Takagiwa M, Hiraga C, Okamura M, Hasegawa S, Okuyama Y, Ogino N, Amauchi H, Kobashi Y, Yamazoe S, Munetomo Y, Mogami T, Nomura T.: CT Imaging Features of Antiresorptive agent-Related Osteonecrosis of the Jaw/ Medication-Related Osteonecrosis of the Jaws. *Dentomaxillofac Radiol* 47:20170323, 2018. doi: 10.1259/dmfr.20170323
4. Boulais PE, Mizoguchi T, Zimmerman S, Nakahara F, Vivie J, Mar JC, Van Oudenaarden A, Frenette PS: The Majority of CD45^{Ter119}CD31⁻ bone marrow cell fraction is of hematopoietic origin and contains erythroid and lymphoid progenitors. *Immunity* 49:627-639, 2018. doi: 10.1016/j.immuni.2018.08.019.

5. Bouyssou JM, Liu CJ, Bustoros M, Sklavenitis-Pistofidis R, Aljawai Y, Manier S, Yosef A, Sacco A, Kokubun K, Tsukamoto S, Perilla Glen A, Huynh D, Castillo JJ, Treon SP, Leblond V, Hermine O, Roccaro AM, Ghobrial IM, Capelletti M. Profiling of circulating exosomal miRNAs in patients with Waldenström Macroglobulinemia. *PLoS One* 13:e0204589, 2018. doi:10.1371/journal.pone.0204589.
6. Davaadorj M, Ser-Od T, Al-Wahabi A, Kokubu E, Inoue T. Effect of Mongolian Herbal Tea on Growth of *Candida albicans*. *Bull Tokyo Dent Coll* 60:61-66, 2019.
7. Eguchi T, Tada M, Shiratori T, Imai M, Onose Y, Suzuki S, Satou S, Ishizuka Y, Sugihara N: Factors Associated with Undergoing Regular Dental Check-ups in Healthy Elderly Individuals. *Bull Tokyo Dent Coll* 59: 229-236, 2018.
8. Eriguchi M, Watanabe A, Suga K, Nakano Y, Sakamoto T, Sueishi K, Uchiyama T: Growth of Palate in Unilateral Cleft Lip and Palate Patients Undergoing Two-stage Palatoplasty and Orthodontic Treatment. *Bull Tokyo Dent Coll* 59:183-191, 2018.
9. Furukawa T, Matsunaga S, Morioka T, Nakano T, Abe S, Yoshinari M, Yajima Y.: Study on bone quality in the human mandible -Alignment of biological apatite crystallites. *J Biomed Mater Res Part B* 107:838-846, 2019
10. Hayashi S, Homma S, Takanashi T, Hirano T, Yoshinari M, Yajima Y: Wear properties of esthetic dental materials against translucent zirconia. *Dent Mater J* 38:250-256, 2019.
11. Hirota M, Suga K, Shibahara T: Comparative Study of Mandible Ramus Morphology Using 3-dimensional CT in Sagittal Split Ramus Osteotomy. *Bull Tokyo Dent Coll* 59:237-245, 2018.
12. Hirouchi H, Kitamura K, Yamamoto M, Odaka K, Matsunaga S, SakiyamaK, Abe S. Developmental characteristics of secondary cartilage in the mandibular condyle and sphenoid bone in mice. *Arch Oral Biol* 82:84-92, 2018
13. Hirouchi H, Shimoo Y, Suzuki M, Matsunaga S, Yamamoto M, Odaka K, Kitamura K, Yanagisawa N, Sakiyama K, Takayama T, Hayashi K, Chang W-J, Abe S.: Morphological study on the fibula in Japanese: Basic anatomical study for maxillofacial reconstruction. *J Hard Tissue Biol* 27:287-294, 2018.
14. Hisanaga Y, Suzuki E, Aoki H, Sato M, Saito A, Saito A, Azuma T.: Effect of the combined use of enamel matrix derivative and atelocollagen sponge scaffold on osteoblastic differentiation of mouse induced pluripotent stem cells in vitro. *J Periodontal Res* 53:240-249, 2018.
15. Hsung TC, Lo J, Chong MM, Goto TK, Cheung LK.: Orbit Segmentation by Surface Reconstruction With Automatic Sliced Vertex Screening. *IEEE Trans Biomed Eng.* 65:828-838, 2018.
16. Ide F, Kikkuchi K, Kusama K, Muramatsu T: Dr. Bloodgood's contribution to peripheral ameloblastoma. *J Oral Maxillofac Surg* 76:1602-1603, 2018.
17. Iguchi T, Ohkubo M Sugiyama T, Hori K, Ono T, Ishida R. Effects of water viscosity and tongue ingestion site on tongue pressure during food bolus propulsion. *J Oral Rehabil*, 45:371-377, 2018.
18. Ikeue, R., Takahashi, A.N., Kasahara, Y.N., Watanabe, A., Muramatsu, T., Sato, T., Okada, T: Bone-targeted alkaline phosphatase treatment of mandibular bone and teeth in lethal hypophosphatasia via an scAAV8 vector. *Mol Ther Methods Clin Dev* 10: 361-370, 2018.
19. Imamura K, Tachi K, Takayama T, Shohara R, Kasai H, Dai J, Yamano S: Released fibroblast growth factor18 from a collagen membrane induces osteoblastic activity involved with downregulation of miR-133a and miR-135a. *J Biomater Appl* 32:1382-1391, 2018.
20. Ishii T, Ruiz-Torruella M, Ikeda A, Shindo S, Movila A, Mawardi H, Albassam A, Kayal RA, Al-Dharrab AA, Egashira K, Wistrasameewong W, Yamamoto K, Mira Al, Sueishi K, Han X, Taubman MA, Miyamoto T, Kawai T. OC-STAMP promotes osteoclast fusion for pathogenic bone resorption in perioditis via up-regulation of permissive fusogen CD9. *FASEB J* 32: 4016-4030, 2018.

21. Ishizuka S, Jin ZW, Yamamoto M, Murakami G, Takayama T, Hayashi K, Abe S. CD57 (Leu-7, HNK-1) immunoreactivity seen in thin arteries in the human fetal lung. *Anat Cell Biol* 51:105-112, 2018
22. Kamio T, Hayashi K, Onda T, Takaki T, Shibahara T, Yakushiji T, Shibui T, Kato H.: Utilizing a low-cost desktop 3D printer to develop a "one-stop 3D printing lab" for oral and maxillofacial surgery and dentistry fields. *3D Print Med* 4:6, 2018. doi: 10.1186/s41205-018-0028-5. eCollection 2018 Dec.
23. Kamio T, Yakushiji T, Takaki T, Shibahara T, Imoto K, Wakoh M: Incidental findings during head and neck MRI screening in 1717 patients with temporomandibular disorders. *Oral Radiol* 35:135-142, 2019.
24. Kasai H, Inoue K, Imamura K, Yuvienco C, Montclare JK, Yamano S: Efficient siRNA delivery and gene silencing using a lipopolyptide hybrid vector mediated by a caveolae-mediated and temperature-dependent endocytic pathway. *J Nanobiotechnol* 17:11, 2019. doi: 10.1186/s12951-019-0444-8.
25. Kawano Y, Zavidij O, Park J, Moschetta M, Kokubun K, Mouhieddine TH, Manier S, Mishima Y, Murakami N, Bustoros M, Pistofidis RS, Reidy M, Shen YJ, Rahmat M, Lukyanchikov P, Karreci ES, Tsukamoto S, Shi J, Takagi S, Huynh D, Sacco A, Tai YT, Chesi M, Bergsagel PL, Rocco AM, Azzi J, Ghobrial IM. Blocking IFNAR1 inhibits multiple myeloma-driven Treg expansion and immunosuppression. *J Clin Invest* 128:2487-2499, 2018
26. Kikuchi Y, Kimizuka R, Kato T, Okuda K, Kokubu E, Ishihara K: *Treponema denticola* induces epithelial barrier dysfunction in polarized epithelial cells. *Bull Tokyo Dent Coll* 59:265-275, 2018.
27. Kimura M, Nishi K, Higashikawa A, Ohyama S, Sakurai K, Tazaki M, Shibukawa Y. High pH-sensitive store-operated Ca²⁺ entry mediated by Ca²⁺ release-activated Ca²⁺ channels in rat odontoblasts. *Front Physiol* 9:443, 2018.
28. Kita D, Kinumatsu T, Yokomizo A, Tanaka M, Egawa M, Makino-Oi A, Tomita S, Saito A: Clinical effect of a dentifrice containing three kinds of bactericidal ingredients on periodontal disease: a pilot study in patients undergoing supportive periodontal therapy. *BMC Res Notes* 11:116, 2018. doi: 10.1186/s13104-018-3216-x
29. Kogou T, Takaki T, Shibahara T: Three-dimensional Analysis and Evaluation in Orthognathic Surgical Cases with Facial Asymmetry. *Bull Tokyo Dent Coll* 59:147-161, 2018.
30. Kokubu E, Kinoshita E, Ishihara K. Inhibitory Effects of Lingonberry Extract on Oral Streptococcal Biofilm Formation and Bioactivity. *Bull Tokyo Dent Coll* 60:1-9, 2019
31. Komiya R, Wada T, Tsushima F, Sakamoto K, Ikeda T, Yamaguchi A, Harada H, Uo M: Quantitation and distribution of metallic elements in sequestra of medication-related osteonecrosis of jaw (MRONJ) by using inductively coupled plasma atomic emission spectroscopy and synchrotron radiation X-ray fluorescence analysis. *J Bone Miner Metab* 37:676-684, 2019.
32. Kouno M, Akiyama Y, Minabe M, Iguchi M, Nomura T, Ishihara K, Takahashi S: Dysbiosis of oral microbiota in palmoplantar pustulosis patients. *J Dermatol Sci* 93:67-69, 2019.
33. Koyachi M, Sugahara K, Koyama Y, Katsumi Y, Hoshino T, Nishiyama A, Bessho, H, Kasahara K, Takano M, Shibahara T, Katakura A: Clinical study of pediatric patients with oral and maxillofacial trauma in our hospital in the during 2 years. *Oral Science in Japan* 2017, 43-44, 2018
34. Makino E, Tsujino K, Ishii T, Shintani S, Sueishi K: Difference in Bilateral Timing of Eruption of Permanent Teeth. *Bull Tokyo Dent Coll* 59:277-284, 2018.
35. Matsuzaka K, Horikawa T, Kokubu E, Inoue T. Oral epithelial cells inhibit the proliferation, mRNA expressions of collagen type I, RUNX2 and BGP, and ALP activity of osteoblast-like cells in coculture. *Biomed Res* 29:3085-3089, 2018.

36. Mii S, Hoshino A, Enomoto A, Murakumo Y, Ito M, Yamaguchi A, Takahashi M: CD109 deficiency induces osteopenia showing an osteoporosis-like phenotype *in vivo*. *Genes Cells* 23:590-598, 2018
37. Mitomo K, Matsunaga S, Kitamura K, Nakamura T, Saito A, Komori T, Muramatsu T, Yamaguchi A: Sphenoid bone hypoplasia is a skeletal phenotype of cleidocranial dysplasia in a mouse model and patients. *BONE* 20:176-186,2018
38. Morinaga K, Sasaki H, Park S, Hokugo A, Okawa H, Tahara Y, Colwell CS, Nishimura I: Neuronal PAS domain 2 (Npas2) facilitated osseointegration of titanium implant with rough surface through a neuroskeletal mechanism. *Biomaterials*. 192:62-74, 2019.
39. Muraoka K, Morizane S, Hieda K, Honda M, Sejima T, Abe S, Takenaka A.: Site-dependent differences in the composite fibers of male pelvic plexus branches: an immunohistochemical analysis of donated elderly cadavers. *BMC Urology* 18:47-57, 2018.
40. Nagano S, Shimojima R, Ishii T, Sueishi K: Histological response in dental pulp of accelerate tooth movement using operaodontal ligament distraction osteogenesis in Dogs. *Orthodontic waves*77:31-43,2018
41. Nguyen HT, Ono M, Oida Y, Hara ES, Komori T, Akiyama K, Nguyen HTT, Aung KT, Pham, HT, Tosa I, Takarada T, Matsuo K, Mizoguchi T, Oohashi T, Kuboki T: Bone marrow cells inhibit BMP-2-induced osteoblast activity in the marrow Environment. *J Bone Miner Res* 34:327-332, 2018.
42. Nito, C., Sowa, K., Nakajima, M., Sakamoto, Y., Suda, S., Nishiyama, Y., Takahashi, A.N., Kasahara, Y.N., Ueda, M., Okada, T., Kimura, K: Transplantation of human dental pulp stem cells ameliorates brain damage following acute cerebral ischemia. *Biomed Pharmacother* 108:1005-1014, 2018.
43. Oda Y, Sasaki H, Miura T, Takanashi T, Furuya Y, Yoshinari M, Yajima Y: Bone marrow stromal cells from low-turnover osteoporotic mouse model are less sensitive to the osteogenic effects of fluvastatin. *PLoS One* 13(8):e0202857, 2018. doi: 10.1371/journal.pone.0202857.
44. Ogami K., Ueda T., Ryu M., Tajima S., Sakurai K: Evaluation of Factors Associated with Tongue Coating Status in Elderly with Care Needs. *Bull Tokyo Dent Coll* 59:163-169, 2018
45. Ogawa Y, Hinata N, Murakami G, Bando Y, Kitamura K, Hussein AA, Guru K, Abe S, Fujisawa M.: Aspect of lymphatic vessel configuration of the human male urinary bladder and adjacent organs: A histological basis for understanding the spread of cancer metastases. *Translational Research in Anatomy* 11:10-17, 2018.
46. Ohkubo M, Scobbie JM. Tongue Shape Dynamics in Swallowing Using Sagittal Ultrasound. *Dysphagia* 34:112-118, 2019.
47. Ohkubo M, Ueda T, Sugito H, Watanabe A, Seshima F, Morioka T, Yajima Y. Two-year Survey of Trends at Food Introduction Booth at Suidobashi Hospital of Tokyo Dental College. *Bull Tokyo Dent Coll* 59:213-221, 2018.
48. Onda T, Hayashi K, Sekikawa S, Watabe Y, Takano N, Shibahara T:Odors of Oral Cancer Cells: Potential Use in Oral Cancer Diagnosis.*Oral Science in Japan* 13-14.2018.
49. Onda T, Hayashi K, Sekikawa S, Honda H, Takano N, Shibahara T: Examination of a case that led to a definitive diagnosis other than temporomandibular joint disorder during MR examination for temporomandibular joint disorder-like symptoms. *Oral science in Japan* 2019 (in press).
50. Osaka R, Hayashi K, Onda T, Shibahara T, Matsuzaka K: Evaluation of Liquid Based Cytology for Tongue Squamous Cell Carcinoma: Comparison with Conventional Cytology. *Bull Tokyo Dent Coll.* 60:29-37, 2019
51. Otsuru M, Ota Y, Yanamoto S, Okura M, Umeda M, Kirita T, Kurita H, Ueda M, Komori T, Yamakawa N, Kamata T, Hasegawa T, Shibahara T, Ohiro Y, Yamashita Y, Noguchi K, Noguchi T, Karakida K, Naito H, Aikawa T, Yamashita T, Kabata D, Shintani A: A Multicenter Retrospective Study of Elective Neck Dissection for T1-2N0M0 Tongue

- Squamous Cell Carcinoma: Analysis Using Propensity Score-Matching. *Ann Surg Oncol* 26:555-563, 2019.
52. Reed DA, Yotsuya M, Gubareva P, Toth PT, Bertagna A. Two-photon fluorescence and second harmonic generation characterization of extracellular matrix remodeling in post-injury murine temporomandibular joint osteoarthritis. *PLoS One* 14:e0214072, 2019. doi: 10.1371/journal.pone.0214072.
 53. Rodríguez-Vázquez JF, Yamamoto M, Abe S, Katori Y, Murakami G. Development of the human incus with special reference to the detachment from the chondrocranium to be transferred into the middle ear. *Anat Rec* 301:1405-1415, 2018.
 54. Ryu M, Nakamura M, Izumisawa T, Ishizaki K, Ueda T, Sakurai K: Morphological investigation of residual ridge in Japanese edentulous elderly for fabrication of the edentulous stock tray. *Bull Tokyo Dent Coll* 60:185-192,2019
 55. Saito A, Bizenjima T, Takeuchi T, Suzuki E, Sato M, Yoshikawa K, Kitamura Y, Matsugami D, Aoki H, Kita D, Imamura K, Irokawa D, Seshima F, Tomita S: Treatment of intrabony periodontal defects using rhFGF-2 in combination with deproteinized bovine bone mineral or rhFGF-2 alone: A 6-month randomized controlled trial. *J Clin Periodontol* 46:332-341, 2019.
 56. Sakai T, Sato T, Hisanaga R, Shinya A, Takemoto S, Yoshinari M: Optical properties and flexural strength of translucent zirconia layered with high-translucent zirconia. *Dent Mater J* 38:368-377, 2019.
 57. Sako S, Kobayashi F, Aida N, Furusawa M, Muramatsu T: Response of porcine epithelial rests of Malassez to stimulation by interleukin-6. *Int End J* 51:431-437, 2018.
 58. Sano Y, Sugiuchi A, Mitomo k, Yanagisawa A, Kambe R, Furusawa M, Muramatsu T: Changes of CD90 expression and immunoreactive cell localisation in rat dental pulp after cavity preparation. *Aust Endod J* 2018. doi: 10.1111/aej.12307
 59. Sasaki H, Hokugo A, Wang L, Morinaga K, Ngo J, Nisihimura I: Neuronal PAS domain 2 (Npas2)-Deficient fibroblasts accelerate skin wound healing and dermal collagen reconstruction. *Anat Rec* 2019. doi: 10.1002/ar.24109.
 60. Sato M, Ogura K, Kimura M, Nishi N, Ando M, Tazaki M, Shibukawa Y.: Activation of Mechanosensitive Transient Receptor Potential/Piezo Channels in Odontoblasts Generates Action Potentials in Cocultured Isolectin B4–negative Medium-sized Trigeminal Ganglion Neurons. *J Endod* 44:984-991.e2, 2018
 61. Sekikawa S, Onda T, Miura N, Nomura T, Takano N, Shibahara T, Honda K: Underexpression of α -1-microglobulin/bikunin precursor predicts a poor prognosis in oral squamous cell carcinoma: *Int J Oncol* 53:2605-2614,2018.
 62. Shibahara T, Morikawa T, Yago K, Kishimoto H, Imai Y, Kurita K: National Survey on Bisphosphonate-Related Osteonecrosis of the Jaws in Japan. *J Oral Maxillofac Surg* 76:2105-2112,2018.
 63. Shigeno K, Sasaki Y, Otonari-Yamamoto M, Ohata H, Shibahara T: Evaluating the mandibular condyles of patients with osteoarthritis for bone marrow abnormalities using magnetic resonance T2 mapping. *Oral Radiol* doi: 10.1007/s11282-018-0357-5,2018
 64. Shinoda T, Nagasaka A, Inoue Y, Higuchi R, Minami Y, Kato K, Suzuki M, Kondo T, Kawaue T, Saito K, Ueno N, Fukazawa Y, Nagayama M, Miura T, Adachi T, Miyata T: Elasticity-based boosting of neuroepithelial nucleokinesis via indirect energy transfer from mother to daughter. *PLoS Biol* 16(4) e2004426, 2018. doi: 10.1371/journal.pbio.2004426
 65. Sowa, K., Nito, C., Nakajima, M., Suda, S., Nishiyama, Y., Sakamoto, Y., Kasahara, Y.N., Takahashi, A.N., Ueda, M., Kimura, K., Okada, T: Impact of dental pulp stem cells overexpressing hepatocyte growth factor after cerebral ischemia/reperfusion in rats. *Mol Ther Methods Clin Dev* 10: 281-290, 2018
 66. Sugiuchi A, Sano Y, Furusawa M, Abe S, Muramatsu T: Human dental pulp cells express cellular markers for inflammation and hard tissue formation in response to bacterial information. *J Endod* 44:992-996, 2018.

67. Takagi S, Tsukamoto S, Park J, Johnson KE, Kawano Y, Moschetta M, Liu CJ, Mishima Y, Kokubun K, Manier S, Salem KZ, Huynh D, Sacco A, Forward J, Roccaro AM, Battinelli EM, Ghobrial IM. Platelets Enhance Multiple Myeloma Progression via IL-1 β Upregulation. *Clin Cancer Res* 24:2430-2439, 2018.
68. Tamura N, Takaki T, Takano N, Shibahara T: Three-dimensional Finite Element Analysis of Bone Fixation in Bilateral Sagittal Split Ramus Osteotomy Using Individual Models. *Bull Tokyo Dent Coll* 59:67-78, 2018.
69. Tanno-Nakanishi M, Kikuchi Y, Kokubu E, Yamada S, Ishihara K: *Treponema denticola* transcriptional profiles in serum-restricted conditions. *FEMS Microbiol Lett* 365, 2018. doi: 10.1093/femsle/fny171.
70. Tasaka A, Matsunaga S, Odaka K, Ishizaki K, Ueda T, Abe S, Yoshinari M, Yamashita S, Sakurai K.: Accuracy and retention of denture base fabricated by heat curing and additive manufacturing. *Journal of Prosthodontic Research* 63:85-89, 2019.
71. Terashima R, Kimura M, Higashikawa A, Kojima Y, Ichinohe T, Tazaki M, Shibukawa Y. Intracellular Ca²⁺ mobilization pathway via bradykinin B1 receptor activation in rat trigeminal ganglion neurons. *J Physiol Sci* 69:199-209.
72. Tsukamoto S, Løvendorf MB, Park J, Salem KZ, Reagan MR, Manier S, Zavidij O, Rahmat M, Huynh D, Takagi S, Kawano Y, Kokubun K, Thruue CA, Nagano K, Petri A, Roccaro AM, Capelletti M, Baron R, Kauppinen S, Ghobrial IM. Inhibition of microRNA-138 enhances bone formation in multiple myeloma bone marrow niche. *Leukemia* 32:1739-1750, 2018.
73. Tsuyuki Y, Sato T, Nomoto S, Yotsuya M, Koshihara T, Takemoto S, Yoshinari M: Effect of occlusal groove on abutment, crown thickness, and cement-type on fracture load of monolithic zirconia crowns. *Dent Mater J* 37: 843-850, 2018.
74. Udagawa S, Katagiri S, Maekawa S, Takeuchi Y, Komazaki R, Ohtsu A, Sasaki N, Shiba T, Watanabe K, Ishihara K, Sato N, Miyasaka N, Izumi Y: Effect of *Porphyromonas gingivalis* infection in the placenta and umbilical cord in pregnant mice with low birth weight. *Acta Odontol Scand* 76:433-441, 2018.
75. Wada A, Tsuchiya M, Ozaki-Honda Y, Kayamori K, Sakamoto K, Yamaguchi A, Ikeda T: A new osteoclastogenesis pathway induced by cancer cells targeting osteoclast precursor cells. *Biochem Biophys Res Commun* 509:108-113, 2019
76. Watanabe M, Watanabe A, Takano N, Saito C, Shibahara T: Morphologic Evaluation for Safe Le Fort I Osteotomy in Cleft Lip and Palate. *Cleft Palate Craniofac J* 5:728-735, 2018.
77. Yamamoto M, Cho HC, Murakami G, Abe S, Rodríguez-Vázquez JF. Early fetal development of the otic and pterygopalatine ganglia with special reference to the topographical relationship with the developing sphenoid bone. *Anat Rec* 301:1442-1453, 2018
78. Yamamoto M, Wilting J, Abe H, Murakami G, Rodríguez-Vázquez JF, Abe S. Development of the pulmonary pleura with special reference to the lung surface morphology: a study using human fetuses. *Anat Cell Biol* 51:150-157, 2018
79. Yanagida R, Satou R Sugihara N: Estimation of daily fluoride intake of infants using the microdiffusion method. *J Dental Sciences* 14:1-6, 2019.
80. Yanamoto S, Umeda M, Kioi M, Kirita T, Yamashita T, Hiratsuka H, Yokoo S, Tanzawa H, Uzawa N, Shibahara T, Ota Y, Kurita H, Okura M, Hamakawa H, Kusukawa J, Tohno I: Multicenter retrospective study of cetuximab plus platinum-based chemotherapy for recurrent or metastatic oral squamous cell carcinoma. *Cancer Chemother Pharmacol* 81:549-554, 2018.
81. Yeung WKA, Goto TK, Leung WK.: Affective value, intensity and quality of liquid tastants/food discernment in the human brain: An activation likelihood estimation meta-analysis. *NeuroImage* 169:189-199. 2018.
82. Yeung WKA, Goto TK, Leung WK.: Readability of the 100 most-cited neuroimaging papers assessed by common readability formulae. *Front in Hum Neurosci*. 2018. <https://doi.org/10.3389/fnhum.2018.00308>, 14 August 2018.

83. Yoshikawa K, Kikuchi Y, Kokubu E, Imamura K, Saito A, Ishihara K: Identification of a specific domain of *Porphyromonas gingivalis* Hgp44 responsible for adhesion to *Treponema denticola*. *Pathog Dis* 76:1-8, 2018
84. Yoshimoto T, Serikawa M, Higa K, Kitamura K, Kasahara M, Yamamoto M, Abe S. Effect of Mesenchymal Cells on Myoblast Sheets Embedded in Collagen Gel. *Bull Tokyo Dent Coll* 59:87-95, 2018
85. Yotsuya M., Bertagna A., Hasan N., Bicknell S., Sato T., Reed D. Neuron/Glial Antigen2-Type VI Collagen Interactions during Murine Temporomandibular Joint Osteoarthritis. *Sci Rep* 9:56,2019. doi:10.1038/s41598-018-37028-1

2019 年度

1. Aki Sugano, Wataru Ofusa, Hiroki Sugito, N. Matsubayashi, M. Hakkaku, Yoshiaki Yamada : Development of a novel composite sensor for evaluating lip function. *J Oral Rehabili* 2019 ; 46 : 920-926. doi.org/10.1111/joor.12825
2. Arakawa, K., Matsunaga, S., Nojima, K., Nakano, T., Abe, S., Yoshinari, M., Sueishi, K.: Micro- and nanostructural characteristics of rat masseter muscle entheses. *Journal of Hard Tissue Biology*, 28(4):365-370, 2019
3. Baba A, Ojiri H, Minami M, Hiyama T, Matsuki M, Goto TK, Tatsuno S, Hashimoto K, Okuyama Y, Ogino N, Yamauchi H, Mogami T: Desmoplastic ameloblastoma of the jaw: CT and MR imaging findings. *Oral Radiol.* 35,1-7, 2020. doi: https://doi.org/10.1007/s11282-019-00385-2
4. Baba A, Ojiri H, Ogane S, Hashimoto K, Inoue T, Takagiwa M, Goto TK.: Usefulness of contrast-enhanced CT in the evaluation of depth of invasion in oral tongue squamous cell carcinoma: Comparison with MRI. *Oral Radiology* (in press)
5. Furusawa E, Ohno T, Nagai S, Noda T, Komiyama T, Kobayashi K, Hamamoto H, Miyashin M, Yokozeiki H, Azuma M.: Silencing of PD-L2/B7-DC by Topical Application of Small Interfering RNA Inhibits Elicitation of Contact Hypersensitivity. *J Invest Dermatol.* 139:2164-2173, 2019.
6. Hayashi K, Onda T, Honda H, Ozawa N, Ohata H, Takano N, Shibahara T: Effects of ozone nano-bubble water on mucositis induced by cancer chemotherapy. *Biochem Biophys Rep* 20 : 100697, 2019. DOI : 10.1016/j.bbrc
7. Higashikawa A, Kimura M, Shimada M, Ohyama S, Ofusa W, Tazaki M, Shibukawa Y: Merkel Cells Release Glutamate Following Mechanical Stimulation: Implication of Glutamate in the Merkel Cell-Neurite Complex. *Front Cell Neurosci.* 2019 Jun 11;13:255. doi: 10.3389/fncel.2019.00255. eCollection 2019.
8. Homma H, Miyashima-Okada M, Nakauchi A, Osawa E, Nagai N, Sakurai A, Shintani S. Treatment of child with four lost maxillary incisors due to traffic injury, *Bull Tokyo Dent Coll*, 60(3): 211-220, 2019.
9. Horiuchi A, Kokubu E, Warita T. Ishihara K: Synergistic biofilm formation by *Parvimonas micra* and *Fusobacterium nucleatum*. *Anaerobe.* (in press)
10. Ishikawa M, Ishii T, Morikawa T, Iijima Y, Sueishi K.; The Effects of Fluvastatin on Indian Hedgehog Pathway in Endochondral Ossification. *Cartilage.* 2019 Jul 22:1947603519862318. (in press)
11. Ishikawa N, Hirayama Y, Miake Y, Kitamura K, Kasahara N, Abe S, Yamamoto H.: Comparison of the morphological structures of the human calvarium and turtle shell. *Journal of Hard Tissue Biology* 28(3):289-296, 2019
12. Ishikawa N., Miake Y., Kitamura K., Yamamoto H.: A new method for estimating time since death by analysis of substances deposited on the surface of dental enamel in a body immersed in seawater. *International Journal of Legal Medicine* 133(5): 1421-1427, 2019, doi: 10.1007/s00414-019-02020-5

13. Kameyama A, Haruyama A, Abo H, Kojima M, Nakazawa Y, Muramatsu T.: Influence of solvent evaporation on ultimate tensile strength of contemporary dental adhesives. *Applied Adhesion Science*7: 4, 2019.
14. Kameyama A, Haruyama A, Nakazawa Y, Furusawa M, Muramatsu T.: Mircographic and spectroscopic analyses of the application of methyl methacrylate-p-styrene sulfonic acid copolymer-based desensitizing agents to bovine dentin. *Asian Pacific Journal of Dentistry* 19:51-57, 2019
15. Kasahara M, Matsunaga S, Someya T, Kitamura K, Odaka K, Ishimoto T, Nakano T, Abe S, Hattori M: Micro- and nano-bone analyses of the human mandible coronoid process and tendon-bone entheses. *J Biomed Mater Res B Appl Biomater* (2020 accept)
16. Kasahara N, Matsunaga S, Yamada M, Nakamura Y, Tashiro M, and Hashimoto M: Comparison of the Characteristics of Dental Malpractice Trials between Medical Malpractice and Ordinary Divisions in District Courts. *Bull Tokyo Dent Coll* (in press)
17. Keisuke Sugahara, Satoru Matsunaga, Masahito Yamamoto, Kento Odaka, Masahide Koyachi, Yu Koyama, Manami Michiwaki, Taku Noguchi, Sumiharu Morita, Norio Kasahara, Shinichi Abe, Akira Katakura: Retromandibular vein position and course patterns in relation to the mandible: anatomical morphologies requiring particular vigilance during sagittal split ramus osteotomy. *J Oral Maxillofac Surg.* (in press)
18. Keisuke Sugahara, Yu Koyama, Masahide Koyachi, Satoru Matsunaga, Kento Odaka, Kei Kitamura, Kei Nakajima, Kenichi Matsuzaka, Shinichi Abe, Akira Katakura: Relationship between the immunohistological examination and fluorescence visualization of oral squamous cell carcinoma. *Oncology Letter.* (in press)
19. Kitamura K, Cho KH, Yamamoto M, Ishii M, Murakami G, Rodríguez-Vázquez JF, Abe S: Suboccipital myodural bridges revisited: Application to cervicogenic headaches. *Clinical anatomy*, 32(7):914-928, 2019.
20. Kobayashi F, Uehara O, Ito C, Furusawa M, Abiko Y, Muramatsu T.: DNA methylation of GJA1, BMP2 and BMP4 in human cementoblast cell line induced by stimulation with lipopolysaccharide. *International Endodontic Journal* (in press) doi: 10.1111/iej.13275
21. Kobayashi S, Kasahara M, Akiike Y, Matsuura N, Ichinohe T: Decrease in oral tissue blood flow induced by remifentanyl is not accompanied by deterioration of oral tissue oxygen tension in rabbits. *J Oral Maxillofac Surg.* 2019;77(5):965-970. doi: 10.1016/j.joms.2018.12.033.
22. Kobayashi T, Sasaki H, Asami Y, Mori G, Yoshinari M, Yajima Y: The characteristic regulation of gene expression Lbp and Sod3 in peri-implant connective tissue of rats. *J Biomed Mater Res A*, 2019 doi: 10.1002/jbm.a.36839.
23. Kosugi A, Kasahara M, Yang L, Takahashi AN, Shibahara T, Mori T: Method for diagnosing neoplastic lesions by quantitative fluorescence value. *Sci Rep.* 2019 24;9(1):7833. doi: 10.1038/s41598-019-44287-z.
24. Kunishige T, Taniguchi H, Ohno T, Azuma M, Hori J.: VISTA Is Crucial for Corneal Allograft Survival and Maintenance of Immune Privilege. *Invest Ophthalmol Vis Sci.* 60:4958-4965, 2019.
25. Matsubara C, Furuya J, Watanabe Y, Obana M, Shirobe M, Ohara Y, Edahiro A, Nakajima J, Motokawa K, Inagaki H, Hirano H, Minakuchi S, Shinkai S and Awata S: A cross-sectional study of age-specific differences in salivary occult blood test results in older people. *J Oral Sci.* (in press)
26. Matsunaga, S., Yamada, M., Kasahara, N., Kasahara, M., Odaka, K., Fujii, R., Miyayoshi, N., Sekiya, S., Sako, R., Sugiuchi, A., Abe, S., Furusawa, M.: Tooth root cross-section variations of significance for endodontic microsurgery and predicted risk of concealed canal isthmus based on cross-sectional morphology: three-dimensional morphological analysis of Japanese maxillary first molars using micro-CT. *Journal of Hard Tissue Biology*, 28:1-5, 2019.

27. Mikami Y, Watanabe Y, Motokawa K, Shirobe M, Motohashi Y, Eda Hiro A, Nakajima J, Osuka Y, Inagaki H, Fujiwara Y, Shinkai S, Awata S. Association between decrease in frequency of going out and oral function in older adults living in major urban area. *Geriatrics & Gerontology International*. 2019;19(8):792-797.
28. Minabe M, Akiyama Y, Higa K, Tachikawa T, Takahashi S, Nomura T, Kouno M : A potential link between desmoglein 3 and epidermal growth factor receptor in oral squamous cell carcinoma and its effect on cetuximab treatment efficacy. *Experimental Dermatology* 28(5):614-617, 2019, doi: 10.1111/exd.13920
29. Morikawa T, Bessho H, Nomura T, Kozakai A, Kosugi A, Shibahara T.: Setting of the surgical margin using optical instrument for treatment of early tongue squamous cell carcinoma. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology* 31(1), 8-12, 2019.
30. Morikawa T, Kosugi A, Shibahara T : The Utility of Optical Instrument “ORALOOK®” in the Early Detection of High-risk Oral Mucosal Lesions. *Anticancer Research* 39(5), 2519-2525, 2019.
31. Morikawa T, Kozakai A, Kosugi A, Bessho H, Shibahara T.: Image processing analysis of oral cancer, oral potentially malignant disorders, and other oral diseases using optical instruments. *International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery* (in Press), 2019.
32. Morohoshi T, Ishii T Ishikawa M, Choi D, Ariizumi D, Morikawa T, Sueishi. K ; Micro-CT Analysis of Morphological Changes in Mandibles of Growing Rats with Unilateral Occlusal Elevation *The Open Dentistry Journal*, 2019, 13: 150-158.
33. Muramatsu T, Kashiwagi S, Ishizuka H, Matsuura Y, Furusawa M, Kimura M, Shibukawa Y.: Alkaline extracellular conditions promote the proliferation and mineralization of a human cementoblast cell line, *International Endodontic Journal*. 52(5):639-645, 2019. doi: 10.1111/iej.13044.
34. Nagamine F, Matsunaga S, Kasahara N, Ishikawa N, Abe S, Hashimoto M: Estimating living age using stable isotopes in Japanese radicular dentin. *J Hard Tissue Biolo* (in press)
35. Naito T, Cho KH, Yamamoto M, Hirouchi H, Murakami G, Hayashi S, Abe S: Examination of the topographical anatomy and fetal development of the tendinous annulus of Zinn for a common origin of the extraocular recti. *Investigative Ophthalmology & Visual Science* 60(14):4546-4573, 2019.
36. Nakajima K, Matsunaga S, Morioka T, Nakano T, Abe S, Furuya Y, Yajima Y.: Effects of unloading by tail suspension on biological apatite crystallite alignment in mouse femur. *Dental Materials Journal*, 2020. (in press)
37. Nakamura T, Takahashi AN, Kasahara M, Yamaguchi A, Azuma T: Tissue-nonspecific alkaline phosphatase promotes the osteogenic differentiation of osteoprogenitor cells. *Biochem Biophys Res Commun* 2020 Feb 5. pii: S0006-291X(20)30219-9. doi: 10.1016/j.bbrc.2020.01.136. [Epub ahead of print]
38. Nakano R, Kitanaka T, Namba S, Kitanaka N, Sato M, Shibukawa Y, Masuhiro Y, Kano K, Matsumoto T, Sugiya H.: All-trans retinoic acid induces reprogramming of canine dedifferentiated cells into neuron-like cells. *PLOS ONE* (in Press)
39. Nakauchi A, Shintani S, Kokubu E, Nakajima K, Matsuzaka K, Inoue T.: Expression of Cytokeratin in Experimentally Created Inflammatory Cyst in Vivo and in Vitro. *Bull Tokyo Dent Coll*. 2019 Dec 10;60(4):267-277. doi: 10.2209/tdcpublish.2018-0059.
40. Natsuo Ozawa, Takeshi Onda, Kamichika Hayashi, Hirona Honda, Takahiko Shibahara: Effects of topical Hangeshashinto (TJ-14) on chemotherapy-induced oral mucositis. *Cancer Management and Research*, 2020:12, 1069-1078
41. Ngo J, Sasaki H, Nishimura I: Circadian Behaviors of Oral and Skin Fibroblasts. *Journal of the California Dental Association*, 47:801-809, 2019

42. Nguyen CTK, Sawangarun W, Mandasari M, Morita K, Kayamori K, Yamaguchi A, Sakamoto K: AIRE is induced in oral squamous cell carcinoma and promotes cancer gene expression. *Plos One* 15(2):e0222689,2020
43. Odaka, K., Matsunaga, S.: Course of the maxillary vein and its positional relationship with the mandibular ramus require attention during mandibuloplasty. *J Craniofac Surg*, 2020 (in press)
44. Odashima A, Onodera S, Saito A, Ogihara Y, Ichinohe T, Azuma T: Stage-dependent differential gene expression profiles of cranial neural crest-like cells derived from mouse-induced pluripotent stem cells. *Medical Molecular Morphology* 2019 Jul 11. doi: 10.1007/s00795-019-00229-2.
45. Ohkubo M, Ueda T, Miura K, Sugito H, Ono K, Seshima F, Morioka T, Uchiyama S, Yoshida M, Yajima Y: "Easy-to-eat Meals" for Outpatients Following Dental Treatment. *Bull Tokyo Dent Coll.* Dec 10;60(4):225-232, 2019. doi: 10.2209/tdcpublication.2018-0055. Epub 2019 Nov 22.
46. Onda T, Hayashi K, Sekikawa S, Honda H, Takano N, Shibahara T: Expression of oncometabolite 2HG in oral squamous cell carcinoma cells. *Oral science in Japan* 1-3, 2019.
47. Onda T, Kamio T, Hayashi K, Honda H, Takano N, Shibahara T: Examination of a case that led to a definitive diagnosis other than temporomandibular joint disorder during MR examination for temporomandibular joint disorder-like symptoms. *Oral science in Japan* 49-51, 2019.
48. Ryouichi Satou, Seitaro Suzuki, Atsushi Takayanagi, Atsushi Yamagishi, Naoki Sugihara: Modified toothpaste application using prepared toothpaste delivering technique increases interproximal fluoride toothpaste delivery. *Clin Exp Dent Res.*, 2019;1-9, doi.org/10.1002/cre2.268, 2019
49. Sakamoto Y, Sakamoto T, Ishii T, Kishi K.; An internal distraction device for midface distraction osteogenesis: The NAVID system type Z'gok. *J Plast Reconstr Aesthet Surg.* 2019 Aug 8. pii: S1748-6815(19)30350-X. (in press)
50. Sato M, Cho KH, Yamamoto M, Hirouchi H, Murakami G, Abe H, Abe S: Cavernous sinus and abducens nerve in human fetuses near term. *Surgical and Radiologic Anatomy* (in press)
51. Sato Y, Ishihara K: Investigation of the antimicrobial activity of Bilberry (*Vaccinium myrtillus* L.) extract against periodontopathic bacteria. *J Oral Biosci* (in press)
52. Satou R, Shibukawa Y, Kimura M, Sugihara N.: Light conditions affect rhythmic expression of aquaporin 5 and anoctamin 1 in rat submandibular glands. *Heliyon*, 5(11),e02792, doi.org/10.1016/j.heliyon.2019.e02792, 2019
53. Schwindling FS, Hilgenfeld T, Weber D, Kosinski MA, Rammelsberg P, Tasaka A: In vitro diagnostic accuracy of low-dose CBCT for evaluation of peri-implant bone lesions. *Clin Oral Implants Res.* 2019 DOI:10.1111/clr.13533.
54. Shibahara T.: Antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaw (ARONJ): A twist of fate in the bone. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 247(2), 75-86, 2019.
55. Shibano M, Watanabe A, Takano N, Mishima H, Kinoshita A, Yoshiura K, Shibahara T.: Target Capture/Next-Generation Sequencing for Nonsyndromic Cleft Lip and Palate in the Japanese Population, *Cleft Palate-Craniofac J.* 57:80-87, 2020
56. Tachinami H, Nishii N, Xia Y, Kashima Y, Ohno T, Nagai S, Li L, Lau W, Tomihara K, Noguchi M, Azuma M.: Differences of tumor-recruiting myeloid cells in murine squamous cell carcinoma influence the efficacy of immunotherapy combined with a TLR7 agonist and PD-L1 blockade. *Oral Oncol.* 91:21-28, 2019.
57. Takahashi AN, Tanase T, Matsunaga S, Shintani S, Abe S, Kasahara YN, Watanabe A, Hirai Y, Okada T, Yamaguchi A, Kasahara M: High-level expression of alkaline phosphatase by adeno-associated virus vector ameliorates pathological bone structure in a hypophosphatasia mouse model. *Calcif Tissue Int* 2020 Feb 19. doi: 10.1007/s00223-020-00676-5. [Epub ahead of print]

58. Takano N., Takizawa H., Ito K., Odaka K., Matsunaga S., Abe S.: Study on compressive property of aluminum alloy lattice structure additively manufactured by 3d printing technology. *Zairyo/ Journal of the Society of Materials Science, Japan.* 68(4), 351-357, 2019
59. Tamamura Y, Sakamoto K, Katsube KI, Yamaguchi A.: Notch signal is involved in Fgf23 upregulation in osteocytes: *Biochem Biophys Res Commun* 518:233-238,2019
60. Tanaka A, Shibukawa Y., Yamamoto M, Abe S., Yamamoto H, Shintani S.: Developmental studies on the acquisition of perception conducting pathways via TRP channels in rat molar odontoblasts using immunohistochemistry and RT-qPCR., *Anatomical Science International.* 2019 Dec 17. doi: 10.1007/s12565-019-00517-y.
61. Tasaka A., Kato Y, Odaka K, Matsunaga S., Goto TK., Abe S., Yamashita S: Accuracy of Clasps Fabricated with Three Different CAD/CAM Technologies: Casting, Milling, and Selective Laser Sintering. *Int J Prosthodont.* 2019 DOI:10.11607/ijp.6363.
62. Tasaka A., Shimizu T, Kato Y, Okano H, Ida Y, Higuchi S, Yamashita S: Accuracy of removable partial denture framework fabricated by casting with a 3D printed pattern and selective laser sintering. *J Prosthodont Res.* 2019 DOI:10.1016/j.jpor.2019.07.009.
63. Tasaka A., Uekubo Y, Mitsui T, Kasahara T, Takanashi T, Homma S, Matsunaga S., Abe S., Yoshinari M, Sakurai K, Yamashita S: Applying intraoral scanner to residual ridge in edentulous regions: in vitro evaluation of inter-operator validity to confirm trueness. *BMC Oral Health* 264:1-10, 2019.
64. Watanabe A., Yoshida S, Ishii T., Saito C, Shibahara T.; Surgical Management of Median Cleft Lip Extending as Far as Alveolus Using Bone Grafting. *Bull Tokyo Dent Coll.* 2019 Dec 10;60(4):291-296.
65. Xia Y, Ohno T., Nishii N, Bhingare A, Tachinami H, Kashima Y, Nagai S, Saito H, Nakae S, Azuma M.: Endogenous IL-33 exerts CD8+ T cell antitumor responses overcoming pro-tumor effects by regulatory T cells in a colon carcinoma model. *Biochem Biophys Res Commun.* 518:331-336, 2019.
66. Yamamoto M., Hashimoto K, Honkura Y, Murakami G, Abe H, Rodríguez-Vázquez JF, Abe S.: Morphology of the upper esophageal sphincter or cricopharyngeus muscle revisited: a study using adult and fetal specimens. *Clinical Anatomy* (in press)
67. Yamamoto M., Takada H, Ishizuka S, Kitamura K., Jeong J, Sato M., Hinata N, Abe S.: Morphological association between the muscles and bones in the craniofacial region. *PLoS One*, 2020 Jan; <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0227301>
68. Yang M, Arai A, Udagawa N, Zhao L, Daisuke N, Murakami K, Hiraga T, Takao-Kawabata R, Matsuo K, Komori T, Kobayashi Y, Takahashi N, Isogai Y, Ishizuya T, Yamaguchi A., Mizoguchi T.: Parathyroid hormone shifts cell fate of a leptin receptor-marked stromal population from adipogenic to osteoblastic lineage. *J Bone Miner Res.* 34(10):1952-1963, 2019.
69. Yasumatsu K., Iwata S, Inoue M, Ninomiya Y: Fatty acid taste quality information via GPR120 in the anterior tongue of mice. *Acta Physiol (Oxf).* 226(1):e13215, 2019. doi:10.1111/apha.13215.
70. Yeung AWK, Lee JCM, Tanabe HC, Ng SKS, Khong PL, Leung WK, Goto TK.: Short Version Dental Anxiety Inventory Score May Predict the Response in the Insular Cortex to Stimuli Mimicking Dental Treatment. *Front Hum Neurosci.* 2019 Jun 11;13:204. doi: 10.3389/fnhum.2019.00204. eCollection 2019.
71. Yoichi Ishizuka, Koichi Yoshino, Seitaro Suzuki, Ryouichi Satou., Yuki Onose, Takako Eguchi, Atsushi Takayanagi, Hideyuki Kamijo, Naoki Sugihara: Factors Associated with Untreated Decayed Teeth in Male Sales Workers:An Internet Survey. *Bull Tokyo Dent Coll*,60(3),153-161,doi.org/10.2209/tdcpublication.2018-0053, 2019
72. Yoshida W, Matsugami D, Murakami T, Bizenjima, T, Imamura K, Seshima F, and Saito A.:Combined effects of systemic parathyroid hormone (1-34) and locally delivered neutral self-assembling peptide hydrogel in the treatment of periodontal defects: An experimental in vivo investigation. *J Clin Periodontol* 46:1030-1040, 2019.

73. Yotsuya M., Iriarte-Diaz J., Reed D. Temporomandibular joint hypofunction secondary to unilateral partial discectomy attenuates degeneration in murine mandibular condylar cartilage. *Bull Tokyo Dent Coll* 61:9-19,2020, doi: 10.2209/tdcpublishation.2019-0008
74. Yotsuya M., Nakano M., Umehara K., Sato T., Nomura T.: Implant and Prosthetic Treatment in Esthetic Zone with Alveolar Ridge Preservation Techniques using Auto Transplantation : Clinical Case Report with 16-year Follow up. *Bull Tokyo Dent Coll* (in press)
75. Yuuki ONOSE, Seitaro SUZUKI, Koichi YOSHINO, Yoichi ISHIZUKA, Ryouichi SATOU, Hideyuki KAMIJYO, Naoki SUGIHARA: Relationship between oral symptoms during diving work and preventative dental visits in Japanese male occupational divers. *Ind Health.*, doi.org/10.2486/indhealth.2019-0076, 2019 (in press)
76. Zujur D, Kanke K, Onodera S, Tani S, Lai J, Azuma T, Xin X, Lichtler AC, Rowe DW, Saito T, Tanaka S, Masaki H, Nakauchi H, Chung UI, Hojo H, Ohba S: Stepwise strategy for generating osteoblasts from human pluripotent stem cells under fully defined xeno-free conditions with small-molecule inducers. *Regen Ther.*2020 Jan 14;14:19-31.doi: 10.1016/j.reth.2019.12.010.

和文原著論文

2017年度

1. 木村麻記, 小島佑貴, 東川明日香, 佐藤正樹, 澁川義幸, 田崎雅和 : アルカリ感受性 TRP チャンネルを介した反応性修復象牙質形成機構の解明、歯科学報, 117(4): 284-286, 2017
2. 五味暁憲、辻野啓一郎、大串圭太、鈴木奈穂、布施亜由美、福島圭子、武者篤、小杉謙介、倉持真理子、吉田みずき、新谷誠康、横尾聡 : 当口腔保健センターにおける外来局所麻酔下小手術の適応基準の妥当性. *障害者歯科* 38:198-202, 2017.
3. 櫻井薫、平野浩彦、菊谷武、片倉朗、山崎裕、飯島勝矢、吉田光由、戸原玄、渡邊裕 : 後期高齢者の口腔機能を改善する診療ガイドラインに関する研究—オーラルフレイル概念を基軸にした検討—. *日本歯科医学会誌* 36 :38-42, 2017
4. 柴多浩一、吉谷正純、上林毅、川村良、吉成正雄 : チタンへの超親水処理後の水中保存が骨芽細胞の動態に及ぼす影響. *日本口腔インプラント学会誌* 30(3):200-209, 2017. doi <https://doi.org/10.11237/jsoi.30.200>.
5. 菅原圭亮、太尾英子、別所央城、関根理予、大野啓介、片倉朗、柴原孝彦 : 解析ソフトを用いた光学機器による口腔粘膜蛍光観察. *日本口腔診断学会雑誌* 30(2):168-175, 2017
6. 辻野啓一郎、山本絢子、荒井亮、新谷誠康 : 複数の小臼歯先天欠如症例の矯正治療に際して小臼歯の自家移植を行った1例. *小児口腔外科* 27:6-11, 2017.
7. 半場秀典、中村圭喜、二階堂徹、村松敬、古澤成博、田上順次 : ヒト小臼歯における脱灰とマイクロクラックの進行の検討—マイクロ CT を用いたアブフラクションモデルによる解析—. *日本歯科保存学会誌* 60(2):89-95, 2017.
8. 三嶋直之、栗山壮一、柴垣博一、吉成正雄、早川徹 : 紫外線照射チタンの親水性の経時的変化が細胞接着タンパク質吸着に与える影響. *日本口腔インプラント学会誌* 30(2): 86-93, 2017. doi <https://doi.org/10.11237/jsoi.30.86>
9. 村山雅人、高田満、有泉高晴、藤本侑子、佐々木研一、柴原孝彦 : 知覚神経活動電位導出法(SNAP)を用いた下歯槽神経、舌神経損傷の診断と対応. *口腔顎顔面外傷* 16:51-58, 2018
10. 森川貴迪, 小杉彩歌, 別所央城, 野村武史, 片倉朗, 柴原孝彦 : 蛍光光学機器による舌扁平上皮癌ならびに白板症の解析. *日本口腔科学会雑誌* 66:273-282, 2018

11. 森川貴迪, 別所央城, 小坂井絢子, 小杉彩歌, 柴原孝彦: 口腔粘膜観察用光学機器 IllumiScan による口腔扁平上皮癌ならびに口腔扁平苔癬の解析. *歯科学報* 117:383-392, 2018
12. 森川貴迪, 太尾英子, 別所央城, 薬師寺孝, 野村武史, 小野寺晋志, 内野福生, 高野伸夫, 柴原孝彦: 口腔扁平上皮癌患者における Imaging biomarker としての FDG PET/CT の有用性. *日本口腔腫瘍学会誌* 29:23-35, 2017
13. 渡部幸央, 鬼谷薫, 松本暢久, 林宰央, 森川貴迪, 恩田健志, 薬師寺孝, 大畠仁, 高野伸夫, 柴原孝彦: 口腔扁平上皮癌の予後予測における術前末梢血リンパ球数・単球数比の有用性に関する単施設後ろ向き研究. *日本口腔外科学会雑誌* 63:185-192, 2017

2018 年度

1. 阿部玲子, 立木千恵, 菅谷歌織, 西井康, 山本雅絵, 高木多加志, 末石研二: 顔面非対称と骨格性下顎前突症の各治療段階における口腔関連 QOL の比較. *歯科学報* 118: 401-408, 2018
2. 池田雄介, 小坂井絢子, 栗原絹枝, 齋藤寛一, 大金覚, 高野正行, 片倉朗, 柴原孝彦, 野村武史: 口腔扁平上皮癌患者における重複癌の臨床的特徴および予後の検討. *日本口腔診断学会雑誌* 31 巻 3 号 P205-210, 2018
3. 井本大智, 菅原圭亮, 片倉朗, 高野正行, 柴原孝彦: 左側耳下腺咬筋部に発生した石灰化上皮腫の 1 例. *日本口腔診断学会雑誌* 31 巻 2 号 P171-175, 2018.
4. 浦本佳奈, 茂木悦子, 石井武展, 末石研二: 小学校 4 年生から 6 年生にかけて観察した不正咬合と口腔機能異常の関連について 2013 年~2015 年の経年調査. *歯科学報* 118(3), 215-220, 2018.
5. 大久保真衣, 山本昌直, 杉山哲也, 石田瞭: Down 症候群者における摂食嚥下機能と感覚刺激反応異常の検討. *日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌* 22(2)145-152, 2018.
6. 柴垣博一, 野本秀材, 野村智義, 老川秀紀, 吉成正雄: チタンの超親水性処理がラミニン 332 の吸着特性に及ぼす影響. *日口腔インプラント誌* 2018; 31(3): 208-215. doi: Org/10.11237/Jsoi.31.208
7. 柴原孝彦: 東京歯科大学における口腔がん検診の歩み 全地域集団検診と千葉市の個別検診について. *頭頸部癌*(1349-5747)44 巻 4 号 Page353-360(2018.12)
8. 澁川義幸, 黒田英孝, 木村麻記, 佐藤正樹, 小島佑貴, 東川明日香, 重藤玲子, 田崎雅和: 「ニューロンネットワークによる神経原性炎症機構の解明: ニューロン軸索反射モデルを用いた機能解析」、*歯科学報*, 118(4): 286, 2018
9. 菅野亜紀, 多田美穂子, 高倉枝里子, 永井由美子, 江口貴子, 小菅菜里, 中山恵子, 白鳥たかみ, 日下和代, 石井拓男: 歯科衛生士臨床実習における周術期口腔機能管理に関する実習プログラムを導入した試み. *歯科学報*, 118(3): 221-225, 2018.
10. 染屋智子, 武本真治, 笠原正彰, 京極啓, 服部雅之: 水酸化カルシウム製剤で処理した根部象牙質での接着性レジメンの接着強さ. *日本歯科理工学会誌*, 38(1), 52-58, 2019
11. 高橋まどか, 高橋一誠, 石井武展, 坂本輝雄, 末石研二: 永久歯列まで矯正治療を行わなかった口唇口蓋裂症例の矯正学的検討. *歯科学報*. 18(4); 347-352, 2018
12. 高野直樹, 瀧澤英男, 伊藤幸太, 小高研人, 松永智, 阿部伸一: 3D プリンティング技術により積層造形されたアルミ合金ラティス構造の圧縮特性に関する研究. *材料* 日本材料学会(in press)

13. 西井康, 石川宗理, 新倉陽一朗, 荒川啓太郎, 小倉弘文, 鍛代秀人, 草場岳, 村上沙也加, 立木千恵, 野嶋邦彦, 高木多加志, 末石研二: デジタル模型を用いた骨格性 ClassⅢ顔面非対称患者の下顎アーチフォームの三次元的検討 *顎変形症学会雑誌* 28 (1), 10-18, 2018.
14. 林宰央, 恩田健志, 重野健一郎, 大金覚, 成田真人, 薬師寺孝, 大畠仁, 高木多加志, 高野伸夫, 柴原孝彦: 陳旧性顎関節脱臼の臨床的検討, *歯科学報* 118 卷 6 号 P533-540, 2018.
15. 星野照秀, 小山侑, 笠原清弘, 高野正行, 柴原孝彦, 片倉朗: 直接経口抗凝固薬 (DOAC)服用患者の観血的治療に関する検討, *歯科薬物療法* 37 卷 3 号:83-86, 2018
16. 南館マリ, 澁井武夫, 齋藤寛一, 河地誉, 三條祐介, 酒井克彦, 佐藤一道, 馬場亮, 野村武史: 東京歯科大学市川総合病院歯科・口腔外科における過去 7 年間の上顎正中過剰埋伏歯の臨床的検討, *歯科学報* 118(5); 409-416, 2018
17. 森川貴迪, 新行内恵, 川上真奈, 岩本昌士, 柴原孝彦: 東京歯科大学千葉病院における ARONJ の治療成績, *歯科学報* 118 卷 3 号 P183-189, 2018.
18. 安村祐香, 宮崎晴代, 田鶴濱泰子, 石井武展, 坂本輝雄, 末石研二: 非症候性先天多数歯欠如(Oligodontia)を伴う患者の歯科矯正学的研究 来院動向および臨床的特徴 *Orthodontic Waves-Japanese Edition*. 77(1); 17-26, 2018.

2019 年度

1. 有田憲司, 阿部洋子, 仲野和彦, 斎藤正人, 島村和宏, 大須賀直人, 清水武彦, 石通宏行, 松村誠士, 尾崎正雄, 石谷徳人, 濱田義彦, 渥美信子, 小平裕恵, 高風亜由美, 長谷川大子, 林文子, 藤岡万理, 茂木瑞穂, 八若保孝, 田中光郎, 福本敏, 早崎治明, 関本恒夫, 渡部茂, 新谷誠康, 井上美津子, 白川哲夫, 宮新美智世, 荻部洋行, 朝田芳信, 木本茂成, 福田理, 飯沼光生, 仲野道代, 香西宏行, 岩本勉, 野中和明, 牧憲司, 藤原卓, 山崎洋一: 日本人小児における乳歯・永久歯の萌出時期に関する調査Ⅱ -その 1. 乳歯について, *小児歯誌*, 57: 45-53, 2019.
2. 有田憲司, 阿部洋子, 仲野和彦, 斎藤正人, 島村和宏, 大須賀直人, 清水武彦, 石通宏行, 松村誠士, 尾崎正雄, 石谷徳人, 濱田義彦, 渥美信子, 小平裕恵, 高風亜由美, 長谷川大子, 林文子, 藤岡万理, 茂木瑞穂, 八若保孝, 田中光郎, 福本敏, 早崎治明, 関本恒夫, 渡部茂, 新谷誠康, 井上美津子, 白川哲夫, 宮新美智世, 荻部洋行, 朝田芳信, 木本茂成, 福田理, 飯沼光生, 仲野道代, 香西宏行, 岩本勉, 野中和明, 牧憲司, 藤原卓, 山崎洋一: 日本人小児における乳歯・永久歯の萌出時期に関する調査Ⅱ -その 2. 永久歯について, *小児歯誌*, 57: 363-373, 2019 新行内恵, 森川貴迪, 太田亮輔, 川上真奈, 柴原孝彦: ARONJ 患者の寛解に対する予後因子の検討. *日本口腔科学会雑誌* 68(3), 220-225. 2019
3. 新行内恵, 森川貴迪, 太田亮輔, 川上真奈, 柴原孝彦: ARONJ 患者の寛解に対する予後因子の検討. *日本口腔科学会雑誌* 68(3), 220-225. 2019
4. 大野啓介, 前山恵里, 別所央城, 山本信治, 吉田秀児, 渡邊章, 菅原圭亮, 西山明宏, 高木亮, 笠原清弘, 大金覚, 高野正行, 高野伸夫, 片倉朗, 柴原孝彦: TNM 分類第 8 版を用いた口腔扁平上皮癌症例の再分類と有用性の評価. *歯科学報* 119(2) 97-104, 2019.
5. 大久保真衣, 三浦慶奈, 西岡さやか, 杉山哲也, 石田瞭, 福田謙一: 口唇閉鎖困難と構音障害の訴えを契機に重症筋無力症と診断された 1 例, *障害者歯科* 40:179-184, 2019.

6. 柏木優美, 金亨俊, 崔大煥, 石井武展, 坂本輝雄, 野嶋邦彦, 宮崎晴代, 末石研二: 東京歯科大学千葉病院における口蓋裂単独患者の矯正治療に関する実態調査. *日本口蓋裂学会雑誌* (0386-5185)44 巻 1 号 Page16-21.2019.
7. 笠原正彰, 北村啓, 小高研人, 笠原典夫, 山田雅司, 松永智:微小領域エックス線回折法によるヒト筋突起腱付着部のマイクロ/ナノ構造特性. 臨床バイオメカニクス
8. 木村麻記, 東川明日香, 村松敬, 石原和幸, 齋藤淳, 国分栄仁, 柴山和子, 菊池有一郎, 櫻井敦朗, 喜田大智, 大野建州, 澁川義幸: 歯学の進歩・現状「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」、細胞膜タンパク質を標的とする石灰化機構の解明と応用、*歯科学報*, 119:301-306, 2019
9. 齋藤朋子, 水野高夫, 吉野直之, 石井武展, 坂本輝雄, 野嶋邦彦, 末石研二; 東京歯科大学千葉病院における両側性唇顎裂・唇顎口蓋裂患者に対する矯正歯科治療の実態調査. *日本口蓋裂学会雑誌* (0386-5185)44 巻 1 号 Page7-15.2019.
10. 鈴木誠太郎, 浮谷得子, 今井光枝, 柴田力, 石塚洋一, 佐藤涼二, 小野瀬祐紀, 江口貴子, 河内嘉道, 石井広志, 杉原直樹: 低刺激時唾液量が学童期におけるカリエスフリーからのう蝕発生に關与する、*日本口腔衛生学会雑誌*, 69-2, 70-76, 2019
11. 高野直樹, 瀧澤英男, 伊藤幸太, 小高研人, 松永智, 阿部伸一: 3D プリンティング技術により積層造形されたアルミ合金ラティス構造の圧縮特性に関する研究 *材料*, 68(4): 351-357, 2019. (査読有)
12. 半沢篤, 大久保真衣, 三浦慶奈, 大多和由美, 石田瞭, 福田謙一: 歯科を併設していない病院との2年間の医科歯科連携の臨床統計、*障害者歯科* 40:499-503, 2019.
13. 平井三峰子, 宮崎晴代, 安村祐香, 田鶴濱泰子, 石井武展, 坂本輝雄, 末石研二: 非症候性先天性多数歯欠如(oligodontia)を伴う患者の歯科矯正学的研究 顎顔面形態についての検討. *Orthodontic Waves-Japanese Edition* (1349-0303)78 巻 2 号 Page92-98. 2019.
14. 本間慎也, 平野友基, 吉田光孝, 守源太郎, 高梨琢也, 佐々木穂高, 古谷義隆, 伊藤太一, 矢島安朝: 臨床実習開始前の学生に対する口腔インプラント学教育、*日本口腔インプラント学会誌*, 32(3):253-259, 2019.
15. 三浦慶奈, 大久保真衣, 杉山哲也, 大房航, 石田瞭: 超音波エラストグラフィを用いた安静時と水保持時の舌の硬さの検討、*老年歯科医学* 34:127-135, 2019.
16. 村松敬, 木村麻記, 東川明日香, 大野建州, 菊池有一郎, 喜田大智, 国分栄仁, 柴山和子, 櫻井敦朗, 澁川義幸, 齋藤淳, 石原和幸: 歯学の進歩・現状「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」、根尖部歯周組織の病態生物学、*歯科学報*, 119:365-370, 2019
17. 森川貴迪, 小坂井絢子, 別所央城, 音成美佳, 井本研一, 和光衛, 野村武史, 高野伸夫, 柴原孝彦: 当科の初期舌扁平上皮癌患者における予後因子の検討. *日本口腔腫瘍学会誌* 31(1), 1-9, 2019.
18. 森川貴迪, 鬼谷薫, 大竹彩子, 鈴木英子, 小坂井絢子, 別所央城, 薬師寺孝, 野村武史, 高野伸夫, 柴原孝彦: 女性口腔扁平上皮癌症例の34年間の臨床的検討 -単一施設における根治手術施行例の動向調査-. *日本口腔外科学会雑誌* 65(4), 249-256, 2019.
19. 森川泰紀, 野嶋邦彦, 西井康, 渡邊章, 高野伸夫, 末石研二: 臼歯部の咬合崩壊により上顎咬合平面と下顎骨体下縁部の左右傾斜が相反する顔面非対称症例に対する外科的矯正治療、*日本顎変形症学会雑誌* 29:66-75, 2019

臨床論文および症例報告

2017 年度

1. Egawa M, Inagaki S, Tomita S, Saito A: Connective tissue graft for gingival recession in mandibular incisor area: a case report. *Bull Tokyo Dent Coll* 58:155-162, 2017.
2. Keisuke Sugahara, Kazuhiro Ito, Yoshiharu Katsumi, Masayuki Takano, Chikara Saito, Akira Katakura: A Case of Mandibular Malunited Fracture Treated Using Iliac Particulate Cancellous Bone and Mallow Graft. *日本口腔診断学会雑誌* 30:65-71, 2017
3. Makino-Oi A, Ishii Y, Makino K, Kondo A, Uekusa T, Ishizuka Y, Tomita S, Saito A: Treatment of severe chronic periodontitis with surgical and prosthetic intervention; A 9-year follow-up case report. *Bull Tokyo Dent Coll* 58:237-246, 2017.
4. Migita M, Shigematsu S, Ohata H, Shibahara T: Carcinoma of Maxillary Gingiva with Non-specific Cervical Lymph Node Swelling. *Bull Tokyo Dent Coll.* 2017;58:125-131. doi: 10.2209/tdcpublish.2016-1800.
5. Nakajima K, Takeda T, Nishino M, Matsuda Y, Saito M, Suzuki Y, Kawano Y, Katano K: Effect of Mouthguard on Concussion Reduction or Privement. *Int J Sport Dent* 10:47-49, 2017.
6. Nojima K, Onoda M, Nishii Y, Sueishi K.: Orthodontic Treatment for Bloch-Sulzberger Syndrome in Patient with Cleft Lip and Palate. *Bull Tokyo Dent Coll.* 58:259-267, 2017. doi: 10.2209/tdcpublish.2016-0051.
7. Ogane S, Watanabe A, Takano N, Shibahara T: Case of Inverted Supernumerary Tooth in Nasal Cavity. *Bull Tokyo Dent Coll.* 2017;58:255-258. doi: 10.2209/tdcpublish.2016-0040.
8. Suzuki E, Aoki H, Tomita S, Saito A. Improvement in oral health-related quality of life by periodontal treatment: a case report on elderly patient with chronic periodontitis. *Bull Tokyo Dent Coll* 58:163-170, 2017.
9. Takeshi Onda, Kamichika Hayashi, Naoki Shiraiishi, Nobuo Takano, Takahiko Shibahara.: A Case of Verruciform Xanthoma with a Equivocal Exfoliative Cytological Diagnosis. *Bull Tokyo Dent. Coll.* 2018.in press.
10. Tomita S, Uekusa T, Hosono M, Kigure T, Sugito H, Saito A: Periodontist-dental hygienist collaboration in periodontal care for chronic periodontitis: an 11-year case report. *Bull Tokyo Dent Coll* 58:177-186, 2017.
11. Tsujino K, Shintani S: International Partial Pulpotomy for Treatment of Immature Permanent Maxillary Incisor with Talon Cusp. *Bull Tokyo Dent Coll.* 58: 247-253, 2017.
12. 有泉大, 末石研二, 山本雅絵, 高木多加志: 多分割 Le Fort I 型骨切り術併用上下顎移動術を行った開咬 2 例の術後 5 年経過. *日本顎変形症学会雑誌* 27 : 34-46, 2017.
13. 大木章生, 西井康, 末石研二, 高木多加志, 山倉大紀: 歯科矯正用アンカースクリューを用いた臼歯部喪失を伴う成人過蓋咬合症例. *歯科学報* 117 : 231-242, 2017.
14. 大塚亜理沙, 野嶋邦彦, 諸星華奈子, 西井康, 末石研二, 渡邊章, 成田真人, 高野伸夫, 石崎憲: SARPE を併用した成人唇顎口蓋裂症例の包括的歯科治療. *歯科学報* 117 : 221-230, 2017.
15. 澁井武夫: 顎変形症手術における下顎頭のポジショニング、臨床矯正ジャーナル 33 (10) 67-75、2017
16. 下尾嘉昭, 阿部伸一、櫻庭実、渡辺多恵、中山一久、上杉崇史、蛭田賢: 上顎切除後の血管柄付き腓骨皮弁に骨移植を追加してガイドドサージェリーにてインプラント治療を行った 1 例. *日本口腔インプラント学会誌*, 30:210-216, 2017.
17. 菅原圭亮、伊藤和宏、勝見吉晴、高野正行、齊藤力、片倉朗: 腸骨 PCBM 移植術を併用し再手術を行った下顎骨変位骨折の 1 例, *日本口腔診断学会雑誌* 第 30 巻 第 1 号 65-71 2017 年
18. 高野伸夫、齋藤寛一、大金覚、林幸央、恩田健志、渡邊章、成田真人、澁井武夫、薬師寺孝: 顎骨の腫瘍性疾患 歯原性腫瘍 1. 良性上皮性歯原性腫瘍 (エナメル上皮腫) *小児歯科臨床* 22 (8) 63-65、2017

19. 高野伸夫、齋藤寛一、大金覚、林幸央、恩田健志、渡邊章、成田真人、澁井武夫、薬師寺孝：顎骨の腫瘍性疾患 歯原性腫瘍 2. 良性上皮性間葉混合性歯原性腫瘍と良性間葉制歯原性腫瘍（セメント質骨形成線維腫）、小児歯科臨床 22 (9) 62-64、2017
20. 辻野啓一郎、櫻井敦朗、荒井亮、大多和由美、佐藤秋絵、新谷誠康：上顎中切歯が双生歯および歯内歯を併発した Brachmann-de Lange 症候群の 1 例. *障害者歯科* 38:30-35, 2017.
21. 西山明宏、菅原圭亮、星野照秀、見明康雄、片倉朗：7本の過剰歯を有した1例. *日本口腔診断学会雑誌* 30(3):307-310, 2017
22. 林幸央、恩田健志、柴野正康、大金覚、小澤夏生、大畠仁、高野伸夫、柴原孝彦：根尖病巣が咀嚼筋痛のトリガーとなった線維筋痛症の1例. *歯科学報*117:473-479, 2017
23. 林幸央、恩田健志、松本暢久、薬師寺孝、柴原孝彦：オーラルジスキネジアに伴う難治性潰瘍に対するオーラルアプライアンス治療の1例. *老年歯科医学* 32:17-22, 2017
24. 林幸央、恩田健志、柴野正康、大金覚、薬師寺孝、大畠仁、柴原孝彦：多発性口腔粘膜腫瘍を伴った結節性硬化症の1例、有病者歯科医療.26(5).367-372.2018.
25. 諸星貴大、末石研二：切歯歯根吸収を伴う上下顎犬歯埋伏症例の矯正治療. *歯科学報*117：327-338、2017.

2018 年度

1. Abe H, Yamamoto M, Yanagisawa N, Morimoto I, Murakami G, Rodríguez-Vázquez, JF, Abe S.: Regressing vitelline vein and the initial development of the superior mesenteric vein in human embryos. *Okajimas Folia Anat Jpn*95:87-92, 2017.
2. Abe S, Tomita N, Yamamoto M, Sato M, Abe H, Murakami G, Rodríguez-Vázquez JF.: Topographical anatomy of the pronator teres muscle and median nerve: a study using histological sections of human fetuses. *Okajimas Folia Anat Jpn* 94:37-44, 2017.
3. Abe S, Yoshimoto T, Yamamoto M, Sato M, Yanagisawa N, Hinata N, Abe H, Murakami G.: Midline sensory nerve supply to the anoscrotal junction: a study using human male fetuses. *Okajimas Folia Anat Jpn*94:17-25, 2017.
4. Aoki H, Seshima F, Saito A.. Effect of the combined use of enamel matrix derivative and atelocollagen sponge scaffold on osteoblastic differentiation of mouse induced pluripotent stem cells in vitro. *Bull Tokyo Dent Coll* (accept, 2019 Jan)
5. Furuya Y, Yamamoto M, Ito T, Takaki T, Shibahara T, Yajima Y: Implant Treatment after Sagittal Splitting Ramus Osteotomy and Alveolar Ridge Augmentation in Patient with Mandibular Prognathism and Multiple Missing Maxillary Teeth. *Bull Tokyo Dent Coll* 2018 Nov 30;59(4):285-290. doi: 10.2209/tdcpublishation.
6. Hayashi K, Onda T, Ogane S, Shibano M, Kamio T, Ohata H, Takano N, Shibahara T:A Case of Cheilitis Granulomatosa Suspected of Dental Focal Infection. *Oral science in Japan*.53-53.2018.
7. Hayashi K, Onda T, Ogane S, Shibano M, Kamio T, Ohata H, Takano N, Shibahara T:A Case of Mandibular Osteomyelitis in an Elderly Person during Tocilizumab Treatment. *Oral science in Japan*.51-52.2018.
8. Hayashi K, Onda T, Ogane S, Shibano M, Kamio T, Ohata H, Takano N, Shibahara T:A Case Report: Oral Appliance Therapy for a Severe Ulcerative Stomatitis of the Oral Dyskinesia Patient.*Oral science in Japan* 55-56.2018.
9. Inoko M, Rubin S, Ono Y, Saito A: Releasing incisions using Upward-Motion Scissors Technique for flap mobilization for guided bone regeneration or periodontal surgery: Technical introduction and a case report. *Int J Periodont Restorat Dent* 38:503-507, 2018.

10. Kim JH, Yamamoto M, Abe H, Murakami G, Shibata S, Rodríguez-Vázquez JF, Abe S.: The palatomaxillary suture revisited: A histological and immunohistochemical study using human fetuses. *Okajimas Folia Anata Jpn*94:65-74, 2017.
11. Kita D, Kinumatsu T, Ishii Y, Yamanouchi K, Saito A: Treatment of gingival fenestration with connective tissue graft: a case report. *Bull Tokyo Dent Coll* 59:111-119, 2018.
12. Kokubun K, Matsuzaka K, Akashi Y, Sumi M, Nakajima K, Murakami S, Narita M, Shibahara T, Inoue T: Congenital Epulis: A Case and Review of the Literature. *Bull Tokyo Dent Coll* 2018;59(2):127-132. doi: 10.2209/tdcpublication.2017-0028.
13. Masahide Koyachi, Keisuke Sugahara, Yu Koyama, Yoshiharu Katsumi, Teruhide Hoshino, Akihiro Nishiyama, Hiroki Bessho, Kiyohiro Kasahara, Masayuki Takano, Takahiko Shibahara, and Akira Katakura: Clinical study of pediatric patients with oral and maxillofacial trauma in our hospital in the during 2 years. *Oral Science in Japan* 2017, 43-44, April 2018
14. Onda T, Hayashi K, Shiraishi N, Takano N, Shibahara T: Verruciform Xanthoma with Equivocal Exfoliative Cytological Diagnosis. *Bull Tokyo Dent Coll* 2018;59(3):193-200. doi: 10.2209/tdcpublication.2017-0034.
15. Otonari-Yamamoto M, Nakajima K, Sakamoto J, Imoto K, Watanabe M, Kotaki S, Kuroda M, Matsuzaka K, Shibahara T, Curtin HD, Goto TK.: Atypical MRI and Histopathological Findings in dermoid cyst. *Bull Tokyo Dent Coll* 59(3), 207-212, 2018.
16. Sakanaka K, Yamamoto M, Ishibashi T, Yanagisawa N, Rodríguez-Vázquez JF, Murakami G, Abe S.: Teres major and latissimus dorsi muscles in human embryos: a reconsideration of the so-called brother muscles. *Okajimas Folia Anatomica Jpn* 95:81-85, 2017.
17. Shimoo Y, Yamamoto M, Suzuki M, Yamauchi M, Kaketa A, Kasahara M, Serikawa M, Kitamura K, Matsunaga S, Abe S.: Anatomic and histological study of lingual nerve and its clinical implication. *Bull Tokyo Dent Coll* 58:95-101, 2017.
18. Takamichi Morikawa, Hiroki Bessho, Takeshi Nomura, Takeshi Nomura, Ayako Kozakai, Ayaka Kosugi, Takahiko Shibahara, Takahiko Shibahara, Setting of the surgical margin using optical instrument for treatment of early tongue squamous cell carcinoma. *J Oral Maxillofac Surg, Med, Pathol* 2018
19. Yamamoto N, Morikawa T, Yakushiji T, Shibahara T: Mandibular Reconstruction with Free Vascularized Fibular Graft: *Bull Tokyo Dent Coll* 2018 Nov 30;59(4):299-311. doi: 10.2209/tdcpublication.
20. Yoshimoto T, Serikawa M, Higa K, Kitamura K, Kasahara M, Yamamoto M, Abe S.: Effect of mesenchymal cells on myoblast sheets embedded in collagen gel. *Bull Tokyo Dent Coll* 59:87-95, 2018.
21. 飯嶋彩花、草場岳、石井武展、坂本輝雄、末石研二：東京歯科大学千葉病院矯正歯科における口唇裂・口蓋裂患者に関する実態調査－患者数・性差・初診時年齢・居住地域・紹介元医療機関について－、*歯科学報*、118（6）：549-553、2018
22. 内田悠志、末石研二：下顎両側第三大臼歯により下顎両側第二大臼歯の著しい歯根吸収が認められた叢生症例 *歯科学報* (0037-3710) 118, 115-124, 2018
23. 菅国歌織、立木千恵、阿部玲子、西井康、末石研二：外科的矯正治療に対する各治療段階の患者の認識について－アンケートによる横断的調査－ *歯科学報* 118：317-325, 2018
24. 高野まどか、高橋一誠、石井武展、坂本輝雄、末石研二：永久歯列まで矯正治療を行わなかった口唇口蓋裂症例の矯正学的検討、*歯科学報*、118（4）：347-352, 2018.
25. 辻野啓一郎、五味暁憲、大串圭太、征野学、鈴木奈穂、布施亜由美、福島圭子、新谷誠康：埋伏した双生歯小臼歯に対し外科的摘出を行なった自閉スペクトラム症の1例、*障歯誌*、39：418-423, 2018.

26. 林幸央, 恩田健志, 柴野正康, 大金覚, 薬師寺孝, 大畠仁, 柴原孝彦: 多発性口腔粘膜腫瘍を伴った結節性硬化症の1例、有病者歯科療.26(5).367-372.2018.
27. 三邊正樹、三邊梓、佐藤一道、橋本和彦、高橋慎一、野村武史: 舌に多発性に再燃した好酸性潰瘍の1例 日口外誌 64 (9) : 540-544、2018
28. 村祐香, 宮崎晴代, 田鶴濱泰子, 石井武展, 坂本輝雄, 末石研二、非症候性先天性多数歯欠如(oligodontia)を伴う患者の歯科矯正学的研究 来院動向および臨床的特徴 *Orthodontic Waves-Japanese Edition*(1349-0303) 77(1), 17-26, 2018.
29. 矢島由香, 藤本侑子, 有泉高晴, 白井朋之, 高田満, 村山雅人, 矢島安朝, 柴原孝彦, 佐々木研一: 複数に分枝した下歯槽神経損傷による神経障害の1例、*Japanese Journal of Maxillo Facial Implants*17 巻 2 号 Page85-90,2018
30. 吉田秀児, 大野啓介, 山本信治, 高野正行, 柴原孝彦: 頬部に発生した浸潤型血管脂肪腫の1例、*日本口腔診断学会雑誌* 31 巻 3 号 Page216-220,2018

2019 年度

1. Aoki H, Seshima F, Saito A.:Periodontal regenerative therapy using enamel matrix derivative in patient with chronic periodontitis: a 3-year 6-month follow-up report. *Bull Tokyo Dent Coll* 60:201-209, 2019.
2. Bizenjima T, Osuka Y, Tomita S, Saito A.:Periodontal regenerative therapy with enamel matrix derivative in patient with chronic periodontitis: A 3.5-year follow-up report. *Bull Tokyo Dent Coll* 60:131-138, 2019.
3. Hayashi K, Onda T, Ogane S, Kamio T, Ohata H, Takano N, Shibahara T: Idiopathic first bite syndrome treated with Rikkosan: A case report. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology* 31, 350-355, 2019.
4. Homma H, Miyashima-Okada M, Nakauchi A, Osawa E, Nagai N, Sakurai A, Shintani S: Treatment of Child with Four Lost Maxillary Incisors Due to Traffic Injury. *Bull Tokyo Dent Coll*. 60: 211-220, 2019.
5. Ide F, Ito Y, Muramatsu T, Miyazaki Y, Nishimura M, Kikuchi K, Kusama K.: The advent of studies on jaw cysts with keratinization: a review of overlooked papers on odontogenic keratocyst and orthokeratinized odontogenic cyst. *Head and Neck Pathology* 2019 doi: 10.1007/s12105-019-01115-0.
6. Ide F, Muramatsu T, Miyazaki Y, Kikuchi K, Kusama K.:Calcifying odontogenic cyst showing a varied epithelial lining: an additional case with implications for the divergent differentiation capacity of the cyst epithelium. *Head and Neck Pathology* 13(2): 251–254. 2019 doi: 10.1007/s12105-018-0899-1.
7. Iwata M, Saito A, Kuroda Y, Shinohara T, Tanaka E.:Interdisciplinary therapy for severe periodontitis with Angle Class II Division 1 malocclusion: a case report with 7-year follow-up. *JADA* 150:960-971, 2019.
8. Kato H, Watanabe A, Takano M, Yoshida M, Yajima Y, Shibahara T: A case of maxillary partial aseptic necrosis after Le Fort I osteotomy, *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*, doi.org/10.1016/j.ajoms.2019.08.002
9. Schwindling FS, Tasaka A, Hilgenfeld T, Rammelsberg P, Zenthofer A: Three-dimensional-guided removal and preparation of dental root posts-concept and feasibility. *J Prosthodont Res*. 2019 DOI:10.1016/j.jpjor.2019.04.005
10. Sekikawa S, Kozakai A, Saito H, Kawachi H, Ogane S, Takano M, Nomura T, Katakura A, Shibahara T, Takano N.: Ten-year Clinical Trends among 575 Consecutive Oral Cancer Patients at Tokyo Dental College Oral Cancer Center. *Bull Tokyo Dent Coll*. 10;60(4):251-260, 2019
11. Seshima F, Kigure T, Saito A.:Periodontal regenerative therapy using enamel matrix derivative for treatment of generalized severe chronic periodontitis: A 2-year case report. *Bull Tokyo Dent Coll* 60:97-104, 2019.

12. Takano M., Sugahara K., Koyachi M., Odaka K., Matsunaga S., Homma S., Abe S., Katakura A., Shibahara T.: Maxillary reconstruction using tunneling flap technique with 3D custom-made titanium mesh plate and particulate cancellous bone and marrow graft: a case report. *Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgery*. 41(1), 43, 2019
13. Takeshi Terashima, Takihiko Nakajima, Tatsu Matsuzaki, Eri Iwami, Takeo Shibui, Takeshi Nomura, Akira Katakura: Chewing ability and desaturation during chewing in patients with COPD. *Monaldi Archives for Chest Disease*, 89:1090, 2019
14. Tsujino K, Shintani S: A case of supernumerary tooth in the mandibular anterior region e Report on a rare case of five mandibular incisors. *Ped Dent J*. 29; 105-110, 2019.
15. Wakoh M, Matsuzaka K, Imoto K, Goto TK, Kamio T, Shibahara T: Luminal, Intramural Unicystic Ameloblastoma with Marked Fluid-Fluid Level - Validity of CT and MRI Findings -. *Bull Tokyo Dent Coll.*, 2019. (in press)
16. Watanabe A., Yoshida S., Ishii T., Saito C., Shibahara T.: Surgical Management of Median Cleft Lip and Alveolus, *The Bull Tokyo Dent Coll.* 60:291-296, 2019
17. Watanabe M., Wakoh M., Nakajima K., Yoshida S., Sato H., Koyachi M., Odaka K., Koshimizu Y., Otonari-Yamamoto M., Takano M., Matsuzaka K., Katakura A., Shibahara T., Goto T.K.: Developing odontoma with an atypical radiological appearance: A case report. *Oral and Maxillofacial Surgery Cases*. 2019 (in print)
18. Yamada S, Hayashi K, Onda T, Shibahara T: A Case of Fibrolipoma of the Hard Palate. *Bull Tokyo Dent Coll* (in press), 2019.
19. YujiHamada,Keisuke Sugahara,Syuji Yoshida,Akira Watanabe,Hiroki Bessho,Kiyohiro Kasahara, MasayukiTakano, Chikara Saito, Takahiko Shibahara, Akira Katakura: A 27-year retrospective clinical analysis of 2640 orthognathic surgery cases in the Tokyo Dental College. *Jonal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*, 31:305-310, 2019
20. 稲田潤一郎, 三邊正樹, 浮地賢一郎, 河野通良, 高橋慎一, 野村武史: トニックウォーターに含まれるキニーネによる固定疹の 1 例、*日本口腔外科学会雑誌* 65 : 694-698、2019
21. 今井裕樹、辻野啓一郎、新谷誠康: 根尖性歯周炎に罹患した歯内歯の治療および長期観察、*歯科学報* 119 : 40-44, 2019.
22. 大金覚, 鈴木英子, 恩田健志, 野村武史, 片倉朗, 柴原孝彦: 硬口蓋に発生した上皮筋上皮癌の 1 例. *日本口腔外科学会雑誌* 65(5), 318-322, 2019
23. 大野啓介, 前山恵理, 別所央城, 山本信治, 吉田秀児, 渡邊章, 菅原圭亮, 西山明宏, 高木亮, 笠原清弘, 大金覚, 高野正行, 高野伸夫, 片倉朗, 柴原孝彦: TNM 分類第 8 版を用いた口腔扁平上皮癌症例の再分類と有用性の評価、*歯科学報*、第 119 巻 第 2 号 : 97~104、2019、4 月
24. 大村雄介、小松万純、本田健太郎、田川駿、鈴木大貴、齋藤寛一、三條祐介、酒井克彦、野村武史: 当院における高齢者の顎顔面骨折の統計解析、*老年歯学* 34 (2) ; 143-148, 2019
25. 加藤宏, 大野啓介, 辛麻由, 星野照秀, 高野正行, 柴原孝彦: 下顎頭に生じた脈瘤性骨嚢胞の 1 例. *日本口腔外科学会雑誌* 65(6), 419-423, 2019.
26. 金子綾、野嶋邦彦、澁井武夫、末石研二: 矯正治療のために抜去した上顎小臼歯を上顎前歯部に移植した歯性下顎前突症の治療例、*歯科学報* 119 (4) 239-337, 2019
27. 齋藤寛一、小坂井絢子、関川翔一、河地誉、大金覚、高野正行、野村武史、片倉朗、柴原孝彦、高野伸夫: 口腔扁平上皮癌における潜在性頸部リンパ節転移の臨床的検討、*歯科学報*、119 巻 第 5 号 : 383-387、2019.
28. 西山明宏、柴原孝彦、大野啓介、高田満、村山雅人、片倉朗: 下歯槽神経由来の良性腫瘍病変切除と同時に神経修復術を行い知覚回復が得られた 1 例、*日口外誌*、65 : 263-268, 2019.

29. 星野照秀, 西山明宏, 小石沢理央, 松坂賢一, 柴原孝彦, 片倉朗: 下歯槽神経領域に発生した IgG4 関連疾患の 1 例、*日本口腔外科学会雑誌* 第 65 巻第 10 号、2019、10 月
30. 竜正大: 要介護高齢者に対する CAD/CAM による総義歯製作法の応用、歯界展望, 133(6):1172-1179, 2019.
31. 渡邊章: 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療、顎変形症 (解説) 日本医事新報, 4985: 52, 2019
32. 渡邊章: 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療、口腔乾燥症 (解説) 日本医事新報, 4983: 50, 2019
33. 渡邊章: 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療、口臭症 (解説) 日本医事新報, 4984: 44, 2019
34. 渡邊章: 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療、口唇裂・口蓋裂 (解説) 日本医事新報, 4983: 51, 2019
35. 渡邊章: 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療、構音障害 (解説) 日本医事新報, 4984: 45, 2019
36. 渡邊章: 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療、舌癒着症 (舌小帯短縮症) (解説) 日本医事新報, 4983: 49, 2019
37. 渡邊章: 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療、不正咬合 (解説) 日本医事新報, 4987: 59, 2019

総説及び解説論文

2017 年度

1. Abe S.: Oral Anatomy, *Clin Calcium*, 27:1351-1356, 2017.
2. Chang WJ, Abe S, Kamakura S, Huang RY, Chen JW.: Bioengineering materials in dental application. *BioMed Res Int*, 2017. (on line) ,doi.org/10.1155/2017/2135036
3. Ishihara K. : New approach for studying mobile genes using metagenomic analysis. Oral Dis 2017. doi: 10.1111/odi.12640.
4. Tomita S, Saito A: Periodontal abscess: a review and the role of antimicrobial therapy. *Curr Oral Health Rep* 4:294-300, 2017.
5. 阿部伸一: 嚥下にかかわる解剖と X 線像. *CLINICAL REHABILITATION*, 27:2-5, 2018.
6. 石原和幸: *Treponema denticola* の病原性因子. 日歯周誌. (in press)
7. 恩田健志, 柴原孝彦: 特集 頭頸部腫瘍II 3. 歯原性腫瘍の臨床. 病理と臨床 36:312-317.2018
8. 笠原正貴: 漢方を知る. 日本歯科医師会雑誌, 69:1143-1151, 2017.
9. 片倉朗 (執筆): 老年歯科医学の教育の充実 Enhance Education for Gerodontology. 老年歯科医学 32(2): 63, 2017, 巻頭言 一般社団法人日本老年歯科医学会, 東京, 2017.
10. 片倉朗 (著): 「骨活」しましょう. 月間糖尿病ライフさかえ 57(7):22, 2017, 公益社団法人日本糖尿病学会, 2017.
11. 片倉朗: 特集 がん患者さんと歯科衛生士 これだけは知っておきたい がんの基礎知識. デンタルハイジーン 37:260-261, 2017.
12. 菊池有一郎: ECF シグマ因子を紹介する *P. gingivalis* の歯周病原性制御機構、細胞、49、555-558、ニュー・サイエンス社 2017
13. 後藤多津子: 【歯内療法領域の画像診断-歯科用 CBCT の適切な運用と解剖学・病理学的知識を整理する】画像診断のいまー口内法エックス線画像と歯科用コーンビーム CTー. 日本歯科評論 vol. 77, 通巻 893 号, p30-36, 2017 年 3 月号.

14. 後藤多津子 : Dental FabLab による治療効果の 3 次元的シミュレーションを活用した治療方針の決定と包括的な口腔機能の回復(新規プロジェクト解説), 歯科学報 116 巻 4 号 P265-267.
15. 後藤多津子: うま味による脳賦活 : ヒト functional MRI による研究. 日本味と匂学会誌, Vol.24 No.2 PP.77-80 2017 年 8 月.
16. 後藤多津子 : 歯科用コーンビーム CT 画像の撮影と読影診断のポイント. 東京都歯科医師会雑誌, 2017 年 8 月号 p365-371.
17. 齋藤淳 : 糖尿病と歯周病. 成人病と生活習慣病, 47(4):525-530, 2017.
18. 桜井敦朗, 新谷誠康 : Question47 治療を嫌がる子どもには、どのように対応すればよいのでしょうか?. 歯界展望別冊 臨床のヒント Q&A, 150-152, 2017.
19. 桜井敦朗, 新谷誠康: 日本のむし歯予防の現状と問題点, 教育と医学 65(6): 526-533, 2017.
20. 柴原孝彦: 【頭頸部癌学-診断と治療の最新研究動向-】 頭頸部癌の検査・診断 口腔癌検診の現状 早期発見の試み. 日本臨床 75 巻増刊 2 頭頸部癌学 282-286, 2017
21. 柴原孝彦: 【臨床のヒント Q&A】 (Question 58)智歯抜去は、どのようなときに専門機関へ送るべきでしょうか?(Q&A/特集). 歯界展望 別冊臨床のヒント Q&A 188-191, 2017
22. 柴原孝彦: 臨床のヒント Q&A 口腔外科系 智歯抜去は、どのようなときに専門機関へ送るべきでしょうか(Q&A). 歯科学報 117:132-135, 2017
23. 新谷誠康 : Question45 感染根管乳歯について、抜去すべきか保存可能かを決める際の要点について教えてください. 歯界展望別冊 臨床のヒント Q&A, 144-146, 2017.
24. 新谷誠康 : 低ホスファターゼ症—歯科医師が鍵を握る骨系統疾患. 日本一般臨床医矯正研究会, 28 : 47-54, 2017.
25. 新谷誠康 : 乳歯の異常 : 1 歳になったのですが、歯が生えてきません. 小児外科, 49 : 14-16, 2017.
26. 辻野啓一郎, 新谷誠康 : Question46 シーラントはどのようなタイミングで進めるべきでしょうか?. 歯界展望別冊 臨床のヒント Q&A, 147-149, 2017.
27. 富田幸代, 齋藤淳 : 歯周外科治療を行う前に～もう一度歯周基本治療を見直す～. 日本歯科医師会雑誌, 70, 366-375, 2017.
28. 中谷泰志, 柴原孝彦, 川口浩司: 一般社団法人口腔がん撲滅委員会. 【小さな気づきが人生を変える 口腔がんから患者さんを守れ!】 なぜ、口腔がんを早期発見できないと深刻なのか. 歯科衛生士 41:48-49, 2017
29. 中谷泰志, 柴原孝彦, 川口浩司: 一般社団法人口腔がん撲滅委員会. 【小さな気づきが人生を変える 口腔がんから患者さんを守れ!】 放置された口腔内の問題もがんの要因に. 歯科衛生士 41:50-51, 2017
30. 中谷泰志, 柴原孝彦: 一般社団法人口腔がん撲滅委員会. 【小さな気づきが人生を変える 口腔がんから患者さんを守れ!】 データで比べてわかる日本は"口腔がん後進国"! 歯科衛生士 41:44-47, 2017
31. 本間宏実, 新谷誠康 : Question44 保護者による仕上げ磨きは何歳まで行えばよいのでしょうか?. 歯界展望別冊 臨床のヒント Q&A, 141-143, 2017.
32. 森川貴迪, 柴原孝彦: 薬剤関連顎骨壊死の現状. 日本歯科評論 77:111-118. 2017

33. 山口朗、東俊文、石原和幸、片倉朗、後藤多津子、齊藤淳、澁川義幸、新谷誠康、松永智、村松敬、吉成正雄：基調講演：顎骨疾患プロジェクトの現状と今後の展望. 歯科学報 117 (4) p271-279, 2017年8月号.
34. 吉成正雄：材料学からみたインプラント治療の未来予測. 日口腔インプラント誌. 2017; 30(2): 47-56, DOI <https://doi.org/10.11237/jsoi.30.47>.
35. 吉成正雄：中性フッ化物の応用がインプラント周囲炎を増悪させる可能性. 日口腔インプラント誌 2017; 30(3):182-190. DOI <https://doi.org/10.11237/jsoi.30.182>.

2018年度

1. Baba A, Ikeda K, Goto TK, Ogino N, Mogami T, Ojiri H, Yamauchi H: Imaging modalities for drug-related osteonecrosis of the jaw (4), CT and MR imaging findings of antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaws/ medication-related osteonecrosis of the Jaw (approved secondary publication). *Jap Dent Sci Rev*, in press
2. Shibahara T: Antiresorptive Agent-Related Osteonecrosis of the Jaw (ARONJ): A Twist of Fate in the Bone, *Tohoku J Exp Med*. 2019 Feb;247(2):75-86. doi: 10.1620/tjem.247.75.
3. Yamamoto M, Abe S: Developmental mechanism of the muscle-tendon-bone complex (Invited Review). *Anat Sci Int* 94, 2019 (in press)
4. 阿部伸一：知っておきたい 人体“食べること、のむこと”の神秘. 大阪府歯科衛生士会学術誌, 27:21-23, 2018.
5. 阿部伸一：幼児・学童期における機能解剖学的基礎知識—咀嚼・嚥下機能・味覚の獲得—. 大阪府学校歯科医会雑誌, 22:9-12, 2018.
6. 石原和幸：口腔内細菌と唾液の役割, 診断と治療, 106: 1229-1234, 2018.
7. 恩田健志, 柴原孝彦：特集 頭頸部腫瘍II 3.歯原性腫瘍の臨床、病理と臨床 36(4).312-317.2018.
8. 小野寺晶子, 柴原孝彦, 東俊文：歯学の進歩・現状 「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」人工多能性幹(iPS)細胞を用いた顎骨疾患病態解明へのアプローチ(解説)、歯科学報 118 巻4号 P293-299,2018
9. 片倉朗、松永智、菅原圭亮、小高研人、後藤多津子：「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」デジタル ファブリケーションが変える歯科医療～基礎と臨床の架け橋ファブラボ TDC、歯科学報、 118(5): 369-376、2018年9月 accept
10. 片倉朗、松永智、菅原圭亮、小高研人、後藤多津子：デジタルファブリケーションが変える歯科医療～基礎と臨床の架け橋ファブラボ TDC～、歯科学報, 117:271-279, 2018.
11. 櫻井敦朗：小児に見られる歯の形成異常、小児歯科臨床、24(3):48-55, 2019
12. 柴原孝彦：「口腔がん撲滅委員会」の活動および口腔がん検診の重要性、歯界展望 132 巻2号 P229-232,2018.
13. 柴原孝彦：【薬剤関連顎骨壊死の画像診断 up to date】 薬剤関連顎骨壊死についての最新ポジションペーパー、臨床放射線 63 巻10号 P1061-1069,2018
14. 柴原孝彦：専門外来最前線 神経損傷に対する専門外来での対応 東京歯科大学病院神経修復外来の取り組み、日本歯科評論 78 巻4号 P123-128,2018.
15. 柴原孝彦：臨床のヒント Q&A 口腔外科系 抜歯に際し、不良肉芽組織搔爬はどこまで除去すればよいでしょうか?(Q&A)、歯科学報 118:455-457,2018
16. 澁川義幸、木村麻記、東川明日香、小倉一宏、望月浩幸、河野恭介、安藤正之、西孝一、桜井薫：「美味しく食べる」をサポートする味覚の科学, 第一回：機能解剖学的視点から見た味覚、日本歯科評論, 78(7)：149-153, 2018
17. 澁川義幸、木村麻記、東川明日香、大山定男、大房航：「美味しく食べる」をサポートする味覚の科学, 第二回：私たちの体を守り維持する味覚の機能、日本歯科評論, 78(8)：153-157, 2018

18. 新谷誠康、荒井亮：見逃したくない小児期の歯の異常 低ホスファターゼ症を知っていますか？、歯科衛生士、42：64-72., 2018.
19. 新谷誠康：小児の歯への外傷に対する対応、東京都歯科医師会雑誌 66:3-11., 2018.
20. 新谷誠康：小児の歯科診療 ー大学で習ったこと、習わなかったことー、栃木県歯科医師会誌、70：123-131., 2018.
21. 末石研二：外科的矯正治療における口唇と舌および咀嚼筋機能の変化についてー文献展望ー 日顎変形誌 28:1-9,2018.
22. 高野伸夫、齋藤寛一、大金覚、小坂井絢子、林宰央、川上真奈、恩田健志、渡邊章、成田真人、石井悠佳里、米津卓郎：口腔領域に発生する水疱形成疾患（手足口病）小児歯科臨床 23(1)75-77.2018.
23. 高橋慎一：【褥瘡管理と外用療法 基礎固め】 「褥瘡管理」はじめの一步 治療方針の決定と治療環境の整備 褥瘡関連ガイドラインの読み方・使い方 Rp+ 17(3):25-29, 2018. July
24. 馬場亮、尾尻博也、後藤多津子、池田耕士、荻野展広、山内英臣、最上拓児：“薬剤関連顎骨壊死のCT、MRI”特集「薬剤関連顎骨壊死の画像診断 up to date」、臨床放射線
25. 溝口利英：骨髄間葉系幹細胞の同定と挙動解析：日本口腔科学会雑誌, 67(1):1-11, 2018
26. 山口朗、久保四郎、松永智、柴原孝彦：歯学の進歩・現状 「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」 薬剤関連顎骨壊死の概念、診断、治療、歯科学報 118 巻 3号 P165-176,2018.
27. 山本信治、柴原孝彦：臨床に役立つすぐれモノ 口腔健診支援システム ORALOOK HITS Check System、DENTAL DIAMOND43 巻 7号 P192-196,2018.
28. 吉田秀児、大野啓介、山本信治、高野正行、柴原孝彦：頬部に発生した浸潤型血管脂肪腫の1例、日本口腔診断学会雑誌 31 巻 3号 P216-220,2018
29. 吉田秀児、大野啓介、西山明宏、高木亮、菅原圭亮、別所央城、渡邊章、山本信治、笠原清弘、高野正行、片倉朗、柴原孝彦：歯学部学生による下顎骨 3D 造形モデルを用いた下顎枝矢状分割法の体験学習、歯科学 118:385-388,2018
30. 吉成正雄：フルジルコニア修復のための透光性カラージルコニア。日本歯科理工学会誌 Vol.38 No.1, 2019.

2019 年度

1. Baba A, Ojiri H, Goto TK, Ikeda K, Yamauchi H, Ogino N, Mogami T: Symposium: Imaging modalities for drug-related osteonecrosis of the jaw (4), CT and MR imaging findings of antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaws/medication-related osteonecrosis of the jaw (approved secondary publication). Jpn Dent Sci Rev. 55(1), 58-64, 2019. 査読有り
2. Kikuchi Y, Ishihara K: Characterization of the *Treponema denticola* virulence factor dentlisin, *Methods in Molecular Biology* (in press)
3. 阿部伸一：加齢による姿勢変化が咬合へ与える影響，医歯薬出版株式会社，歯界展望 133:33-40, 2019.
4. 阿部伸一：発育段階で獲得する“口腔諸機能・形態”に関する機能解剖，顎顔面口腔育成会誌，7:15-19, 2019.
5. 大久保真衣、上田貴之、杉戸博記、渡邊章、勢島典、森岡俊行、矢島安朝：歯科治療中の患者への食支援 東京歯科大学水道橋病院の食品紹介ブース利用者に関する調査、歯科学報 119:115-121,2019
6. 大野建州、沼田貴史、中江進：アレルギーにおける IL-33, TSLP, IL-25 の役割、実験医学、37:1608-1617,2019

7. 恩田健志：専門家による私の治療 顎骨腫瘍（エナメル上皮腫）、日本医事新報 4986:55-56,2019
8. 恩田健志：専門家による私の治療 侵襲性歯周炎、日本医事新報 4987:58-59,2019
9. 恩田健志：専門家による私の治療 慢性歯周炎、日本医事新報 4986:58-59,2019
10. 恩田健志：専門家による私の治療 齶蝕、歯髓炎、日本医事新報 4986:57-58,2019
11. 笠原典夫、中村安孝、橋本正次：歯科的個人識別、歯科学報 119(1)：37-39, 2019
12. 笠原典夫、中村安孝、奈良宏周、寺田仁志、石川昂、野口拓、松永智、山本仁、阿部伸一、橋本正次：歯科的個人識別実習システムの開発、歯科学報 119(4)：314-318, 2019
13. 亀山敦史、村松敬：歯科用レーザーの特徴と臨床応用での注意点、東京都歯科医師会雑誌 67(3)：119-130 2019.
14. 木村麻記、東川明日香、村松敬、石原和幸、齋藤淳、国分栄仁、柴山和子、菊池有一郎、櫻井敦朗、喜田大智、大野建州、澁川義幸：「顎骨疾患プロジェクトからの発信情報」8. 細胞膜タンパク質を標的とする石灰化機構の解明と応用、歯科学報 119(4)：301-306, 2019.
15. 櫻井敦朗：臨床の疑問に答える 安心・納得の歯科局所麻酔ガイドブック、こんなとき、どうする？ 小児への対応 小児の咬傷は予防できますか？、日本歯科評論増刊、46-47, 2019.
16. 櫻井敦朗：臨床の疑問に答える 安心・納得の歯科局所麻酔ガイドブック、こんなとき、どうする？ 小児への対応 小児への注射薬(表面麻酔薬)の選択と使用量とは？、日本歯科評論増刊、42-43, 2019.
17. 櫻井敦朗：臨床の疑問に答える 安心・納得の歯科局所麻酔ガイドブック、こんなとき、どうする？ 小児への対応 小児への麻酔手技において注意すべき点とは？、日本歯科評論増刊、44-45, 2019.
18. 齋藤淳、今村健太郎、喜田大智、太田功貴、吉川幸輝、山下慶子、北村友里恵、深澤俊也、国分栄仁、柴山和子、菊池有一郎、石原和幸：「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」7. 感染制御ラボ：歯周病原細菌の病原因子に関する研究の進捗、歯科学報 119: 165-168, 2019.
19. 齋藤淳：矯正歯科医のための最近の歯周治療の進歩、東京矯正歯科学会雑誌 29：63-67, 2019.
20. 塩入重彰、村上和裕、秦正樹、宮前 真、中林晋也、大山哲生、原口美穂子、服部麻里子、中島純子、皆木祥伴、藤原茂弘、小野高裕：上顎欠損患者において顎義歯は外科 的再建よりも機能回復に有用か？顎顔面補綴 42:18-23,2019
21. 柴原孝彦：エナメル上皮腫の WHO 新分類(2017)について -臨床の立場から-、日本口腔科学会雑誌 68(3), 189-195, 2019.
22. 澁川義幸：自然界の観察から始まる歯科医学：古代バビロニアから現代までの歯痛治療の変遷. 歯科学報, 119, 2019
23. 新谷誠康：歯質の形成障害と MIH、小児歯科臨床 24：6-12, 2019.
24. 新谷誠康：エナメル質形成不全の現状とその対応、日本歯科評論 79:93-100, 2019.
25. 菅原圭亮、片倉朗：口腔顎顔面領域におけるデジタルファブリケーション-3D プリンタ・Mixed Reality 技術の応用-、日本歯科医師会雑誌 72(9):31-39, 2019
26. 橋本正次、笠原典夫、中村安孝：法歯学・法人類学的個人識別、歯科学報 119(2)：91-93, 2019
27. 秦正樹、宮前真、塩入重彰、村上和裕、中林晋也、大山哲生、原口美穂子、服部麻里子、中島純子、皆木祥伴、藤原茂弘、小野高裕：インプラント治療は下顎欠損患者の機能回復に有用か？顎顔面補綴 42:33-38,2019

28. 村松敬, 木村麻記, 東川明日香, 大野建州, 菊池有一郎, 喜田大智, 国分栄仁, 柴山和子, 櫻井敦朗, 澁川義幸, 齋藤淳, 石原和幸: 「顎骨疾患プロジェクトからの発信情報」9. 根尖部歯周組織の病態生物学、歯科学報 119(5): 365-370, 2019.
29. 溝口利英: 硬組織維持に働く幹細胞の新たな研究手法と最近の知見 日本歯科医師会雑誌, 72(8):17-25, 2019
30. 村上和裕, 塩入重彰, 秦正樹, 宮前真, 中林晋也, 大山哲生, 原口美穂子, 服部麻里子, 中島純子, 皆木祥伴, 藤原茂弘, 小野高裕: インプラント治療は上顎欠損患者の 機能回復に有用か? 顎顔面補綴 42:24-32,2019
31. 安松啓子: 油脂の味の独立性を確定的にした神経の発見、アロマリサーチ 20(2):10-11, 2019
32. 安松啓子: 油脂の味は基本味か? —“脂肪酸を感知する神経”とその役割を探る、academist journal (オンラインジャーナル) <https://academist-cf.com/journal/?p=10467>, 2019
33. 山本将仁, 是澤和人, 小川雄大, 廣内英智, 松永智, 佐々木穂高, 小高研人, 笠原正彰, 笠原典夫, 崎山浩司, 阿部伸一: 【超高齢社会への責任、患者に寄り添う歯科医療を目指して】インプラント装着後 身体に現れる加齢変化、日本口腔インプラント学会誌, 32(3):181-188 2019.
34. 山本将仁, 大久保真衣, 太平真理子, 佐々木穂高, 佐藤正樹, 菅野亜紀, 長坂新, 四ツ谷護, 阿部伸一: 歯学の進歩・現状「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」咀嚼嚥下研究部門の経過と展望、歯科学報, 119(1)1-9 2019.
35. 山本将仁, 是澤和人, 小川雄大, 廣内英智, 松永智, 佐々木穂高, 小高研人, 笠原正彰, 笠原典夫, 崎山浩司, 阿部伸一: インプラント装着後: 身体に現れる加齢変化、日本口腔インプラント学会誌 32(3), 181-188, 2019

単行図書

2017 年度

1. Kamichika Hayashi, Takeshi Onda, Satoru Ogane, Masayasu Shibano, Takashi Kamio, Hitoshi Ohata, Nobuo Takano, Takahiko Shibahara.: A Case of Cheilitis Granulomatosa Suspected of Dental Focal Infection.(共著), *Oral science in Japan 2017*.53-53.2018.
2. Kamichika Hayashi, Takeshi Onda, Satoru Ogane, Masayasu Shibano, Takashi Kamio, Hitoshi Ohata, Nobuo Takano, Takahiko Shibahara.: A Case of Mandibular Osteomyelitis in an Elderly Person during Tocilizumab Treatment.(共著) ,*Oral science in Japan 2017*.51-52.2018.
3. Kamichika Hayashi, Takeshi Onda, Satoru Ogane, Masayasu Shibano, Takashi Kamio, Hitoshi Ohata, Nobuo Takano, Takahiko Shibahara.: A Case Report: Oral Appliance Therapy for a Severe Ulcerative Stomatitis of the Oral Dyskinesia Patient.(共著) ,*Oral science in Japan 2017*.55-56.2018.
4. Takeshi Onda, Kamichika Hayashi, Shoichi Sekikawa, Yukio Watabe, Nobuo Takano, Takahiko Shibahara: Odors of Oral Cancer Cells: Potential Use in Oral Cancer Diagnosis.(共著), *Oral science in Japan 2017*.13-14.2018.
5. 阿部伸一, 山本将仁 (共著) : 歯・顎骨の発生 知っておきたい顎・歯・口腔の画像診断. 14-17, 秀潤社, 東京, 2017.
6. 阿部伸一 (共著) : 嚥下器官—嚥下運動関連の解剖学—. 新よくわかる顎口腔機能. 14-17, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017.
7. 奥田克爾, 石原和幸 : *Porphyromonas, Prevotella, Aggregatibacter, Treponema denticola*. 病原細菌・ウイルス図鑑, 新居志郎, 倉田毅, 林英生, 本田武司, 小田紘, 松本明編. 268-271, 437-40, 452-454, 北海道出版会, 札幌, 2017 (共著)

8. 笠原正貴：35 章 歯科における漢方薬. 現代歯科薬理学第 6 版, 394-397, 医歯薬出版株式会社 2018 (共著)
9. 笠原正貴：13 章 全身麻酔薬. 現代歯科薬理学第 6 版, 127-133, 医歯薬出版株式会社 2018 (共著)
10. 笠原正貴：22 章 救急用薬物. 現代歯科薬理学第 6 版, 241-245, 医歯薬出版株式会社 2018 (共著)
11. 片倉朗 (著分担), 柴原孝彦 (監修)：かかりつけ歯科医からはじめる口腔がん検診 Step1・2・3 (韓国語版). 医歯薬出版, 東京, 2017.
12. 片倉朗 (著分担), 夏目長門, 池上由美子 (編集代表)：治療を支える がん患者の口腔ケア. 医学書院出版, 東京, 2017.
13. 片倉朗 (著分担), 下野正基, 山根源之 (監修)：新編 口腔外科病理診断アトラス. 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017.
14. 片倉朗 (執筆者)：すぐひける、現場で役立つ歯科衛生士のためのポケット版最新歯科用語辞典. クインテッセンス出版株式会社第 1 版 2016 年, 文京区, 2017.
15. 片倉朗 (著分担), 猿田享男, 北村惣一郎 (監修)：1336 専門家による私の治療 2017-18 年度版 口腔乾燥症, 口臭症, 口唇裂・口蓋裂. 日本医事新報社, 東京, 2017.
16. 片倉朗, 菅原圭亮 (執筆者)：多職種連携で活用！ポケット版歯科衛生士のための医療用語・福祉用語. 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017.
17. 片倉朗 (著分担), 中川洋一 (編著者)：5 分で読める！知りたい全身疾患 29 Topic 迫りくる超高齢者の急増. 株式会社デンタルダイヤモンド社, 東京, 2017.
18. 片倉朗 (著分担)：歯界展望別冊 臨床のヒント Q&A, Question 59, Question 60. 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017.
19. 片倉朗 (委員)：歯科診療における HIV HBV HCV 感染予防対策 Q&A. 公益社団法人日本歯科医師会 HIV 感染予防対策 Q&A 改定作業委員会, 2017.
20. 片倉朗, 菅原圭亮 (著)：どこをみる？なにがわかる？口腔粘膜疾患識別ガイド [実践編]. The Journal of Dental Hygienist 41(4): 46-56, 2017, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017.
21. 片倉朗, 菅原圭亮 (著)：どこをみる？なにがわかる？口腔粘膜疾患識別ガイド [知識編]. The Journal of Dental Hygienist 41(6): 29-40, 2017, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017.
22. 後藤多津子 (共同執筆)：新歯科放射線学 第 2 版. 医学情報社, 2017 年 3 月 30 日
23. 後藤多津子 (共同執筆)：歯科放射線 第 6 版. 医歯薬出版株式会社, 2018 年.
24. 齋藤淳 (分担執筆)：「糖尿病と歯周病」. 糖尿病における multimorbidity (松岡健平 編), 南山道, 東京, 2017, pp272-277.
25. 齋藤淳 (編集, 分担執筆)：「クラウンのマージンはどこに設定すればよいのでしょうか」(齋藤淳), 「歯周ポケットの深さによる臨床での対応について, わかりやすく教えてください」(齋藤淳), 「歯周病患者への咬合調整について教えてください」(衣松高志, 齋藤淳), 「ビスフォスフォネート系薬剤を服用している患者での SRP は, どのようにすればよいのでしょうか」(大井麻子, 齋藤淳), 「歯肉退縮に関する, 予後因子や補綴前の配慮について教えてください」(勢島典, 齋藤淳), 「トライセクション後のクラウンの形態に関して, 何に配慮し, 具体的にどのような形態にすればよいのでしょうか」(石井善仁, 齋藤淳), 「超音波スケーラーは導入すべきでしょうか. また, どのような場合に使用すべきでしょうか。」(大井麻子, 齋藤淳), 「歯周病による抜歯の基準は, どのような考えればよいのでしょうか」(勢島典, 齋藤淳), 「歯周ポケット内の細菌検査を行うことで, 治療方針は変わるのでしょ

- & A (東京歯科大学歯科学報編集部編), 医歯薬出版, 東京, 2017, p37-40, 105-108, 109-113, 114-118, 122-124, 125-127, 128-130, 131-134.
26. 齋藤淳: 「慢性歯周炎」, 「侵襲性歯周炎」, 「歯周膿瘍」. 1336 専門家による私の治療 2017-18 年度版 (猿田享男, 北村惣一郎 監修), 日本医事新報社, 東京, 2017, p1431-1434.
 27. 齋藤淳 (編著): 新やさしい説明, 上手な治療. 細菌から体を守るプラークコントロール. 永末書店, 京都, 2017.
 28. 新谷誠康 (分担執筆): 小児歯科学 第5版、第6編 心身障害児及び全身疾患児への歯科的対応, 19章 歯科治療上注意すべき小児の全身疾患, I. 先天性疾患, 1. 遺伝子異常, (1) 先天性外胚葉異形成症, (2) 骨形成不全症, (3) 鎖骨頭蓋骨異形成症 (鎖骨頭蓋異骨症), (4) 先天性表皮水泡症, (5) 筋ジストロフィー症. 医歯薬出版株式会社, 389-396, 2017.
 29. 古澤成博、村松敬: 第五版 保存修復学 21 (田上純次、奈良陽一郎、山本一世、齋藤隆史 監修) 第7章 修復の前準備, 第14章 合着・接着. 永末書店京都市, 2017年3月
 30. 松久保隆, 齋藤淳, 松久保/櫻井美和 (編著): 歯科医師・歯科衛生士のための超音波デブライドメント. 一世出版, 東京, 2017.
 31. 松永智、阿部伸一、井出吉信 (分担執筆): 口腔インプラント学 第3版. 31-64, 医歯薬出版株式会社, 2017.
 32. 山口朗、栢森高: 病理組織診断. 最新口腔外科学, 67-70, 医歯薬出版株式会社 2017 (共著)
 33. 吉成正雄 (単著): インプラント材料 Q&A 臨床の疑問に答えるーマテリアル編. 医歯薬出版株式会社 2017.
 34. 吉成正雄 (単著): インプラント材料 Q&A 臨床の疑問に答えるークリニカル編. 医歯薬出版株式会社 2017.

2018 年度

1. 阿部伸一 (分担執筆): MFT アップデート: ライフステージに合わせた口腔機能への対応, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2018.
2. 阿部伸一 (分担執筆): 口腔外科ハンドマニュアル'18, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2018.
3. 阿部伸一 (共訳): ネットター 頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス 第3版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2018.
4. 阿部伸一, 山本将仁 (共訳): プロメテウス 解剖学アトラス 口腔・頭頸部 第2版, 医学書院, 東京, 2018.
5. 阿部伸一 (分担執筆): MFT 臨床 増補カラー版 指導力アップ・アドバンス編, わかば出版, 東京, 2018.
6. 阿部伸一 (共訳): 咬合のサイエンスとアート (Martin Gross), クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2017
7. 石井武展 (分担執筆): 増補カラー版 MFT 臨床 指導力アップ・アドバンス編 山口秀晴、大野肅英、高橋 治、橋本律子監修 わかば出版 2018年 ISBN978-4
8. 石井武展 (分担執筆): ライフステージに合わせた口腔機能への対応 MFT アップデート、大野肅英、山口秀晴、嘉ノ海龍三、高橋 治、橋本律子編著 医歯薬出版 2018年
9. 石原和幸、今井健一、小川知彦、落合邦康、落合智子、葛城啓彰、上西秀則、清浦有祐、古西清司、田中芳彦、中澤太、浜田信城、前田伸子 (共著): 口腔微生物学-感染と免疫- 第6版、119-136, 328, 344-358、学建書院 2018

10. 石原和幸：根面齲蝕の細菌学根面齲蝕の臨床戦略、杉原直樹、高柳篤史編、根面齲蝕の臨床戦略、47-52、クインテッセンス出版、2018
11. 恩田健志、柴原孝彦：口腔外科のレベルアップ&ヒント、72-77、デンタルダイヤモンド社 2019（共著）
12. 音成実佳、後藤多津子：「顎関節の画像診断」口腔外科のレベルアップ&ヒント、144-147、共同執筆 デンタルダイヤモンド社
13. 笠原正貴：付録「物理・化学」、「救急医薬品」、歯科麻酔学第 8 版、558-571、医歯薬出版株式会社 2019（共著）
14. 後藤多津子：「MRI」歯科放射線 第 6 版 (2)、教科書共同執筆、医歯薬出版(株)、2018 年 12 月 20 日
15. 齋藤淳（分担執筆）：「GTR と EMD を使用した再生療法の治療成績」（富田幸代、齋藤淳）、「再生療法の種類と特徴、適応症」（色川大輔、齋藤淳）、「おもな国内未承認材料の種類と特徴」（鈴木瑛一、齋藤淳）.聞くに聞けない歯周病治療 100（若林健史 総監修、小方頼昌 監修）、医歯薬出版、東京、2018,p104, 106-107, 108-109.
16. 齋藤淳（翻訳）：「CHAPTER 20 歯周病の概論」.オーラルバイオロジー 一病態から学ぶ歯科基礎医学一（片倉朗、里村一人、木本茂成 監訳）、南江堂、東京、2018, p157-166.
17. 齋藤淳（分担執筆）：「歯周疾患のリスク評価」「スケーリング」「歯科衛生ケアプロセスに基づく歯科衛生士の臨床」.口腔衛生学 2018, 東京、一世出版, 2018, pp 238-245, pp 275-277, pp 305 -306
18. 齋藤淳（分担執筆）：「7 章 開発を防ぐ医療ニーズの把握とシーズの探索・目利きのポイント 4 節 歯科領域での再生治療の現状と医薬品・医療材料ニーズ」.「医薬品・医療機器・再生医療」開発におけるオープンイノベーションの取り組み事例集、技術情報協会、東京、2018, p219-224
19. 櫻井敦朗、安部晴美：第 17 章 う蝕の予防処置と進行抑制、歯科衛生士講座 小児歯科学、190-210、永末書店、2018.
20. 新谷誠康（編集主幹）：歯科衛生士講座 小児歯科学、永末書店、京都、2018.4.3
21. 末石研二（分担執筆）歯科矯正学第 6 版 6 章 116-121、16 章 217-224、17 章 282-283 医歯薬出版株式会社、東京、2019
22. 高橋慎一：口唇炎 皮膚疾患最新の治療 2019-2020：261、南江堂 東京 2019 年 1 月 10 日
23. 立木千恵、末石研二（分担 共著）：Q4.外科的矯正治療の顎矯正手術に MFT はなぜ必要なのですか？MFT アップデート、126-128、医歯薬出版株式会社 2018
24. 松永智、阿部伸一、橋本正次、井出吉信：口腔解剖学 第 2 版（分担執筆）、P5-17 第 2 章 骨学総論、P18-30 第 3 章 筋学総論、P94-120 第 10 章 頭頸部の骨、P202-207 第 16 章 加齢と歯の喪失に伴う顎骨の変化、医歯薬出版、東京、2018
25. 村松敬：象牙質・歯髄複合体の病変、p48-66、第 2 版 新口腔病理学（下野正基、高田隆、田沼順一、豊澤悟 編集）医歯薬出版、東京、2018 年 4 月
26. 森川貴迪、柴原孝彦：口腔外科のレベルアップ&ヒント、240-245、デンタルダイヤモンド社 2019（共著）
27. 山本信治、柴原孝彦：口腔外科のレベルアップ&ヒント、82-91、デンタルダイヤモンド社 2019（共著）

2019 年度

1. 阿部伸一（分担執筆）：口腔外科のレベルアップ&ヒント，デンタルダイヤモンド社，東京，2019.
2. 阿部伸一（分担執筆）：歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション 第2版，医歯薬出版，東京，2019.
3. 阿部伸一（分担執筆）：歯科局所麻酔ガイドブック，HYORON，東京，2019.
4. 阿部伸一（編集，分担執筆），松永智（分担執筆），山本将仁（分担執筆）：やさしくわかる歯と口腔のビジュアルガイド，医歯薬出版，東京，2019
5. 池田一洋，酒井遼，田坂彰規：聞くに聞けない補綴治療 100、第3章パーシャルデンチャー/51 支台装置の種類、デンタルダイヤモンド社 2019
6. 石原和幸：歯周炎と歯肉縁下細菌叢の関係に関する研究の現状、歯科医師・研究者チームによる 歯周治療のコンセンサス 1 歯周炎の新分類（2017）、20-27、インターアクション株式会社 2020（共著）
7. 石原和幸：第4節 歯周治療と歯肉縁下マイクロバイオーーム、新訂 ヒトマイクロバイオーーム研究最前線 ～解析データの取り扱いから医療分野、食品などへの新規産業利用まで～、エヌ・ティー・エス 2020（共著）(in press)
8. 今井裕樹，新谷誠康（編集主幹）：第2章 心身の発育、小児歯科学ベーシックテキスト 第2版、9-30、永末書店 2019（共著）
9. 上窪祐基，田坂彰規，山下秀一郎：聞くに聞けない補綴治療 100、第3章パーシャルデンチャー/51 支持・把持・維持、デンタルダイヤモンド社 2019
10. 大久保真衣：口周辺に運動障害が出たときのリハビリテーションを教えてください、患者さんと家族のためのよくわかる口腔がん治療、79-81、インターアクション、2019
11. 大久保真衣：栄養管理、新・口腔外科はじめましょう 152-155、デンタルダイヤモンド社、2020
12. 小野高裕，阪井丘芳，前田芳信，堀一浩，野原幹司，小谷泰子，中島純子，熊倉勇美：新版 開業医のための摂食・嚥下機能改善と装置の作り方 超入門 口腔機能低下症・摂食機能療法・舌接触補助床（PAP）の基本がわかる Q&A 55，第5章 PAPの目的と効果 p.52-59. クインテッセンス出版株式会社，東京都，2019（分担執筆）
13. 恩田健志，柴原孝彦：一般社団法人日本小児口腔外科学会編著 子どもの口と顎の異常・病変 歯原性腫瘍・歯原性嚢胞：クインテッセンス出版 49-60,2019.
14. 恩田健志，柴原孝彦：口腔外科のレベルアップ&ヒント 歯原性腫瘍の診断と治療 デンタルダイヤモンド社 72-77,2019
15. 恩田健志：新・口腔外科はじめましょう Chapter 6 絶対に必要な薬剤の選択と使い方：デンタルダイヤモンド社 228-229,2019.
16. 片倉朗（編集）：新・口腔外科はじめましょう、100-104、デンタルダイヤモンド社
17. 片倉朗（分担加筆）：歯科診療の幅を広げる医科との連携-保険算定要件から治療対応のポイントまで、24-31、株式会社ヒョーロンパブリッシャーズ
18. 片倉朗（分担加筆）：今日の治療指針 私はこう治療している、口腔感染症と他臓器への影響、1656-1657、医学書院
19. 片倉朗（監修）：よくわかる口腔がん治療、インターアクション株式会社
20. 片倉朗（分担加筆）：臨床で遭遇する口腔粘膜疾患に強くなる本、クインテッセンス出版株式会社
21. 片倉朗（分担加筆）：やさしくわかる歯と口腔のビジュアルガイド、医歯薬出版株式会社

22. 片倉朗 (分担加筆) : 5分で読める! 知りたい全身疾患 29、140、デンタルダイヤモンド社
23. 片倉朗 (分担加筆) : 美しく老いるために、高齢者診療時の注意点 818-824、金原出版株式会社
24. 片倉朗 (分担加筆) : 歯科衛生士のための口腔内科 全身と口腔をつなぐオーラルメディシン、医歯薬出版株式会社
25. 片倉朗 (分担加筆) : 歯科衛生士のための病院における医科歯科連携・口腔機能管理マニュアル、医歯薬出版
26. 片倉朗 (分担加筆) : 認知症の人への歯科治療ガイドライン、医歯薬出版株式会社
27. 片倉朗 (分担加筆) : 臨床のヒント Q&A、192-196、医歯薬出版株式会社
28. 片倉朗 (分担加筆) : Dental Tribune、エキスパートに聞く、3、Dental Tribune Japan Edition
29. 片倉朗 編集、菅原圭亮 共著 : 新・口腔外科はじめましょう、デンタルダイヤモンド社 2019
30. 片倉朗 (編集)、西山明宏 (分担加筆) : 新・口腔外科はじめましょう、100-104、デンタルダイヤモンド社
31. 後藤多津子 : 新・口腔外科はじめましょう「頭頸部 CT の読影の基本」「CT と MRI の造影」デンタルダイヤモンド社 2020.1.1 共同執筆
32. 後藤多津子 : やさしくわかる歯と口腔のビジュアルガイド (井出吉信監修) Chapter 3 エックス線画像が教えてくれる情報を整理する。「パノラマエックス線画像ビジュアルガイド」「小児のパノラマエックス線画像」「口内法エックス線画像ビジュアルガイド」「口内法エックス線画像からわかる疾患・異常像」「歯科用コーンビーム CT から何がわかるの?」「脳には地図がある」「VF 検査で何がわかるの?」136-157、医歯薬出版株式会社 2019 共同執筆
33. 後藤多津子 : 口腔・歯・顎・顔面ポケット画像解剖 医学情報社 2019.2.15 共同執筆
34. 後藤多津子、小高研人、阿部伸一 (分担執筆) : やさしくわかる 歯と口腔のビジュアルガイド : 142-145、医歯薬出版、東京、2019
35. 齋藤淳 (編著) : 歯科衛生士講座 歯周病学 第4版、永末書店、京都、2019.
36. 齋藤淳 (編集主幹, 分担執筆) : 「歯周基本治療とは」「歯周組織再生療法」ザ・ペリオドントロジー第3版、永末書店、京都、2019 pp 107-110, pp 159-169
37. 齋藤淳 : 「慢性歯周炎」, 「侵襲性歯周炎」, 「歯周膿瘍」1336 専門家による私の治療 2018-19 年度版 (猿田享男, 北村惣一郎 監修)、日本医事新報社、東京、2019.
38. 櫻井敦朗, 新谷誠康 (編集主幹) : 第11章 齶蝕の予防と進行抑制、小児歯科学ベーシックテキスト 第2版、197-214、永末書店 2019 (共著)
39. 櫻井敦朗, 新谷誠康 (編集主幹) : 第1章 予防填塞と小児の歯冠修復 1. フィッシャーシーラント (予防填塞)、小児歯科学クリニカルテキスト 第2版、1-4、永末書店 2019 (共著)
40. 櫻井敦朗 (共著) : 7章 小児の歯内療法 03 幼若永久歯の歯内療法、小児歯科のレベルアップ&ヒント、82-83、2019.
41. 櫻井敦朗 (共著)、新谷誠康 (編集主幹) : 第11章 齶蝕の予防と進行抑制、小児歯科学ベーシックテキスト第2版、197-214、2019.
42. 櫻井敦朗 (共著)、新谷誠康 (編集主幹) : 第1章 予防填塞と小児の歯冠修復、1. フィッシャーシーラント (予防填塞)、小児歯科学クリニカルテキスト第2版、1-4、2019.

43. 佐藤正樹：やさしくわかる歯と口腔のビジュアルガイド Visual Guide for Dental Medicine, 63 ページ、医歯薬出版、東京、2019
44. 柴原孝彦：内の目外の目(第 201 回)「口腔がん撲滅委員会」って何?、日本歯科医師会雑誌 72(5), 380-381, 2019.
45. 柴原孝彦：口腔がんから国民を救う!、The Quintessence 38(4), 751-752, 2019.
46. 澁川義幸：口腔顎顔面痛の神経生理、In: 口腔外科のレベルアップ&ヒント (片倉朗編著)、デンタルダイヤモンド社、2019、pp. 48-49
47. 新谷誠康：Chapter 1 歯と歯質の異常・病変 子どもの口と額の異常・病変 歯と顎骨編、8-20、クインテッセンス出版株式会社 2019 (共著)
48. 新谷誠康：第 2 章 乳幼児の口腔健康診査のポイント、乳幼児の口と歯の健診ガイド 第 3 版、33, 37, 41, 45、医歯薬出版株式会社 2019 (共著)
49. 新谷誠康：8 章 硬組織異常への対応 [01] MIH (Molor Incisor Hypomineralization) 小児歯科のレベルアップ&ヒント/珠玉のアイディア&テクニック、86-87、デンタルダイヤモンド社 2019 (共著)
50. 新谷誠康 (編集主幹)：第 1 章 小児歯科学の意義と目的 第 4 章 歯の発育と異常、小児歯科学ベーシックテキスト 第 2 版、1-7, 67-96、永末書店 2019 (共著)
51. 菅野亜紀：歯科衛生学辞典、全国歯科衛生士協議会監修、株式会社永末書店 2019 (分担執筆)
52. 菅野亜紀、大屋朋子：歯科衛生士のための病院における医科歯科連携・口腔機能管理マニュアル、116-143、日本歯科衛生士会監修、医歯薬出版株式会社 2019 (分担執筆)
53. 辻野啓一郎、新谷誠康 (編集主幹)：第 13 章 歯内療法、小児歯科学ベーシックテキスト 第 2 版、241-273、永末書店 2019 (共著)
54. 辻野啓一郎、新谷誠康 (編集主幹)：第 2 章 歯内療法、小児歯科学クリニカルテキスト 第 2 版、32-513、永末書店 2019 (共著)
55. 中島純子：認知症の人への歯科治療ガイドライン (老年歯科医学会編集、7 章 認知症患者のう蝕治療、9 章 認知症患者の歯科補綴治療 (9-1 CQ：認知症患者の義歯の使用が可能と判断する要因は何か?))、医歯薬出版、東京都、2019 (分担執筆)
56. 中島純子：歯科医院で認知症の患者さんに対応するための本 (平野浩彦、枝広あや子、本橋佳子編)、ーガイドラインに基づいた理解・接遇・治療・ケアー3 章 認知症の患者さんへの歯科治療 5 補綴の考え方について、医歯薬出版、東京都、2019 (分担執筆)
57. 西山明宏：精密触覚知覚検査の算定基準および検査方法、デンタルダイヤモンド 2019 年 6 月号、デンタルダイヤモンド社
58. 西山明宏：下歯槽神経[私の治療]、日本医事新報、55、日本医事新報社
59. 本間宏実、櫻井敦朗、新谷誠康：実践編 02 齶蝕に対する処置、かかりつけ歯科医のための小児歯科ガイドブック、88-112、医歯薬出版株式会社 2019 (共著)
60. 本間宏実、櫻井敦朗、新谷誠康 (分担執筆)：02 齶蝕に対する処置、かかりつけ歯科医のための小児歯科ガイドブック、88-112, 2019.
61. 村松敬：第 7 版 保存修復学 (千田彰、宮崎真至、林美加子、向井義晴、斎藤隆史 編)、第 4 章 VIII 修復治療の前準備・補助法 p129-138, IX 修復物の具備すべき形状と面の性質 p138-140、医歯薬出版、東京、2019 年 9 月
62. 村松敬：私の治療 [2019-20 年度版] (猿田享男、北村惣一郎監修) §19 歯科口腔外科疾患 (柴原孝彦編集)、§19-15 齶蝕、歯髄炎、日本医事新報社、<https://www.jmedj.co.jp/premium/treat2019/data/0019/?page=16>

63. 渡邊章: 口腔外科のレベルアップ&ヒント 5章先天異常 [01] 口唇裂・口蓋裂の障害・継発症・治療の流れ、p98-105 デンタルダイヤモンド社, 東京, 2019
64. 渡邊章: 新口腔外科はじめましょう。Chapter 5 必ず習得したい手術手技 1 切開法、p88-193 デンタルダイヤモンド社, 東京, 2020

招待講演・シンポジウム

2017 年度

1. Emmanuelle Courtiol, Alfred Fontanini, Jon H. Kaas, Roberto Vincis, Tazuko K. Goto, Donald A. Wilson.: 'Chemosensory thalamus'.
2. Saito A.: Forum: Advances in Dental Aesthetic. 1st IIUM International Dental Conference, Oct. 7, 2017, Kuantan, Malaysia, Program p.7.
3. Saito A.: Periodontal regeneration: current approach and prospects of novel biological treatment. 1st IIUM International Dental Conference, Oct. 8, 2017, Kuantan, Malaysia, Program p.8.
4. Tazuko K. Goto.: Connectivity between insular cortex and thalamus in humans and taste intensity. April 25-29, 2017, AChemS, FL, USA.
5. 東俊文、小野寺晶子、齋藤暁子、中村貴、大庭伸介、小崎健次郎、山口朗、柴原孝彦: iPS 細胞を用いた顎骨疾患病態解明へのアプローチ. 第 59 回歯科基礎医学会総会学術大会アップデートシンポジウム, 2017 年 9 月 16 日, 松本歯科大学
6. 阿部伸一: 摂食嚥下に関する口腔解剖学. 口腔医科学会学術講演会, 2017 年 10 月 15 日, 東京大学鉄門講堂, 文京区.
7. 阿部伸一: 幼児・学童期から高齢者に至る“咀嚼・嚥下機能の獲得と衰え”ーサルコペニアとオーラルフレイルを考えるー. 東京慈恵会医科大学 NST (栄養サポート) セミナー, 2017 年 1 月 27 日, 東京慈恵会医科大学大学 1 号館 5 階講堂, 港区.
8. 石井武展: Class II 症例に対する診断と治療: Class II 症例に対する術後後戻りへのメネージメント. 第 3 回冬期口腔外科臨床研究会. 2018 年 2 月 15 日-17 日、ホテルルーセントタカミヤ、山形
9. 石井武展: The 9th Technical Seminar for Maxillofacial Studies. 2018 年 3 月 17 日-18 日、Wink Aichi.
10. 石井武展: 第 33 回口唇口蓋裂チームアプローチ研究会: 口蓋形成術(Perko 法)の実際、2018 年 1 月 17 日、慶應義塾大学病院
11. 石原和幸: 口腔フローラと全身疾患との関わり 口腔細菌とアテローム性動脈硬化症. 第 19 回日本臨床腸内微生物学会, 2017 年 8 月 27 日, 東京都
12. 笠原正貴: 特別講演・薬理学講座の今後の展開. 第 303 回東京歯科大学学会・例会, 2017 年 6 月 3 日, 東京歯科大学
13. 笠原正彰: ヒト顎骨におけるナノ構造特性研究、第 626 回理工懇談会、2017 年 12 月 15 日、ホテルグランドヒル市ヶ谷
14. 笠原正彰: ヒト顎骨におけるナノ構造特性研究、日本歯科理工学会関東地方会夏期セミナー、2017 年 8 月 9 日、湘南国際村 IPC 生産性国際交流センター
15. 後藤多津子: 「うま味と脳: うま味が脳を育てる」 「うま味による脳賦活: ヒト fMRI による研究」. うま味研究会 公開シンポジウム, 2017 年 6 月 9 日, 東京.
16. 後藤多津子: 「世界をめざす日本人歯科医師に伝えたい秘訣」. 九州大学歯学研究院大学院特別講義「細胞生物学特論」, 2017.12.22, 福岡.
17. 後藤多津子: 「日本の歯学を世界一にするために」. 九州大学歯学部創立 50 周年記念シンポジウム, 世界で活躍する同窓生, 2017.11.3, 福岡.
18. 後藤多津子: 「脳機能解析によるグルタミン酸の基本味増強の検証」. コク研究会 公開シンポジウム, 2017.8.25, 東京.

19. 後藤多津子: 3DMRI で下顎側方偏位症例の形態と機能を診る. 日本顎変形症学会, 教育講演, 2017.6.15-16, 東京.
20. 後藤多津子: 4D 画像で体内を診るーアゴ、顔、脳機能ー. 入試ガイダンス・オープンキャンパス模擬講義, 2017.8.6, 東京.
21. 後藤多津子: おいしさの脳内認知機構. 東京医科歯科大学咬合機能矯正学分野, 7.19.2017. 東京.
22. 後藤多津子: デンタル&パノラマで診た病変の CT 画像のあれこれ. 東歯浅草歯科医師会, 2017.5.23, 東京.
23. 後藤多津子: ヒトのうま味認知における脳機能ネットワークの全脳解析ーfunctional MRI studyー. うま味研究助成成果発表会, 2018.1.19, 東京.
24. 後藤多津子: 九州大学歯学研究院大学院特別講義「細胞生物学特論」「日本人歯科医師がグローバルに活躍するための3つの秘訣」. 2017.1.13, 福岡.
25. 後藤多津子: 高解像 3D MRI を用いた非侵襲的で規格的な顎変形症の形態と機能診断: 下顎側方偏位症例について. 第 76 回日本矯正歯科学会学術大会 サテライトセミナー, 2017.10.18, 札幌.
26. 後藤多津子: 歯科用コーンビーム CT 有効活用のポイント. 東京都歯科医師会, 2017.9.3, 東京.
27. 後藤多津子: 歯内療法における歯科用コーンビーム CT の活用. 日本歯内療法学術大会シンポジウム (日韓合同), 7.22-23.2017, 東京.
28. 後藤多津子: 東京歯科大学口科研センターワークショップ. 2017.2.21, 東京.
29. 後藤多津子: 東京歯科大学女性活躍推進委員会 特別講演, 2017.6.6, 東京.
30. 柴原孝彦: 顎骨壊死ポジションペーパー2016 インプラント埋入の是非を考える, 日本口腔インプラント学会誌 (0914-6695)30 巻 3 号 Page E133-E134
31. 柴原孝彦: 見逃してはならない! 口腔がん. 日本顎咬合学会誌: 咬み合わせの科学 (1346-8111)37 巻特別号 Page44
32. 柴原孝彦: 口腔インプラント治療の光と影 最近の偶発症、特に下歯槽神経損傷の実態. 日本口腔インプラント学会学術大会抄録集 47 回 Page np9
33. 柴原孝彦: 他科領域のマイクロサージェリーに学ぶ 歯科・口腔外科医の立場から、日本眼科学会雑誌 (0029-0203)121 巻臨増 Page60
34. 柴原孝彦: 薬剤関連顎骨壊死についての最新ポジションペーパー(会議録)、核医学 54 巻 Suppl. Page S159
35. 澁川義幸: なぜ歯が痛くなるのかー痛みメカニズム、健康は口から歯から嚙下からー. 特定非営利活動法人 日本歯科保存学会 無料公開講座, 2017 年 10 月 28 日, 東京都.
36. 澁川義幸: 加齢現象からみた臨床口腔生理: 老年医歯科学を理解する高齢者の生理機能変化. 平成 28 年度 群馬県地域医療介護総合確保基金事業 講演会, 2017 年 1 月 29 日, 前橋市.
37. 澁川義幸: 口腔と TRP チャネル. 岩手医科大学歯学研究科特別セミナー, 2017 年 7 月 18 日, 盛岡市.
38. 澁川義幸: 象牙質/歯髄複合体に生じる歯痛の分子細胞基盤: 最新の知見から. 2017 年度 日本歯内療法学会 研修会, 2017 年 3 月 19 日, 千葉市.
39. 澁川義幸: 食育における味覚の基礎. 板橋区 学校歯科講演会, 2017 年 2 月 23 日, 板橋区.
40. 澁川義幸: 味覚と美味しさの科学. 杉並区 学校歯科講演会, 2017 年 3 月 10 日, 杉並区.

41. 新谷誠康：5歳児の歯科健診ー見逃しては行けないこと、見て見ぬ振りをしても許されること。講演，東京都中野区歯科医師会学術講演会，2017年4月25日，東京
42. 新谷誠康：もう一度確認したい小児歯科 2ー乳歯の歯内療法から保険、咬合誘導までー。講演，東京都杉並区学校歯科医会講演会，2017年10月16日，東京
43. 新谷誠康：安心確実な小児歯科臨床ー齲蝕に関連した治療についてー「小児歯科を極める」。講演，第35回日本顎咬合学会，2017年6月11日，東京
44. 新谷誠康：歯の形成不全 MIH を知っていますか？。講演，第12回千葉県学校歯科保健研究大会，2017年11月2日，千葉
45. 新谷誠康：歯の形成不全：知っておきたいこと、やっておきたいこと シンポジウム3「かかりつけ小児歯科医が伝えたい歯科のトピックス」。第64回日本小児保健協会学術集会，2017年7月1日，大阪
46. 新谷誠康：歯科からみた低ホスファターゼ症ー小児科と小児歯科の連携のためにー。シンポジウム，第2回千葉県小児臨床カンファレンス 低ホスファターゼ症シンポジウム，2018年1月14日，千葉
47. 新谷誠康：歯科医師が関わる骨系統疾患～低ホスファターゼ症を中心に。講演，千葉県小児歯科医会学術講演会，2017年4月9日，千葉
48. 新谷誠康：若手歯科医師に伝えたい小児歯科治療の考え方。第4回若手支援セミナー。講演，日本大学歯学部同窓会・東京歯科大学同窓会，2017年10月22日，東京
49. 新谷誠康：小児の歯科診療ー大学で習ったこと、習わなかったことー。講演，第70回栃木県歯科医学会，2017年11月3日，宇都宮
50. 新谷誠康：小児歯科の知識、アップデートしていますか？。講演，沖縄県歯科医師会，平成29年度歯科医療従事者技術向上支援研修会，2018年1月21日，那覇
51. 新谷誠康：低ホスファターゼ症ー歯科医が関わる骨系統疾患ー。講演，東京都板橋区歯科医師会講演会，2018年2月14日，東京
52. 新谷誠康：低ホスファターゼ症ー歯科医師が鍵を握る骨系統疾患ー。講演，平成29年度日本一般臨床医矯正研究会例会，2017年9月10日，東京
53. 新谷誠康：齲蝕と間違えやすいエナメル質形成不全。教育講演，第35回日本小児歯科学会九州地方会，2017年11月19日，佐賀
54. 山口朗、東俊文、石原和幸、後藤多津子：「私立大学研究ブランディング事業」。2018.1.29，東京。
55. 山口朗：PTHの骨形成促進作用における基礎研究の展開。第7回骨・軟骨フロンティア，2017年11月11日，ベルサール八重洲（東京駅八重洲口）
56. 吉成正雄：アバットメント／上部構造と軟組織の関係を紐解く。デンタルコンセプト21，2017年6月18日，東京。
57. 吉成正雄：歯科材料とフッ化物応用（シンポジウム2：フッ化物応用に対する新しい認識）。第66回日本口腔衛生学会総会，2017年6月1日，山形市。

2018年度

1. Abe S.: Morphological changes about the TMJ and joints of the larynx in the elderly, 8th Asia Pacific International Congress of Anatomists and 68th Korean Association of Anatomists, Oct. 28, 2018, Busan, Korea
2. Goto TK: Workshop: To be Dental Professionals. Exchange ideas and think diversity in Science with IADR President, Professor Rena D'Souza. Sep 4, 2018. Fukoka, Japan
3. Saito A: Biofilm and anti-infective therapy. Joint session with Japanese Society of Periodontology, 9th Conference of the European Federation of Periodontology, 2018.6.20, Amsterdam, The Netherlands, Final Programme, p20, 2018.

4. Shibukawa, Y: Odontoblast Hydrodynamic Receptor Theory. 96th General Session & Exhibition of the IADR, IADR Pan European Regional Congress, July 25-28, 2018, London, UK, 96th IADR Program Book, 555, 2018
5. 阿部伸一：インプラント装着後：身体に現れる加齢変化のチェックポイント，シンポジウムⅢ「歯周領域における再生的アプローチその現状と課題」，第61回春季日本歯周病学会学術大会，2018年6月2日，京王プラザホテル（東京歯科大学主催）
6. 阿部伸一：シンポジウム「顎顔面痛と顎関節の解剖」，第36回日本顎咬合学会学術大会，2018年6月10日，東京フォーラム
7. 阿部伸一：シンポジウム「超高齢社会への責任、患者に寄り添う歯科治療を目指して」，第48回日本口腔インプラント学会学術大会，2018年9月15日，大阪国際会議場
8. 石原和幸：歯周炎のマイクロバイオーム解析、アップデートシンポジウム6 生命情報ビッグデータから病態解明へー次世代シークエンスデータをいかに生かすか？ 第60回歯科基礎医学会学術大会，2018年9月5日-7日，九州大学
9. 小野寺晶子：遺伝子解析を用いた Golrin 症候群メカニズムの検討、アップデートシンポジウム6 生命情報ビッグデータから病態解明へー次世代シークエンスデータをいかに生かすか？ 第60回歯科基礎医学会学術大会，2018年9月5日-7日，九州大学
10. 河野通良、Oral microbiome analysis in patients with palmoplantar pustulosis、第1回 Scientific Conference by PPP Experts 2019、2019年1月26日、大手町サンケイプラザ
11. 国分栄仁：*Treponema denticola* の細胞侵入機構の解析，第306回東京歯科大学学会総会，平成30年10月20日-21日，東京歯科大学
12. 後藤多津子：～臨床と私～ 小児の放射線リスクと埋伏歯の画像診断、第56回日本小児歯科学会大会、2018年5月11日、大阪
13. 後藤多津子：デンタル、パノラマ X 線画像とコーンビーム CT の読影、2018TDC アカデミア臨床セミナー 画像診断セミナー、2018年5月20日
14. 後藤多津子：デンタル、パノラマ X 線画像とコーンビーム CT の読影、目黒区歯科医師会第1回学術講演会、2018年5月23日
15. 後藤多津子：口から脳へ：平均寿命世界一の香港人における塩味の強さとコク味の脳内 認知機構、基礎歯科医学会、2018.9.7、福岡
16. 後藤多津子：口腔内と脳の認知機能から考えるおいしい減塩食、国際食品素材・添加物展・会議、ヘルシーフードエキスポ、2018.5.18、東京
17. 後藤多津子：頭頸部における画像応用最前線、理工懇談会、2018.11.16、東京
18. 後藤多津子：日常臨床に役立つ画像診断と被曝の正当化・最適化、そして説明法ーデンタル、パノラマ、CBCT、CT についてー、東京歯科大学同窓会宮城県支部総会・学術講演、2018.4.14、仙台
19. 桜井敦朗：小児に見られる歯の形成異常、第33回日本小児歯科学会関東地方会、2018年10月7日、宇都宮市文化会館
20. 澁川義幸：口腔機能に対する唾液の重要性、第49回 日本消化吸収学会総会、2018年11月17日（土）、シンポジウム1：消化吸収の生理，消化と吸収、41：pp.36、2018
21. 澁川義幸：象牙質における温度ー機械刺激変換：象牙質/歯髓複合体に生じる歯痛の分子細胞メカニズム、新学術領域研究共催シンポジウム：温度生物学が織りなす生理機能、第60回歯科基礎医学会学術大会、平成30年9月5-7日、福岡市、Journal of Oral Bioscience Supplement, 78, 2018

22. 新谷誠康：アップデートしませんか？小児期の歯の発育不全に関する知識、千葉市歯科医師会 母子保健講演会、2018年10月24日、千葉市総合保険医療センター
23. 新谷誠康：学校では詳しく習わなかった大事な事ー小児の歯の異常（低ホスファターゼ症を含む）ー、千葉県歯科衛生士会主催研修会、2018年6月24日、千葉県歯科医師会館
24. 新谷誠康：似ていても大きく違う小児と成人の歯科治療、TDC アカデミア、2018年9月30日、東京、東京歯科大学新患校舎
25. 新谷誠康：生涯、歯を守るための幼若永久歯への対応ーむし歯が減った今、見えて来たものー、2018モリタ友の会セミナー、2018年7月29日、秋葉原UDXギャラリーネクスト
26. 菅野亜紀：生活期での食べる力を評価する、日本介護歯科衛生士養成協会第16回定期公演、2018年4月22日、西の森歯科衛生士学校
27. 菅野亜紀：嚥下障害に対するアセスメント力を再考するー歯科衛生士が行う病態・嚥下機能評価力とはー歯科衛生士教育におけるアセスメント力の指導、第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会歯科衛生士交流集会、2018年9月8日、仙台国際センター
28. 高橋慎一：基調講演) 皮膚科からみた口腔粘膜疾患 第29回日本臨床口腔病理学会・第11回日本口腔検査学会 東京都 2018年8月25日
29. 高橋慎一：教育講演) 掌蹠膿疱症の病態 第82回日本皮膚科学会東京支部学術大会 東京都 2018年12月1日
30. 鳥山佳則、村松敬、後藤多津子：東京歯科大学研究不正活動防止研修会「研究活動における不正行為」、2016.8.1、東京
31. 中村貴、齋藤暁子、山口朗、東俊文、骨芽細胞分化におけるRUNX2の新奇機能、第306回東京歯科大学学会/東京歯科大学研究ブランディング事業シンポジウム、2018年10月20日、東京歯科大学
32. 溝口利英：遺伝子改変マウスを用いた間葉系幹細胞分化メカニズムの解析、第306回東京歯科大学学会(総会)、東京歯科大学研究ブランディング事業シンポジウム、2018年10月20日、東京歯科大学
33. 溝口利英：骨髄間葉系幹細胞による骨代謝制御、第4回Neo VitaminD Workshop 学術集会、2018年8月24日、都市センターホテル
34. 溝口利英：骨髄間葉系幹細胞による骨代謝調節機構の解析、お茶の水がん学アカデミア第147回集会、2018年9月19日、順天堂大学
35. 溝口利英：骨代謝における骨髄間葉系幹細胞の重要性、産業医科大学第1内科大学院講義、2018年11月6日、産業医科大学
36. 山口朗：顎骨疾患の集学的研究拠点形成：包括的な顎口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現、東京歯科大学同窓会学年代表者会、2018年7月1日、東京歯科大学
37. 山口朗：顎骨疾患の集学的研究拠点形成：包括的な顎口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現、東京歯科大学同窓会東京支部連合、2018年12月1日、東京歯科大学
38. 山口朗：脊椎動物の進化における骨格形成の変遷から骨再生メカニズムを探る、第9回日本再生歯科医学会シンポジウム、東京医科歯科大学、2018年6月24日
39. 吉成正雄：インプラント・顎骨埋入材料、日本化学会第98回春季大会、2018年03月/23日、船橋市
40. 吉成正雄：インプラント用材料の基礎的性質、ユニバーサルインプラント研究会、2018年7月22日、東京

41. 吉成正雄：チタンおよびジルコニアの特性と生体反応，福岡口腔インプラント研究会，2018年5月19日，福岡市
42. 吉成正雄：チタンとジルコニアー最近の話題ー，IIRD インプラント再建歯学研究会，2018年10月14日，東京
43. 吉成正雄：メタルフリー・ジルコニア修復，第33回日本歯科産業学会学術講演会，2018年8月19日，横浜市
44. 四ツ谷護：変形性顎関節症モデルマウスにおける NG2 プロテオグリカンとVI型コラーゲンの相互作用、第306回東京歯科大学学会(総会)、東京歯科大学研究ブランディング事業シンポジウム、2018年10月20日、東京歯科大学

2019年度

1. Azuma, T: Runx2 governs nuclear function and chromatin dynamics ; New Runx2 Paradigm、第308回東京歯科大学学会総会 2019年10月19日、2019 International Symposium Tokyo Dental College Rresearch Branding Project
2. Akira Watanabe : Challenge to safe Orthognathic surgery in our team 第64回日本口腔外科学会総会・学術大会 国際シンポジウム3 2019年10月26日、札幌コンベンションセンター
3. Goto TK, Rose Ngu, Lee P, Yuasa K,: Head and Neck Ultrasound Workshop, IADR June 22, 2019. Vancouver, BC, Canada
4. Goto TK.: Symposium. 'Brain activation and sensory evaluation for gustation' in Neuroimaging and Dentistry: Translational Research based on Brain Imaging. IADR Mar 20, 2020. Washington DC, USA.
5. Ishihara, K: Strategy for colonization by periodontal pathgen *Treponema denticola*、第308回東京歯科大学学会総会 2019年10月19日、2019 International Symposium Tokyo Dental College Rresearch Branding Project
6. Kasahara, Y.N., Kuraoka, M., Kinoh, H.H., Posadas, H.G., Takahashi, A.N., Takeda, S., Okada, T.: Anti-inflammatory therapy using multipotent mesenchymal stromal cells for muscular dystrophy. JSGCT 25th Annual Meeting, July 21th, 2019, 東京大学
7. Mizoguchi T : Hard tissue imaging analysis using genetically modified mice、The7th Seoul Symposium on Bone Health in conjunction with the 31th Spring Scientific Congress of Korean Society for Bone and Mineral Research、2019年6月1日 ソウル、韓国 (Seoul Dragon City)
8. Mizoguchi T : Maintenance of hard tissue homeostasis by mesenchymal stem cells、The16th Meeting of Bone Biology Forum、2019年8月16日、セミナーハウス クロス・ウェーブ幕張
9. Saito A.: The potential of growth factor and cell therapy in periodontal regeneration. International Osteology Symposium Barcelona, 2019.4.26, Barcelona, Spain, Programme English,p.9(https://www.osteology-barcelona.org/fileadmin/user_upload/barcelona2019/pdf/OF_Programm_Barcelona_2019_210x297_EN_final_einzelseiten_low.pdf)
10. Seikou Shintani: Further Development of the Pediatric Dentistry, Dental Medicine Forum, 2019.10.28, Shanghai, China.
11. Seikou Shintani: “Fifty years of collaborative efforts to improve the oral health of children. What have we achieved? Where do we stand? What we envision for the future”-Pediatric Dentistry Association of Asia (PDAA)-, Global Leaders Forum, 27th IAPD (International Association of Paediatric Dentistry) 2019.7.6, Cancun, Mexico.
12. Shibukawa, Y.: Intercellular Communication Between Odontoblast and Neuron Explains Sensory Transduction Mechanism for Dentinal Sensitivity Symposium, Neural and Non-neuronal Cell Communication in Homeostasis and Disease: 97th General session &

- exhibition of the IADR, June 19-22,2019, Vancouver, Canada, 97th General session & exhibition of the IADR Program book 230, 2019
13. Yasumatsu K, Ohkuri T, Shusuke I, Margolskee RF, Ninomiya Y: Contribution of SGLTs to sugar sensing as T1R-independent mechanisms in mouse gustatory tissues. The 18th International Symposium on Molecular and Neural Mechanisms of Taste and Olfactory Perception, 2019年11月2-3日、九州大学
 14. Yasumatsu K: Fatty acid sensors and their functional distributions in mouse taste tissue. 第4回KOB・OBT合同国際シンポジウム、2020年2月8-9日、九州大学
 15. 阿部伸一: 顎の発達 機能衰退を学ぶ, 日本顎咬合学会 第37回学術大会, 2019年6月23日, 東京国際フォーラム, 千代田区
 16. 阿部伸一: 口腔リハビリテーションに必要な機能解剖の知識, 日本口腔リハビリテーション学会, 2019年11月10日, 新潟ユニゾンプラザ, 新潟市
 17. 石井武展: 第15回クラニオフェイシャルワークショップ 特別プログラム2 パネルディスカッション: Cranioorthodontist が形成外科医に求めること 2019年12月14日、藤田医科大学ばんだね病院
 18. 石井武展: 第32回日本顎関節学会総会・学術大会 第6回アジア顎関節学会 併催、イブニングセミナー 矯正歯科治療における下顎頭吸収を考える 2019年7月27日、学術総合センター (一橋講堂)
 19. 小野寺晶子: 近年の再生医療事情 - 幹細胞ってどんなもの?、2019年度東京歯科大学同窓会アカデミア、2019年5月12日、東京
 20. 北村啓: 特徴的な軟骨内骨化を示す翼状突起軟骨の組織学的解明、第61回歯科基礎医学会学術大会アップデートシンポジウム、2019年10月12日~14日、東京都
 21. 木村麻記、東川明日香、戸田はる菜、大山定男、大房航、澁川義幸: 象牙芽細胞におけるアルカリ刺激受容機構、High pH-sensitive intracellular Ca²⁺ signaling pathway in odontoblasts、第61回歯科基礎医学会学術大会、2019年10月12日-14日、東京都千代田区、Journal of Oral Bioscience Supplement, 97, 2019
 22. 後藤多津子: TDC 同窓会大学連携セミナー「歯学研究最先端 顎骨疾患プロジェクトからの医療情報提供」2019.5.12 東京
 23. 後藤多津子: おいしく味わい、楽しくおしゃべりしている時、私たちの脳はどんなふうに活動しているのか TDC 同窓会大学連携セミナー「歯学研究最先端 顎疾患プロジェクトからの医療情報提供」2019.05.12.
 24. 後藤多津子: 脳科学に基づいた塩味認知機能から考えるおいしい減塩食 ifia/HFE 国際食品素材・添加物展・会議、ヘルシーフードエキスポ 2019. 5. 24
 25. 後藤多津子: 毎日役立つ画像診断: デンタル、パノラマ、CTでわかる病変 さらに舌癌から脳機能まで 荏原歯科医師会 2019年12月4日
 26. 佐々木穂高: 東京歯科大学におけるインプラント治療のリスクファクターの探求、日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部 第10回学術シンポジウム、2019年8月4日 東京都、第10回学術シンポジウム抄録集 p24
 27. 柴原孝彦: 2019.10.20 医療連携を重視した口腔外科の歩み、第308回東京歯科大学学会総会
 28. 柴原孝彦: 2019.10.25 MRONJ/BRONJ、第308回東京歯科大学学会総会
 29. 柴原孝彦: 2019.10.26 三叉神経障害の手術療法、第64回日本口腔外科学会総会・学術大会
 30. 澁川義幸: 歯内療法における痛みの分子細胞基盤、メインシンポジウム II 「歯内療法後の難治性疼痛をどうするか」、第24回日本口腔顔面痛学会学術大会、2019年9月29日(日)、川崎市

31. 新谷誠康：歯の形成不全の最近の実情と対応、教育講演Ⅲ、第 36 回日本障害者歯科学会、2018 年 10 月 24 日、2019 年 11 月 24 日、長良川国際会議場（岐阜）
32. 新谷誠康：低ホスファターゼ症の歯科症状 メインシンポジウム 3「骨と筋の遺伝性疾患の遺伝子治療：現状と今後の展望」、第 61 回歯科基礎医学会、2019 年 10 月 14 日、東京歯科大学新館校舎血脇ホール（東京）
33. 菅原圭亮：デジタルデンティストリーをより身近に -3D プリンタ・ヴァーチャルリアリティ技術の応用-、2019 年度東京歯科大学同窓会アカデミア、2019 年 5 月 12 日、東京
34. 菅原圭亮：私たちの行っている顎矯正手術のプレート選択基準と術後マネジメント、第 64 回日本口腔外科学会総会、2019 年 10 月 25 日-27 日・札幌、ランチョンセミナー
35. 高橋有希：低ホスファターゼ症の遺伝子治療、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 14 日、東京歯科大学
36. 高橋慎一：歯科と連携する皮膚疾患、第 11 回日本メタルフリー歯科学会学術大会 2019 年 11 月 16 日、明海大学浦安キャンパス
37. 田坂彰規：海外でのデジタルデンティストリーの流れ、令和元年度東京歯科大学水道橋病院 医療連携報告会・懇親会、2019 年 10 月 2 日、東京歯科大学水道橋校舎本館
38. 中島純子：舌接触補助床アップデートーここが変わったエビデンスと臨床ー 臨床研究論文から探る 舌接触補助床の効果と限界、第 128 回日本補綴歯科学会学術大会、2019 年 5 月 12 日 北海道
39. 溝口利英：In vivo Dynamics of Mesenchymal Stem Cells Maintaining Hard Tissue Homeostasis、Japan Bone Academy 2019、2019 年 12 月 14 日、シェラトン都ホテル 東京
40. 溝口利英：遺伝子改変マウスによるイメージング手法を用いた硬組織研究、第 71 回再生医療カンファレンス、2019 年 7 月 18 日、東京大学
41. 溝口利英：間葉系幹細胞が司る硬組織維持機構の解析、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、アップデートシンポジウム 4、象牙芽細胞・骨芽細胞の cell differentiation アップデート、2019 年 10 月 12 日、東京歯科大学
42. 溝口利英：歯と骨の幹細胞の話、インプラント研究会、2019 年 10 月 6 日、住友化学株式会社 参宮寮
43. 安松啓子：ホメオスタシスのための味覚：脂肪センシングと食調節、都立病院管理栄養士会令和元年度第二回講演会、2019 年 11 月 13 日、都立大塚病院
44. 安松啓子：脂肪酸受容体の舌における部位的・時間的機能分担、第 61 回歯科基礎医学会総会学術大会メインシンポジウム 2、2019 年 10 月 13 日、東京歯科大学
45. 安松啓子：脂肪味・甘味受容のカッティングエッジ、生活環境学部ライフサイエンスセミナー、2019 年 12 月 20 日、奈良女子大学
46. 安松啓子：味覚と健康：脂肪センシング機構と食調節、令和元年度学校関係栄養士研究会、2019 年 10 月 18 日
47. 山口朗：東京歯科大学における研究ブランディング事業、明海大学第 270 回大学院 FD 研修会（総合セミナー）、2019 年 9 月 26 日、明海大学
48. 四ツ谷護：変形性顎関節症モデルマウスにおける NG2 プロテオグリカンと VI 型コラーゲンの相互作用、第 61 回歯科基礎医学会学術大会 アップデートシンポジウム 7、2019 年 10 月 14 日、東京都
49. 渡邊章：私たちの行っている顔面非対称症に対する顎矯正手術、第 29 回日本顎変形症学会総会・学術大会 シンポジウム、2019 年 6 月 8 日、一橋講堂 学術総合センター

50. 渡邊章：東京歯科大学口腔外科 唇顎口蓋裂チーム－理想的なチーム医療を目指して－、2019年12月26日、つくば毛利矯正歯科2019年度第9回セミナー、つくばイノベーションプラザ
51. 渡邊章：連携医療としての顎変形症を考える 歯科大学病院における外科的矯正治療の連携、第29回日本顎変形症学会総会・学術大会 ランチョンセミナー、2019年6月8日、一橋講堂 学術総合センター

学会発表

2017年度

1. Aoki H, Hisanaga Y, Sato M, Azuma T, Saito A: Investigation of the role of RUNX2 during osteoblastic differentiation using iPS cells generated from *Runx2* homo-deficient mouse. Osteology Japan 2017 (第2回), 平成29年6月3日-4日, 東京都文京区, Osteology Japan Abstract, p.19.
2. Aoki H, Suzuki E, Hisanaga Y, Sato M, Azuma T, Saito A.: Investigating the role of RUNX2 during osteoblastic differentiation using iPSCs. The 65th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, Nov.18, 2017, 東京都品川区, Program Book p.17, 90, 2017.
3. Arai T, Sakurai A, Homma H, Nagai N, Shintani S: The developmental process of oral microbiome in Japanese infants.z 10. The developmental process of oral microbiome in Japanese infants. 26th IAPD (International Association of Paediatric Dentistry), 2017年10月7日, Santiago, Chile.
4. Hisanaga Y, Suzuki E, Aoki H, Sato M, Saito A, Saito A, Azuma T: In vitro effect of the combined use of enamel matrix derivative and atelocollagen sponge scaffold on differentiation of mouse induced pluripotent stem cells. American Academy of Periodontology 103rd Annual Meeting, September, Boston
5. Inoue Hiroyuki, Kuroda Hidetaka, Ishikawa Noboru, Kimura Maki, Shibukawa Yoshiyuki, Tazaki Masakazu, Ichinohe Tatsuya: Comparison of electrophysiological properties of P2X7 receptors between neurons and glial cells in rat trigeminal ganglion. 第95回日本生理学会大会, 平成30年3月28-30日, 高松市, The Journal of Physiological Sciences, 68(1): 170, 2018
6. K.Watanabe, N.Morita, H.Ogura, S.Onodera, A.Yamaguchi, T.Shibahara, T.Azuma: Establishment of iPS cells of McCune-Albright syndrome model using CRISPR/CAS9, 第65回国際歯科研究学会日本部会総会・学術大会 昭和大学
7. Katsumi Y, Sugahara K, Koyachi M, Matsunaga S, Odaka K, Mitomo K, Abe S, Takano M, Katakura A.: Technical report of new condylar repositioning method in 3D Model. 第3回日本顎顔面再建先進デジタルテクノロジー学会学術大会, 2017年11月26日, 東京歯科大学.
8. Kimura M, Azuma T, Shintani S: The function of Wnt signal pathway and FGF8 in differentiation of dental mesenchymal cells into odontoblast. 26th IAPD (International Association of Paediatric Dentistry), 2017年10月6日, Santiago, Chile.
9. Kimura M, Sato M, Kojima Y, Higashikawa A, Shiozaki Y, Satou Y, Shigefuji R, Shimada M, Kuroda H, Ogura K, Mochizuki H, Kouno K, Shibukawa Y, Masakazu Tazaki: Alkali- and ADP-sensitive store-operated Ca²⁺ entry (SOCE) mediated by Ca²⁺ release-activated Ca²⁺ (CRAC) channels in rat odontoblasts. 第94回日本生理学会, 平成29年3月28-30日, 浜松市, The Journal of Physiological Sciences, 67(1): S98, 2017.
10. Kimura Maki, Higashikawa Asuka, Kojima Yuki, Terashima-Shigefuji Reiko, Inoue Hiroyuki, Nagai Sayoko, Kamata Satomi, Shimada Miyuki, Kuroda Hidetaka, Ogura Kazuhiro, Mochizuki Hiroyuki, Kouno Kyosuke, Ando Masayuki, Shibukawa Yoshiyuki, Tazaki Masakazu: Odontoblasts express plasma membrane Ca²⁺-ATPase 1 and 4. 第95

- 回日本生理学会大会, 平成 30 年 3 月 28-30 日, 高松市, The Journal of Physiological Sciences, 68(1): 149, 2018
11. Miyai Y, Okamoto-Shibayama K, Sato T, Numata Y, Ishihara K: Isolation and characterization of Dentipain in *Treponema denticola*. 95th International Association for Dental Research (IADR) General Session, 2017 年 3 月 23-26 日, San Francisco, USA.
 12. Morita N, Onodera S, Hasegawa D, Watanabe K, Ogura H, Nomura T, Azuma T: Epidermal differentiation from Gorlin Syndrome- induced pluripotent stem cells. The 65th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, November, Tokyo
 13. Munetada Ishikawa, Takenobu Ishii, Dehwan Choi, Teruo Sakamoto, Kenji Sueishi: Elucidation of the cartilage differentiation control mechanism by fluvastatin application 93rd Congress of the European Orthodontic Society Montreux Switzerland June5-10,2017.
 14. Murakami M, Narita T, Hashimoto S, Shibukawa Y, Sato M: Paracellular fluid secretion and microcirculation in the perfused submandibular gland. 第 94 回日本生理学会, 平成 29 年 3 月 28-30 日, 浜松市, The Journal of Physiological Sciences, 67(1): S97, 2017.
 15. Numata Y, Okamoto-Shibayama K, Sato T, Miyai-Murai Y, Kikuchi Y, Kokubu E, Ishihara K: Regulation of gene expression by marR-like gene in *Treponema denticola*. 95th International Association for Dental Research (IADR) General Session, 2017 年 3 月 23-26 日, San Francisco, USA.
 16. Ogura H, Ishii T, Morita N, Watanabe K, Onodera S, Sueishi K, Azuma T: Investigation of Apert syndrome with disease-specific iPSCs. The 65th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, November 18th, Tokyo
 17. Okano H, Tasaka A, Unno C, Ryu M, Odaka K, Matsunaga S, Abe S, Sakurai K, Yamashita S.: Comparison of Artificial Teeth Arrangement Position of Fabricated Denture between Heat-curing and Additive manufacturing. 2017 CED-IADR/NOF Oral Health Research Congress September 23th 2017 Vienna Austria.
 18. Saito A, Irokawa D, Takeuchi T, Bizenjima T, Noda K, Egawa M.: Combination GTR with xenogenic bone-mineral: A 2.5-year follow-up. 95th General Session of the IADR, March 23, 2017, San Francisco, CA, USA. Program Book, p143.
 19. Suzuki E, Aoki H, Hisanaga Y, Sato M, Azuma T, Saito A: Identification of key factors in bone formation by using transgenic mice. Osteology Japan 2017 (第 2 回), 平成 29 年 6 月 3 日-4 日, 東京都文京区, Osteology Japan Abstract, p.18.
 20. Suzuki E, Aoki H, Hisanaga Y, Sato M, Nakamura A, Azuma T, Saito A.: Gene expression profiling during osteogenic differentiation by using transgenic mice. The JADR/GC Young Investigator Award Competition Finalist, The 65th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, Nov.18, 2017, 東京都品川区, Program and Abstracts of Papers p17, 90, 2017.
 21. Suzuki E., Aoki H., Hisanaga Y., Sato A., Azuma T. and Saito A.: Gene Expression Profiles in Bone Formation by Using Transgenic Mice. American Academy of Periodontology 103rd Annual Meeting, September 10th, 2017, Boston, USA. AAP 103rd Annual Meeting On-Site Program, p55, 2017
 22. T.Muramatsu, K.Matsunaga, C.Ito, Nakakogawa, A.Sugiuchi, R.Sako, M.Furusawa.: Response to light compressive force in human cementoblasts *in vitro*. 95th International Association for Dental Research (IADR) General Session, 平成 29 年 3 月 23-26 日, San Francisco, USA.
 23. Takana A, Shibukawa Y, Ishikawa N, Kitamura K, Yamamoto H, Shintani S: The immunohistochemical studies on odontoblasts as sensory receptor during tooth development. 26th IAPD (International Association of Paediatric Dentistry), 2017 年 10 月 6 日, Santiago, Chile.
 24. Takenobu Ishii, Munetada Ishikawa, Dehwan Choi, Teruo Sakamoto, Kenji Sueishi : THE INCREASE OF MAXILLARY LATERAL EXPANSION LIMIT BY TOPICAL

- APPLICATION OF FLUVASTATIN. 93rd Congress of the European Orthodontic Society Montreux Switzerland June5-10,2017.
25. Takeuchi T, Yoshida W, Suzuki E, Bizenjima T, Seshima F, Saito A: Elucidation of periodontal healing mechanism following application of a self-assembling peptide nanofiber hydrogel. Osteology Japan 2017 (第2回), 平成29年6月3日-4日, 東京都文京区, Osteology Japan Abstract, p.19.
 26. Teruhide Hoshino, Akira Katakura: Can the masseter muscle experience progressive muscle atrophy due to aging?. 95th General Session & Exhibition of the IADR,46th Annual Meeting of the AADR,41st Annual Meeting of the CADR, 2017年3月25日, San Francisco.
 27. Watanabe K, Morita N, Ogura H, Onodera S, Yamaguchi A, Shibahara T, Azuma T: Establishment of iPS cells of McCune-Albright syndrome model using CRISPR / CAS 9. The 65th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, November, Tokyo
 28. Yang L, Miura T, Tanabe K, Takemoto S, Yoshinari M, Kasahara M, Shintani S: An easy method to fabricate Atelocollagen/Gelatin sponge biomaterial with lyophilization technique., 第15回日本再生歯科医学会大会, 2017年10月21日, 大阪
 29. Yang L, Tanabe K, Miura T, Yoshinari M, Takemoto S, Shintani S, Kasahara M: Fluvastatin-loaded atelocollagen/gelatin sponge promotes bone regeneration in calvarial bone defects. 第303回東京歯科大学学会例会, 2017年6月3日, 東京
 30. Yang L, Yoshinari M, Miura T, Tanabe K, Takemoto S, Kasahara M, Shintani S: An easy method to fabricate atelocollagen/gelatin biomaterial with lyophilization technique、第15回日本再生歯科医学会大会, 2017年10月21日, 大阪歯科大学
 31. Yoshiharu Katsumi, Kazuhiro Ito, Keisuke Sugahara, Satoru Matsunaga, Kento Odaka, Keisuke Mitomo, Shinichi Abe, Masayuki Takano, Akira Katakura: Technical report of new condyle repositioning method in 3D Model. 95th General Session & Exhibition of the IADR,46th Annual Meeting of the AADR,41st Annual Meeting of the CADR, 2017年3月25日, San Francisco.
 32. Yoshikawa K, Ota K, Imamura K, Kita D, Yamashita K, Kitamura Y, Saito A, Ishihara K.: Characteriation of adhesion of *Porphyromonas gingivalis* Hgp44 to *Treponema denticola*. 95th International Association for Dental Research (IADR) General Session, 2017年3月23-26日, San Francisco, USA.
 33. Yoshinari M, Takemoto S, Noro A.: Adsorption characteristics of fibronectin and CXCL12 onto super-hydrophilic titanium. 95th General Session & Exhibition of the IADR, 2017年3月24日, San Francisco, Calif., USA.
 34. Yoshinari M.: Influence of osteogenic differentiation medium on hMSCs in 3D-culture with radial flow bioreactor. TERMIS (Tissue Engineering and Regenerative Medicine International Society) EU 2017, 2017年6月28日, Davos, Switzerland.
 35. 青木一充, 松永智, 是澤和人, 小高研人, 山本将仁, 吉成正雄, 矢島安朝, 山口朗, 阿部伸一: 口腔インプラント近傍に新生された骨組織の構造特性. 第304回東京歯科大学学会・総会プログラム Page12(2017.10), 第304回東京歯科大学学会総会, 千代田区.
 36. 青木栄人, 勢島典, 岡村祐利, 齋藤淳: 歯周病学講座ポストグラデュエートコース第20期生による症例提示ー広汎型重度慢性歯周炎に対し歯周組織再生療法を行った一症例ー. 第304回東京歯科大学学会(総会), 平成29年10月22日, 東京都千代田区歯科学報 117:423, 2017.
 37. 東俊文, 小野寺晶子, 齋藤暁子, 中村貴, 大庭伸介, 小崎健次郎, 山口朗, 末石研二, 柴原孝彦: 骨疾患の病態解明と新たな治療法開発への基礎的アプローチ iPS細胞を用いた顎骨疾患病態解明へのアプローチ. Journal of Oral Biosciences Supplement (2187-2333)2017 巻 Page112

38. 阿部伸一、松永智、山本将仁、小高研人：歯の形態を理解するための CAD 実習. 第 36 回日本歯科医学教育学会学術大会, 2017 年 7 月 28 日, 松本市中央公民館.
39. 安部晴美、永井由美子、今井裕樹、眞木吉信、新谷誠康：幼稚園におけるフッ化物洗口実施に向けた保護者の意識調査 (Attitude survey of fluoride mouth rinsing in kindergardens for parents.) . 第 55 回日本小児歯科学会, 2017 年 5 月 25 日, 小倉
40. 荒井亮、太田大聖、秋元佐和子、辻野啓一郎、新谷誠康：上顎正中過剰埋伏歯の三次元的位置の検討. 第 32 回日本小児歯科学会関東地方会, 2017 年 10 月 1 日, 松戸
41. 新居由紀、菊池有一郎、柴山和子、国分栄仁、新谷誠康、石原和幸：*Treponema denticola* 病原因子欠損株における遺伝子発現調節. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 2017 年 9 月 16-18 日, 塩尻市.
42. 池上良、高橋有希、佐藤亨、笠原正貴、村松敬、岡田尚巳：重症乳児型低ホスファターゼ症モデルマウスに対する酵素補充遺伝子治療の顎骨・歯への治療効果. 第 303 回東京歯科大学学会・例会, 2017 年 6 月 3 日, 東京歯科大学
43. 石井武展、木村絵美子、新倉陽一郎、有泉大、安村敏彦、宮崎晴代、坂本輝雄、末石研二、坂本好昭、貴志和生：Hemifacial microsomia における上顎洞容積の左右比較および検討, 第 35 回日本顎顔面外科学会学術集会, 2017 年 11 月 16 日-17 日、電気ビル 共創館
44. 石東叡、山本将仁、永倉遼太郎、廣内英智、森田純晴、阿部伸一：ヒト胎生期における耳神経節と翼口蓋神経節に関する発生形態学的研究. 第 304 回東京歯科大学学会・総会プログラム Page10(2017.10), 第 304 回東京歯科大学学会総会, 千代田区.
45. 石塚久子、三友啓介、古澤成博、村松敬：アルカリ環境下でのヒトセメント芽細胞の反応. 第 147 回日本歯科保存学会, 平成 29 年 10 月 26-27 日, 盛岡市.
46. 石原和幸、新谷誠康、斎藤淳、村松敬、柴原孝彦、秋山泰、山下喜久、岸川浩、大木貴博、瀬田 範行: メタゲノム解析による口腔細菌叢病原性解析. 歯科学報 (0037-3710)117 巻 4 号 Page288-289
47. 井上博之、黒田英孝、一岡理華、木村麻記、佐藤正樹、澁川義幸、田崎雅和、一戸達也：ラット三叉神経節細胞における P2X7 受容体の機能検索. 第 303 回東京歯科大学学会・例会, 平成 29 年 6 月 3 日, 千代田区.
48. 井上博之、黒田英孝、小島佑貴、重藤玲子、東川明日香、石川昂、木村麻記、佐藤正樹、澁川義幸、田崎雅和、一戸達也：ラット三叉神経節細胞における P2X7 受容体の発現検索. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 平成 29 年 9 月 16-18, 塩尻市, Journal of Oral Bioscience Supplement, 307, 2017.
49. 井上博之、黒田英孝、石川昂、木村麻記、澁川義幸、田崎雅和、一戸達也：ラット三叉神経節細胞における P2X7 受容体の電気生理学特性. 第 11 回三叉神経領域の感覚—運動統合機構研究会, 平成 29 年 12 月 2-3 日, 吹田市.
50. 今井裕樹、辻野啓一郎、新谷誠康：根尖性歯周炎に罹患した歯内歯 (上顎側切歯) を治療後に長期観察した 1 例 (Long-term observation of the dens in dente (maxillary lateral incisor).). 第 55 回日本小児歯科学会, 2017 年 5 月 26 日, 小倉
51. 井本大智、大野啓介、片倉朗、高野正行、齊藤力、柴原孝彦：診断に苦慮した IgG4 関連疾患 Mikulicz 病の 1 例. 第 27 回日本口腔内科学会, 第 30 回日本口腔診断学会合同学術大会, 2017 年 9 月 8-9 日, 北海道, 第 27 回日本口腔内科学会, 第 30 回日本口腔診断学会合同学術大会プログラム・抄録集; 161.
52. 宇田川小百合、片桐さやか、前川祥吾、大津杏里、駒崎利奈、佐々木直樹、竹内康雄、石原和幸、和泉雄一：*Porphyromonas gingivalis* の感染が妊娠および胎児に及ぼ

- す影響の評価. 第 60 回日本歯周病学会学術大会, 2017 年 5 月 12 日-5 月 13 日, 福岡市.
53. 大金寛, 関川翔一, 小坂井絢子, 齋藤寛一, 高野正行, 野村武史, 片倉朗, 柴原孝彦, 高野伸夫: 口腔扁平上皮癌における重複癌の臨床的検討. 第 62 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2017 年 10 月 20-22 日, 京都府, 日本口腔外科学会誌 総会特別号(Vol.63); 370.
 54. 大串圭太, 征矢学, 黒田英孝, 倉持真理子, 鈴木奈穂, 布施亜由美, 福島圭子, 黒田真右, 辻野啓一郎, 新谷誠康, 一戸達也: 当地域口腔保健センターでの日帰り全身麻酔システムの構築. 第 34 回日本障害者歯科学会, 2017 年 10 月 29 日, 福岡
 55. 大沢枝里, 山本仁, 新谷誠康: ラット臼歯における髓下葉を伴った根分岐部形成の免疫組織学的観察. 第 26 回硬組織再生生物学会, 2017 年 8 月 19 日, 岡山
 56. 大澤枝里, 山本仁, 新谷誠康: ラット臼歯における髓下葉を伴った根分岐部形成の組織学的、免疫学的観察 (Immunohistochemical studies on the subpulpal lobe formation of rat molar.) . 第 55 回日本小児歯科学会, 2017 年 5 月 26 日, 小倉
 57. 大多和由美, 吉田みずき, 辻野啓一郎, 櫻井敦朗, 福田謙一, 新谷誠康, 池田正一: 障がい者の日帰り全身麻酔下歯科治療に関するアンケート. 第 34 回日本障害者歯科学会, 2017 年 10 月 28 日, 福岡
 58. 大野啓介, 前山恵理, 関根理予, 小坂井絢子, 太尾英子, 菅原圭亮, 別所央城, 高野正行, 齊藤力, 野村武史, 片倉朗, 柴原孝彦: 口腔蛍光観察装置と画像解析ソフトを使用した口腔粘膜疾患の診断方法. 第 71 回日本口腔科学会学術集会, 2017 年 4 月 26-28 日, 愛媛県, 第 71 回日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集; 180.
 59. 大山定男, 木村麻記, 人見涼露, 田崎雅和, 小野堅太郎, 澁川義幸: 象牙質痛は象牙芽細胞と歯髓ニューロンの神経性伝達で生じる. 第 11 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 平成 29 年 12 月 2-3 日, 吹田市.
 60. 大山莉奈, 西井康, 松本高明, 村上沙也加, 小倉弘之, 鍛代秀人, 草場岳, 立木千恵, 野嶋邦彦, 末石研二, 高木多加志, 柴原孝彦: 顔面非対称症例における術前術後の顎骨の移動様相(第 1 報) 軸面での検討. 日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 76 回 Page264
 61. 岡野日奈, 田坂彰規, 小泉ちあき, 竜正大, 小高研人, 松永智, 阿部伸一, 櫻井薫, 山下秀一郎: 加熱重合および積層造形で製作した義歯の人工歯排列位置の比較.
 62. 小川雄大, 山本将仁, 小高研人, 廣内英智, 奈良倫之, 是澤智久, 内藤哲, 橋本圭史, 阿部伸一: ヒト膀胱におけるリンパ管の走行: 膀胱癌手術時の危険部位に関する臨床解剖学的基盤研究. 第 105 回日本解剖学会関東支部学術集会講演要旨集 Page21(2017.11), 第 105 回日本解剖学会関東支部学術集会, 千代田区.
 63. 小川雄大, 森田純晴, 山本将仁, 松永智, 阿部伸一: 筋再生過程における Tcf4 の発現に関する免疫組織化学的検索. The 122nd Annual Meeting of the Japanese Association of Anatomists, Page189(2017.03), 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎市.
 64. 荻原有記, 小田嶋彩乃, 星野立樹, 小野寺晶子, 齋藤暁子, 一戸達也, 東俊文: Effects of FGF8 and KSR on odontoblast differentiation of mouse iPS cells. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 2017 年 9 月 16 日, 塩尻市
 65. 小高研人, 山本将仁, 松永智, 阿部伸一: 歯型彫刻と PC 上で作成させた歯に関する評価の比較. 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, Page40(2017.07), 第 36 回日本歯科医学教育学会, 松本市.

66. 小高研人, 是沢和人, 松永智, 阿部伸一: デジタルファブ리케이션を用いた顎骨模型の精度検証、第 123 回日本解剖学会総会・学術集会、2018 年 3 月、武蔵野市
67. 小高研人, 松永智, 森田純晴、三友啓介、吉成正雄、石本卓也、中野貴由、阿部伸一: 歯科インプラント周囲皮質骨における生体アパタイト結晶配向性. 第 37 回日本骨形態計測学会, 2017 年 6 月 23 日, 大阪国際会議場.
68. 鬼谷薫, 角屋貴則, 三浦奈美, 庄司広和, 柴原孝彦, 本田一文: ACTN4 の遺伝子増幅は Stage I/II 期舌がんの予後予測マーカーである(英語). 日本癌学会総会記事 (0546-0476)76 回 Page P-1291
69. 鬼谷薫, 角屋貴則, 森泰昌, 吉本世一, 渡部幸央, 三浦奈美, 庄司広和, 柴原孝彦, 本田一文: ACTN4 の遺伝子増幅は Stage I/II 期舌がんの予後予測マーカーである. 日本分子腫瘍マーカー研究会誌 32 巻 Page17-18(2017.03)
70. 鬼谷薫, 吉本世一, 三浦奈美, 庄司広和, 加藤健, 柴原孝彦, 本田一文: 次世代シーケンサーによる血中循環腫瘍細胞(CTCs)の遺伝子変異プロファイリング. 日本分子腫瘍マーカー研究会プログラム・講演抄録 37 回 Page65-66
71. 小野寺晶子, 東俊文, 齋藤暁子, 長谷川大悟, 片倉朗, 野村武史, 小崎健次郎, 鄭雄一, 大庭伸介: Gorlin 症候群患者由来 iPS 細胞の骨芽細胞分化能の異常とその分子メカニズム. 第 35 回日本骨代謝学会学術集会, 2017 年 7 月 27 日, 福岡市
72. 恩田健志, 松本暢久, 林幸央, 川上真奈, 柴原孝彦: 擦過細胞診で擬陽性と診断された疣贅型黄色腫の 1 例, 第 26 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会、2017 年 3 月 (金沢市), 第 26 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会プログラム抄録集 P199,2017.
73. 恩田健志, 林幸央, 関川翔一, 松本暢久, 益田遼, 柴原孝彦: 舌扁平上皮癌組織における長寿遺伝子 Sirt1 の発現異常. 日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集 28 回 Page220
74. 恩田健志, 林幸央, 松本暢久, 関川翔一, 柴原孝彦: 口腔癌細胞の臭気を利用した口腔がん診断の可能性, 第 27 回日本口腔内科学会第 30 回日本口腔診断学会合同学術大会 2017 年 9 月 (札幌市), 第 27 回日本口腔内科学会第 30 回日本口腔診断学会合同学術大会プログラム・抄録集 P175.
75. 笠原正彰, 染屋智子, 五十嵐俊男, 愛知徹也, 市川弘道, 吉成正雄, 服部雅之: 微小領域 X 線回折法を用いたヒト上顎皮質骨の BAp 結晶配向性解明. 第 70 回日本歯科理工学会学術講演会, 2017 年 10 月 15 日 (日), 朱鷺メッセ.
76. 笠原正彰, 松永智, 小高研人, 石本卓也, 中野貴由, 染屋智子, 田中健介, 吉成正雄, 阿部伸一, 服部雅之: 微小領域エックス線回折法によるヒト上顎骨のナノ構造特性解明. 第 37 回日本骨形態計測学会, 2017 年 6 月 23 日, 大阪国際会議場.
77. 片野勝司, 西野仁泰, 中島一憲, 武田友孝: アルペンスキー競技における頭頸部外傷に関する調査ー第 66 回全国高等学校スキー大会においてー, 第 30 回日本トレーニング科学会, 日本体育大学 東京・世田谷キャンパス, 平成 29 年 10 月 7-8 日, 東京都, 第 30 回日本トレーニング科学会大会プログラム・抄録集, 71
78. 片野勝司, 武田友孝, 松田祐明, 西野仁泰, 鈴木義弘, 河野克明, 中島一憲, 木下理恵: 第 66 回全国高等学校スキー大会におけるマウスガードに関する調査 (アルペンスキー競技において), 日本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会, 札幌市教育文化会館, 平成 29 年 6 月 17-18 日, 札幌市, 日本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 154
79. 片野勝司, 武田友孝, 松田祐明, 西野仁泰, 鈴木義弘, 河野克明, 中島一憲, 木下理恵: 第 66 回全国高等学校スキー大会における頭頸部外傷に関する調査 (アルペンスキー競技において), 日本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会, 札幌市教育

- 文化会館, 平成 29 年 6 月 17-18 日, 札幌市, 日本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 88
80. 片野勝司, 木下理恵, 西野仁泰, 鈴木義弘, 中島一憲, 武田友孝: 第 66 回全国高等学校スキー大会アルペンスキー競技における外傷に関する調査 第 2 報: 顎口腔系, 頭頸部外傷について, 第 28 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, H29.11.18-19, 国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都)
 81. 加藤禎彬, 西山明宏, 小山侑, 太尾英子, 大野啓介, 柴原孝彦, 片倉朗: 口蓋部に生じた白板症の 2 例. 第 51 回 NPO 法人日本口腔科学会関東地方会, 2017 年 9 月 30 日, 東京都, 第 51 回 NPO 法人日本口腔科学会関東地方会プログラム・抄録集; 24
 82. 門田枝里子, 富田幸代, 齋藤淳, 石原和幸: 慢性歯周炎病巣のマイクロバイオーム解析, 第 304 回東京歯科大学学会 (総会), 平成 29 年 10 月 21 日, 東京都千代田区、歯科学報 117:414, 2017.
 83. 角屋貴則, 左右, 林宰央, 柴野正康, 恩田健志, 成田真人, 大嶋仁, 高木多加志, 柴原孝彦: 小児に認めた腺腫様歯原性腫瘍の一例(会議録/症例報告). 小児口腔外科 (0917-5261)27 巻 2 号 Page75
 84. 兼元妙子, 櫻井敦朗, 今井裕樹, 薬師寺仁, 新谷誠康: 中国上海市における幼稚園児の生活習慣が齲蝕罹患リスクにもたらす影響 (Influence of Lifestyle Factors on Risk of Dental Caries among Children Living in Urban China.) . 第 55 回日本小児歯科学会, 2017 年 5 月 25 日, 小倉
 85. 神尾崇, 翁長欣子, 小郷直之, 山本雅絵, 成田真人, 薬師寺孝, 高木多加志, 柴原孝彦: 顎矯正手術後に顔貌はどのように変化するか?(第 2 報) 顎顔面軟組織形態の長期経時変化の評価. 日本顎変形症学会雑誌 (0916-7048)27 巻 2 号 Page145
 86. 神尾崇, 松本暢久, 林宰央, 恩田健志, 薬師寺孝, 高木多加志, 柴原孝彦, 澁井武夫: FDM 方式 3D プリンタの歯科口腔外科領域への応用と課題. 日本口腔科学会雑誌 (0029-0297)66 巻 2 号 Page172
 87. 上窪祐基, 田坂彰規, 西根万純, 高梨琢也, 本間慎也, 松永智, 阿部伸一, 山下秀一郎: 遊離端欠損部顎堤粘膜に対する光学印象の精度検証 第 2 報 補綴臨床経験の差による比較. 日本補綴歯科学会第 126 回学術大会, 2017 年 7 月 1 日, パシフィコ横浜.
 88. 菊池有一郎, 太田功貴, 柴山和子, 国分栄仁, 齋藤淳, 石原和幸: *Porphyromonas gingivalis* の鉄獲得機構における ECF シグマ因子 PGN_0319 の役割. 第 90 回日本細菌学会総会, 2017 年 3 月 19 日-21 日, 仙台市.
 89. 北村啓, 永倉遼太郎, 山本将仁, 石川昂, 阿部伸一, 山本仁: 下顎頭における外側翼突筋付着メカニズムの解明. 第 105 回日本解剖学会関東支部学術集会講演要旨集 Page11(2017.11), 第 105 回日本解剖学会関東支部学術集会, 千代田区.
 90. 北村啓, 山本将仁, 石川昂, 阿部伸一, 山本仁: 軟口蓋滑車構造形成における組織間作用の解明. The 122nd Annual Meeting of the Japanese Association of Anatomists, Page187(2017.03), 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎市.
 91. 衣松高志, 喜田大智, 田中美希, 横溝敦志, 木暮隆司, 齋藤淳: SPT 期患者における 3 種殺菌成分配合歯磨剤によるセルフケアの有用性. 第 61 回春季日本歯周病学会学術大会, 平成 29 年 12 月 16 日, 京都市, 日歯周誌 59 (60 周年記念大会特別号) : 32,190, 2017.
 92. 木村絵美子, 小幡智子, 鍛代秀人, 石井武展, 坂本輝雄, 渡邊美貴, 柴野正康, 吉田秀児, 渡辺章, 成田真人, 中野洋子, 高野伸夫, 末石研二: 口蓋裂患者における咽頭領域の三次元的検討, 第 41 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2017 年 5 月 18 日-19 日, ホテルオークラ東京

93. 木村基善, 新谷誠康, 東俊文: Wnt シグナルと FGF8 による歯原性間葉系細胞の象牙芽細胞分化における役割. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 2017 年 9 月 16 日, 塩尻市
94. 木村基善, 東俊文, 新谷誠康: Wnt/ β -catenin 活性経路による歯胚由来象牙芽細胞前駆細胞の DMP1 発現上昇メカニズムの解明 (The role of wnt/ β -catenin signaling pathway in Dmp1 expression of tooth germ-derived odontoblast progenitor cells.). 第 55 回日本小児歯科学会, 2017 年 5 月 25 日, 小倉
95. 木村基善, 東俊文, 新谷誠康: Wnt/ β -catenin 経路と FGF8 共刺激による歯原性間葉系細胞による象牙芽細胞文化作用の検討. 第 59 回歯科基礎医学会, 2017 年 9 月 17 日, 松本
96. 木村基善, 東俊文, 新谷誠康: wnt シグナル経路と FGF8 の相互作用による象牙芽細胞分化機序の検討. 第 303 回東京歯科大学学会例会, 2017 年 6 月 3 日, 東京
97. 木村麻記, 小島佑貴, 東川明日香, 佐藤正樹, 澁川義幸, 田崎雅和: アルカリ感受性 TRP チャネルを介した反応性修復象牙質形成機構の解明、平成 28 年度東京歯科大学口腔科学研究センターワークショップ、平成 29 年 2 月 21 日、東京都、歯科学報, 117(4):284-286, 2017
98. 木村麻記, 小島佑貴, 東川明日香, 大山定男, 陽田みゆき, 安藤正之, 河野恭祐, 田崎雅和, 澁川義幸: 象牙芽細胞における高 pH 感受性 store-operated Ca^{2+} entry (SOCE). 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 平成 29 年 9 月 16-18 日, 塩尻市, Journal of Oral Bioscience Supplement, 298, 2017.
99. 久保周平, 野俣裕, 音琴三郎, 小川冬樹, 難波哲夫, 松本桂, 西川貴美江, 新谷誠康: 当障害者歯科診療所における鑄造歯冠修復物の生存率について. 第 34 回日本障害者歯科学会, 2017 年 10 月 28 日, 福岡
100. 黒田英孝, 井上博之, 重藤玲子, 東川明日香, 小島佑貴, 川口綾, 征矢学, 一戸達也: ラット三叉神経節由来神経細胞・グリア細胞の P2X7 受容体の検索、第 45 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会 平成 29 年 10 月 13-15, 松本市、日本歯科麻酔学会雑誌第 45 巻第 4 号 P-135 抄録掲載
101. 桑原涼子, 上原宏樹, 山延 健, 松田祐明, 西野仁泰, 河野克明, 鈴木義弘, 紺野倫代, 片野勝司, 中島一憲, 武田友孝: 繰り返される温度変化がマウスガード材料に与える影響, 日本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会, 札幌市教育文化会館, 平成 29 年 6 月 17-18 日, 札幌市, 日本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 67
102. 小石沢理央, 西山明宏, 村山雅人, 前山恵理, 藤本侑子, 有泉高晴, 片倉朗, 佐々木研一, 柴原孝彦, 矢島安朝: 本学「急性期神経機能修復外来」開設後 6 年間の手術症例の検討. 第 19 回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会, 2017 年 7 月 29 日, 北海道, 日本口腔顎顔面外傷学会誌 Vol.16, No2 ;87.
103. 小石沢理央, 西山明宏, 村山雅人, 前山恵理, 藤本侑子, 有泉高晴, 片倉朗, 佐々木研一, 柴原孝彦, 矢島安朝: 本学「急性期神経機能修復外来」開設後 6 年間の手術症例の検討. 第 62 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2017 年 10 月 20-22 日, 京都府, 第 62 回日本口腔外科学会総会・学術大会プログラム・抄録集; 88, 日本口腔外科学会誌 総会特別号(Vol.63); 386.
104. 国分栄仁, 菊池有一郎, 柴山和子, 石原和幸: *Treponema denticola* の細胞侵入に影響する病原因子の解析. 第 90 回日本細菌学会総会, 2017 年 3 月 19 日-21 日, 仙台市.
105. 国分栄仁, 菊池有一郎, 柴山和子, 石原和幸: Response of epithelial cells infected by *Treponema denticola*、第 91 回日本細菌学会総会・第 14 回日韓国際微生物学シンポジウム、2018 年 3 月 27-29 日、福岡国際会議場、福岡

106. 小坂井絢子, 本田健太郎, 関川翔一, 齋藤寛一, 大金覚, 高野正行, 野村武史, 片倉朗, 柴原孝彦, 高野伸夫: cN0 口腔扁平上皮癌における潜在性頸部リンパ節転移の臨床的検討. 第 62 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2017 年 10 月 20-22 日, 京都府, 日本口腔外科学会誌 総会特別号(Vol.63); 281.
107. 小郷直之, 山本雅絵, 成田真人, 神尾崇, 高木多加志, 柴原孝彦: オトガイ形成術前後における硬軟組織形態変化の三次元的評価. 日本顎変形症学会雑誌 (0916-7048)27 巻 2 号 Page126
108. 小島佑貴, 東川明日香, 大山定男, 河野恭佑, 安藤正之, 西孝一, 黒田英孝, 木村麻記, 澁川義幸, 田崎雅和: ラット三叉神経節グリア細胞の遅延整流型 K⁺電流. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 平成 29 年 9 月 16-18, 塩尻市, Journal of Oral Bioscience Supplement, 308, 2017.
109. 小林功明, 山本将仁, 松永智, 森田純晴, 永倉遼太郎, 是澤和人, 石東叡, 青木一充, 阿部伸一: ヒト拇指および指におけるファーター・パチニ小体の局在: 胎生期と高齢者の比較. 第 105 回日本解剖学会関東支部学術集会講演要旨集 Page20(2017.11), 第 105 回日本解剖学会関東支部学術集会, 千代田区.
110. 五味暁憲, 辻野啓一郎, 大串圭太, 鈴木奈穂, 布施亜由美, 福島圭子, 武者篤, 宮久保満之, 倉持真理子, 吉田みずき, 新谷誠康, 横尾聡: 知的能力障害がある患者の歯根嚢胞に対し開窓術を施行し継続管理した 1 例. 第 34 回日本障害者歯科学会, 2017 年 10 月 29 日, 福岡
111. 小谷地雅秀, 西山明宏, 萱原圭亮, 渡邊章, 笠原清弘, 高野正行, 柴原孝彦, 片倉朗: Skeletal ClassII不正咬合における顎変形症の下唇知覚障害について. 第 27 回日本顎変形症学会, 2017 年 6 月 15-16 日, 東京都, 日本顎変形症学会雑誌 27(2).2017; 106.
112. 小谷地雅秀, 西山明宏, 別所央城, 片倉朗: シリコーンによるオトガイ豊隆部の感染に対してオトガイ形成術を行った 1 例. 第 62 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2017 年 10 月 20-22 日, 京都府, 日本口腔外科学会誌 総会特別号(Vol.63); 242.
113. 是澤和人, 松永智, 小高研人, 森田純晴, 廣内英智, 飯村忠浩, 阿部伸一: 歯科インプラント埋入後に新生されたオステオンの構造特性. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 2017 年 9 月 17 日, 松本歯科大学キャンパス.
114. 齋藤暁子, 大木章生, 中村貴, 小野寺晶子, 篠宏美, 長谷川大悟, 小崎健次郎, 恩田健志, 渡邊章, 柴原孝彦, 末石研二, 東俊文: 鎖骨頭蓋骨異形成症患者由来 iPS 細胞の解析と骨組織分化との関連の検討. 第 35 回日本骨代謝学会学術集会, 2017 年 7 月 27 日, 福岡市
115. 齋藤真帆, 松田祐明, 西野仁泰, 鈴木義弘, 河野克明, 中島一憲, 武田友孝: 支台歯形成時の術者の診療姿勢の違いが筋活動・座位バランスおよび作業精度に及ぼす影響, 平成 29 年度日本補綴歯科学会東京支部総会・第 21 回学術大会, H29.12.2-3, 東京歯科大学水道橋校舎 (東京都)
116. 桜井敦朗, 本間宏実, 富永早紀, 田代紋子, 辻野啓一郎, 新谷誠康: 被虐待児童の口腔内所見～長期にわたる歯科治療を行った一例～. 第 64 回日本小児保健協会学術集会, 2017 年 7 月 1 日, 大阪
117. 佐古亮, 村松敬, 小林史枝, 杉内亜紀奈, 古澤成博: Interleukin-6 刺激に対するブタ由来 Malassez 上皮遺残細胞の反応. 第 38 回日本歯内療法学会, 平成 29 年 7 月 22-23 日, 東京.
118. 重野健一郎, 音成実佳, 大畠仁, 林宰央, 恩田健志, 柴原孝彦, 坂本春生: MRI T2 mapping を用いた変形性顎関節症患者における下顎頭骨形態および骨髄異常の経時的変化の検討. 日本顎関節学会雑誌 (0915-3004)29 巻 Suppl. Page112

119. 鵜田みゆき、木村麻記、佐藤正樹、東川明日香、小島佑貴、田崎雅和、澁川義幸：三叉神経節ニューロンに対するグアヤコールの鎮痛作用。第59回歯科基礎医学会学術大会，平成29年9月16-18，塩尻市，Journal of Oral Bioscience Supplement, 431, 2017.
120. 白石康博，山本将仁，廣内英智，森田純晴，小高研人，松永智，阿部伸一：ヒト胎生期における大殿筋，大腿二頭筋および腸脛靭帯に関する発生形態。第304回東京歯科大学学会・総会プログラム Page10(2017.10)，第304回東京歯科大学学会総会，千代田区。
121. 白石尚基，恩田健志，林宰央，松本暢久，関川翔一，渡部幸央，高野伸夫，柴原孝彦：舌扁平上皮癌組織におけるHSP90の発現異常，第62回日本口腔外科学会総会・学術大会2017年10月（京都）第62回日本口腔外科学会総会・学術大会プログラム・抄録集 P338.
122. 辛麻由，加藤禎彬，小山拓洋，布施俊，住吉美咲，西山明宏，関根理予，大野啓介，吉田秀児，高木亮，菅原圭亮，別所央城，山本信治，渡邊章，笠原清弘，高野正行，齊藤力，柴原孝彦，片倉朗：東京歯科大学水道橋病院口腔外科における2016年度初診患者の臨床的検討。第304回東京歯科大学学会(総会)，2017年10月21-22日，東京都，歯科学報 117(5); 419，第304回東京歯科大学学会(総会)プログラム; 18.
123. 菅原圭亮，太尾英子，勝見吉晴，小山侑，小谷地雅秀，別所央城，笠原清弘，渡邊章，高野正行，齊藤力，柴原孝彦，片倉朗：下顎枝矢状分割での異常骨折(Bad split)症例の検討。第27回日本顎変形症学会，2017年6月15-16日，東京都，日本顎変形症学会雑誌 27(2).2017; 107.
124. 菅原圭亮，太尾英子，別所央城，中島 啓，松坂賢一，片倉朗：口腔粘膜蛍光観察の病理組織学的検証。第62回日本口腔外科学会総会・学術大会，2017年10月20-22日，京都府，日本口腔外科学会誌 総会特別号(Vol.63); 313.
125. 杉内亜紀奈，田宮資己，佐野陽祐，村松敬，古澤成博：Lipopolysaccharide 刺激がヒト歯髓細胞の硬組織形成に及ぼす影響。第38回日本歯内療法学会，平成29年7月22-23日，東京
126. 鈴木瑛一，篠宏美，青木栄人，久永幸乃，佐藤正敬，東俊文，齋藤淳：遺伝子改変マウスを使用した骨形成過程における新規転写因子の解明。第60回春季日本歯周病学会学術大会，平成29年5月12日，福岡市博多区，日歯周誌 59（春季特別号）31: 138, 2017.
127. 鈴木瑛一，勢島典，高山沙織，堀江桃子，長谷川昭子，齋藤淳：臼歯部咬合崩壊を伴う広汎型侵襲性歯周炎に対して包括的治療を行った一症例。第60回春季日本歯周病学会学術大会，平成29年5月13日，福岡市博多区，日歯周誌 59（春季特別号）60: 138, 2017.
128. 住吉美咲，大野啓介，井本大智，渡邊章，柴原孝彦：鼻腔に近接した上顎両側の逆生理伏歯の1例(会議録/症例報告)。小児口腔外科 (0917-5261)27巻2号 Page100
129. 関川翔一，鬼谷薫，松本暢久，林宰央，恩田健志，野村武史，高野伸夫，柴原孝彦，本田一文：AMBPは口腔扁平上皮癌の細胞浸潤・遊走およびリンパ節転移と関連する，第62回日本口腔外科学会総会・学術大会2017年10月（京都），第62回日本口腔外科学会総会・学術大会プログラム・抄録集 P305.
130. 関川翔一，小坂井絢子，齋藤寛一，大金覚，高野正行，野村武史，片倉朗，柴原孝彦，高野伸夫：東京歯科大学口腔がんセンターにおける患者動向－10年間の臨床的検討－。第303回東京歯科大学学会(例会)，2017年6月3日，東京都，歯科学報 117(3); 263，第303回東京歯科大学学会(総会)プログラム; 22.

131. 関谷紗世, 宮吉教仁, 浅井知宏, 堀内章, 山田雅司, 藤井理絵, 森永一喜, 村松敬, 古澤成博: 日本人における手術用顕微鏡を用いたイスマスを有する症例における歯根端切除術の短期成功率の調査. 第 146 回日本歯科保存学会学術大会, 平成 29 年 6 月 8-9 日, 青森市
132. 勢島典, 青木栄人, 武内崇博, 鈴木瑛一, 色川大輔, 大井麻子, 稲垣覚, 杉戸博記, 富田幸代, 齋藤淳: エナメルマトリックスデリバティブを用いた歯周組織再生療法後 2 年の臨床評価. 第 61 回春季日本歯周病学会学術大会, 平成 29 年 12 月 16 日, 京都市, 日歯周誌 59 (60 周年記念大会特別号) : 45, 203, 2017.
133. 高田博雅, 山本将仁, 廣内英智, 奈良倫之, 小高研人, 松永智, 北村啓, 山本仁, 阿部伸一: マウス系統による蝶形骨翼状突起の形態形成の差異について. 第 303 回東京歯科大学学会・例会プログラム Page23(2017.06), 第 303 回東京歯科大学学会例会, 千代田区.
134. 武居純, 阿部修, 村松敬: 感染根管に水酸化カルシウム製剤を応用した際に認められた根尖部石灰化物の形成期間および臨床成績. 第 38 回日本歯内療法学会, 平成 29 年 7 月 22-23 日, 東京.
135. 武内崇博, 松上大亮, 吉田航, 備前島崇浩, 勢島典, 難波崇, 齋藤淳: 自己組織化ペプチドハイドロゲル応用における歯周組織治癒メカニズムの解明. 第 61 回春季日本歯周病学会学術大会, 平成 29 年 12 月 16 日, 京都市, 日歯周誌 59 (60 周年記念大会特別号) : 43, 201, 2017.
136. 武内崇博, 勢島典, 片山明彦, 高橋潤一, 齋藤淳: 受動的萌出遅延を伴う審美障害に対し歯肉弁根尖側移動術による対応を行った一症例. 第 61 回春季日本歯周病学会学術大会, 平成 29 年 12 月 16 日, 京都市, 日歯周誌 59 (60 周年記念大会特別号) : 61, 222, 2017.
137. 田代紋子, 米津卓郎, 熊澤海道, 櫻井敦朗, 新谷誠康: 1 歳 6 か月および 3 歳時における齲蝕罹患要因に関する研究—特に授乳法と口腔の健康管理に関する因子について—. 第 64 回日本小児保健協会学術集会, 2017 年 6 月 30 日, 大阪
138. 田中健介, 染屋智子, 笠原正彰, 大山貴司, 武本真治, 吉成正雄, 服部雅之: 間接修復用コンポジットレジンと牛歯エナメル質との摩耗挙動. 第 70 回日本歯科理工学会学術講演会, 2017 年 10 月 14 日, 朱鷺メッセ.
139. 田宮資己, 半場秀典, 古澤成博, 村松敬: 高脂肪飼育したラットに実験的根尖性歯周炎を起こさせた際の変化. 第 147 回日本歯科保存学会, 平成 29 年 10 月 26-27 日, 盛岡市.
140. 辻野啓一郎, 五味暁憲, 大串圭太, 征矢学, 鈴木奈穂, 布施亜由美, 福島圭子, 新谷誠康: 埋伏した双生歯小白歯に対し外科的挺出を行った自閉スペクトラム症の 1 例. 第 34 回日本障害者歯科学会, 2017 年 10 月 28 日, 福岡
141. 寺島-重藤玲子, 東川明日香, 小島佑貴, 井上博之, 川口綾, 黒田英孝, 木村麻記, 澁川義幸, 田崎雅和, 一戸達也: ラット三叉神経節ニューロンにおけるブラジキニン B1 受容体を介した Ca²⁺動態の検索. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 平成 29 年 9 月 16-18, 塩尻市.
142. 富永早紀, 岩田美奈子, 小鹿裕子, 山本絢子, 米倉智子, 櫻井敦朗, 辻野啓一郎, 大多和由美, 新谷誠康: 2013~2015 年の東京都心における小児歯科初診患者実態調査 (Survey of actual condition of new patients in a dental college hospital in Tokyo from 2013 to 2015.). 第 55 回日本小児歯科学会, 2017 年 5 月 26 日, 小倉
143. 富永早紀, 辻野啓一郎, 櫻井敦朗, 新谷誠康: 歯科大学病院小児歯科における初診患者の実態—東京都心と千葉県下の大学病院の比較—. 第 64 回日本小児保健協会学術集会, 2017 年 6 月 30 日, 大阪

144. 永井佐代子, 山村哲生, 別所央城, 柴原孝彦, 片倉朗: 下顎切痕から側頭窩におよぶ軟組織に再発したエナメル上皮腫の 1 例. 第 71 回日本口腔科学会学術大会, 2017 年 4 月 26-28 日, 愛媛県, 第 71 回日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集; 292.
145. 永倉遼太郎, 山本将仁, 北村啓, 山本仁, 阿部伸一: “筋・腱・骨: 機能的複合体” 発生過程における Sox 9 の局在に関する免疫組織化学的検索. 第 303 回東京歯科大学学会・例会プログラム Page16(2017.06), 第 303 回東京歯科大学学会例会, 千代田区.
146. 永倉遼太郎, 廣内英智, 奈良倫之, 山本将仁, 松永智, 阿部伸一: 胎生期マウス外側翼突筋停止部における付着機序の解明. The 122nd Annual Meeting of the Japanese Association of Anatomists, Page127(2017.03), 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎市.
147. 中島一憲, 松田祐明, 西野仁泰, 鈴木義弘, 河野克明, 川上良明, 紺野倫代, 小澤卓充, 澁澤真美, 島田 淳, 武田友孝: 咀嚼回数計測装置「リズムカム」の測定精度について (その 2), 日本補綴歯科学会 第 126 回学術大会, パシフィコ横浜, 平成 29 年 6 月 30 日-7 月 2 日, 横浜市, 日本補綴歯科学会 第 126 回学術大会プログラム・抄録集, 57
148. 中島一憲, 松田祐明, 齋藤真帆, 西野仁泰, 鈴木義弘, 河野克明, 川上良明, 紺野倫代, 小澤卓充, 澁澤真美, 島田 淳, 佐藤武司, 武田友孝: 咀嚼回数計測装置「リズムカム」の測定精度について (その 3), 日本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会, 札幌市教育文化会館, 平成 29 年 6 月 17-18 日, 札幌市, 日本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 151
149. 中島一憲, 武田友孝: 咀嚼回数計測装置の測定精度について (その 4), 第 36 回日本小児歯科学会 中部地方会大会, ホクト文化ホール, 平成 29 年 10 月 22 日, 長野市, 第 36 回日本小児歯科学会 中部地方会大会プログラム・抄録集, 38
150. 中島啓, 矢野尚, 明石良彦, 鷺見正美, 國分克寿, 橋本和彦, 関根理予, 柴原孝彦, 松坂賢一, 橋本貞充, 井上孝: 臼後部に発生した腫瘤を腺様嚢胞癌と診断した一例. 歯科学報 (0037-3710)117 巻 3 号 Page261
151. 中島孝輔, 松永智, 古川丈博, 岩田優行, 森岡俊行, 吉成正雄, 矢島安朝: 尾部懸垂による負荷減少がマウス大腿骨の生体アパタイト (BAp) 結晶配向性に与える影響. 第 47 回日本口腔インプラント学会学術大会, 2017 年 9 月 23 日, 仙台国際センター.
152. 中村貴, 久保亜紀子, 本田紗綾子, 山本陽子, 東俊文, 末松誠: シスタチオニン β 合成酵素は VDR と細胞種特異的に複合体を形成することで標的遺伝子の発現を制御する. 第 35 回日本骨代謝学会学術集会, 2017 年 7 月 29 日, 福岡市
153. 中村圭喜, 半場秀典, 石塚久子, 村松敬: S-PRG フィラー含有ペーストのエナメル質脱灰抑制効果. 第 303 回東京歯科大学学会, 平成 29 年 6 月 3 日, 東京.
154. 成田真人, 林幸央, 岩本昌士, 森川貴迪, 右田雅士, 恩田健志, 薬師寺孝, 柴原孝彦: 頸部郭清術後の頸部検出菌種に関する検討, 第 26 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 2017 年 3 月 (金沢市), 第 26 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会プログラム抄録集 P130,2017.
155. 新倉陽一郎, 坂本輝雄, 石井武展, 有泉大, 末石研二, 坂本好昭, 貴志和生: 第一第二鰓弓症候群に対する外科的治療前後の上下顎三次元形態計測を用いた治療目標設定と評価について, 第 35 回日本顎顔面外科学会学術集会, 2017 年 11 月 16 日-17 日, 電気ビル 共創館

156. 西川航矢, 高野直樹, 松永智, 本間慎也, 矢島安朝: 歯科インプラントのサイナスリフトを模擬した洞底粘膜の力学的試験. 日本機械学会第28回バイオフィロンティア講演会, 2017年10月28日, 徳島大学.
157. 西川航矢, 高野直樹, 松永智, 本間慎也, 矢島安朝: 上顎インプラント手術において洞底粘膜に生じるひずみ分布の予測. 日本機械学会 M&M2017 材料力学カンファレンス, 2017年10月9日, 北海道大学.
158. 西野仁泰, 松田祐明, 鈴木義弘, 河野克明, 川上良明, 佐藤武司, 高山和比古, 紺野倫代, 小澤卓充, 中島一憲, 武田友孝: マウスガード装着が垂直跳びに及ぼす影響, 日本補綴歯科学会 第126回学術大会, パシフィコ横浜, 平成29年6月30日-7月2日, 横浜市, 日本補綴歯科学会 第126回学術大会プログラム・抄録集, 56
159. 西野仁泰, 松田祐明, 齋藤真帆, 鈴木義弘, 河野克明, 高山和比古, 梶間孝樹, 中島一憲, 武田友孝, 柏木 悠, 船戸和男: カウンタームーブメントジャンプ時における筋活動について, 日本スポーツ歯科医学会 第28回総会, 札幌市教育文化会館, 平成29年6月17-18日, 札幌市, 日本スポーツ歯科医学会 第28回総会・学術大会プログラム・抄録集, 144
160. 西野仁泰, 中島一憲, 片野勝司, 武田友孝, 柏木 悠, 船戸和男: カウンタームーブメントジャンプ時における筋活動について (第2報), 第30回日本トレーニング科学会, 日本体育大学 東京・世田谷キャンパス, 平成29年10月7-8日, 東京都, 第30回日本トレーニング科学会大会プログラム・抄録集, 59
161. 西山明宏, 小谷地雅秀, 小石沢理央, 前山恵理, 有泉高晴, 藤本侑子, 佐々木研一, 柴原孝彦, 片倉朗: 舌神経損傷症例に神経再生誘導チューブを使用した1例. 第203回日本口腔外科学会関東支部学術集会, 2017年5月27日, 東京都, 第203回日本口腔外科学会関東支部学術集会プログラム・収録集; 10.
162. 沼田由美, 柴山和子, 佐藤亨, 菊池有一郎, 国分栄仁, 石原和幸: *Treponema denticola* の iron-sulfur cluster-binding protein 調節遺伝子(icbR)の機能解析. 第59回歯科基礎医学会学術大会, 2017年9月16-18日, 松本市.
163. 根津裕一, 童正大, 上田貴之, 石原和幸, 櫻井薫: 義歯床用レジンに形成された口腔細菌叢の検討, 2017年12月2-3日, 東京.
164. 橋本圭史, 山本将仁, 小林功明, 廣内英智, 小高研人, 松永智, 北村啓, 山本仁, 大久保真衣, 石田瞭, 阿部伸一: 高齢者の輪状工場関節および輪状披裂関節に関する組織学的研究. 第304回東京歯科大学学会・総会プログラム Page11(2017.10), 第304回東京歯科大学学会総会, 千代田区.
165. 林幸央, 恩田健志, 関川翔一, 松本暢久, 大金覚, 小澤夏生, 神尾崇, 薬師寺孝, 大畠仁, 高野伸夫, 柴原孝彦: 抗がん剤誘発口内炎に対するラットを用いた治療薬の探索, 第71回NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 2017年4月(松山市), 第71回NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集 Page267.
166. 林幸央, 恩田健志, 重野健一郎, 大金覚, 成田真人, 薬師寺孝, 大畠仁, 高野伸夫, 柴原孝彦: 当科における陳旧性顎関節脱臼症例の検討, 第30回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会 2017年7月(横浜市), 日本顎関節学会雑誌 29巻 Suppl. Page116
167. 林幸央, 恩田健志, 大金覚, 小澤夏生, 薬師寺孝, 高野伸夫, 柴原孝彦: オーラルジスキネジアに伴う難治性潰瘍に対するスプリント療法の1例. 日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集 28回 Page193
168. 林幸央, 恩田健志, 大金覚, 松本暢久, 薬師寺孝, 大畠仁, 高野伸夫, 柴原孝彦: オーラルジスキネジアに伴う難治性潰瘍に対するオーラルアプライアンス治療の1

- 例, 第 28 回日本老年歯科医学会学術大会、2017 年 6 月 (名古屋市), 日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集 28 回 Page193.
169. 半場秀典, 中村圭喜, 石塚久子, 古澤成博, 村松敬: 非齶蝕性歯頸部硬組織欠損 (NCCL) を有するヒト小臼歯のマイクロ CT 解析. 第 303 回東京歯科大学学会, 平成 29 年 6 月 3 日, 東京.
 170. 東川明日香, 小島佑貴, 寺島-重藤玲子, 井上博之, 河野恭佑, 安藤正之, 黒田英孝, 木村麻記, 澁川義幸, 田崎雅和: メルケル細胞-神経細胞間コミュニケーション. 第 59 回歯科基礎医学会学術大会, 平成 29 年 9 月 16-18, 塩尻市.
 171. 東野晴美, 櫻井敦朗, 秋元佐和子, 荒井涼, 本間宏実, 熊澤海道, 今井裕樹, 辻野啓一郎, 米津卓郎, 新谷誠康: 千葉県下の大学病院小児歯科における初診患者実態調査 (A survey of actual condition of new patients visiting the pediatric dental clinic of the dental college hospital in Chiba Prefecture.) . 第 55 回日本小児歯科学会, 2017 年 5 月 26 日, 小倉
 172. 久永幸乃, 鈴木瑛一, 青木栄人, 佐藤正敬, 東俊文, 齋藤淳: エナメルマトリックスタンパク質とアテロコラーゲンスポンジの併用がマウス iPS 細胞の分化に及ぼす影響. 第 60 回春季日本歯周病学会学術大会, 平成 29 年 5 月 12 日, 福岡市博多区, 日歯周誌 59 (春季特別号) 30: 136, 2017.
 173. 久永幸乃, 鈴木瑛一, 青木栄人, 佐藤正敬, 齋藤淳, 東俊文: エナメルマトリックスタンパク質とアテロコラーゲンスポンジの併用がマウス iPS 細胞の骨芽細胞分化に及ぼす影響. 第 303 回東京歯科大学学会・例会, 平成 29 年 6 月 3 日, 東京都千代田区, 歯科学報 117: 81, 2017.
 174. 布施亜由美, 鈴木奈穂, 福島圭子, 倉持真理子, 小田嶋彩乃, 萩原綾乃, 平田淳司, 征矢学, 五味暁憲, 大串圭太, 黒田真右, 辻野啓一郎, 新谷誠康: 静脈内鎮静法施行中に管理困難となった 7 例の検討. 第 34 回日本障害者歯科学会, 2017 年 10 月 28 日, 福岡
 175. 布施亜由美, 鈴木奈穂, 福島圭子, 武者篤, 大串圭太, 辻野啓一郎, 新谷誠康: 口腔内管理および口腔ケア指導により口腔粘膜炎の重篤化を防ぐことができたエベロリムス服用患者の 1 例. 第 34 回日本障害者歯科学会, 2017 年 10 月 28 日, 福岡
 176. 太尾英子, 菅原圭亮, 別所央城, 松坂賢一, 片倉朗: 口腔粘膜蛍光観察装置の病理組織学的検証. 第 27 回日本口腔内科学会, 第 30 回日本口腔診断学会合同学術大会, 2017 年 9 月 8-9 日, 北海道, 第 27 回日本口腔内科学会, 第 30 回日本口腔診断学会合同学術大会プログラム・抄録集; 176.
 177. 太尾英子, 菅原圭亮, 別所央城, 松坂賢一, 片倉朗: 口腔粘膜蛍光観察の病理組織学的検証. 第 3 回口腔粘膜蛍光観察研究会, 2017 年 3 月 11 日, 東京.
 178. 古川文博, 松永智, 岩田優行, 森岡俊行, 吉成正雄, 阿部伸一, 中野貴由, 矢島安朝: ヒト無歯下顎骨前歯部皮質骨における生体アパタイト結晶配向性. 第 37 回日本骨形態計測学会, 2017 年 6 月 23 日, 大阪国際会議場.
 179. 古屋克典, 松崎文頼, 高梨琢也, 田口達夫, 武本真治, 山下秀一郎, 吉成正雄, 矢島安朝: 高強度ジルコニアの低温劣化特性. 第 47 回日本口腔インプラント学会学術大会, 2017 年 9 月 23 日, 仙台国際センター.
 180. 別所央城, 西山明宏, 菅原圭亮, 高木亮, 笠原清弘, 片倉朗: 抜歯の教育用シミュレーターの開発. 第 36 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 2017 年 7 月 28-29 日, 長野県, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集; 112.
 181. 星野照秀, 小山侑, 片倉朗: 当科における直接経口抗凝固薬(DOAC)服用患者の歯科小手術に関する検討. 第 37 回日本歯科薬物療法学会学術大会, 2017 年 6 月 17

- 日, 愛知県, 第 37 回日本歯科薬物療法学会学術大会プログラム・抄録号; 75, 歯科薬物療法学会雑誌 36(2); 75.
182. 本田健太郎, 齋藤寛一, 三條祐介, 木所亮, 大金寛, 野村武史, 片倉朗, 柴原孝彦, 高野伸夫: 当科口腔癌手術患者に対する術後合併症に関する検討 周術期口腔機能管理を含めた支持療法の有用性について. 日本口腔ケア学会雑誌 11 巻 3 号 Page170(2017.04)
 183. 本間宏実, 櫻井敦朗, 高野紗弥佳, 新谷誠康: 交通外傷による上顎 4 切歯喪失後に長期の歯科的対応を行った 1 例 (A case of treatment of a child who lost four maxillary incisors due to the traffic injury.). 第 55 回日本小児歯科学会, 2017 年 5 月 26 日, 小倉
 184. 前山恵理, 大野啓介, 住吉美咲, 大金寛, 別所央城, 山本信治, 高野正行, 片倉朗, 齋藤力, 柴原孝彦: 当科を受診した口腔がん患者の臨床的検討~Tumor budding による予後予測~. 第 62 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2017 年 10 月 20-22 日, 京都府, 日本口腔外科学会誌 総会特別号(Vol.63); 225.
 185. 益田遼, 奥平貴人, 左右, 岩本昌士, 森川貴迪, 成田真人, 高木多加志, 柴原孝彦: 東京歯科大学千葉病院における過去 6 年間の入院手術症例の臨床的検討. 歯科学報 (0037-3710)117 巻 3 号 Page262
 186. 松田祐明, 西野仁泰, 齋藤真帆, 河野克明, 鈴木義弘, 長谷川賢, 三島 攻, 額賀英之, 中島一憲, 武田友孝: ハード&スペースマウスガードへの光重合型レジンの応用, 日本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会, 札幌市教育文化会館, 平成 29 年 6 月 17-18 日, 札幌市, 日本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 72
 187. 松永智, 是澤和人, 奥寺元, 鈴木正史, 吉成正雄, 矢島安朝, 阿部伸一: インプラント周囲顎骨に新生されたオステオンの構造特性. 第 47 回日本口腔インプラント学会学術大会, 2017 年 9 月 23 日, 仙台国際センター.
 188. 松永智, 是澤和人, 小高研人, 吉成正雄, 飯村忠浩, 山口朗, 中野貴由, 阿部伸一: ヒト歯科インプラント周囲顎骨における構造特性. 第 37 回日本骨形態計測学会, 2017 年 6 月 24 日, 大阪国際会議場
 189. 松本高明, 西井康, 大山莉奈, 村上沙也加, 小倉弘之, 鍛代秀人, 草場岳, 立木千恵, 野嶋邦彦, 末石研二, 高木多加志, 柴原孝彦: 顔面非対称症例における外科的矯正治療による顎骨の変化(第 2 報) 前頭面での検討. 日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 76 回 Page265
 190. 松本暢久, 恩田健志, 林宰央, 関川翔一, 柴原孝彦: 口腔白板症組織および舌扁平上皮癌組織における PDE5 タンパク質の発現異常, 第 27 回日本口腔内科学会第 30 回日本口腔診断学会合同学術大会 2017 年 9 月 (札幌市), 第 27 回日本口腔内科学会第 30 回日本口腔診断学会合同学術大会プログラム・抄録集 P175.
 191. 松本暢久, 林宰央, 恩田健志, 関川翔一, 益田遼, 小澤夏生, 白石尚基, 柴原孝彦: 口腔扁平上皮癌細胞における PDE5 の機能解析(会議録). 日本口腔科学会雑誌 (0029-0297)66 巻 2 号 Page147
 192. 三友啓介, 高田佳奈, 石塚久子, 古澤成博, 村松敬: 高脂肪環境下に LPS 刺激が加わった際の歯髓細胞の反応. 第 147 回日本歯科保存学会, 平成 29 年 10 月 26-27 日, 盛岡市.
 193. 三邊正樹, 秋山友里恵, 片倉朗, 高橋慎一, 立川哲郎, 河野通良, 野村武史: セツキシマブによる口腔癌の治療効果におけるデスモグレイン 3 の関与についての検討. 第 62 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 2017 年 10 月 20-22 日, 京都府, 日本口腔外科学会誌 総会特別号(Vol.63); 203.

194. 宮吉教仁, 山田雅司, 関谷紗世, 浅井知宏, 堀内 章, 藤井理絵, 森永一喜, 村松敬, 古澤成博: 日本人における手術用顕微鏡を用いた再歯根端切除術の短期予後の調査. 第 38 回日本歯内療法学会, 平成 29 年 7 月 22-23 日, 東京.
195. 村上沙也加, 西井康, 大山莉奈, 松本高明, 草場岳, 小倉弘之, 鍛代秀人, 立木千恵, 野嶋邦彦, 末石研二, 高木多加志, 柴原孝彦: 顔面非対称症例における歯軸の検討 術前術後の歯軸傾斜(会議録). 日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 76 回 Page264
196. 村上沙也加, 西井康, 大山莉奈, 松本高明, 草場岳, 小倉弘之, 鍛代秀人, 立木千恵, 野嶋邦彦, 末石研二, 高木多加志, 柴原孝彦: 顔面非対称症例における歯軸の検討 術前術後の歯軸傾斜. 日本顎変形症学会雑誌 27 巻 2 号 Page146
197. 村山雅人, 小石沢理央, 前山恵里, 有泉高晴, 藤本侑子, 西山明宏, 佐々木研一, 矢島安朝, 柴原孝彦: インプラント治療における偶発症・続発症とそのリカバリー 口腔インプラント関連手術によって引き起こされた下歯槽神経障害の検討と対応. Japanese Journal of Maxillo Facial Implants (1347-894X)16 巻 3 号 Page166
198. 森川貴迪, 小坂井絢子, 小杉彩歌, 別所央城, 野村武史, 柴原孝彦: 早期舌癌の治療における新規光学機器を用いた切除範囲の設定. 日本癌治療学会学術集会抄録集 55 回 Page O38-5
199. 森田純晴, 松永智, 森石武史, 阿部伸一, 山口朗: アフリカツメガエル長管骨の造血は骨芽細胞性ニッチ優位に維持されている. 第 37 回日本骨形態計測学会, 2017 年 6 月 23 日, 大阪国際会議場
200. 森田奈那, 長谷川大悟, 浮地賢一郎, 高橋慎一, 東俊文, 野村武史: Gorlin 症候群患者由来 iPS 細胞の上皮分化誘導. 第 62 回日本口腔外科学会, 2017 年 10 月 20 日, 京都市
201. 両角俊哉, 中川種昭, 野口和行, 原 宜興, 西村英紀, 梅田 誠, 野口俊英, 吉成伸夫, 沼部幸博, 伊藤公一, 和泉雄一, 小方頼昌, 三邊正人, 齋藤淳, 佐藤聡, 高橋慶壮, 川浪雅光, 花田信弘, 高柴正悟, 吉江弘正: 歯肉縁下細菌と血清抗体価による慢性歯周炎進行の予知判定:24 ヶ月多施設前向きコホート研究. 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会 (第 146 回), 平成 29 年 6 月 9 日, 青森市, 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会 (第 146 回) プログラムおよび講演抄録集, p.xxxvii, 174.
202. 両角俊哉, 角田衣理加, 野村義明, 中川種昭, 野口和行, 原宜興, 西村英紀, 梅田誠, 野口俊英, 吉成伸夫, 沼部幸博, 伊藤公一, 和泉雄一, 小方頼昌, 三邊正人, 齋藤淳, 佐藤聡, 高橋慶壮, 川浪雅光, 花田信弘, 高柴正悟, 吉江弘正: 歯肉縁下細菌と血清抗体価を用いた慢性歯周炎進行の評価: 24 ヶ月多施設前向きコホート研究. 第 60 回春季日本歯周病学会学術大会, 平成 29 年 5 月 12 日, 福岡市博多区, 日歯周誌 60 (春季特別号) 40: 145, 2017.
203. 矢島麗, 山本将仁, 小高研人, 松永智, 阿部伸一: 筋皮神経の走行形態が上腕二頭筋と上腕筋の形態形成に及ぼす影響. 第 303 回東京歯科大学学会・例会プログラム Page22(2017.06), 第 303 回東京歯科大学学会例会, 千代田区.
204. 柳本惣市, 梅田正博, 桐田忠昭, 山下徹郎, 平塚博義, 横尾聡, 丹沢秀樹, 鶴澤成一, 柴原孝彦, 太田嘉英, 栗田浩, 大倉正也, 浜川裕之, 楠川仁悟, 藤内祝: (一社) 日本口腔腫瘍学会共同研究員会ワーキング・グループ 1「分子標的薬」再発・転移口腔癌におけるセツキシマブ併用化学療法の有効性に関する多施設共同観察研究. 頭頸部癌 (1349-5747)43 巻 2 号 Page202
205. 山崎豪, 河野克明, 中島一憲, 鈴木義弘, 西野仁泰, 石上恵一, 武田友孝: 実験的下顎偏位が歩行に及ぼす影響 第 5 報: 骨格筋モデル解析による歩行中の転倒リスクに関するバイオメカニクスの検討, 日本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会,

- 札幌市教育文化会館, 平成 29 年 6 月 17-18 日, 札幌市, 本スポーツ歯科医学会 第 28 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 65
206. 山田祥, 高木多加志, 山本雅絵, 大畠仁, 柴原孝彦: 顎変形症患者における外科的矯正治療前後の顎関節の変化についての検討(会議録). 歯科学報 117 巻 5 号 Page419
207. 山田祥, 柴野正康, 藤本侑子, 薬師寺孝, 大畠仁, 高木多加志, 柴原孝彦: 口蓋に発生した軟骨腫の 1 例(会議録). 日本口腔内科学会雑誌 (2186-6147)23 巻 2 号 Page134(2017.12)
208. 山村哲生, 柴野正康, 薬師寺孝, 柴原孝彦: 下顎骨に発生した良性線維性組織球腫の 1 例(会議録). 日本口腔内科学会雑誌 (2186-6147)23 巻 2 号 Page170(2017.12)
209. 八若保孝, 内川喜盛, 香西克之, 早崎治明, 飯沼光生, 清水武彦, 佐藤昌史, 藤原卓, 新谷誠康, 中村光一, 高崎千尋, 木本茂成: 日本小児歯科学会主催 CBT 問題作成ワークショップの実施. 第 36 回日本歯科医学教育学会, 2017 年 7 月 29 日, 松本
210. 吉川幸輝, 喜田大智, 菊池有一郎, 国分栄仁, 山下慶子, 北村友里恵, 今村健太郎, 齋藤淳, 石原和幸: *Treponema denticola* に対する *Porphyromonas gingivalis* Hgp44 の付着の特性. 第 304 回東京歯科大学学会, 2017 年 10 月 21-22 日, 東京.
211. 吉川幸輝, 喜田大智, 今村健太郎, 勢島典, 齋藤淳: *Treponema denticola* に対する *Porphyromonas gingivalis* Hgp44 の付着の特性. 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会 (第 147 回), 平成 29 年 10 月 27 日, 盛岡市, 日本歯科保存学会 2017 年度秋季学術大会 (第 147 回) プログラムおよび講演抄録集, xliii,197.
212. 吉川幸輝, 喜田大智, 今村健太郎, 青木栄人, 勢島典, 齋藤淳: *Treponema denticola* に対する *Porphyromonas gingivalis* Hgp44 の付着ドメインの解明. 日本歯科保存学会 2017 年度春季学術大会 (第 146 回), 平成 29 年 6 月 9 日, 青森市, 日本歯科保存学会 2017 年度春季学術大会 (第 146 回) プログラムおよび講演抄録集, p.xxxvi, 158.
213. 吉田秀児, 別所央城, 片倉朗: 三次元シミュレーションソフトを用いた新たな臨床実習—口腔外科手術の術式の理解のために—. 第 36 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 2017 年 7 月 28-29 日, 長野県, 第 36 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集; 97.
214. 吉田秀児, 小高研人, 海老澤朋宏, 安村敏彦, 大野啓介, 高梨琢也, 渡邊章, 山本伸治, 松永智, 西井康, 齋藤力, 阿部伸一, 末石研二, 柴原孝彦: Dental Lab System の改変と脱 Model Surgery への挑戦. 第 3 回日本顎顔面再建先進デジタルテクノロジー学会学術大会, 2017 年 11 月 26 日, 東京歯科大学.
215. 李智媛, 上原俊介, 小林泰浩, 山口朗, 今井祐記, 飯村忠浩: HIV 治療標的分子 CCR5 の破骨細胞機能分化における必須の機能—CCR5 を標的とした HIV 治療は骨吸収性疾患に対してもメリットをもたらす可能性がある. 第 35 回日本骨代謝学会学術集会, 2017 年 7 月 28 日, ホテル日航福岡
216. 和田朗, 渡邊章, 大野啓介, 関根理予, 吉田秀児, 菅原圭亮, 笠原清弘, 高野正行, 片倉朗, 齋藤力, 柴原孝彦: 外科矯正手術における術中出血量に関する臨床統計的検討. 第 27 回日本顎変形症学会, 2017 年 6 月 15-16 日, 東京都, 日本顎変形症学会雑誌 27(2).2017; 106.

2018 年度

1. Akiyama Y, Minabe M, Ishihara K, Takahashi S, Kouno M, Nomura T: Oral dysbiosis in patients with palmoplantar pustulosis, 96th IADR/AADR/CADR General Session, July, 25-28, 2018, London ExCeL London Convention Center, England

2. Aoki H, Suzuki E, Hisanaga Y, Sato M, Nakamura A, Saito A, Azuma T: Elucidating the role of RUNX2 in osteoblastic differentiation of iPSCs. 96th General Session of the IADR, 2018.7.27, London, England. 96th General Session of the IADR Program Book, p204, 2018.
3. Ariizumi Y, Ishikawa N, Homma H, Tominaga S, Tamura R, Tsujino K, Yamamoto H, Shintani S: An Anatomical Study of Dens in Dente with the Apical Periodontitis, 11th PDAA (Pediatric Dentistry Association of Asia), 2018 Sep 16, Beijing, Beijing International Convention Center.
4. Bizenjima T, Irokawa D, Tomita S, Takahashi T, Saito A: Treatment of chronic periodontitis with apically-positioned flap and free gingival graft: A, case report. The 104th annual meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Canadian Academy of Periodontology, the Japanese Academy of Clinical Periodontology, and the Japanese Society of Periodontology, 2018年10月27-30日, Vancouver, British Columbia, Canada. Abstracts of JSP/JACP Poster Session, p20, 2018
5. Fu Y, Ito K, Takano N, Odaka K, Matsunaga S.: SHG image-based 3D finite element analysis of peri-implant mandibular bone considering collagen fiber、第31回バイオエンジニアリング講演会講演論文集, Page1E21 (2018. 12)、日本機械学会 第31回バイオエンジニアリング講演会, 郡山市
6. Higashikawa A, Kimura M, Shimada M, Kuroda H, Ofusa W, Ohyama S, Ando M, Kono K, Mochizuki H, Shibukawa Y.: Direct Mechanical stimulation evoked Gd3+-sensitive inward current in trigeminal ganglion neurons. 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies congress (FAOPS), 第96回日本生理学会大会, 平成31年3月28-31日, 神戸市, The Journal of Physiological Sciences, 69(1): 309, 2019
7. Hisanaga Y, Suzuki E, Aoki H, Sato M, Saito A, Azuma T, Saito A: Combination therapy using iPSCs and EMD for periodontal regeneration. The 104th annual meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Canadian Academy of Periodontology, the Japanese Academy of Clinical Periodontology, and the Japanese Society of Periodontology. 2018年10月27-30日, Vancouver, British Columbia, Canada. Abstracts of JSP/JACP Poster Session, p4, 2018
8. Hoshino T, Nakamura T, Onodera S, Saito A, Kimura M, Odajima A, Ichinohe T, Azuma T: A study on efficient induction of odontoblasts differentiation. IFDAS 2018, October, Nara
9. Ikeue R, Takahashi A, Kasahara Y, Watanabe A, Muramatsu T, Sato T, Okada T: Bone-targeted alkaline phosphatase treatment of mandibular bone and teeth in lethal hypophosphatasia via an scAAV8 vector. 96th International Association for Dental Research (IADR) General Session, 平成30年7月25-28日, London, England.
10. Ikeue, R., Takahashi, A.N., Kasahara, Y.N., Kasahara, M., Muramatsu, T., Sato, T., Okada, T: Improvement of dentoalveolar condition in lethal Hypophosphatasia by gene therapy. IADR 96th Annual Meeting, July 26th, 2018, London
11. Imamura K., Takayama T., Dai J., Bishara J., Yamano S. Released FGF-18 from a collagen membrane induces osteoblastic activity via downregulation of miR-133a and miR-135a. 9th Conference of the European Federation of Periodontology, 2018.6.20-23, Amsterdam, The Netherlands. J Clin Periodontol 45(S19):245, 2018
12. Inoue H, Kuroda H, Ishikawa N, Ohyama S, Higashikawa A, Kimura M, Yamamoto H, Shibukawa Y, Ichinohe T. :P2X7 receptor-pannexin-1 channel interaction in rat trigeminal ganglion neuron, 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies congress (FAOPS), 第96回日本生理学会大会,平成31年3月28-31日,神戸市, The Journal of Physiological Sciences, 69(1): 129, 2019
13. Irokawa D, Bizenjima T, Tomita S, Oshima M, Saito A: Surgical treatment for teeth with furcation involvement: a case report. The 104th annual meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Canadian Academy of Periodontology, the Japanese Academy of Clinical Periodontology, and the Japanese Society of Periodontology,

- 2018年10月27-30日, Vancouver, British Columbia, Canada. Abstracts of JSP/JACP Poster Session, p21, 2018
14. Kamata S, Higashikawa A, Kimura M, Oyama S, Shibukawa Y, Yamashita S.: Voltage-dependent Ionic Channels in Human Cementoblast. 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies congress (FAOPS), 第96回日本生理学会大会, 平成31年3月28-31日, 神戸市, The Journal of Physiological Sciences, 69(1): 174, 2019
 15. Kimura M, Higashikawa A, Ohyama S, Mochizuki H, Kouno K, Ando M, Tazaki M, Shibukawa Y.: Activation of Gs-protein-coupled receptors increases intracellular cAMP level in odontoblasts. 96th General Session & Exhibition of the IADR, IADR Pan European Regional Congress, July 25-28, 2018, London, UK, 96th IADR Program Book, 1603, 2018
 16. Kimura M, Higashikawa A, Ohyama S, Ofusa W, Shimada M, Kuroda H, Mochizuki H, Ando M, Kono K, Shibukawa Y.: Intracellular cAMP induces Ca²⁺ influx in odontoblasts. 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies congress (FAOPS), 第96回日本生理学会大会, 平成31年3月28-31日, 神戸市, The Journal of Physiological Sciences, 69(1): 173, 2019
 17. Kimura M, Ishikawa N, Tsujino K, Shintani S: Clinical and Histological Analysis of Regional Odontodysplasia: A Case report of “Ghost teeth”, 11th PDAA (Pediatric Dentistry Association of Asia), 2018 Sep 16, Beijing, Beijing International Convention Center.
 18. Kita D, Kinumatsu T, Ishii Y, Yamamoto S, Saito A: Treatment of gingival fenestration with connective tissue graft. The 104th annual meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Canadian Academy of Periodontology, the Japanese Academy of Clinical Periodontology, and the Japanese Society of Periodontology, 2018年10月27-30日, Vancouver, British Columbia, Canada. Abstracts of JSP/JACP Poster Session, p23, 2018
 19. Kitamura Y, Yamashita K, Kikuchi Y, Fukasawa T, Saito A, Ishihara K: Characterization of a novel DNA binding protein of *Treponema denticola*. The 66th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, 2018年11月17日, 札幌市北区, Program and Abstracts of Papers, 30, 2018.
 20. Koyachi M, Sugahara K, Odaka K, Matsunaga S, Abe S, Katakura A: Technical report of Le Fort I osteotomy using Microsoft[®] HoloLens and 3D devices. 24th Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery, 18-21 September 2018 - Munich – Germany
 21. Koyachi M, Sugahara K, Shin M, Koyama Y, Takagi R, Kasahara K, Odaka K, Matsunaga S, Abe S, Katakura A.: Technical report of Le Fort I osteotomy using Microsoft[®] HoloLens and 3D devices. The 57th Congress of Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, 2018年10月25-27日、韓国・清州
 22. Masaki Minabe, Yurie Akiyama, Tetsuhiko Tachikawa, Michiyoshi Kouno, Takeshi Nomura: Desmoglein3-EGFR Interaction in OSCC and its effect on cetuximab treatment. IADR2018. 2018年7月28日、ExCel London Covention Center、ロンドン、イギリス
 23. Michiyoshi Kouno, Yurie Akiyama, Masaki Minabe, Kazuyuki Ishihara, Shinichi Takahashi: Oral dysbiosis in palmoplantar pustulosis patients with arthro-osteosis. IID2018. 2018年5月18日、Rosen Shingle Creak Resort、オーストラリア、アメリカ合衆国
 24. Morati N, Onodera S, Hasegawa D, Nomura T, Azuma T.: Epidermal differentiation from Gorlin Syndrome- induced pluripotent stem cells. 96th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research, July, London
 25. Nakajima, M., Nito, C., Sowa, K., Suda, S., Nishiyama, Y., Takahashi, A.N., Kasahara, Y.N., Imagawa, K., Hirato, T., Ueda, M., Kimura, K., Okada, T.: Interleukin-10 gene transfer enhances neuroprotective effects of mesenchymal stem cells following transient focal cerebral ischemia. JSGCT 24th Annual Meeting, July 27th, 2018, 虎ノ門ヒルズ

26. Nakamura M, Tanaka, A, Tasaka A, Yoshinari M, Takemoto S, Yamashita S : Retentive force of cone crown telescope after repetitive insertion/removal test 2018 IADR General Session & Exhibition July 25-28 96th 2018, ExCel London Convention Center
27. Nagai S, Higashikawa A, Ohyama S, Kimura M, Shibukawa Y, Katakura A.: Expression of Mechanosensitive Ion Channel in Osteoblasts. 9th Federation of the Asian and Oceanian Physiological Societies congress (FAOPS), 第 96 回日本生理学会大会, 平成 31 年 3 月 28-31 日, 神戸市, The Journal of Physiological Sciences, 69(1): 265, 2019
28. Odaka K, Matsunaga S, Yamamoto M, Koyachi M, Sugahara K, Katakura A, Abe S.: Application of novel techniques to transfer the positon designed at virtual operation by assembling additive manufactured devices in Le Fort I osteotomy. 24th Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery, 18-21 September 2018 - Munich – Germany
29. Okano H, Tasaka A, Kato Y, Komine A, Higuchi S, Yamashita S: Influence of Reinforcing-bar on Shape Accuracy of Framework by Selective-laser-sinter 2018 IADR/PER General Session & Exhibition July 28th 2018, ExCel London Convention Center
30. Onodera S, Azuma T, Ohba S.: Enhancement of osteogenic potential in iPSCs derived from Gorlin syndrome. 96th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research, July, London
31. Saito A, Takeuchi T, Suzuki E, Sato M, Aoki H, Bizenjima T, Irokawa D, Kitamura Y, Makino-Oi, A, Seshima F, Tomita S: Treatment of intrabony periodontal defects using FGF-2 with deproteinized bovine bone mineral: interim results from a prospective randomized controlled trial. The 104th annual meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Canadian Academy of Periodontology, the Japanese Academy of Clinical Periodontology, and the Japanese Society of Periodontology, 2018 年 10 月 27-30 日, Vancouver, British Columbia, Canada. AAP Research Forum Poster Session, 2018
32. Sato M, Suzuki E, Aoki H, Hisanaga Y, Nakamura A, Saito A, Azuma T.: Effects of parathyroid hormone on osteoblastic differentiation of iPS cells. 96th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research, July, London
33. Sato M, Suzuki E, Aoki H, Hisanaga Y, Nakamura A, Saito A, Azuma T: Effect of parathyroid hormone on osteoblastic differentiation of iPS cells. The 104th annual meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Canadian Academy of Periodontology, the Japanese Academy of Clinical Periodontology, and the Japanese Society of Periodontology, 2018 年 10 月 27-30 日, Vancouver, British Columbia, Canada. Abstracts of JSP/JACP Poster Session, p5, 2018
34. Satou R, Kimura M, Ishizuka Y, Suzuki S, Shibukawa Y, Sugihara N. Light Conditions Affect Rhythmic Expression of Anol1 in Submandibular Glands, 2018 IADR General Session, 平成 30 年 07 月 24-29 日, London, England 96th IADR PROGRAM BOOK, 226, 2018
35. Seshima F, Aoki H, Takeuchi T, Suzuki E, Irokawa D, Makino-Oi A, Sugito H, Tomita S, Saito A.: Periodontal regenerative therapy with enamel matrix derivative in the treatment of intrabony defects: a 2-year clinical outcome. 9th Conference of the European Federation of Periodontology, 2018.6.20-23, Amsterdam, The Netherlands. J Clin Periodontol 45(S19):243, 2018
36. Sowa, K., Nito, C., Nakajima, M., Suda, S., Nishiyama, Y., Sakamoto, Y., Kasahara, Y.N., Takahashi, A.N., Ueda, M., Kimura, K., Okada, T: Dental pulp stem cell overexpressing hepatocyte growth factor ameliorates blood-brain barrier permeability and promotes neuroprotection in a rat model of ischemic stroke. JSGCT 24th Annual Meeting, July 27th, 2018, 虎ノ門ヒルズ
37. Sugahara K, Koyama Y, Kitamura K, Nakajima N, Matsuzaka K, Odaka K, Matsunaga S, Abe S, Katakura A.: Histopathological verification of fluorescence images of the oral

- mucosa. 24th Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery, 18-21 September 2018 - Munich – Germany
38. Sugahara K, Wada A, Koyachi K, Yoshida S, Watanabe A, Bessho H, Kasahara K, Takano M, Shibahara T, Saito C, Katakura A: Clinical study of intraoperative bleeding in orthognathic surgery. 57th KAMPRS (The 57th Congress of Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons) 25-27 October 2018 – Cheongju, Korea
 39. Takada K, Satou A, Ogihara Y, Aida N, Azuma T, Furusawa M.: Synergy between Wnt3a and Fgf8 in mouse iPS differentiating to odontoblast. 96th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research, July, London
 40. Takahashi, A.N., Ikeue, R., Kasahara, Y.N., Watanabe, A., Hirai, Y., Okada, T., Kasahara, M.: Improvement of lethal hypophosphatasia in mice by high level expression of bone targeted alkaline phosphatase using self-complementary AAV8 vector. JSGCT 24th Annual Meeting, July 27th, 2018, 虎ノ門ヒルズ
 41. Tsujino K, Shintani S: A Case of Supernumerary Tooth in the Mandibular Anterior Region -Report on a Rare Case of Five Mandibular Incisors-, 11th PDAA (Pediatric Dentistry Association of Asia), 2018 Sep 16, Beijing International Convention Center.
 42. Udagawa N, Koide M, Uehara S, Arai A, Mizoguchi T, Yamashita T, Nakamura M, Kobayashi Y, Takahashi N, Kumakura S, Fukuda C, Tsuda E: Sialic acid-binding immunoglobulin-like lectin 15 (Siglec-15) plays important roles in the induction of both bone-resorbing activity of osteoclasts and osteoblast differentiation. Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research, October 1, 2018, モントリオール国際会議場
 43. Watanabe K, Onodera S, Morita S, Yamaguchi A, Shibahara T, Azuma T.: Establishment of iPS cells of McCune-Albright syndrome model using CRISPR/CAS9. 96th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research, July, London
 44. Yamashita K, Kitamura Y, Kikuchi Y, Ishihara K, Saito A.: Investigating the functional role of a gene encoding a DNA binding protein in *Treponema denticola*. The American Academy of Periodontology 2018 Annual Meeting, October 27-30 2018, Vancouver, Canada.
 45. Yamashita K, Kitamura Y, Kikuchi Y, Ishihara K, Saito A: An investigation of the role of a gene encoding a DNA binding protein in *Treponema denticola*. 9th Conference of the European Federation of Periodontology, 2018.6.20-23, Amsterdam, The Netherlands. J Clin Periodontol 45(S19):78, 2018
 46. Yoshida W, Takeuchi T, Bizenjima T, Matsugami D, Nakazaki T, Seshima F, Saito A: Effects of parathyroid hormone and neutral self-assembling peptide on periodontal healing. The 104th annual meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Canadian Academy of Periodontology, the Japanese Academy of Clinical Periodontology, and the Japanese Society of Periodontology, 2018年10月27-30日, Vancouver, British Columbia, Canada. Abstracts of JSP/JACP Poster Session, p1, 2018
 47. Yoshida W, Takeuchi T, Bizenjima T, Matsugami D, Seshima F, Saito A: Effects of parathyroid hormone and neutral self-assembling peptide hydrogel on the healing of periodontal defects in rats. 9th Conference of the European Federation of Periodontology, 2018.6.20-23, Amsterdam, The Netherlands. J Clin Periodontol 45(S19):238, 2018
 48. Yoshikawa K, Kita D, Kokubu E, Kikuchi Y, Imamura K, Yamashita K, Kitamura Y, Fukasawa T, Saito A, Ishihara K: Investigation of adhesion of *Porphyromonas gingivalis* Hgp44 to *Treponema denticola*. 96th General Session of the IADR, 2018.7.27, London, England. 96th General Session of the IADR Program Book, p223, 2018.
 49. 秋山友理恵、三邊正樹、高橋慎一、河野通良、野村武史：掌蹠膿疱症患者における口腔マイクロバイオーーム解析 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 千葉市 2018年11月2日

50. 浅井田鶴子, 桜井敦朗, 関戸達哉, 菊田高行, 新井曄子, 白井弘三, 戸坂清二, 丸山清孝, 米田由紀, 野田幸枝, 西尾智見, 今井裕樹, 松浦信幸, 新谷誠康, 一戸達也: 当診療所におけるインシデントレポートを通じた医療安全に対する意識向上の取り組み、第 35 回日本障害者歯科学会, 2018 年 11 月 17 日, 東京、障害者歯科, 39(3):266, 2018.
51. 浅見洋佑, 佐々木穂高, 守源太郎, 小林孝誌, 吉成正雄, 矢島安朝: インプラント周囲軟組織の創傷治癒期間における特異的炎症性マーカーの発現変化、第 38 回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会、2019 年 2 月 10・11 日、京王プラザホテル
52. 荒井亮, 秋元佐和子, 青柳翠, 辻野啓一郎, 新谷誠康: 乳歯根管治療による腐骨形成が起因した永久歯萌出障害の一例; A case report of eruption disturbance of permanent teeth caused by sequestrum due to the root canal treatment of deciduous tooth. 第 56 回日本小児歯科学会、2018 年 5 月 10 日、大阪国際会議場
53. 新井敬, 桜井敦朗, 本間宏実, 永井宜子, 新谷誠康: 乳幼児における口腔内細菌叢の確立までの経時的解析、第 306 回東京歯科大学学会, 2018 年 10 月 20 日, 東京、歯科学報, 118(5):480, 2018.
54. 新井敬, 桜井敦朗, 本間宏実, 永井宜子, 新谷誠康: 乳幼児の口腔内細菌叢の出生時から経時的変化、第 56 回日本小児歯科学会, 2018 年 5 月 11 日, 大阪国際会議場、小児歯科学雑誌, 56(2):207, 2017.
55. 新井敬, 桜井敦朗, 本間宏実, 永井宜子, 新谷誠康: 乳幼児の口腔内細菌叢の出生時から経時的変化; Chronological change in oral microbiome of infants.、第 56 回日本小児歯科学会、2018 年 5 月 10 日、大阪国際会議場
56. 有泉高晴, 山崎梓, 柴原孝彦: 塩基性繊維芽細胞増殖因子の局所投与による末梢神経損傷に対する効果、第 63 回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
57. 有泉由紀子, 石川昇, 本間宏実, 富永早紀, 田村梨恵, 辻野啓一郎, 山本仁, 新谷誠康: 根尖性歯周炎の原因となった歯内歯の解剖学的研究; An anatomical study of Dens in dente with the apical periodontitis. 第 56 回日本小児歯科学会、2018 年 5 月 10 日、大阪国際会議場
58. 有間英仁, 西井康, 末石研二, 高木多加志, 後藤多津子: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突患者における術前・術後の咀嚼筋体積の評価、東京矯正歯科学会雑誌 28(2):146 第 77 回東京矯正歯科学会学術大会, 2018 年 7 月 12 日、東京
59. 有間英仁, 西井康, 末石研二, 野嶋邦彦, 立木千恵, 高木多加志, 後藤多津子, 阿部伸一: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突患者における術前・術後の咀嚼筋体積の評価、第 77 回日本矯正歯科学会学術大会、平成 30 年 10 月 31 日~11 月 1 日
60. 有間英仁, 立木千恵, 野嶋邦彦, 西井康, 末石研二, 西川慶一, 高木多加志, 阿部伸一, 後藤多津子: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突患者における術前・術後の咀嚼筋体積の評価、第 306 回東京歯科大学学会(総会)、平成 30 年 10 月 20 日
61. 飯島由貴, 立木千恵, 神尾崇, 西井康, 末石研二, 山本雅絵, 高木多加志, 柴原孝彦: 外科的矯正治療での下顎結合部における下顎前歯部歯根の移動様相の検討、日本顎変形症学会雑誌 28(2):161 第 28 回日本顎変形症学会学術総会, 2018 年 6 月 14,15 日, 大阪市
62. 井口直彦, 細川裕貴, 横山 梓, 森田奈那, 三邊正樹, 浮地, 賢一郎, 河野通良, 高橋慎一, 橋本和彦, 野村武史: 皮膚と口腔に発症した DPP-4 阻害薬関連類天疱瘡の 1 例 第 28 回日本口腔内科学会・第 31 回口腔診断学会合同学術大会 横浜市 2018 年 9 月 15 日

63. 石井武展, 石川宗理, 崔大煥, 大竹智弘, 小倉弘之, 亀井宏和, 永井航平, 末石研二: 上顎骨臼歯部頰側における局所的フルバスタチン応用は歯列側方拡大限界量を増加させる、東京矯正歯科学会雑誌 28(2):141 第 77 回東京矯正歯科学会学術大会, 2018 年 7 月 12 日、東京
64. 石彩記子, 西井康, 武笠友里香, 立木千恵, 野嶋邦彦, 末石研二, 高木多加志, 柴原孝彦: 骨格性下顎前突症における外科的矯正治療の安定性—第 3 報 顔面形態との関係—第 77 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 295,2018. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日、横浜
65. 石彩記子, 立木千恵, 武笠友里香, 西井康, 野嶋邦彦, 末石研二, 高木多加志, 柴原孝彦, 片倉朗, 齊藤力: 骨格性上顎前突症における外科的矯正治療の安定性(第 3 報) 顔面形態との関係、日本顎変形症学会雑誌 28(2):152 第 28 回日本顎変形症学会学術総会, 2018 年 6 月 14,15 日、大阪市
66. 石束叡, 四ツ谷護, 内藤哲, 永倉遼太郎, 山本将仁, 阿部伸一: マウス顎関節‘筋-腱-骨’複合体における形態形成プロセス, 第 60 回歯科基礎医学会学術大会, 2018 年 9 月 6 日, 九州大学, 第 60 回歯科基礎医学会学術大会プログラム・抄録集, 39, 2018
67. 石塚洋一, 吉野浩一, 佐藤涼一, 鈴木誠太郎, 小野瀬祐紀, 江口貴子, 高柳篤史, 上條英之, 杉原直樹: 販売・営業職と事務職での口腔内の状態および口腔保健行動の比較、第 67 回日本口腔衛生学会・総会, 平成 30 年 5 月 18-20 日, 北海道 口腔衛生学会雑誌, 68-2:157, 2018
68. 石原和幸, 山下喜久, 秋山泰, 新谷誠康, 齋藤淳, 柴原孝彦, 河野通良: 口腔感染症のマイクロバイオーム解析、歯科学報 118 巻 4 号 Page274-275, 2018
69. 伊藤慎一郎, 西山明宏, 大野啓介, 吉田秀児, 高木亮, 菅原圭亮, 別所央城, 渡邊章, 山本信治, 笠原清弘, 高野正行, 齊藤力, 片倉朗, 柴原孝彦: 東京歯科大学水道橋病院口腔外科における全身麻酔手術症例の臨床的検討、歯科学報 118 巻 5 号 P483, 2018
70. 稲田潤一郎, 中村ゆり子, 秋山友理恵, 細川裕貴, 三邊梓, 三邊正樹, 浮地賢一郎, 河野通良, 高橋慎一, 野村武史: トニックウォーターに含まれるキニーネによる固定疹の 1 例 第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会 千葉市 2018 年 11 月 2 日
71. 井上博之, 黒田英孝, 石川昂, 大山定男, 大房航, 永井佐代子, 鎌田聡仁, 石崎元樹, 松永真由美, 矢崎龍彦, 北山えり, 東川明日香, 木村麻記, 澁川義幸, 一戸達也: ラット三叉神経節細胞における Bz-ATP 誘発性二相性内向き電流の生物物理学・薬理的解析、第 12 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会、平成 30 年年 12 月 8-9 日、勝浦市、抄録集、P20
72. 井上博之, 黒田英孝, 大山定男, 大房航, 東川明日香, 木村麻記, 澁川義幸, 一戸達也: P2X7 receptor activation induces ATP release via pannexin channel in rat trigeminal ganglion neurons、第 66 回国際歯科研究学会日本部会総会・学術大会、平成 30 年 11 月 17-18 日、札幌市抄録集、P102, 2018
73. 井上博之, 黒田英孝, 大山定男, 大房航, 永井佐代子, 鎌田聡仁, 東川明日香, 木村麻記, 澁川義幸, 一戸達也: 三叉神経節ニューロンにおける P2X7 受容体-パネキシンチャンネルカップリング、第 60 回歯科基礎医学会学術大会、2018 年 9 月 5-7 日、九州大学
74. 岩崎敬大, 恩田健志, 関川翔一, 林宰央, 高野伸夫, 柴原孝彦: 口腔扁平上皮癌における Phosphodiesterase 5 発現の免疫組織化学的検討、第 37 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2019 年 1 月 24 日、長崎ブリックホール
75. 宇田川信之, 小出雅則, 上原俊介, 荒井敦, 溝口利英, 山下照仁, 中村美どり, 小林泰浩, 高橋直之, 熊倉誠一郎, 福田千恵, 津田英資: 破骨細胞に発現する Siglec-

- 15 の中和抗体は骨吸収を抑制しながら骨芽細胞の分化を促進する、第 36 回日本骨代謝学会学術集会、2018 年 7 月 28 日、長崎ブリックホール
76. 大金覚、齋藤寛一、河地誉、本田健太郎、池田雄介、菊池崇剛、石井悠佳里、井坂栄作、小坂井絢子、野村武史、高野正行、片倉朗、柴原孝彦、高野伸夫：口腔がんセンターにおけるオトガイ下皮弁による再建の臨床的検討、歯科学報 118 巻 3 号 P248,2018.
 77. 大金覚、河地誉、齋藤寛一、井坂栄作、岩崎敬大、関川翔一、高野正行、野村武史、片倉朗、柴原孝彦、高野伸夫：口腔扁平上皮癌の肺転移に対する治療法と予後に関する臨床的検討、第 37 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2019 年 1 月 25 日、長崎ブリックホール
 78. 大金覚、河地誉、齋藤寛一、本田健太郎、菊池崇剛、高野正行、野村武史、片倉朗、柴原孝彦、高野伸夫：80 歳以上の口腔扁平上皮癌患者の臨床的検討、第 63 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
 79. 大久保真衣、三浦慶奈、上田貴之、杉戸博記、勢島典、森岡俊行、内山沙姫、吉田光孝、大野啓介、矢島安朝：歯科治療後の「お食事セット」使用に対する外来患者の主観的評価、第 305 回東京歯科大学学会、2018 年 6 月 2 日 東京歯科大学
 80. 大久保真衣、三浦慶奈、西岡さやか、大井麻子、仁科牧子、北村妃香莉、齋藤淳、古澤成博、石田瞭、福田謙一：口唇閉鎖困難と構音障害の訴えを契機に重症筋無力症と診断された 1 例、第 306 回東京歯科大学学会、2018 年 10 月 20 日、東京歯科大学
 81. 大久保真衣、三浦慶奈、大平真理子、杉山哲也、山下秀一郎、石田瞭：MASA による喘息および COPD（慢性閉塞性肺疾患）患者を対象とした摂食嚥下機能評価の検討、第 24 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会、2018 年 9 月 9 日、仙台国際センター
 82. 大久保真衣、杉山哲也、三浦慶奈、對木將人、石田瞭：超音波画像を用いた舌の厚さへの体位とプローブ保持方法の影響、第 29 回日本老年歯科医学会学術大会、2018 年 6 月 22 日、きゅりあん品川区立総合区民会館
 83. 太田 亮輔、栗田 浩、小田切 宏樹、近藤 英司、鎌田 孝広、山田 慎一、柴原 孝彦：高齢者口腔癌患者の評価および治療に関する研究 G8 screening tool による口腔癌治療前後の機能評価、頭頸部癌 44 巻 2 号 P164,2018.
 84. 大竹智久、崔大煥、亀井宏和、永井航平、石井武展、末石研二：顎関節 OA 発症におけるメカニカルストレスと性ホルモンの関連について、77 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 226,2018. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日、横浜
 85. 大野啓介、前山恵里、小坂井絢子、大金覚、別所央樹、山本信治、高野正行、高野伸夫、齋藤力、片倉朗、柴原孝彦：新 TNM 分類(第 8 版)を用いた口腔扁平上皮癌症例の分類と有用性の評価、日本口腔科学会雑誌 67 巻 2 号 P120,2018.
 86. 大野啓介、小坂井絢子、前山恵里、山本信治、大金覚、高野正行、片倉朗、高野伸夫、柴原孝彦：口腔蛍光観察装置と画像解析ソフトを応用した口腔粘膜疾患の診断方法、第 37 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2019 年 1 月 25 日、長崎ブリックホール
 87. 大平真理子、田坂彰規、森岡俊行、古屋克典、小峯明子、田中章啓、池田一洋、酒井遼、中村美伽代、上窪祐基、岡野日奈、加藤芳実、西根万純、鎌田聡仁、山下秀一郎：CAD/CAM システムを利用したパーソナルデンチャー設計実態の教育効果の検討、第 305 回東京歯科大学学会(総会) 2018 年 6 月 2 日、東京歯科大学

88. 大山定男、人見涼露、東川明日香、大房航、望月浩幸、安藤正之、河野恭佑、黒田英孝、木村麻記、小野堅太郎、澁川義幸：象牙質痛は象牙芽細胞と歯髄ニューロンの神経性伝達で生じる、第 60 回歯科基礎医学会学術大会、2018 年 9 月 5-7 日、九州大学
89. 大山定男、人見涼露、東川明日香、大房航、望月浩幸、安藤正之、河野恭佑、黒田英孝、木村麻記、小野堅太郎、澁川義幸：第 12 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会、平成 30 年 12 月 8-9 日、勝浦市
90. 大山定男、木村麻記、人見涼露、小野堅太郎、澁川義幸：象牙質痛発生モデルラットにおける象牙質痛発生メカニズムの解析、第 12 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会、平成 30 年 12 月 8-9 日、勝浦市
91. 岡野日奈、田坂彰規、加藤芳実、小峯明子、樋口鎮央、山下秀一郎：補強バーの付与がレーザー積層造形法で製作したフレームワークの形状精度に及ぼす影響、日本補綴歯科学会第 127 回学術大会、2018 年 6 月 16 日、岡山コンベンションセンター
92. 小川雄大、廣内英智、山本将仁、松永智、阿部伸一：顎顔面再建手術後の歯科インプラント埋入を想定した日本人腭骨の解剖学的研究、日本口腔インプラント学会誌 第 31 巻 特別号 Page61(2018.9)、第 48 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会、大阪市
93. 小澤夏生、林宰央、本多佑名、関川翔一、恩田健志、柴原孝彦：がん化学療法に併発する口内炎に対する支持療法の探索、歯科学報 118 巻 3 号 P247,2018.
94. 小澤夏生、恩田健志、林宰央、本多祐名、関川翔一、柴原孝彦：抗がん剤による口内炎に対する半夏瀉心湯の口内炎改善メカニズム、第 63 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
95. 小高研人、是澤和人、松永智、阿部伸一：インプラント周囲骨における骨質特性の分析、第 305 回東京歯科大学学会・例会プログラム Page28(2018.6)、第 305 回東京歯科大学学会例会、千代田区
96. 小田嶋彩乃、小野寺晶子、齋藤暁子、中村貴、高田佳奈、星野立樹、一戸達也、東俊文：マウス iPS 細胞から遊走神経堤細胞への分化誘導と発現転写因子の検討、第 60 回歯科基礎医学会学術大会、9 月、博多市
97. 翁長欣子、神尾崇、高木多加志、柴原孝彦：顎矯正手術における硬軟組織形態変化の三次元的検討、日本顎変形症学会雑誌 28 巻 2 号 P122,2018.
98. 翁長欣子、神尾崇、高木多加志、柴原孝彦：顎矯正手術における硬軟組織形態変化の三次元的検討、第 63 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 3 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
99. 鬼谷薫、庄司広和、吉本世一、三浦奈美、岡谷しのぶ、柴原孝彦、加藤健、本田一文：次世代シーケンサーによる血中循環腫瘍細胞(CTCs)および血中腫瘍循環 DNA(ctDNA)のリアルタイムモニタリング、日本分子腫瘍マーカー研究会プログラム・講演抄録 38 回 P73-75,2018
100. 鬼谷薫、庄司広和、三浦奈美、柴原孝彦、加藤健、本田一文：ラベルフリーマイクロ流路を用いた腫瘍循環細胞の遺伝子プロファイリング(Genomic profiling of circulating tumor cells collected by a label-free inertial microfluidics approach)日本癌学会総会記事 77 回 P800,2018
101. 鬼谷薫、柴原孝彦、本田一文：次世代シーケンサーを用いた血中循環腫瘍細胞(CTCs)によるリアルタイムモニタリング、第 37 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2019 年 1 月 25 日、長崎ブリックホール
102. 小野瀬祐紀、一本麻保子、鈴木誠太郎、久保秀二、高橋義一、村松淳、石塚洋一、佐藤涼一、江口貴子、上條英之、杉原直樹：成人集団における歯肉退縮の有病状

- 況と関連要因、第 67 回日本口腔衛生学会・総会、平成 30 年 5 月 18-20 日、北海道口腔衛生学会雑誌、68-2:142, 2018
103. 小野寺晶子, 森田那奈, 渡邊豪士, 齋藤暁子, 中村貴, 野村武史, 高橋慎二, 片倉朗, 柴原孝彦, 東俊文: ヘッジホッグシグナル伝達異常により発症する歯原性角化嚢胞が生じる遺伝子異常の網羅的解析、第 305 回東京歯科大学学会、6 月、東京都
 104. 小野寺晶子, 齋藤暁子, 中村貴, 小崎健次郎, 東俊文: 遺伝子解析を用いた Gorlin 症候群メカニズムの検討、第 60 回歯科基礎医学会学術大会、9 月、福岡市
 105. 小野寺晶子, 齋藤暁子, 片倉朗, 野村武史, 小崎健次郎, 鄭雄一, 柴原孝彦, 大庭伸介, 東俊文: Gorlin 症候群患者由来 iPS 細胞の骨芽細胞分化能の異常、第 50 回日本臨床分子形態学会、9 月、東京都
 106. 小幡智子, 大竹智久, 小倉弘之, 鍛代秀人, 木村絵美子, 草場岳, 村上彩花, 古川裕美, 有泉大, 末石研二: 卒後研修課程 4 1 期生による症例展示、第 77 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 331,2018. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日、横浜
 107. 恩田健志, 神尾崇, 林宰央, 関川翔一, 山田祥, 川上真奈, 柴原孝彦: 顎関節症様症状に対して施行した MR 検査で顎関節症以外の確定診断に至った症例の検討、日本顎関節学会雑誌 30 巻 Suppl. P140,2018.
 108. 恩田健志, 林宰央, 関川翔一, 本多佑名, 柴原孝彦: 口腔白板症組織および口腔扁平上皮癌組織における長寿遺伝子 Sirt1 の発現状態、老年歯科医学 33 巻 2 号 P178-179,2018
 109. 恩田健志, 林宰央, 関川翔一, 本多佑名, 柴原孝彦: 口腔扁平上皮癌細胞におけるオンコメタボライト 2HG の発現状態、日本口腔科学会雑誌 67 巻 2 号 P158,2018
 110. 恩田健志, 林宰央, 関川翔一, 白石尚基, 小澤夏生, 柴原孝彦: 口腔扁平上皮癌細胞の揮発性有機化合物を標的とした診断、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
 111. 笠原正彰, 染屋智子, 京極啓, 五十嵐俊男, 愛知徹也, 野口竜実, 市川弘道, 長谷川晃嗣, 吉成正雄, 服部雅之: 微小領域エックス線回折法によるヒト筋突起の BAp 結晶配向性解析、第 71 回日本歯科理工学会、2018 年 4 月 15 日、大阪歯科大学 楠葉学舎
 112. 笠原正彰, 染屋智子, 五十嵐俊男, 愛知徹也, 市川弘道, 吉成正雄, 服部雅之: 微小領域骨解析によるヒト筋突起の構造特性解明、第 72 回日本歯科理工学会、2018 年 10 月 7 日、北海道大学 学術交流会館
 113. 片山明彦, 剣持正浩, 武内崇博, 飯島佑斗, 齋藤淳, 中川種昭: 広汎型侵襲性歯周炎患者に対して歯周組織再生療法を含む包括的治療を行った一症例. 第 61 回春季日本歯周病学会学術大会、平成 30 年 6 月 2 日、東京都新宿区、日歯周誌 60 (春季特別号): 57, 147, 2018
 114. 加藤宏, 奥平貴人, 渡邊豪士, 柴原孝彦: ヒト末梢血血液由来 iPS 細胞を用いた骨再生療法の基礎的研究、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
 115. 加藤禎彬, 西山明宏, 柴原孝彦, 片倉朗: Stenon's 菅に発生した Mammary analogue secretory carcinoma の 1 例、第 37 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2019 年 1 月 24 日、長崎ブリックホール
 116. 加藤芳実, 田坂彰規, 岡野日奈, 小峯明子, 樋口鎮央, 山下秀一郎: 熱処理の違いがレーザー積層造形法で製作したフレームワークの形状精度におよぼす影響、日本補綴歯科学会第 127 回学術大会、2018 年 6 月 16 日、岡山コンベンションセンター

117. 門田枝里子、菊池有一郎、富田幸代、齋藤淳、石原和幸：歯周基本治療における歯肉縁下マイクロバイオーム解析、第 305 回東京歯科大学学会・例会、2018 年 6 月 2 日、東京歯科大学
118. 鎌田聡仁、東川明日香、木村麻記、井上博之、大山定男、大房航、澁川義幸、山下秀一郎：ヒト由来セメント芽細胞の電位依存性イオンチャネル発現、第 60 回歯科基礎医学会学術大会、2018 年 9 月 5-7 日、九州大学
119. 鎌田聡仁、東川明日香、木村麻記、澁川義幸、山下秀一郎：ヒト由来セメント芽細胞の電位依存性イオンチャネル発現、第 305 回東京歯科大学学会例会、平成 30 年 6 月 2 日、千代田区
120. 川上真奈、成田真人、岩本昌士、柴原孝彦：上顎正中過剰埋伏歯を鼻腔側から抜歯した症例の臨床的検討、第 63 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 3 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
121. 河地誉、大金覚、井坂栄作、山添真治、岩崎敬大、野村武史、高野正行、片倉朗、柴原孝彦、高野伸夫：口腔がんセンターにおける口腔扁平上皮癌 T4 症例の臨床的検討、歯科学報 118 巻 5 号:P484,2018
122. 河地誉、菅原圭亮、澁井武夫、勝見吉晴、小谷地雅秀、布施俊、齋藤力、片倉朗、野村武史：18p モノソミー患者の骨格性下顎前突症に対して上下顎骨形成術を施行した 1 例、第 28 回日本顎変形症学会、2018 年 6 月 14 日・15 日、大阪
123. 河地誉、大金覚、齋藤寛一、岩崎敬大、菊池崇剛、高野正行、片倉朗、柴原孝彦、野村武史、高野伸夫：若年者口腔扁平上皮癌に関する臨床的検討、第 63 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
124. 河地誉、大金覚、齋藤寛一、中澤和真、岩崎敬大、石井悠佳里、井坂栄作、菊池崇剛、本田健太郎、池田雄介、小坂井絢子、野村武史、高野正行、片倉朗、柴原孝彦、高野伸夫：東京歯科大学口腔がんセンターにおけるニボルマブの使用経験、第 37 回日本口腔腫瘍学会学術大会、2019 年 1 月 24 日、長崎ブリックホール
125. 北村啓、橋本圭史、石東叡、山本将仁、石川昂、菊池布恵、長坂新、見明康雄、阿部伸一、山本仁：胎生期マウス喉頭軟骨の発生過程に関する組織学的検索、日本解剖学会第 106 回関東支部学術集会、2018 年 10 月 20 日、東京都港区
126. 北村啓、石川昂、菊池布恵、長坂新、見明康雄、山本仁：胎生期マウス喉頭軟骨における発生と成長の過程、第 27 回硬組織再生生物学会学術大会・総会、2018 年 8 月 18 日、東京都千代田区
127. 木村英晃、岩本昌士、成田真人、柴原孝彦：歯科専門病院において、抗菌化学療法認定薬剤師との協働で解決に至った口腔外科術後感染症の 1 症例、日本化学療法学会雑誌 66 巻 Suppl.A P242,2018.
128. 木村麻記、東川明日香、大山定男、大房航、嶋田みゆき、黒田英孝、望月浩幸、安藤正之、河野恭佑、澁川義幸：象牙芽細胞において Gs タンパク質共役型受容体活性化は細胞内 cAMP レベルを増加する、第 60 回歯科基礎医学会学術大会、2018 年 9 月 5-7 日、九州大学
129. 草場岳、松永智、小川雄大、水野周平、野嶋邦彦、西井康、末石研二：ラット咬筋の機能低下下ともなう下顎骨のミクロ/ナノ構造特性変化、77 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 197,2018. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日、横浜
130. 久保周平、中川さとみ、西川貴美江、松本桂、野俣裕、音琴三郎、小川冬樹、新谷誠康：当障がい者歯科診療所におけるダウン症候群患者の歯科診療実態調査、第 35 回日本障害者歯科学会、2018 年 11 月 17 日、中野サンプラザ

131. 栗田浩, 太田亮輔, 盛岡昌史, 近藤英司, 鎌田孝広, 山田慎一, 柴原孝彦: 高齢口腔癌患者の評価および治療に関する研究 後期高齢口腔癌患者の治療選択とその結果、頭頸部癌 44 巻 2 号 P163,2018.
132. 小石沢理央, 西山明宏, 村山雅人, 前山恵里, 藤本侑子, 有泉高晴, 山崎梓, 佐々木研一, 片倉朗, 柴原孝彦: 本学神経修復外来における舌神経麻痺症例の臨床的検討、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 3 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
133. 国分栄仁: 臨床と基礎の架け橋 *Treponema denticola* の細胞侵入機構の解析 第 306 回東京歯科大学学会、2018 年 10 月 20 日、東京歯科大学新館
134. 国分栄仁, 菊池有一郎, 柴山和子, 石原和幸: *Treponema denticola* の prtP は上皮細胞の免疫応答を変調させる、第 60 回歯科基礎医学会学術大会、2018 年 9 月 5-7 日、九州大学病院キャンパス百年講堂
135. 小坂井絢子, 森川貴迪, 大野啓介, 齋藤寛一, 河地誉, 大金寛, 山本信治, 野村武史, 高野伸夫, 片倉朗, 橋本和彦, 柴原孝彦: 光学機器による早期表在型扁平上皮癌の解析—切除マージンへの応用—、第 37 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2019 年 1 月 25 日、長崎ブリックホール
136. 小坂井絢子, 大野啓介, 齋藤寛一, 大金寛, 山本信治, 野村武史, 高野伸夫, 橋本和彦, 柴原孝彦: 口腔粘膜観察装置 IllumiScan による描出能の解析、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
137. 小杉彩歌, 森泰昌, 高橋有希, 柴原孝彦, 笠原正貴: 輝度を用いた舌扁平上皮癌の腫瘍性変化における定量評価法の検討、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
138. 後藤弘明, 藤田貴久, 齋藤淳: 重度慢性歯周炎に対し歯肉弁根尖側移動術と残根上義歯にて対応した一症例。第 61 回春季日本歯周病学会学術大会、平成 30 年 6 月 2 日、東京都新宿区、日歯周誌 60 (春季特別号) : 62, 154, 2018
139. 小林孝誌, 佐々木穂高, 浅見洋佑, 守源太郎, 吉成正雄, 矢島安朝: インプラント周囲結合組織に特異的に発現する遺伝子 Lbp と Sod3 の検討、第 48 回日本口腔インプラント学会学術大会、2018 年 9 月 14~16 日、大阪国際会議場
140. 小谷地雅秀, 菅原圭亮, 辛麻由, 小山侑, 笠原清弘, 片倉朗: Microsoft® HoloLens とカッティングガイド・ジグデバイスを用いた Le Fort I 型骨切り術、第 63 回口腔外科学会総会、2018 年 11 月 2 日~3 日、千葉
141. 小谷地雅秀, 菅原圭亮, 辛麻由, 小山侑, 笠原清弘, 片倉朗: Microsoft® HoloLens とカッティングガイド・ジグデバイスを用いた Le FortI骨切り術、第 28 回日本顎変形症学会、2018 年 6 月 14 日・15 日、大阪
142. 小谷地雅秀, 菅原圭亮, 辛麻由, 布施俊, 小山侑, 笠原清弘, 片倉朗: Microsoft® HoloLens を用いて VR 手術支援を行った上顎良性腫瘍切除術、第 72 回口腔科学会学術集会、2018 年 5 月 11 日~13 日、名古屋
143. 是澤智久, 永倉遼太郎, 北村啓, 四ツ谷護, 山本将仁, 佐藤正樹, 阿部伸一: “筋-腱-骨”複合体: 形態形成プロセスの解明-Scleraxis, Sox9 発現局在からの理解, 第 306 回東京歯科大学学会(総会), 平成 30 年 10 月 20 日, 千代田区, 第 306 回東京歯科大学学会(総会)プログラム, 2018
144. 是澤智久, 山本将仁, 長坂新, 佐々木穂高, 大平真理子, 大久保真衣, 菅野亜紀, 四ツ谷護, 佐藤正樹, 阿部伸一: 「筋-腱-骨複合体」形態形成メカニズムの解明: Sox9 および scleraxis の発現局在と役割に関する考察、第 306 回東京歯科大学学会(総会)、2018 年 10 月 20 日、東京都

145. 是澤和人, 松永智, 奥寺元, 鈴木正史, 吉成正雄, 矢島安朝, 阿部伸一: 埋入後インプラント体周囲に新生されたオステオン様構造の動向、日本口腔インプラント学会誌 第 31 巻 特別号 Page50(2018.9)、第 48 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, 大阪市
146. 齋藤寛一、河地誉、大金覚、橋本和彦、高野正行、野村武史、片倉朗、柴原孝彦、田中陽一、高野伸夫: StageI-II 早期口腔扁平上皮癌における予後不良例の検討、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
147. 齋藤暁子, 大木章生, 澤田隆, 中村貴, 小野寺晶子, 長谷川大悟, 小崎健次郎, 末石研二, 東俊文: 鎖骨頭蓋骨異形成症由来 iPS 細胞を用いた骨芽細胞分化誘導時の RUNX2 機能不全と核形態異常との関連、第 305 回東京歯科大学学会, 6 月, 東京都
148. 齋藤晶子, 大久保真衣, 堀内彬代, 小林健一郎, 茂木悦子, 末石研二: タイプの異なる 2 種の超音波診断装置を舌観察に用いて、第 6 回日本口腔筋機能療法学会研修会および RTD、2018 年 10 月 10 日、有楽町朝日ホール
149. 佐々木穂高、森永健三、北郷明成、矢島安朝、西村一郎: 線維芽細胞における時計遺伝子 Npas2 の発現制御による軟組織の治癒促進、第 38 回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会、2019 年 2 月 10・11 日、京王プラザホテル
150. 佐藤仁美、渡邊素子、音成実佳、後藤多津子: 様々な塩味強度における脳活動領域について: pilot study、日本歯科放射線学会第 59 回学術大会、2018 年 5 月 27 日、神奈川
151. 佐藤仁美、渡邊素子、音成実佳、後藤多津子: 様々な塩味濃度における脳活動領域について、第 305 回東京歯科大学学会、2018 年 6 月 2 日、東京歯科大学
152. 佐藤正敬, 青木栄人, 久永幸乃, 中村彩乃, 齋藤淳, 東俊文: 副甲状腺ホルモンの間歇投与がマウス iPS 細胞の骨芽細胞分化に及ぼす影響の検討、第 306 回東京歯科大学学会 (総会), 2018 年 10 月 20 日, 東京都、歯科学報 118:475, 2018
153. 佐藤正敬, 鈴木瑛一, 青木栄人, 久永幸乃, 中村彩乃, 塩崎昭美, 東俊文, 齋藤淳: 副甲状腺ホルモンがマウス iPS 細胞の骨芽細胞分化に及ぼす影響第 61 回春季日本歯周病学会学術大会, 2018 年 6 月 1 日, 東京都 日本歯周病学会会誌 (春季特別号), 60:32, 2018
154. 佐藤涼一、石塚洋一、鈴木誠太郎、小野瀬祐紀、江口貴子、杉原直樹: 恒暗飼育ラット顎下腺における時計遺伝子プロファイルの作成、第 67 回日本口腔衛生学会・総会、平成 30 年 5 月 18-20 日、北海道 口腔衛生学会雑誌, 68-2:124, 2018
155. 佐藤涼一、木村麻記、石塚洋一、鈴木誠太郎、濫川義幸、杉原直樹: 光刺激がラット顎下腺末梢時計と Aqp5 および Ano1 発現リズムに与える影響、第 306 回東京歯科大学学会例会、平成 30 年 10 月 20-21 日、東京都、歯科学報、118-5:475, 2018
156. 柴野正康、青木勇介、古瀬健、稲川元明、本多佑名、山崎梓、林宰央、恩田健志、薬師寺孝、柴原孝彦: 直接経口抗凝固薬服用患者の抜歯後出血リスクに関する臨床的検討、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示
157. 柴原孝彦: 早期舌癌の治療における光学機器を用いた切除範囲の設定、第 37 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2019 年 1 月 25 日、長崎ブリックホール
158. 白石尚基、恩田健志、林宰央、関川翔一、高野伸夫、柴原孝彦: 口腔白板症組織および口腔扁平上皮癌組織における HSP90 の発現状態、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場

159. 辛麻由, 菅原圭亮, 別所央城, 笠原清弘, 渡邊章, 高野正行, 齊藤力, 柴原孝彦, 片倉朗: 当科における顎矯正手術後の金属製骨接合材除去に関する臨床的検討、第 28 回日本顎変形症学会、2018 年 6 月 14 日・15 日、大阪
160. 進正史, 溝口利英, 岡本富士雄, 鍛冶屋浩, 荒井敦, 宇田川信之, 岡部幸司: 間葉系幹細胞由来 TRPM7 による骨格形成制御、第 36 回日本骨代謝学会学術集会、2018 年 7 月 26 日、長崎ブリックホール
161. 新行内恵, 森川貴迪, 山田祥, 川上真奈, 柴原孝彦: ARONJ 患者におけるポジションペーパー2016 前後での比較、日本口腔科学会雑誌 67 巻 2 号 P126, 2018.
162. 新行内恵, 森川貴迪, 奥平貴人, 益田遼, 山田祥, 太田亮輔, 川上真奈, 柴原孝彦: BMA 治療歴のある骨粗鬆症患者における抜歯術後の ARONJ 発生の臨床統計、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 4 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
163. 末石研二: 教育と研究そして臨床—その継承と発展—、歯科学報 118(5):470、2018. 東京歯科大学学会総会、2018 年 10 月 20-21 日、東京
164. 菅原圭亮: Le Fort I 型骨切り術での上顎骨の位置決め 3D ジグ・VR を用いた精度向上、第 63 回口腔外科学会総会、2018 年 11 月 2 日～3 日、千葉、ミニレクチャー
165. 杉原直樹, 石塚洋一, 佐藤涼一, 鈴木誠太郎, 小野瀬祐紀, 江口貴子, 高柳篤史: 歯周病メンテナンス期における崩壊性顆粒配合歯磨剤の効果、第 67 回日本口腔衛生学会・総会、平成 30 年 5 月 18-20 日、北海道 口腔衛生学会雑誌, 68-2:145, 2018
166. 鈴木誠太郎, 小野瀬祐紀, 吉野浩一, 高柳篤史, 石塚洋一, 佐藤涼一, 江口貴子, 一本麻保子, 久保秀二, 高橋義一, 村松淳, 上條英之, 杉原直樹: 成人における歯肉炎症と肥満との関連性についての横断研究、第 67 回日本口腔衛生学会・総会、平成 30 年 5 月 18-20 日、北海道 口腔衛生学会雑誌, 68-2:110, 2018
167. 鈴木誠太郎, 小野瀬祐紀, 佐藤涼一, 石塚洋一, 吉野浩一, 高柳篤史, 上條英之, 杉原直樹: レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた糖尿病患者と上気道炎患者の抜歯数に関する検討、第 306 回東京歯科大学学会例会、平成 30 年 10 月 20-21 日、東京都 歯科学報, 118-5:478, 2018
168. 住吉美咲, 西山明宏, 大野啓介, 吉田秀児, 高木亮, 菅原圭亮, 別所央城, 渡邊章, 山本信治, 笠原清弘, 高野正行, 齊藤力, 片倉朗, 柴原孝彦: 東京歯科大学水道橋病院口腔外科における入院手術症例の臨床的検討、歯科学報 118 巻 3 号 P247, 2018.
169. 関川翔一, 齋藤寛一, 河地誉, 大金覚, 高野正行, 野村武史, 片倉朗, 高野伸夫, 柴原孝彦: 口腔扁平上皮癌における遠隔転移に関する臨床的検討、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
170. 関根理予, 角屋貴則, 有泉高晴, 関川翔一, 渡邊美貴, 中島啓, 岩本昌士, 恩田健志, 松坂賢一, 柴原孝彦: 口蓋に発生したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の 1 例、第 37 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2019 年 1 月 24 日、長崎ブリックホール
171. 関根理予, 森川貴迪, 黒田英孝, 大野啓介, 菅原圭亮, 恩田健志, 薬師寺孝, 高野正行, 齋藤力, 柴原孝彦: 拡大内視鏡を用いた口腔扁平上皮癌診断法の確立～正診率の向上を目指して～、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
172. 勢島典, 青木栄人, 武内崇博, 鈴木瑛一, 色川大輔, 大井麻子, 林智子, 杉戸博記, 富田幸代, 齋藤淳: エナメルマトリックスデリバティブを用いた歯周組織再

- 生療法：2.5年の臨床成績，第61回春季日本歯周病学会学術大会，平成30年6月1日，東京都新宿区，日歯周誌60（春季特別号）：42,132,2018
173. 高田佳奈，小野寺晶子，齋藤暁子，中村貴，小田嶋彩乃，木村基善，森田奈那，間奈津子，古澤成博，東俊文：Wnt3aとFgf8刺激によるマウスiPS細胞からの象牙化細胞への分化・誘導の検討，第50回日本臨床分子形態学会，9月，東京都
174. 高野直樹，瀧澤英男，小高研人，松永智，阿部伸一：金属3D積層造形によるラティス構造体の品質保証へのCAEの貢献(Contribution of CAE to Quality Assurance of Additively Manufactured Lattice Structure About the Use of the JSME Specification Template File)、日本機械学会 第31回計算力学講演会（CMD2018）講演論文集、Page011(2018.11)、第31回計算力学講演会（CMD2018），徳島市
175. 高橋有希，棚瀬稔貴，松永智，阿部伸一，新谷誠康，笠原正貴：高用量のアデノ随伴ウイルスベクターは低ホスファターゼ症の大腿骨伸長不全を改善する、第306回東京歯科大学学会（総会）、2018年10月30日、東京歯科大学
176. 高橋有希，池上良，棚瀬稔貴，笠原正貴：遺伝子治療による重症低ホスファターゼ症モデルマウスの大腿骨伸長不全の改善と行動量の正常化、第60回歯科基礎医学会学術大会、2018年9月5日、九州大学病院キャンパス百年講堂
177. 高橋有希，棚瀬稔貴，松永智，阿部伸一，新谷誠康，笠原正貴：高用量のアデノ随伴ウイルスベクターは低ホスファターゼ症の大腿骨伸長不全を改善する、第306回東京歯科大学学会・総会プログラム Page15(2018.10)、第306回東京歯科大学学会総会，千代田区
178. 武内崇博，佐藤正敬，鈴木瑛一，勢島典，大井麻子，富田幸代，梅原一浩，齋藤淳：塩基性線維芽細胞増殖因子（FGF-2）製剤と脱タンパク質ウシ骨ミネラルを併用した垂直性骨欠損の治療：症例シリーズ，第61回春季日本歯周病学会学術大会，平成30年6月1日，東京都新宿区，日歯周誌60（春季特別号）：42,133,2018
179. 武笠友里香，立木千恵，石彩記子，西井康，野嶋邦彦，末石研二，高木多加志，柴原孝彦，片倉朗，齊藤力：骨格性上顎前突症における外科的矯正治療の安定性(第2報) 下顎骨の移動量・移動方向との関係、日本顎変形症学会雑誌 28(2):151 第28回日本顎変形症学会学術総会、2018年6月14,15日、大阪市
180. 武笠友里香，立木千恵，石彩記子，西井康，野嶋邦彦，末石研二，高木多加志，柴原孝彦：骨格性上顎前突症における外科的矯正治療の安定性—第2報 下顎骨の移動量・移動方向との関係—第77回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 294,2018. 第77回日本矯正歯科学会学術大会 2018年10月30日-11月1日、横浜
181. 立木千恵，飯島由貴，神尾崇，西井康，末石研二，山本雅絵，高木多加志，柴原孝彦：外科的矯正治療における下顎前歯部の移動様相の検討(第二報) 歯根露出の要因の検討日本顎変形症学会雑誌 28(2):161 第28回日本顎変形症学会学術総会、2018年6月14,15日、大阪市
182. 立木千恵，武笠友里香，石彩記子，西井康，野嶋邦彦，末石研二，高木多加志，柴原孝彦，片倉朗，齊藤力：骨格性上顎前突症における外科的矯正治療後の安定性(第1報)経時的変化(会議録)日本顎変形症学会雑誌 28(2):151 第28回日本顎変形症学会学術総会、2018年6月14,15日、大阪市
183. 立木千恵，武笠友里香，石彩記子，西井康，野嶋邦彦，末石研二，高木多加志，柴原孝彦：骨格性上顎前突症における外科的矯正治療の安定性—第1報 セファロ分析の経時的変化—、第77回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 294,2018. 第77回日本矯正歯科学会学術大会 2018年10月30日-11月1日、横浜

184. 田中亜生、石川昴、山本仁、新谷誠康：象牙芽細胞の感覚受容器に関する発生学的研究、日本小児歯科学会 第 36 回北日本地方会・第 33 回関東地方会合同大会、2018 年 10 月 7 日、宇都宮市文化会館
185. 田宮資己、半場秀典、古澤成博、村松敬：高コレステロール飼育ラットに実験的根尖性歯周炎を起こさせた際の変化、第 148 回日本歯科保存学会、平成 30 年 6 月 14-15 日、横浜市
186. 田宮資己、半場秀典、村松敬、古澤成博：高コレステロール飼育ラットに実験的根尖性歯周炎を起こさせた際の変化、第 306 回東京歯科大学学会、平成 30 年 10 月 20, 21 日、東京
187. 趙麗娟、溝口利英、荒井敦、堀部寛治、宇田川信之、高橋直之、李憲起、各務秀明：修復象牙質形成における象牙芽細胞死の重要性、第 72 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会、2018 年 5 月 12 日、ウインクあいち
188. 趙麗娟、荒井敦、宇田川信之、堀部寛治、小林泰浩、高橋直之、李憲起、各務秀明、溝口利英：修復象牙質形成に対する象牙芽細胞死の重要性、第 4 回日本骨免疫学会、2018 年 6 月 24 日、万国津梁館
189. 趙麗娟、荒井敦、堀部寛治、細矢明宏、小林泰浩、宇田川信之、高橋直之、李憲起、各務秀明、溝口利英：象牙芽細胞の枯渇は修復象牙質を誘導する、第 87 回松本歯科大学学会、2018 年 11 月 15 日、松本歯科大学
190. 趙麗娟、荒井敦、堀部寛治、楊孟雨、細矢明宏、小林泰浩、宇田川信之、高橋直之、溝口利英：象牙芽細胞の枯渇は修復象牙質を誘導する、第 36 回日本骨代謝学会学術集会、2018 年 7 月 28 日、長崎ブリックホール
191. 辻野啓一郎、荒井亮、秋野一尚、新谷誠康：上顎犬歯歯胚が埋伏する過程を三次元的に解析した 1 例、日本小児歯科学会 第 36 回北日本地方会・第 33 回関東地方会合同大会、2018 年 10 月 7 日、宇都宮市文化会館
192. 戸嶋翼、深見未妃、山口樹里、石井武展、坂本輝雄、末石研二、渡邊美貴、柴野正康、吉田秀児、渡邊章、成田真人：片側性唇顎口蓋裂患者に対する矯正治療後の上下顎歯軸の検討(会議録)、日本口蓋裂学会雑誌 43(2):162,2018. 2018 年 5 月 24-25 日、大阪
193. 富田尚充、永倉遼太郎、山本将仁、松永智、四ツ谷護、太平真理子、菅野亜紀、大久保真衣、佐藤正樹、比嘉一成、阿部伸一：筋の骨への付着部形成過程における Sox-9 の局在に関する免疫組織化学的検索、第 305 回東京歯科大学学会・例会プログラム Page16(2018.6)、第 305 回東京歯科大学学会例会、千代田区
194. 内藤哲、四ツ谷護、石束叡、永倉遼太郎、佐藤正樹、阿部伸一：マウス外側翼突筋停止部付着様式の獲得と損傷後の変化、第 60 回歯科基礎医学会学術大会、2018 年 9 月 5 日、博多市、第 60 回歯科基礎医学会学術大会プログラム・抄録集、45, 2018
195. 永井佐代子、東川明日香、大山定男、大房航、望月浩幸、安藤正之、河野恭祐、木村麻記、澁川義幸、片倉朗：骨芽細胞の機械感受性イオンチャネル発現、第 60 回歯科基礎医学会学術大会、2018 年 9 月 5-7 日、九州大学
196. 中村貴、齋藤暁子、山口朗、東俊文：骨芽細胞分化における RUNX2 の新奇機能、第 306 回東京歯科大学学会、10 月、東京都
197. 中村美伽代、田中章啓、田坂彰規、吉成正雄、武本真治、山下秀一郎：コーヌステレスコープクラウンの繰り返し着脱試験による維持力と表面形状の変化、日本補綴 歯科学会第 127 回学術大会、2018 年 6 月 17 日、岡山コンベンションセンター
198. 中村美伽代、田中章啓、田坂彰規、小池秀行、武本真治、吉成正雄、山下秀一郎：PEEK で製作したテレスコープクラウンの反復着脱試験による維持力と表面形状

- の変化、平成 30 年度(社)日本補綴歯科学会東京支部総会・第 22 回学術大会、平成 30 年 11 月 24 日、日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館
199. 西井康, 石彩記子, 武笠友里香, 立木千恵, 野嶋邦彦, 末石研二, 高木多加志, 柴原孝彦, 片倉朗, 齊藤力: 骨格性上顎前突症における外科的矯正治療後の安定性(第 4 報) 下顎頭形態との関連、日本顎変形症学会雑誌 28(2):152 第 28 回日本顎変形症学会学術総会,2018 年 6 月 14,15 日,大阪市
 200. 西井康, 石彩記子, 武笠友里香, 立木千恵, 野嶋邦彦, 末石研二, 高木多加志, 片倉朗: 骨格性上顎前突症における外科的矯正治療の安定性—第 4 報 顎関節症との関係、第 77 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 295,2018. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日、横浜
 201. 西孝一、望月浩幸、木村麻記、東川明日香、大山定男、大房航、鷗田みゆき、安藤正之、河野恭佑、櫻井薫、澁川義幸: 象牙質形成の神経性制御: 象牙芽細胞における store-operated Ca²⁺ entry (SOCE)、第 17 回釧路ニューロサイエンスワークショップ、平成 30 年 6 月 29 日、釧路市、抄録集 pp24
 202. 西田大輔、荒井敦、宇田川信之、中村美どり、堀部寛治、小林泰浩、高橋直之、溝口利英: 歯髄における破歯細胞抑制メカニズムの解析、第 60 回歯科基礎医学学会学術大会 2018 年 9 月 6 日 九州大学
 203. 西山明宏, 小石沢理央, 前山恵里, 有泉高晴, 小郷侑子, 村山雅人, 佐々木研一, 福田謙一, 一戸達也, 矢島安朝, 柴原孝彦, 片倉朗: 医原性舌神経障害症例の保存・外科療法における治療方針決定因子の検討、口腔顎顔面外傷 17 巻 2 号 Page91-92,2018
 204. 根津裕一、竜正大、上田貴之、隈倉慎介、石原和幸、櫻井薫: 義歯床用材料表面に形成される微生物叢の解析、日本補綴歯科学会第 127 回学術大会、2018 年 6 月 17 日、岡山コンベンションセンター
 205. 野瀬達人、高野直樹、村田知優、小高研人、松永智、阿部伸一: チタン合金製歯科補綴物の 3D 積層造形のための CAE 技術の開発 (Development of CAE technology for 3D printing of titanium alloy dental prosthesis)、日本機械学会 第 31 回計算力学講演会 (CMD2018) 講演論文集、Page015 (2018. 11)、第 31 回計算力学講演会 (CMD2018)、徳島市
 206. 橋本千明, 北村啓, 橋本圭史, 廣内英智, 山本将仁, 松永智, 山本仁, 阿部伸一: マウス喉頭軟骨の発生: Sox 9 発現局在からの理解、第 306 回東京歯科大学学会・総会プログラム Page12(2018.10)、第 306 回東京歯科大学学会総会, 千代田区
 207. 林宰央, 恩田健志, 関川翔一, 川上真奈, 大金覚, 大畠仁, 高野伸夫, 柴原孝彦: 特発性 First Bite Syndrome に対して立効散が有効であった 1 例、日本顎関節学会雑誌 30 巻 Suppl. P153,2018.
 208. 林宰央, 恩田健志, 関川翔一, 本多佑名, 益田遼, 大金覚, 大畠仁, 高野伸夫, 柴原孝彦: 抗がん剤誘発口内炎に対するオゾンナノバブル水の効果、日本口腔科学会雑誌 67 巻 2 号 P155,2018.
 209. 林宰央, 恩田健志, 翁長欣子, 渡部幸央, 神尾崇, 大畠仁, 柴原孝彦: 上顎洞内に生じた厚い骨殻を有する歯根嚢胞の 1 例、第 63 回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 3 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
 210. 東川明日香、木村麻記、鷗田みゆき、大房航、大山定男、安藤正之、河野恭佑、望月浩幸、澁川義幸: 新生仔ラット三叉神経節細胞における機械刺激受容、第 60 回歯科基礎医学学会学術大会、2018 年 9 月 5-7 日、九州大学
 211. 久永幸乃, 吉川幸輝, 喜田大智, 齋藤淳: 歯周病学講座ポストグラデュエートコース第 21 期生による症例提示 —メインテナンス移行 2 年後も良好に経過して

- いる, 広汎型重度慢性歯周炎の1症例ー. 第306回東京歯科大学学会総会, 平成30年10月20日, 東京都千代田区, 歯科学報 118:486, 2018.
212. 深見未妃, 戸嶋翼, 山口樹里, 石井武展, 坂本輝雄, 末石研二, 渡邊美貴, 柴野正康, 吉田秀児, 渡邊章, 成田真人: 口蓋裂単独患者と唇顎口蓋裂患者における口蓋の成長発育に関する計測学的研究(会議録), 日本口蓋裂学会雑誌 43(2):179, 2018. 2018年5月24-25日, 大阪
213. 福島圭子, 鈴木奈穂, 布施亜由美, 吉田みずき, 大串圭太, 五味暁憲, 黒田真右, 辻野啓一郎, 新谷誠康, 一戸達也: 口腔ケアチャートを利用した障害者施設職員への口腔衛生教育が有効であった一例, 第35回日本障害者歯科学会, 2018年11月17日, 中野サンプラザ
214. 古川丈博, 松永智, 中島孝輔, 森岡俊行, 中野貴由, 阿部伸一, 吉成正雄, 矢島安朝: ヒト無歯下顎骨前歯部皮質骨における生体アパタイト結晶配向性, 日本口腔インプラント学会誌 第31巻 特別号 Page50(2018.9), 第48回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, 大阪市
215. 古川裕美, 大竹智久, 小倉弘之, 小幡智子, 鍛代秀人, 木村絵美子, 草場岳, 村上彩花, 有泉大, 末石研二: 卒後研修課程4 1期生による症例展示—リテンションケース—, 歯科学報 118(5):487, 2018 東京歯科大学学会, 2018年10月20-21日, 東京
216. 別所央城, 恩田健志, 野村武史, 山本信治, 片倉朗, 柴原孝彦: 口腔がん検診ナビシステム, 第63回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 2018年11月2日, 幕張メッセ国際会議場・国際展示場
217. 星野照秀, 西山明宏, 小石沢理央, 中島啓, 柴原孝彦, 片倉朗: 下顎骨内のIgG4関連疾患に対し神経再生誘導チューブを適応して神経修復術を行った1例, 第63回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 2018年11月3日, 幕張メッセ国際会議場・国際展示場
218. 星野立樹, 中村貴, 小野寺晶子, 齋藤暁子, 木村基善, 小田嶋彩乃, 一戸達也, 東俊文: A study on efficient induction of odontoblasts differentiation., 第50回日本臨床分子形態学会, 9月, 東京都
219. 細川裕貴, 稲田潤一郎, 三邊 梓, 森田奈那, 三邊正樹, 井口直彦, 浮地賢一郎, 河野通良, 高橋慎一, 野村, 武史: 粘膜類天疱瘡の臨床的検討 第28回日本口腔内科学会・第31回口腔診断学会合同学術大会 横浜市 2018年9月15日
220. 本多佑名, 恩田健志, 林宰央, 関川翔一, 大畠仁, 高野伸夫, 柴原孝彦: 口内炎に対する半夏瀉心湯構成生薬成分の抗炎症作用の検討, 日本口腔科学会雑誌 67巻2号 P155, 2018
221. 本多佑名, 恩田健志, 林宰央, 関川翔一, 柴野正康, 大畠仁, 柴原孝彦: 頬粘膜に生じた紡錘細胞脂肪腫の1例, 第63回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 2018年11月3日, 幕張メッセ国際会議場・国際展示場
222. 本田健太郎, 大金寛, 齋藤寛一, 河地誉, 小坂井絢子, 池田雄介, 菊地崇剛, 井坂栄作, 石井悠佳里, 野村武史, 高野正行, 片倉朗, 柴原孝彦, 高野伸夫: 東京歯科大学口腔がんセンターにおける80歳以上の高齢口腔扁平上皮癌患者の臨床的検討, 歯科学報 118巻3号 P248, 2018.
223. 本田貴子, 熊澤海道, 安部晴美, 中川さとみ, 新谷誠康: 歯の黒色色素沈着が認められる自閉スペクトラム症患者に対する口腔管理を行った1症例, 第35回日本障害者歯科学会, 2018年11月17日, 中野サンプラザ
224. 本間慎也, 高梨琢也, 松永智, 阿部伸一, 高野直樹, 矢島安朝: 口腔インプラント学卒前教育の現状, 日本口腔インプラント学会誌 第31巻 特別号

- Page60(2018.9)、第 48 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会、大阪市
225. 前山恵里、大野啓介、住吉美咲、別所央城、山本信治、高野正行、片倉朗、高野伸夫、柴原孝彦：当科における口腔がん患者の臨床的検討および Tumor budding による予後予測、第 37 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2019 年 1 月 25 日、長崎ブリックホール
226. 升田菜穂子、加瀬利美、有泉大、茂木悦子、末石研二：千葉病院矯正歯科における過去 5 年間の初診患者の動向について、歯科学報 118 巻 3 号 Page256(2018.06)
227. 松上大亮、吉田航、武内崇博、備前島崇浩、村上侑、勢島典、塩崎昭美、関谷栄、齋藤淳：機能性モチーフ修飾自己組織化ペプチドハイドロゲル応用がラットの歯周組織欠損の治癒に及ぼす影響。第 61 回秋季日本歯周病学会学術大会、平成 30 年 10 月 26 日、大阪市北区、日歯周誌 60 (秋季特別号)：36, 131, 2018.
228. 松崎雄佑、渡部幸央、丹羽順子、小林大輔、神山勲、重松司朗、柴原孝彦：口腔がんでの後発頸部リンパ節転移予測マーカーとしてのアクチン関連タンパク質発現の検討、第 37 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2019 年 1 月 25 日、長崎ブリックホール
229. 松永智、笠原典夫、北村啓、阿部伸一：新生児および成獣におけるカピバラの骨構造特性、第 60 回歯科基礎医学会学術大会 プログラム Page375(2018.9)、第 60 回歯科基礎医学会学術大会、福岡市
230. 松永智、是澤和人、奥寺元、鈴木正史、吉成正雄、矢島安朝、阿部伸一：歯科インプラント周囲に新生された顎骨のミクロ/ナノ構造特性、日本口腔インプラント学会誌 第 31 巻 特別号 Page62(2018.9)、第 48 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会、大阪市
231. 真名瀬崇吾、阿部駿一郎、白井朋之、八木下健、矢島由香、西山明宏、高野正行、片倉朗、柴原孝彦、佐々木研一：下顎管と近接した下顎智歯にコネクトミーおよび 2 回法抜歯を行った症例の臨床的検討、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
232. 馬淵郁恵、立木千恵、末石研二：小学校児童における歯科保健に関する実態調査第 77 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 275,2018. 第 77 回日本矯正歯科学会学術大会 2018 年 10 月 30 日-11 月 1 日、横浜
233. 三浦慶奈、大久保真衣、杉山哲也、石田瞭：超音波エラストグラフィを用いた舌の硬さの検討、第 29 回日本老年歯科医学会学術大会、2018 年 6 月 23 日、きゅりあん品川区立総合区民会館
234. 三浦慶奈、大久保真衣、半沢篤、加藤栄助、谷津智美、上島文江、石田瞭、福田謙一：スペシャルニーズ歯科開設後の連携病院への訪問診療における臨床統計、第 306 回東京歯科大学学会、2018 年 10 月 21 日、東京歯科大学
235. 御園瞳、上島文江、小林理紗、堀江桃子、村瀬仁美、鈴木瑛一、石井善仁、齋藤淳：薬物性歯肉増殖症を伴う慢性歯周炎の一症例。第 61 回春季日本歯周病学会学術大会、平成 30 年 6 月 2 日、東京都新宿区、日歯周誌 60 (春季特別号)：66, 162, 2018
236. 道脇愛美、伊藤慎一郎、高橋理顕、谷本雄輝、松崎勇佑、西山明宏、関根理予、大野啓介、吉田秀児、高木亮、菅原圭亮、別所央城、山本信治、渡邊章、笠原清弘、高野正行、齋藤力、柴原孝彦、片倉朗：東京歯科大学水道橋病院口腔外科における 2017 年度外来初診患者の臨床的検討、歯科学報 118 巻 5 号 P483,2018
237. 三井伸二、星野昭芳、山口朗、高橋雅英：CD109 タンパク質の欠損により骨粗鬆症様の骨量減少が生じる、第 107 回日本病理学会総会、札幌、2018 年 6 月 21 日

238. 三友啓介、松永智、北村啓、中村貴、齋藤暁子、東俊文、阿部伸一、末石研二、山口朗、村松敬：鎖骨頭蓋異形成症における蝶形骨形成障害の病態解明、第 306 回 東京歯科大学学会・総会、東京、2018 年 10 月 21 日
239. 宮崎晴代、石井武展、坂本輝雄、末石研二、坂本好昭：開咬を呈する Craniofrontonasal syndrome の矯正治療例、日本顎変形症学会雑誌 28(2):170 第 28 回日本顎変形症学会学術総会、2018 年 6 月 14,15 日、大阪市
240. 宮沢春菜、中島貴子、松川由実、清水伸太郎、古市保志、根本英二、高井英樹、中山洋平、小方頼昌、岩崎拓也、石原裕一、大井麻子、齋藤淳、藤原千春、村上伸也、畑中加珠、高柴正悟、武田克浩、藤田剛、栗原英見、山崎和久：歯周病患者における機能指標としての咀嚼機能検査の有用性について。第 61 回秋季日本歯周病学会学術大会、平成 30 年 10 月 26 日、大阪市北区、日歯周誌 60 (秋季特別号) : 41, 136, 2018.
241. 村上彩花、大竹智久、小倉弘之、小幡智子、鍛代秀人、木村絵美子、草場岳、古川裕美、有泉大、末石研二：卒後研修課程 4 1 期生による症例展示、歯科学報 118(5):487,2018 東京歯科大学学会、2018 年 10 月 20-21 日、東京
242. 森川貴迪、岩本昌士、高野伸夫、柴原孝彦：若年者舌扁平上皮癌の検討、日本口腔科学会雑誌 67 巻 2 号 P120,2018.
243. 森田奈那、小野寺晶子、渡邊豪士、小倉弘之、高田佳奈、奥平貴人、平田吉敬、長谷川大悟、浮地賢一郎、齋藤暁子、中村貴、高橋慎一、野村武史、東敏文：Gorlin 症候群患者由来 iPS 細胞の皮膚上皮分化とその紫外線反応性 第 50 回日本臨床分子形態学総会・学術大会 東京都 2018 年 9 月 7 日
244. 森永健三、北郷明成、佐々木穂高、城戸寛史、西村一郎：インプラント体の粗面構造に誘発される Neuronal PAS domain 2(NPAS2)時計遺伝子はオッセオインテグレーションを促進する、第 48 回日本口腔インプラント学会学術大会、2018 年 9 月 14~16 日、大阪国際会議場
245. 矢崎龍彦、黒田英孝、大山定男、井上博之、大房航、永井佐代子、鎌田聡仁、石崎元樹、松永真由美、北山えり、東川明日香、木村麻紀、澁川義幸、一戸達也：三叉神経節ニューロンの機械刺激誘発性細胞間コミュニケーション、第 12 回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会、平成 30 年年 12 月 8-9 日、勝浦市、抄録集、P19
246. 山口樹里、戸嶋翼、深見未妃、石井武展、坂本輝雄、末石研二：Goslon Yardstick による上下顎歯列弓の前後的位置関係の評価について セファロ分析値との比較検討(会議録)、日本口蓋裂学会雑誌 43(2):168,2018. 2018 年 5 月 24-25 日、大阪
247. 山崎梓、林宰央、関川翔一、恩田健志、成田真人、大畠仁、柴原孝彦：多発性口腔粘膜腫瘍から診断に至った結節性硬化症の 1 例、第 63 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 3 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
248. 山下慶子、北村友里恵、国分栄仁、菊池有一郎、齋藤淳、石原和幸：DNA binding protein 様遺伝子は *Treponema denticola* 鞭毛のスイッチングに関与する。第 306 回 東京歯科大学学会総会、平成 30 年 10 月 20 日、東京都千代田区、歯科学報 118:474, 2018.
249. 山下慶子、吉川幸輝、喜田大智、今村健太郎、勢島典、齋藤淳、石原和幸、菊池有一郎：*Treponema denticola* における DNA binding protein 様遺伝子の機能解析、第 148 回日本歯科保存学会春季学術大会、2018 年 6 月 14-15 日、横浜みなとみらいホール
250. 山田祥、川上真奈、恩田健志、神尾崇、柴原孝彦：当科において入院加療を行った下顎骨骨折 66 例の検討、口腔顎顔面外傷 17 巻 2 号 P83-84,2018

251. 山田祥、高木多加志、翁長欣子、山本雅絵、成田真人、神尾崇、大畠仁、柴原孝彦：骨格性下顎前突症患者における顎矯正治療前後の顎関節の変化についての検討、第 63 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
252. 山村哲生、神尾崇、高木多加志、柴原孝彦：口腔外科外来小手術における低価格 3D プリンタの活用と課題、第 63 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 3 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場
253. 山本雅絵、翁長欣子、神尾崇、高木多加志、片倉朗、柴原孝彦：顎矯正手術における回転切削機器と超音波メスの選択と出血量・手術時間の統計学的検討、日本顎変形症学会雑誌 28 巻 2 号 P132,018.
254. 山本信治、柴原孝彦：希少がんである口腔癌を多方面から考える 早期発見と認知度向上を目指して、口腔がん検診の有効性、日本癌治療学会学術集会抄録集 56 回 P12-1,2018
255. 山本恵史、笠原正貴、矢島安朝、芝清隆：液体生検における診断情報最大化を指向したヒト唾液エクソソームのサブタイプ分け、第 63 回日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ
256. 山本信治、小坂井絢子、小杉彩歌、丸茂知子、大野啓介、高野正行、柴原孝彦：蛍光観察装置の違いによる口腔粘膜疾患の鑑別の比較検討、第 37 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会、2019 年 1 月 25 日、長崎ブリックホール
257. 楊孟雨、荒井敦、宇田川信之、平賀徹、小林泰浩、高橋直之、溝口利英：Analysis of PTH-induced osteoblastic differentiation from BM-MSCs、第 4 回日本骨免疫学会、2018 年 6 月 24 日、万国津梁館
258. 吉川幸輝、久永幸乃、勢島典、齋藤淳：歯周病学講座ポストグラデュエートコース第 21 期生による症例提示 一広汎型重度慢性歯周炎に対し歯周組織再生療法を行った一症例一。第 306 回東京歯科大学学会総会、平成 30 年 10 月 20 日、東京都千代田区歯科学報 118:486, 2018.
259. 吉川幸輝、喜田大智、菊池有一郎、国分栄仁、山下慶子、北村友里恵、深澤俊也、今村健太郎、石原和幸、齋藤淳：Treponema denticola に対する Porphyromonas gingivalis Hgp44 の付着ドメインの検討、第 305 回東京歯科大学学会・例会、2018 年 6 月 2 日、東京歯科大学
260. 吉田秀児、和田朗、高野正行、柴原孝彦：顎変形症症例に対する 3D プリンターの有用性の検討、歯科学報 118 巻 3 号 P254,2018.
261. 吉田航、武内崇博、備前島崇浩、松上大亮、勢島典、浅野裕之、齋藤淳：副甲状腺ホルモン製剤の全身投与および中性自己組織化ペプチドの局所応用がラットの歯周組織欠損の治癒に及ぼす影響。第 61 回春季日本歯周病学会学術大会、平成 30 年 6 月 1 日、東京都新宿区、日歯周誌 60（春季特別号）：32, 118, 2018
262. 吉野直之、西井康、神尾崇、高木多加志、柴原孝彦、末石研二：骨格性下顎前突症患者における上顎骨上方移動を伴った外科的矯正治療による咽頭気道変化、歯科学報 118 巻 5 号 P481,2018
263. 吉野浩一、鈴木誠太郎、小野瀬祐紀、江口貴子、佐藤涼一、石塚洋一、高柳篤史、上條英之：金融業の男性の予防を目的とした定期的な歯科受診状況について、第 67 回日本口腔衛生学会・総会、平成 30 年 5 月 18-20 日、北海道 口腔衛生学会雑誌, 68-2:152, 2018
264. 吉野直之、西井康、神尾崇、高木多加志、柴原孝彦、末石研二：骨格性下顎前突症患者における上顎骨上方移動を伴った外科的矯正治療による咽頭気道変化、歯科学報 118（5）：481、2018. 東京歯科大学学会総会 2018 年 10 月 20-21 日、東京

265. 四ツ谷護、佐藤亨：Reed David、NG2 プロテオグリカンは下顎頭関節軟骨発育期において前駆軟骨芽細胞のシグナルを促進する、第 305 回東京歯科大学学会、2018 年 6 月 2 日、東京歯科大学
266. 四ツ谷護、佐藤亨：リードデビッド退行性病変モデルマウスの関節軟骨における NG2 と VI 型コラーゲンの相互的時空間変化、第 127 回日本補綴歯科学会学術大会、2018 年 6 月 15-17 日、岡山市
267. 四ツ谷護、佐藤亨：リードデビッド退行性病変モデルマウスの関節軟骨における NG2 と VI 型コラーゲンの相互的時空間変化、第 31 回日本顎関節学会総会・学術大会、2018 年 7 月 7-8 日、北九州市
268. 四ツ谷護、梅原一浩、中野正博、藤関雅嗣、辻吉純、栗澤重樹、野村貴生、佐藤亨：インプラント治療後の歯列変化における 3 次元画像解析—若年者上顎前歯部に埋入した 20 年経過症例—日本口腔インプラント学会第 38 回関東・甲信越支部学術大会、2019 年 2 月 10-11 日、新宿区
269. 四ツ谷護、梅原一浩、中野正博、藤関雅嗣、辻吉純、栗澤重樹、野村貴生、佐藤亨：若年者上顎前歯部に埋入したインプラントの 20 年経過症例—インプラント体と歯列の関係—、第 48 回日本口腔インプラント学会学術大会、2018 年 9 月 14-16 日、大阪市
270. 竜正大、山崎枝里、櫻井薫：要介護高齢者に対し CAD/CAM による総義歯製作法を応用した 1 症例、日本補綴歯科学会第 127 回学術大会、2018 年 6 月 16 日、岡山コンベンションセンター
271. 竜正大、石井悠佳里、中澤和真、石崎憲、櫻井薫：顎欠損患者における口腔機能と義歯の評価に関わる因子との関係、第 305 回東京歯科大学学会(例会)、2018 年 6 月 2 日、東京歯科大学
272. 和田朗、吉田秀児、大野啓介、西山明宏、山本信治、渡邊章、別所央城、菅原圭亮、笠原清弘、高野正行、齋藤力、片倉朗、柴原孝彦：下顎枝矢状分割法における術中出血量への影響因子に関する臨床統計的検討、第 28 回日本顎変形症学会、2018 年 6 月 14 日・15 日、大阪
273. 渡邊豪士、奥平貴人、中村貴、小野寺晶子、齋藤暁子、山口朗、東俊文、柴原孝彦：CRIPR/Cas9 を用いた McCune-Albright 症候群モデル iPSC 細胞の樹立、第 305 回東京歯科大学学会例会、2018 年 6 月 2 日、東京歯科大学
274. 渡邊素子、佐藤仁美、音成実佳、後藤多津子：様々な塩味濃度における脳活動領域について、第 305 回東京歯科大学学会、2018 年 6 月 2 日、東京歯科大学
275. 渡邊美貴、渡邊章、柴野正康、吉田秀児、成田真人、澁井武夫、中野洋子、大畠仁、齋藤力、高野伸夫：唇顎口蓋裂患者の上顎骨形態評価、第 42 回日本口蓋裂学会総会・学術集会、2018 年 5 月 24 日、25 日、大阪府大阪市、大阪市中央公会堂、日本口蓋裂学会雑誌(43)2：166、2018
276. 渡邊美貴、渡邊章、吉田秀児、成田真人、澁井武夫、中野洋子、大畠仁、齋藤力、高野伸夫、柴原孝彦：唇顎口蓋裂患者の上顎骨形態評価—顎裂部骨移植および性差が及ぼす影響—、第 63 回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会、2018 年 11 月 2 日、幕張メッセ国際会議場・国際展示場

2019 年度

1. Aoki H, Sato M, Saito A, Nakamura T, Azuma T, Saito A.: Investigating the role of RUNX2 in osteoblastic differentiation of mouse and human iPSCs. International Osteology Symposium Barcelona, 2019.4.26, Barcelona, Spain.
2. Asami Y, Sasaki H, Mori G, Kobayashi T, Yajima Y: Altered expression of specific inflammatory marker in peri-implant soft tissue. The 97th General Session & Exhibition of

- the IADR June 19-22, 2019 Vancouver, Canada, <https://iadr.abstractarchives.com/abstract/19iags-3181904/altered-expression-of-specific-inflammatory-marker-in-peri-implant-soft-tissue>
3. Bizenjima T, Irokawa D, Fujinami K, Seshima F, Tomita S, Saito A.: Periodontal surgery using rhFGF-2+DBBM: A 12-month case series. 97th General Session of the IADR, 2019.6.22, Vancouver BC, Canada, 97th General Session of the IADR Program Book, p249, 2019.
 4. H. Hamba, K.W. Zan, K. Nakamura, T. Nikaido, J. Tagami, T. Muramatsu: Mineral/Hardness Analysis of Dentin Remineralization with Fluoride-containing Caries-detector Dye Liquids. 97th International Association for Dental Research (IADR) General Session, 2019年6月25-28日
 5. Higashikawa A, Kimura M, Shimada M, Ofusa W, Ohyama S, Ando M, Kono K, Mochizuki H, Shibukawa Y: Stretch-activated ionic channels in rat trigeminal ganglion neurons. 97th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research, June 19-22th, 2019, Vancouver, Canada. 97th General Session & Exhibition of the IADR Program book, 226
 6. Hokugo A, Sasaki H, Wang L, Morinaga K, Okawa H, Khalil D, Jarrahy R, Nishimura I: Accelerated Dermal Wound Healing by Regulation of Npas2. The 97th General Session & Exhibition of the IADR June 19-22, 2019 Vancouver, Canada, <https://iadr.abstractarchives.com/abstract/19iags-3180345/accelerated-dermal-wound-healing-by-regulation-of-npas2>
 7. Hokugo A, Sasaki H, Wang L, Morinaga K, Okawa H, Khalil D, Jarrahy R, Nishimura I: Acceleration of dermal wound healing by regulation of a circadian clock gene, neuronal pas domain 2 (Npas2). 65th annual meeting, Plastic Surgery Research Council (PSRC), May 2-5, 2019, Baltimore, USA, *Plast Reconstr Surg Glob Open*. 2019 Apr; 7(4 Suppl): 49-49.
 8. Imamura K, Tachi K, Kasai H, Inoue K, Nakane S, Saito A, Yamano S: Involvement of developmental endothelial locus-1 in osteoclast differentiation and activation. The 105th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology. 2019年11月2-5日, Chicago, IL, USA. AAP 105th Annual Meeting On-site Program. (<http://aap2019.conferencespot.org/>)
 9. Inoue H, Kuroda H, Ishikawa N, Ofusa W, Ohyama S, Nagai S, Kamata S, Higashikawa A, Kimura M, Shibukawa Y, Ichinohe T: Impact of pannexin-1 channel to Bz-ATP induced inward current. 97th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research, June 19-22th, 2019, Vancouver, Canada. 97th General Session & Exhibition of the IADR Program book, 170
 10. Irokawa D, Bizenjima T, Noda K, Yamamoto S, Seshima F, Tomita S, Saito A.: Periodontal regenerative therapy using rhFGF-2: A 12-month case series. 97th General Session of the IADR, 2019.6.20, Vancouver BC, Canada, 97th General Session of the IADR Program Book, p174, 2019.
 11. Ishii T, Ogura H, Onodera S, Sueishi K, Azuma T. ; Induction of Osteoblasts and Chondrocytes from Apert Syndrome-specific iPS Cells. - The 97rd IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition, 19-22 June, 2019, Vancouver, BC, CANADA The 97rd IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition, Abstract Number 1858,2019
 12. Ishii Y, Nakajima J, Ishizaki K, Nakazawa K and Ueda U: Quantitative analysis of compensatory swallowing after hemiglossectomy and unilateral neck dissection using 320 ADCT. 9th ESSD (European Society for Swallowing Disorders) Congress, 2019.9.20-21, Vienna, Austria
 13. Kamata S, Higashikawa A, Kimura M, Shibukawa Y, Yamashita S: Voltage-dependent ionic channels in human cementoblast. 97th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research, June 19-22th, 2019, Vancouver, Canada. 97th General Session & Exhibition of the IADR Program book, 226

14. Karaho T, Kawahara K, Hayashi Y, Nakajima J, Ebihara T and Saito K: The characteristic of swallowing function in the elderly with aspiration pneumonia. 9th ESSD (European Society for Swallowing Disorders) Congress, 2019.9.20-21, Vienna, Austria
15. Kentaro Imamura, Keita Tachi, Hironori Kasai, Kenji Inoue, Atsushi Saito, Seiichi Yamano: Developmental endothelial locus-1 promotes osteoclast differentiation. International Osteology Symposium Barcelona, 2019.4.26, Barcelona, Spain.(https://box.osteology.org/Symposia/PublicSymposium?symposiaId=25#poster_basic_1760)
16. Kimura M, Higashikawa A, Ohyama S, Ofusa W, Kuroda H, Mochizuki H, Ando M, Kono K, Shibukawa Y: Intracellular cAMP increase evokes Ca²⁺ influx in odontoblasts. 97th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research, June 19-22th, 2019, Vancouver, Canada. 97th General Session & Exhibition of the IADR Program book, 173
17. Kitamura Y, Yamashita K, Kikuchi Y, Fukasawa T, Saito A, Ishihara K.: Investigation of a novel DNA binding protein of Treponema denticola. 97th General Session of the IADR, 2019.6.21, Vancouver BC, Canada, 97th General Session of the IADR Program Book, p223, 2019.
18. Kiyohiro Kasahara, Keisuke Sugahara, Masahide Koyachi, Mayu Shin, Yu Koyama, Kento Odaka, Matsunaga, S., Abe, S., Katakura, A.: Technical report of Le Fort I osteotomy using Microsoft®HoloLens and 3D devices. 7th Biennial Congress of the ADT Tokyo, Japan June 20-22, 2019
19. Kozakai Ayako, Takamichi Morikawa, Keisuke Oono, Hirokazu Saitou, Satoru Oogane, Nobuharu Yamamoto, Takeshi Nomura, Nobuo Takano, Kazuhiko Hashimoto, Takahiko Shibahara : Digital Evaluations Using Fluorescence Visualization Device for Differentiation Between Superficial Oral Squamous Cell Carcinoma and Oral Lichen Planus, 日本デジタルテクノロジー学会, 東京都中央区, 2019.6.20
20. Mai Ohkubo, Keina Miura, Tomoko Morimitsu, Yuko Goto, Moe Soeda, Ken-ichi Fukuda: Investigation of the swallowing function and chlorpromazine equivalent dose of antipsychotic drugs in patients with psychiatric disorders Effects of Antipsychotic Drugs on Swallowing Function in Neuropsychiatry Hospital Inpatients, The 6th Congress of Asian College of Neuropsychopharmacology (AsCNP), 2019.10.13、Fukuoka
21. Maki Kimura, Asuka Higashikawa, Haruna Toda, Sadao Ohyama, Wataru Ofusa, Hidetaka Kuroda, Hiroyuki Mochizuki, Kyosuke Kono, Yoshiyuki Shibukawa.: Plasma membrane Ca²⁺ ATPase participates in dentinogenesis. The 4th Asia Pacific Regional Congress of the International Association for Dental Research, November 28-30th, 2019, Brisbane, Australia
22. Matsugami D, Murakami T, Yoshida W, Bizenjima T, Takeuchi T, Seshima F, Saito A.: Effects of designer self-assembling peptide hydrogels on periodontal healing. 97th General Session of the IADR, 2019.6.21, Vancouver BC, Canada, 97th General Session of the IADR Program Book, p200, 2019.
23. Motoyoshi Kimura, Seikou Shintani, Toshihumi Azuma: Preperation of regenerated tooth germ using iPS cells derived mesenchymal cells through interaction of FGF8 and Wnt., 27th IAPD (International Association of Paediatric Dentistry) 2019.7.6, Cancun, Mexico.
24. Nakajima J, Karaho T, Kawahara K, Hayashi Y, Nakamura M, Ueda T and Saito K: The characteristics changes of pharyngeal stage of swallowing in non-aspirated old-elderly people. 9th ESSD (European Society for Swallowing Disorders) Congress, 2019.9.20-21, Vienna, Austria
25. Nakamura A., Nakamura T., Saito A., Azuma T.: Lamin A is required for mechanical stress-dependent osteoblast responses, 98th general session & exhibition of the IADR, March 18-21,2020,washington,D.C.
26. Ngo J, Sasaki H, Okawa H, Hokugo A, Nishimura I: Effect of circadian clock on oral and skin fibroblast migration. The 97th General Session & Exhibition of the IADR June 19-

- 22, 2019 Vancouver, Canada, <https://iadr.abstractarchives.com/abstract/19iags-3183197/effect-of-circadian-clock-on-oral-and-skin-fibroblast-migration>
27. Ogura H, Ishii T, Saito A, Sueishi K, Azuma T.; Generation of disease-specific induced pluripotent stem cells from patients with Apert syndrome -the 2019 AAO Annual Session in Los Angeles, 5 April, 2019, Los Angeles, CA, USA the 2019 AAO Annual Session in Los Angeles, Abstract Number 1237, 2019.
 28. Ootake T, Ishii T, Nagai K, Ishizuka Y, Sueishi K ; Relationship between mechanical stress and sex hormone in onset of temporomandibular joint osteoarthritis - the 2019 AAO Annual Session in Los Angeles, CA., 5 April, 2019, Los Angeles, Ca, USA the 2019 AAO Annual Session in Los Angeles, CA, Abstract Number 1150,2019.
 29. Sadao Ohyama, Suzuro Hitomi, Asuka Higashikawa, Wataru Ofusa, Hiroyuki Mochiduki, Masayuki, Andou, Kyosuke Kono, Hidetaka Kuroda, Maki Kimura, Kentaro Ono, Yoshiyuki Sibukawa.: Neurotransmission between odontoblasts and pulpal neurons generates dentinal sensitivity: in Vivo study. The 4th Asia Pacific Regional Congress of the International Association for Dental Research, November 28-30th, 2019, Brisbane, Australia
 30. Sakamoto T, Sasaki A, Tsuchimochi T, Nagahama R, Kondou S, Yamamoto Y, Mori H, Morishita T, Takahashi I, Ishii T, Miyazaki H, Suda N, Susami T, Isao Saito I : Survey of orthodontic and surgical treatment in team care for patients with Hemifacial macrosomia, Abstract Book APCC 2019, 85-87, 2019. The 9th Asian Pacific Cleft-Palate and Craniofacial Congress 2019, and 12th Annual Meeting of HAICLEFT, 2019, November 11-12, Khon Kaen, Thailand
 31. Sasaki H, Kobayashi T, Nakano R, Nakajima K, Yajima Y: Relationship with Carbohydrate Metabolism and Bone Turnover in Implant Patients. The 97th General Session & Exhibition of the IADR June 19-22, 2019 Vancouver, Canada, <https://iadr.abstractarchives.com/abstract/19iags-3181003/relationship-with-carbohydrate-metabolism-and-bone-turnover-in-implant-patients>
 32. Schwindling FS, Kosinski M, Tasaka A, Rammelsberg P: Diagnostic Accuracy of Low-dose CBCT to Detect Peri-implant Bone Lesions. 2019 IADR General Session & Exhibition June 19-22 97th 2019, Vancouver, Canada
 33. Shakehin N、細矢明宏、建部廣明、溝口利英、吉羽永子、吉羽邦彦、中村浩彰、Hasan MR、入江一元 : Gli1 陽性歯根膜細胞は幹細胞特性を有し、歯槽骨再生に寄与する、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 13 日、東京歯科大学
 34. Shoko Onodera : Multi-layered mutation in hedgehog-related gene in patient with Gorlin syndrome, Asian Rising Sun Symposium 2019 年 6 月 29 日
 35. Sugahara, K., Koyachi, M., Odaka, K., Matsunaga, S., Abe, S., Katakura, A.: Surgical Application of 3D devices and Mixed Reality in Oral and Maxillofacial Surgery. 7th Biennial Congress of the ADT Tokyo, Japan June 20-22, 2019
 36. T. Muramatsu, S. Kashiwagi, H. Ishizuka, Y. Matsuura, M. Furusawa, M. Kimura, Y. Shibukawa: Alkaline Extracellular Conditions Promote Proliferation and Mineralization in Human Cementoblasts. 97th International Association for Dental Research (IADR) General Session, 2019 年 6 月 25-28 日, Vancouver, Canada
 37. Takamichi Morikawa, Ayako Kozakai, Ayaka Kosugi, and Takahiko Shibahara : Surgical Treatment of Early Tongue Cancer with Optical Instrument 2nd International Conference on Pathology and Case reports and 3rd World Congress on Cell Science and Molecular Biology, Kuala Lumpur, Malaysia, 2019.5.14.
 38. Takumi Koyama, Yoshihiro Mezawa, Yu Koyama, Yasuhiko Ito, Keisuke Sugahara, Okio Hino, Akira Katakura, Akira Orimo: Forkhead box protein O1 mediates the activated myofibroblastic state in carcinoma-associated fibroblasts. 第 78 回日本癌学会学術総会, 2019 年 9 月 26-28 日, 京都市

39. Tanase, T., Takahashi, A.N., Kasahara, Y.N., Watanabe, A., Okada, T., Shintani, S., Kasahara, M.: Therapeutic effects on the mandibular bone and teeth of hypophosphatasia by high levels expression of alkaline phosphatase via gene therapy IAPD 27th Annual Meeting, July 4th, 2019, Cancún, Mexicanos
40. Tasaka A., Schwindling FS, Rues S, Yamashita S, Rammelsberg P: Retentive force of telescopic crowns combining fiber-reinforced composite and zirconia. 2019 IADR General Session & Exhibition June 19-22 97th 2019, Vancouver, Canada
41. Toshiaki Tanase, Aki Nakamura-Takahashi, Yuko Nitahara-Kasahara, Atsushi Okada, Seikou Shintani, Masataka Kasahara: Therapeutic effects on the mandibular bone and teeth of hypophosphatasia by high levels expression of alkaline phosphatase via gene therapy., 27th IAPD (International Association of Paediatric Dentistry) 2019.7.6, Cancun, Mexico.
42. Wataru Ofusa, Yoshiaki Yamada, Ryo Ishida, Asuka Higashikawa, Maki Kimura, Yoshiyuki Shibukawa.: Relationship between tongue muscle activity and oral pressure change during swallowing. The Society of Oral Physiology 31st Store Kro Club Conference, 2019.6, Scotland, UK.
43. Wataru Yoshida, Takahiro Takeuchi, Takahiro Bizenjima, Daisuke Matsugami, Fumi Seshima, Atsushi Saito. : Combined effects of systemic administration of parathyroid hormone (1-34) and locally delivered self-assembling peptide hydrogel on the healing of periodontal defects in vivo. International Osteology Symposium Barcelona, 2019.4.26, Barcelona, Spain
(https://box.osteology.org/Symposia/PublicSymposium?symposiaId=25#poster_basic_1763)
44. Yamashita K, Kokubu E, Kikuchi Y, Saito A, Ishihara K: An investigation of the role of a gene encoding a transcriptional regulator in *Treponema denticola*. 第 92 回日本細菌学会大会・総会, 平成 31 年 4 月 23-25 日, 札幌市, 日本細菌学雑誌, 74, 137, 2019.
45. Yang L, Miura T, Kasahara M. : Decreased in vitro degradation of atelocollagen/gelatin sponge by heat treatment. 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 2019 年 10 月 14 日, 東京歯科大学会場 (ポスター発表)
46. Yang Longqiang, 三浦直, 笠原正貴 : 熱処理によってアテロコラーゲン・ゼラチンスポンジの分解性能の低下, 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 2019 年 10 月 14 日, 東京歯科大学
47. Yoshida W, Takeuchi T, Bizenjima T, Matsugami D, Murakami D, Imamura K, Seshima F, Saito A.: Combination effects of parathyroid hormone and neutral self-assembling peptide on periodontal healing. The 105th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, 2019 年 11 月 2-5 日, Chicago, IL, USA
48. Yu Koyama, Yoshihiro Mezawa, Yasuhiko Ito, Takumi Koyama, Keisuke Sugahara, Okio Hino, Akira Katakura, Akira Orimo: RUNX3 expression mediates TGF- β and SDF-1 autocrine signaling in human breast CAF myofibroblasts. 第 78 回日本癌学会学術総会, 2019 年 9 月 26-28 日, 京都市
49. Zhao L, Arai A, Udagawa N, Horibe K, Hosoya A, Masuko R, Okabe K, Shin M, Kobayashi Y, Takahashi N, Li X, Kagami H, Mizoguchi T Depletion of odontoblasts induces reparative dentin formation, The 7th Seoul Symposium on Bone Health in conjunction with the 31th Spring Scientific, Congress of Korean Society for Bone and Mineral Research, 2019 年 6 月 1 日 ソウル, 韓国 (Seoul Dragon City)
50. 青柳翠, 荒井亮, 中内彩乃, 田中亜生, 安倍晴美, 今井裕樹, 新谷誠康 : 小児歯科診療所における障害児の歯磨きに関する実態調査, 第 34 回日本小児歯科学会関東地方会, 2019 年 9 月 16 日, 文京シビックセンター (東京)
51. 明石良彦, 鷺見正美, 根本淳, 中條貴俊, 中島啓, 國分克寿, 松坂賢一, 井上孝 : ラット顎下腺の再生に対する FGF 7 を用いた培養ヒト歯髓幹細胞の動態について, 第 308 回東京歯科大学学会, 2019 年 10 月 19 日, 東京歯科大学

52. 秋山友理恵、稲田潤一郎、三邊正樹、井口直彦、高橋慎一、河野通良、野村武史：病巣感染治療を行った掌蹠膿胞症患者における口腔マイクロバイオームの経時的変化、第 64 回日本口腔外科学会総会・学術大会、2019 年 10 月 26 日、札幌コンベンションセンター
53. 浅見洋佑、佐々木穂高、守源太郎、小林孝誌、齋藤伸、原田惇朗、矢島安朝：インプラント周囲軟組織の創傷治癒期間における特異的炎症性マーカーの発現変化、第 308 回東京歯科大学記念学会・総会 2019 年 10 月 19 日 東京都、第 308 回東京歯科大学記念学会・総会 プログラム p25
54. 有泉高晴，山崎梓，渡邊美貴，岩本昌士，山本雅絵，成田真人，神尾崇，高木多加志，柴原孝彦：おとがい形成術に伴う下歯槽神経知覚異常に関する臨床的検討、特定非営利活動法人第 29 回日本顎変形症学会総会・学術大会、日本顎変形症学会雑誌 (0916-7048)29 巻 2 号 Page212(2019.05)
55. 五十嵐憲太郎，渡邊裕，中島純子，梅木賢人，古賀麻奈花，郡司敦子，伊藤誠康，平野浩彦，河相安彦：地域在住高齢者の咬合支持状態の把握と評価、第 128 回日本補綴歯科学会学術大会、2019 年 5 月 12 日、札幌コンベンションセンター
56. 石井武展、宮崎晴代、坂本輝雄、末石研二、西井康：遺伝子解析診断を要した類似した臼歯部開咬 2 症例 78 回日本矯正歯科学会学術大会、2019 年 11 月 20 日—22 日、長崎新聞文化ホール、長崎ブリックホール。
57. 石井悠佳里，石崎憲，中島純子，中澤和真，櫻井薫：舌垂全摘出後に嚥下機能が良好であった症例の 320ADCT による考察、第 36 回日本顎顔面補綴学会総会・学術大会 2019 年 6 月 27 日 東北大学星陵会館
58. 石井悠佳里，石崎憲，中島純子，中澤和真，櫻井薫：舌接触補助床で十分な機能回復が得られなかった舌癌術後症例に対する要因の検討、第 30 回日本老年歯科医学会学術大会 2019 年 6 月 8 日 仙台国際センター
59. 石川昂、笠原典夫、山本仁：非破壊検査法を用いた頭蓋冠および甲羅の鑑別方法、第 103 回日本法医学会学術全国集会、2019 年 6 月 14 日、仙台サンプラザ
60. 石崎元樹、松永真由美、矢崎龍彦、井上博之、戸田はる菜、東川明日香、木村麻記、黒田英孝、澁川義幸、一戸達也：ラット扁平上皮癌の機械感受性イオンチャネル、第 18 回釧路ニューロサイエンスワークショップ、2019 年 7 月 5-6 日、釧路市、釧路ニューロサイエンスワークショップ抄録集、P32
61. 石崎元樹、大山定男、大房航、東川明日香、木村麻記、澁川義幸、一戸達也：ラット扁平上皮癌細胞の機械感受性イオンチャネル、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 12 日-14 日、東京都千代田区
62. 石束叡，四ツ谷護，山本将仁，阿部伸一：顎関節部の器質的変化がもたらす周囲組織への影響、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 14 日、東京歯科大学水道橋校舎
63. 石塚久子，半場秀典，中村圭喜，村松敬：牛乳由来オステオポンチンが脱灰エナメル質の再石灰化に及ぼす影響、第 308 回東京歯科大学学会、2019 年 10 月 19 日、東京
64. 井上博之，黒田英孝，石川昂，東川明日香，木村麻記，澁川義幸，一戸達也：骨破壊・歯周疾患を制御する P2X7 受容体の生物物理学的特性の検討、第 307 回東京歯科大学学会・例会 2019 年 6 月 1 日、東京都
65. 井上博之、黒田英孝、石川昂、大山定男、東川明日香、木村麻記、澁川義幸、一戸達也：ラット三叉神経節ニューロンにおける P2X7 受容体 pannexin 1 チャネル P2X4 受容体相互作用の電気生理学的機能検索、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 12 日-14 日、東京都千代田区

66. 井上博之、黒田英孝、石川昂、東川明日香、木村麻記、澁川義幸、一戸達也：No：23 骨破壊・歯周疾患を制御する P2X7 受容体の生物学的特性の検討、第 307 回東京歯科大学学会、平成 31 年 6 月 1 日、東京都
67. 井上博之、黒田英孝、大山定男、石崎元樹、松永真由美、矢崎龍彦、東川明日香、木村麻記、澁川義幸、一戸達也：三叉神経節ニューロンにおける炎症と疼痛に關与する P2X 受容体の生理学的特性、第 18 回釧路ニューロサイエンスワークショップ、2019 年 7 月 5-6 日、釧路市
68. 今村健太郎、吉田航、勢島典、齋藤淳：Developmental endothelial locus-1(DEL-1)がマクロファージから破骨細胞への分化と骨吸収活性に及ぼす影響 日本歯科保存学会 2019 年度春季学術大会（第 150 回）、2019 年 6 月 26 日、金沢市
69. 今村健太郎、真下ゆうこ、関谷栄、大須賀豊、齋藤淳：薄い歯肉のバイオタイプの患者に対し歯肉結合組織移植による根面被覆術を行った 2 症例. 第 62 回秋季日本歯周病学会学術大会、2019 年 10 月 26 日、北九州市小倉北区、日歯周誌 61（秋季特別号）：61, 166, 2019.
70. 今村健太郎、中根咲、齋藤淳：歯周病原細菌の宿主免疫回避機構における PD-1/PD-L1 の役割、第 307 回東京歯科大学学会例会、2019 年 6 月 1 日、東京都千代田区、歯科学報 119:250, 2019
71. 今村健太郎：コラーゲンメンブレンを用いた FGF-18 徐放による骨再生療法、第 62 回春季日本歯周病学会学術大会、2019 年 5 月 23 日、横浜市中区、日歯周誌 61（春季特別号）：44, 182, 2019.
72. 今村健太郎：平成 30 年度学長奨励研究賞講演 Role of mitogen-activated protein kinase pathways in migration of gingival epithelial cells in response to stimulation by cigarette smoke condensate and infection by Porphyromonas gingivalis、第 307 回東京歯科学会・例会、2019 年 6 月 1 日、東京都
73. 岩崎敬大、河地誉、大金寛、井坂栄作、池田雄介、中澤和真、増田耕一、山添真治、青柳裕、最上拓児、野村武史、高野正行、片倉朗、柴原孝彦、高野伸夫：超選択動注化学放射線療法を施行した舌癌の 6 例、第 307 回東京歯科大学学会、歯科学報 (0037-3710)119 巻 3 号 Page239(2019.06)
74. 岩田采奈、西山明宏、布施俊、小高研人、小石沢理央、福田謙一、佐々木研一、柴原孝彦、片倉朗：インプラント治療による下歯槽神経損傷に対しフュージョン画像から作製したサージカルガイドを用いて神経修復術を行った 1 例、第 208 回日本口腔外科学会関東支部学術大会、2019 年 12 月 14 日、神奈川県横浜市
75. 内田博之、松浦信幸、関戸達哉、菊田高行、新井嘩子、白井弘三、戸坂清二、丸山清孝、桜井真理、横田達哉、時田英紀、櫻井敦朗、今井裕樹、新谷誠康、一戸達也：当診療所における医療連携フレックスオープンシステムの取り組み、第 36 回日本障害者歯科学会、2019 年 11 月 24 日、長良川国際会議場（岐阜）
76. 江口貴子、佐藤涼一、見明康雄、杉原直樹：酸蝕症起因酸によるフッ化物歯面塗布後象牙質の耐酸性比較、第 14 回日本歯科衛生学会、令和元年 9 月 14-16 日、愛知県日本歯科衛生学会雑誌、14-1:107, 2019
77. 海老根由梨、櫻井敦朗、本間宏実、田中亜生、太田大聖、田村梨恵、濱口翔一、辻野啓一郎、若林真由美、新谷誠康：都心の大学病院小児歯科における来院患児のフッ化物配合歯磨剤使用実態について、第 57 回日本小児歯科学会、2019 年 6 月 10 日、札幌、小児歯科学雑誌、57(2): 284, 2019.
78. 大久保真衣、三浦慶奈、森光朋子、後藤優子：精神疾患患者における摂食嚥下機能評価と抗精神病薬の薬剤量の調査、第 25 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会、2019 年 9 月 7 日、朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター

79. 大久保真衣、三浦慶奈、杉山哲也、石田瞭、大多和由美、福田謙一：口唇閉鎖困難と構音障害の訴えを契機に重症筋無力症と診断された1例(第2報)、第36回日本障害者歯科学会総会および学術大会、2019年11月24日、長良川国際会議場
80. 大津雄人、松永智、中島孝輔、古川文博、阿部伸一、矢島安朝：尾部懸垂マウス大腿骨へ埋入したインプラント周囲骨への影響、日本顎顔面口腔インプラント学会誌 Vol.18 No.3 2019 Page171、第回公益社団法人 日本顎顔面口腔インプラント学会学術大会、つくば市
81. 大津雄人、松永智、中島孝輔、古川文博、矢島安朝：尾部懸垂マウス大腿骨へ埋入したインプラントの周囲骨への影響、49回日本口腔インプラント学会、2019年9月21日、福岡国際会議場
82. 大村雄介、鈴木大貴、小松万純、岡村将宏、高石怜子、明石昌代、村山優、水野早希子、穴澤卯圭、野村武史：骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS)における歯科介入の重要性、ジャパンオーラルヘルス学会学術大会第22回学術大会、2019年12月7日、日本歯科大学生命歯学部
83. 大山定男、人見涼露、東川明日香、大房航、戸田はる菜、ウバイダスゾブハン、木村麻記、溝口利英、小野堅太郎、澁川義幸：Neural communication between odontoblasts and pulpal neurons in dentinal pain、第97回日本生理学会大会、2020年3月17日-19日、別府市
84. 大山定男、人見涼露、東川明日香、大房航、戸田はる菜、黒田英孝、木村麻記、小野堅太郎、澁川義幸：象牙質痛メカニズムの解析：in vivo study、第61回歯科基礎医学会学術大会、2019年10月12日-14日、東京都千代田区
85. 大山定男、木村麻記、東川明日香、澁川義幸：モデルラットを用いた象牙痛発生メカニズムの解析、第18回釧路ニューロサイエンスワークショップ、2019年7月5-6日、釧路市、釧路ニューロサイエンスワークショップ抄録集、P30
86. 岡村将宏、野村武史、鈴木大貴、大村雄介：MRONJ モデルマウスにおける骨構造解析、第73回日本口腔科学会学術集会、2019年4月19日、ウエスタ川越
87. 岡村将宏、大村雄介、鈴木大貴、野村武史：顎骨壊死における細菌感染が骨質および骨構造へ与える影響、第64回日本口腔外科学会総会・学術大会、2019年10月25日、札幌コンベンションセンター
88. 岡本雄紀、山本信治、阿部江美子、加藤宏、大野啓介、吉田秀児、渡邊章、中條貴俊、松坂賢一、高野正行、柴原孝彦：診断に苦慮した頬粘膜腫瘍の1例、第208回(公社)日本口腔外科学会関東支部学術集会第208回日本口腔外科学会関東支部学術集会プログラム・抄録集 Page23(2019.12)
89. 小川雄大、是澤智久、橋本圭史、橋本千明、山本悠太郎、廣内英智、山本将仁、松永智、佐藤正樹、阿部伸一：骨格筋再生過程におけるM2マクロファージおよびTcf4陽性線維芽細胞の局在に関する検索、第61回歯科基礎医学会学術大会、2019年10月12日、東京歯科大学水道橋校舎
90. 小川雄大、廣内英智、野口拓、山本将仁、松永智、阿部伸一：日本人腭骨は顎顔面再建手術後の歯科インプラント埋入に十分な骨量/骨質を有するのか？、第49回日本口腔インプラント学会、2019年9月21日、福岡国際会議場
91. 小倉弘之、石井武展、齋藤暁子、小野寺晶子、中村貴、渡邊豪士、森田奈那、末石研二、東俊文：疾患特異的iPS細胞を用いたApert症候群の病態解明。第307回東京歯科大学学会・例会、2019年6月1日、東京歯科大学水道橋校舎 新館
92. 小高研人、松永智、北村啓、笠原正彰、笠原典夫、山田雅司、阿部伸一：歯科インプラント周囲顎骨における生体アパタイト結晶配向性の三次元的検討、第46回日本臨床バイオメカニクス学会、2019年11月1日、久留米シティプラザ

93. 小高研人、松永智、北村啓、笠原正彰、笠原典夫、山田雅司、阿部伸一：歯科インプラント周囲顎骨における生体アパタイト結晶配向性の三次元的検討、第46回日本臨床バイオメカニクス学会、2019年11月1-2日、久留米市
94. 小高研人、松元秀樹、和田大岳、佐藤仁美、渡邊素子、小清水有里子、音成実佳、和光衛、後藤多津子：術中組み立て式デバイスを用いたLe Fort I骨切り術支援システム 日本歯科放射線学会 第230回関東地方会 2020年1月25日東京
95. 鬼谷薫、柴原孝彦：血中循環腫瘍細胞(CTCs)および血中循環腫瘍 DNA(ctDNA)によるリアルタイムモニタリング、第32回日本口腔科学会学術集会、日本口腔科学会雑誌 (0029-0297)68巻2号 Page90-91(2019.07)
96. 小野紗友美、阿部真由子、森川泰紀、西井康、飯島由紀、立木千恵、末石研二、高木多加志、柴原孝彦、片倉朗：顔面非対称における頭蓋の形態的評価、第29回日本顎変形症学会総会・学術大会、2019年6月8、9日、東京都千代田区
97. 小野瀬祐紀、一本麻保子、鈴木誠太郎、久保秀二、高橋義一、石塚洋一、佐藤涼二、江口貴子、上條英之、杉原直樹：乳製品食品工場労働者の歯の酸蝕所見に関する調査、第68回日本口腔衛生学会・総会、令和元年5月22-24日、滋賀県、口腔衛生学会雑誌, 69-2:192, 2019
98. 小野瀬祐紀、久保秀二、高橋義一、鈴木誠太郎、佐藤涼一、上條英之、杉原直樹：歯科医院選択時に重視する要因と転院回数検討(第二報)、第308回東京歯科大学学会総会、令和元年10月19-20日、東京都、歯科学報, 119-5:91, 2019
99. 小野寺晶子、森田奈那、渡邊豪士、齋藤暁子、中村貴、野村武史、片倉朗、柴原孝彦、東俊文：ヘッジホッグ経路が誘導する石灰化メカニズム、第307回東京歯科大学学会、歯科学報 (0037-3710)119巻3号 Page248(2019.06)
100. 小野寺晶子、大木章生、齋藤暁子、小倉弘之、中村貴、西井康、末石研二、東俊文：鎖骨頭蓋異形成症由来iPSにおけるncRNAの発現、第61回歯科基礎医学会学術大会、2019年10月14日
101. 恩田健志、林宰央、関川翔一、本多佑名、柴原孝彦：口腔扁平上皮癌細胞におけるOncometaboliteの発現状態、第30回日本老年歯科医学会総会・学術大会、日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集 30回 Page P一般-127(2019.06)
102. 笠原正彰、松永智、染屋智子、北村啓、小高研人、笠原典夫、山田雅司、服部雅之：微小領域エックス線回折法によるヒト筋突起腱付着部のマイクロ/ナノ構造特性、第46回日本臨床バイオメカニクス学会、2019年11月1-2日、久留米市
103. 笠原正彰、染屋智子、京極啓、五十嵐俊男、愛知徹也、野口竜実、市川弘道、長谷川晃嗣、服部雅之：ヒト筋突起腱-骨付着部の構造特性解明、第74回日本歯科理工学会、2019年10月5日、長崎大学 文教キャンパス 中部講堂
104. 笠原正彰、北村啓、小高研人、笠原典夫、山田雅司、松永智：微小領域エックス線回折法によるヒト筋突起腱付着部のマイクロ/ナノ構造特性、第46回日本臨床バイオメカニクス学会、2019年11月1日、久留米シティプラザ
105. 笠原典夫、小高研人、北村啓、笠原正彰、山田雅司、松永智、橋本正次：カピバラ大腿骨における微細構造の解析、第46回日本臨床バイオメカニクス学会、2019年11月1-2日、久留米市
106. 笠原典夫、松永智、小高研人、橋本正次：下顎後静脈の静脈弁に関する一考察、日本歯科放射線学会 第230回関東地方会、2020年1月25日、千代田区
107. 柏木勢、石塚久子、木村麻記、古澤成博、澁川義幸、村松敬：アルカリ環境はTRPA1を介してセメント芽細胞様細胞の細胞増殖、石灰化を促進する。第307回東京歯科大学学会、2019年6月1日、東京

108. 片山明彦, 船登彰芳, 齋藤淳, 中川種昭: 歯周組織再生療法における付着歯肉と歯肉の厚みを考慮した難. 易度分類について、第 62 回春季日本歯周病学会学術大会, 2019 年 5 月 24 日, 横浜市中区, 日歯周誌 61 (春季特別号) : 39, 141, 2019.
109. 加藤宏, 奥平貴人, 渡邊豪士, 東俊文, 柴原孝彦: ヒト末梢血血液細胞由来 iPS 細胞を用いた骨芽細胞誘導、第 307 回東京歯科大学学会、歯科学報 (0037-3710)119 巻 3 号 Page246(2019.06)
110. 加藤芳実, 田坂彰規, 伴野圭太, 山下秀一郎: 繰り返し着脱と咬合力相当荷重を負荷した際の義歯支台装置の維持力変化と変形、第 308 回東京歯科大学学会、2019 年 10 月 20 日、東京歯科大学水道橋校舎新館
111. 加藤芳実, 田中章啓, 田坂彰規, 加藤光雄, 山下秀一郎: 義歯支台装置への荷重条件を付加した繰り返し着脱試験機の開発、日本補綴歯科学会第 128 回学術大会、2019 年 5 月 11 日、札幌コンベンションセンター
112. 金平智恵美, 北村啓, 橋本千明, 小川雄大, 是澤智久, 山本将仁, 阿部伸一: 高齢者献体における輪状甲状関節および輪状披裂関節の加齢変化, 第 308 回東京歯科大学学会 (総会), 2019 年 10 月 19 日, 東京歯科大学水道橋校舎新館
113. 鎌田聡仁, 澁川義幸, 山下秀一郎: ヒト由来セメント芽細胞の電位依存性イオンチャンネル発現、日本補綴歯科学会 第 128 回学術大会 令和元年 5 月 10 日-12 日 札幌市、日補綴会誌 11.128 回特別号:164,2019
114. 鎌田聡仁, 東川明日香, 木村麻記, 井上博之, 大山定男, 大房航, 澁川義幸, 山下秀一郎: セメント芽細胞における Ca^{2+} 活性化 K チャネル発現、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 12 日-14 日、東京都千代田区
115. 鎌田聡仁, 東川明日香, 木村麻記, 大山定男, 大房航, 戸田はるな, 澁川義幸, 山下秀一郎: Expression of Ca^{2+} activated K^+ Channels in Human Cementoblast、第 97 回日本生理学会大会、2020 年 3 月 17 日-19 日、別府市
116. 鎌田聡仁, 東川明日香, 木村麻記, 澁川義幸, 山下秀一郎: No: 14 セメント芽細胞における Ca^{2+} 活性化 K チャネル発現、第 307 回東京歯科大学学会、平成 31 年 6 月 1 日、東京都
117. 神尾崇, 川上真奈, 有泉高晴, 山村哲生, 山本雅絵, 成田真人, 高木多加志, 柴原孝彦, 薬師寺孝: 顎変形症治療における低価格デスクトップ 3D プリンタ運用の実際、特定非営利活動法人第 29 回日本顎変形症学会総会・学術大会、日本顎変形症学会雑誌 (0916-7048)29 巻 2 号 Page221(2019.05)
118. 亀井宏和, 石井武展, 大竹智久, 永井航平, 佐竹奎亮, 戸村拓真, 西井康: マウスの歯の移動における Semaphorin および Plexin, Neuropillin の関与について第 78 回日本矯正歯科学会学術大会、2019 年 11 月 20 日—22 日、長崎新聞文化ホール、長崎ブリックホール.
119. 亀山敦史, 久永竜一, 杉山利子, 杉山節子, 江川昌宏, 村松敬, 高橋俊之: 千葉歯科医療センターで使用している光照射期の出力がコンポジットレジン硬化深さに及ぼす影響、第 307 回東京歯科大学学会、2019 年 6 月 1 日、東京
120. 片倉朗: 国際シンポジウム 7 口腔癌の未来型医療「今、何が口腔癌の最新の治療となるか」、64 回日本口腔外科学会総会・学術大会、2019 年 10 月 25 日、北海道
121. 河角久美子, 森川泰紀, 石井武展, 坂本輝雄, 末石研二, 渡邊美貴, 吉田秀児, 渡邊章, 成田真人: 一段階および二段階口蓋形成手術による片側唇顎口蓋裂患者における歯・歯列弓形態への影響の比較・検討 第 43 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2019 年 5 月 30 日、朱鷺メッセ
122. 菊池布恵, 石川昂, 北村啓, 山本仁: ミドリフグの棘の観察、第 61 回歯科基礎医学会学術集会、2019 年 10 月 12 日-14 日、東京都

123. 菊池有一郎、柴山和子、国分栄仁、石原和幸：口腔細菌 *Capnocytophaga ochracea* OxyR 変異株の性状解析、第 93 回日本細菌学会総会 2020 年 2 月 19 日-21 日、名古屋
124. 菊池有一郎、柴山和子、国分栄仁、石原和幸：口腔細菌カプノサイトファガの OxyR 変異株作製、第 61 回歯科基礎医学会学術大会 2019 年 10 月 12 日-14 日、東京
125. 北村啓、阿部伸一、山本仁：舌から喉頭蓋へ走行する筋束の喉頭機能への影響—高齢者献体を用いた組織形態学的検索—、日本摂食嚥下リハビリテーション学会・学術大会、2019 年 9 月 6 日～7 日、新潟市
126. 北村啓、小高研人、石川昂、松永智、笠原正彰、笠原典夫、山田雅司、山本仁：胎生期喉頭軟骨における成長過程の 3 次元解析、第 46 回日本臨床バイオメカニクス学会、2019 年 11 月 1 日～2 日、久留米市
127. 北村友里恵、深澤俊也、菊池有一郎、国分栄仁、齋藤淳、石原和幸：*Treponema denticola* の表層病原性成分の遺伝子調節機構の解明、第 307 回東京歯科大学学会例会、2019 年 6 月 1 日、東京都千代田区、歯科学報 119:250, 2019
128. 北村友里恵、菊池有一郎、国分栄仁、齋藤淳、石原和幸：*Treponema denticola* における表層病原性成分の発現調節機構の解明、第 61 回歯科基礎医学会学術大会 2019 年 10 月 12 日-14 日、東京
129. 木村基善、金子かおり、大多和由美、石川昇、山本仁、新谷誠康：Regional Odontodysplasia の臨床的・組織学的解析、第 34 回日本小児歯科学会関東地方会、2019 年 9 月 16 日、文京シビックセンター（東京）
130. 木村基善、有泉由紀子、太田大聖、辻野啓一郎、新谷誠康：下顎側切歯に認められた歯内歯の組織学的解析、第 37 回日本小児歯科学会北日本地方会、2019 年 10 月 13 日、にぎわい交流館 AU（秋田）
131. 木村麻記、東川明日香、戸田はる菜、大山定男、大房航、澁川義幸：象牙芽細胞におけるアルカリ刺激受容機構、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 12 日-14 日、東京都千代田区
132. 木村麻記、東川明日香、大山定男、大房航、陽田みゆき、黒田英孝、望月浩幸、安藤正之、河野恭佑、澁川義幸：No : 21 象牙芽細胞において細胞内 cyclic AMP は Ca^{2+} 流入を誘発する、第 307 回東京歯科大学学会、平成 31 年 6 月 1 日、東京都
133. 久木留宏和、辻野啓一郎、武者篤、福島圭子、鈴木奈穂、布施亜由美、熊井鈴子、佐藤瑞樹、大串圭太、神谷清、小杉謙介、横尾聡、新谷誠康、一戸達也：日帰り全身麻酔下拔牙術に対し静脈穿刺トレーニングが有効であった自閉スペクトラム症患者の 1 症例、第 36 回日本障害者歯科学会、2019 年 11 月 24 日、長良川国際会議場（岐阜）
134. 草場岳、松永智、小川雄大、水野周平、野島邦彦、西井康：筋機能低下にともなう下顎骨咬筋付着部のミクロ/ナノ構造特性変化、第 78 回東京矯正歯科学会大会、2019 年 7 月 11 日、有楽町朝日ホール、（最優秀学会賞受賞）
135. 黒田英孝、井上博之、東川明日香、木村麻記、石川昂、城戸幹太、半田俊之、今泉うの、澁川義幸、一戸達也：三叉神経節ニューロンにおける Panexin-1 チャネルを介した P2X7-P2X4 受容体の機能連関、第 24 回日本口腔顔面痛学会学術大会、2019 年 9 月 27 日-29 日、川崎市。
136. 小石沢理央、西山明宏、村山雅人、小郷侑子、有泉高晴、山崎梓、佐々木研一、片倉朗、柴原孝彦：医原性舌神経麻痺におけるリスク因子の臨床的統計、第 64 回日本口腔外科学会総会・学術大会、2019 年 10 月 25 日、北海道
137. 小林彩香、笠原正貴、一戸達也：レミフェンタニル投与下における口腔組織血流量と口腔組織酸素分圧の変化—セボフルランとデスルルランの比較—、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 12 日、東京歯科大学

138. 小林裕、田坂彰規、清水延浩、山下秀一郎：Selective Laser Sintering による局部床義歯フレームワーク製作時の造形角度が造形精度に及ぼす影響、第 308 回東京歯科大学学会、2019 年 10 月 20 日、東京歯科大学水道橋校舎新館
139. 小谷地雅秀、菅原圭亮、小高研人、松永智、小山侑、後藤多津子、片倉朗：Mixed Reality・CAD/CAM 技術を用いた Le Forte I 型骨切り術の精度検証、64 回日本口腔外科学会総会・学術大会、2019 年 10 月 25 日、北海道
140. 小山拓洋、目澤義弘、小山侑、伊藤恭彦、菅原圭亮、桶野興夫、片倉朗、折茂彰、癌関連線維芽細胞において FOXO1 は活性化筋線維芽細胞を仲介する、第 78 回日本癌学術総会、2019 年 9 月 26~28 日、京都府
141. 小山侑、吉田剛、伊藤恭彦、目澤義弘、小山拓洋、菅原圭亮、片倉朗、折茂彰：乳癌関連線維芽細胞における RUNX3 の発言は TGF- β と SDF-1 のクロストークおよび WNT- β -catenin シグナルを媒介する、第 78 回日本癌学術総会、2019 年 9 月 26~28 日、京都府
142. 齋藤暁子、大木章生、澤田隆、中村貴、小野寺晶子、末石研二、山口朗、東俊文：鎖骨頭蓋骨異形成症特異的 iPS 細胞を用いた骨分化における RUNX2 と核膜タンパク質による転写制御の検討、第 307 回 東京歯科大学学会、2019 年 6 月 1 日、東京都
143. 坂本輝雄、岡安麻里、佐々木会、鷲尾紗裕理、長濱諒、近藤俊、大西有理、森浩喜、森下格、高橋一誠、石井武展、宮崎晴代、須田直人、須佐美隆史、齋藤功；Hemifacial microsomia 患者に対するチーム医療の実態調査. 第 43 回日本口蓋裂学会総会・学術集会、2019 年 5 月 30 日、31 日、朱雀メッセ新潟コンベンションセンター.
144. 坂本輝雄、長濱諒、近藤俊、森下格、石井武展、宮崎晴代、須佐美隆史；Hemifacial microsomia 患者に対するチーム医療の実態調査. 第 37 回日本頭蓋学顔面外科学会学術集会、2019 年 10 月 31 日、11 月 1 日、KFC Hall & Rooms（国際ファッションセンター）.
145. 坂本輝雄、岡安麻里、佐々木会、土持宇、長濱諒、近藤俊、大西有理、森浩喜、森下格、石井武展、宮崎晴代、須田直人、須佐美隆史、齋藤功；Hemifacial microsomia 患者に対するチーム医療における矯正治療の実態調査 78 回日本矯正歯科学会学術大会、2019 年 11 月 20 日—22 日、長崎新聞文化ホール、長崎ブリックホール.
146. 櫻井敦朗、新井敬、本間宏実、太田大聖、永井宜子、新谷誠康：低年齢児と保護者の口腔内細菌叢の類似性、第 34 回日本小児歯科学会関東地方会大会、2019 年 9 月 16 日、東京、関東地方会抄録集、52、2019.
147. 佐藤祐太郎、石原和幸：ビルベリー果実に含まれる天然物化合物の口腔微生物に対する抗菌活性の測定、第 61 回歯科基礎医学会学術大会 2019 年 10 月 12 日-14 日、東京
148. 佐藤涼一、小高研人、佐古亮、松永智、後藤多津子、古澤成博、杉原直樹：3D プリント成型による口腔内フッ化物徐放装置の開発、第 307 回東京歯科大学学会例会、令和元年 6 月 1 日、東京都、歯科学報、119-3:87、2019
149. 佐藤涼一、木村麻記、鈴木誠太郎、小野瀬祐紀、澁川義幸、杉原直樹：明暗および恒暗環境におけるラット顎下腺水分分泌サーカディアンリズム機構の検討、第 307 回東京歯科大学学会例会、令和元年 6 月 1 日、東京都、歯科学報、119-3:80、2019
150. 佐藤涼一、鈴木誠太郎、小野瀬祐紀、江口貴子、石塚洋一、杉原直樹：ラット顎下腺における Nkcc1 および Atp1 発現リズム検討、第 68 回日本口腔衛生学会・総会、令和元年 5 月 22-24 日、滋賀県、口腔衛生学会雑誌、69-2:173、2019
151. 重野健一郎、林宰央、恩田健志、大嶋仁、柴原孝彦：顎関節症患者における下顎頭骨髄異常の検討、第 32 回日本顎関節学会総会・学術大会、日本顎関節学会雑誌

152. 清水廷浩、田坂彰規、山下秀一郎：部分欠損歯列に対する口腔内スキャナーの精度検証、日本補綴歯科学会第 128 回学術大会、2019 年 5 月 12 日、札幌コンベンションセンター
153. 辛麻由、菅原圭亮、新谷誠康、片倉朗：下顎左側第一大臼歯部に発生したエナメル上皮線維歯牙腫の 1 例、第 31 回 一般社団法人 日本小児口腔外科学会 総会・学術大会、2019 年 11 月 22 日、金沢
154. 進正史、森志穂美、溝口利英、岡本富士雄、鍛冶屋浩、荒井敦、宇田川信之、岡部幸司：チャンネルキナーゼ TRPM7 の骨格形成における発現と軟骨形成制御、第 37 回日本骨代謝学会学術集会、2019 年 10 月 13 日、神戸国際会議場
155. 新行内恵、森川貴迪、奥平貴人、川上真奈、岩本昌士、柴原孝彦：BMA 治療歴のある骨粗鬆症患者における抜歯術後の ARONJ 発生の臨床統計、第 64 回日本口腔外科学会総会、日本口腔外科学会雑誌(0021-5163)65 巻総会特別号 Page276(2019.10)
156. 菅原圭亮：本当にイメージ出来ていますか？—下顎枝矢状分割法の勘所と注意すべき解剖学的形態—、第 64 回日本口腔外科学会総会、2019 年 10 月 25 日-27 日・札幌、ミニレクチャー
157. 鈴木誠太郎、吉野浩一、高柳篤史、石塚洋一、佐藤涼一、小野瀬祐紀、上條英之、杉原直樹：レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)を用いた骨粗鬆症患者と上気道炎患者の抜歯状況について、第 68 回日本口腔衛生学会・総会、令和元年 5 月 22-24 日、滋賀県、口腔衛生学会雑誌, 69-2:193, 2019
158. 住吉美咲、山本信治、永井佐代子、高野正行、末石研二、片倉朗、柴原孝彦：著しい小下顎症に対して下顎骨延長術と Le FortI型骨切り術を適応した 1 例：第 29 回日本顎変形症学会総会・学術大会、2019 年 6 月 8、9 日、東京都千代田区
159. 勢島典、備前島崇浩、武内崇博、鈴木瑛一、佐藤正敬、吉川幸輝、北村友里恵、吉田航、松上大輔、青木栄人、喜田大智、今村健太郎、江川昌宏、色川大輔、富田幸代、齋藤淳：ランダム化比較試験による rhFGF-2 製剤と脱タンパクウシ骨ミネラルを使用した歯周組織再生療法の効果の検討：術後 6 ヶ月の臨床成績、第 62 回春季日本歯周病学会学術大会、2019 年 5 月 25 日、横浜市中区、日歯周誌 61 (春季特別号)：44, 127, 2019.
160. 勢島典、白鳥たかみ、日下和代、杉戸博紀、石井拓男、齋藤淳、山下秀一郎、片倉朗：歯科大学学生と歯科衛生士学生の協同臨床実習の導入について、第 38 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会、2019 年 7 月 19 日、20 日、福岡県
161. 曾根嘉人、吉田秀児、高野正行、片倉朗、柴原孝彦：小児の下顎乳犬歯部に発生したエナメル上皮腫線維腫の 1 例、第 53 回日本口腔科学会関東地方部会第 53 回日本口腔科学会関東地方部会プログラム・抄録集 Page19(2019.11)
162. 高木貴博、橋本圭史、青木一充、北村啓、山本仁、阿部伸一：嚥下機能時に軟口蓋・舌・咽頭・喉頭の動きを協調させる鍵となる筋束、第 308 回東京歯科大学学会(総会)、2019 年 10 月 19 日、東京歯科大学水道橋校舎新館
163. 高橋有希、棚瀬稔貴、笠原優子、松永智、渡邊淳、平井幸彦、阿部伸一、新谷誠康、笠原正貴、岡田尚巳：アデノ随伴ウイルスベクターによる ALP 遺伝子高発現は低ホスファターゼ症の大腿骨石灰化不全を改善する、第 13 回 ALPS 研究会、2019 年 7 月 6 日、石川県政記念しいのき迎賓館
164. 高橋有希、棚瀬稔貴、松永智、阿部伸一、新谷誠康、笠原正貴：低ホスファターゼ症における石灰化不全改善のための新規治療法の開発、第 307 回東京歯科大学学会・例会、2019 年 6 月 1 日、東京歯科大学
165. 高橋有希、棚瀬稔貴、松永智、阿部伸一、新谷誠康、笠原正貴：低ホスファターゼ症における石灰化不全改善のための新規治療法の開発、第 61 回歯科基礎医学学会学術大会、2019 年 10 月 14 日、東京歯科大学

166. 田中亜生、石川昇、山本仁、新谷誠康：象牙芽細胞の感覚受容機能に関する発生学的研究、第 34 回日本小児歯科学会関東地方会、2019 年 9 月 16 日、文京シビックセンター（東京）
167. 田中斉、星野照秀、加藤宏、西山明宏、大野啓介、吉田秀児、高木亮、菅原圭亮、渡邊章、山本信治、笠原清弘、高野正行、片倉朗、柴原孝彦：東京歯科大学水道橋病院口腔外科における全身麻酔症例の臨床的検討、第 308 回東京歯科大学学会(総会)第 308 回東京歯科大学学会(総会)プログラム Page16(2019.10)
168. 棚瀬俊貴、高橋有希、新谷誠康、笠原正貴：アデノ随伴ウイルスベクターによる ALP 遺伝子の高発現は低ホスファターゼ症モデルマウスの歯の石灰化不全を改善する、第 34 回日本小児歯科学会関東地方会、2019 年 9 月 16 日、文京シビックセンター（東京）
169. 棚瀬稔貴、高橋有希、新谷誠康、笠原正貴：8 型アデノ随伴ウイルスベクターによる ALP 遺伝子の高発現は低ホスファターゼ症モデルマウスの歯の形態不整を改善する、第 308 回東京歯科大学学会・例会、2019 年 10 月 19 日、東京歯科大学
170. 棚瀬稔貴、高橋有希、新谷誠康、笠原正貴：重症乳児型低ホスファターゼ症の顎骨および歯に対する TNALP 高発現遺伝子治療、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 14 日、東京歯科大学
171. 棚瀬稔貴、櫻井敦朗、田村梨恵、濱口翔一、辻野啓一郎、本間宏実、新谷誠康：多数の永久歯に著しい短根と動揺を認めた 1 例、第 57 回日本小児歯科学会、2019 年 6 月 11 日、札幌コンベンションセンター（札幌）
172. 趙麗娟、荒井敦、宇田川信之、細矢明宏、岡部幸司、進正史、李憲起、小林泰浩、高橋直之、溝口利英：象牙芽細胞の枯渇は象牙質形成を誘導する、第 61 回歯科基礎医学会学術大会 2019 年 10 月 14 日、東京歯科大学
173. 辻野啓一郎、富永早紀、新谷誠康：意図的部分生活歯髓切断法を用いたタロンカスピの歯冠形態修正、第 37 回日本小児歯科学会北日本地方会、2019 年 10 月 13 日、にぎわい交流館 AU（秋田）
174. 辻野啓一郎、野本永子、新谷誠康：下顎前歯部に切歯様の過剰歯を持つ 5 切歯症例への対応、辻野啓一郎、野本永子、新谷誠康、第 57 回日本小児歯科学会、2019 年 6 月 10 日、札幌コンベンションセンター（札幌）
175. 富永早紀、田中亜生、根本研吾、濱口翔一、田村梨恵、櫻井敦朗、辻野啓一郎、新谷誠康：2016 年から 2018 年における歯科大学病院小児歯科初診患者の実態調査—東京都心と千葉県下の大学病院の比較—、第 37 回日本小児歯科学会北日本地方会、2019 年 10 月 13 日、秋田
176. 内藤哲、山本将仁、阿部伸一：甲状腺濾胞におけるマクロファージとリンパ球の局在に関する組織学的研究、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 14 日、東京歯科大学水道橋校舎
177. 内藤哲、山本将仁、阿部伸一：頭頸部筋付着部における形態形成、日本解剖学会第 107 回関東支部学術集会、2019 年 11 月 2 日、東京女子医科大学
178. 永井航平、大竹智久、亀井宏和、戸村拓真、石井武展、西井康：顎関節リウマチの骨・軟骨破壊に関する機械的刺激の影響について第 78 回日本矯正歯科学会学術大会、2019 年 11 月 20 日—22 日、長崎新聞文化ホール、長崎ブリックホール。
179. 永井佐代子、小高研人、星野照秀、吉田秀児、渡邊章、柴原孝彦、片倉朗：低リン血症性ビタミン D 抵抗性くる病を伴う骨格性下顎前突症患者の 1 例、第 64 回日本口腔外科学会総会口腔外科学会雑誌 65 巻総会特別号 Page346(2019.10)
180. 永井佐代子、戸田はる菜、大山定男、大房航、東川明日香、木村麻記、澁川義幸、片倉朗：Expression of mechanosensitive ion channel in osteoblast、第 97 回日本生理学会大会、2020 年 3 月 17 日-19 日、別府市

181. 永井佐代子、戸田はる菜、大山定男、大房航、東川明日香、木村麻記、澁川義幸、片倉朗：骨芽細胞の機械感受性イオンチャネル発現、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 12-14 日、東京千代田区
182. 中内彩乃、荒井亮、青柳翠、田中亜生、安倍晴美、櫻井敦朗、今井裕樹、新谷誠康：千葉県内の小児歯科診療室における小児の歯磨きに関する実態調査、第 57 回日本小児歯科学会、2019 年 6 月 11 日、札幌コンベンションセンター（札幌）
183. 中澤和真、中島純子、石崎憲、石井悠佳里、河地誉、大金覚、高野伸夫、櫻井薫：舌癌の放射線治療における Positioning Stent の口蓋部粘膜炎予防効果の検討、第 36 回日本顎顔面補綴学会総会・学術大会 2019 年 6 月 27 日 東北大学星陵会館
184. 中島孝輔、松永智、古川丈博、阿部伸一、古谷義隆、矢島安朝：マウス大腿骨の生体アパタイト結晶配向性が尾部懸垂により生じる変化について、49 回日本口腔インプラント学会、2019 年 9 月 21 日、福岡国際会議場
185. 中島純子、斎藤寛一、石井悠佳里、中澤和真、河地誉、大金覚、石崎憲、野村武史、高野伸夫、柴原孝彦、上田貴之：320 列面検出器型 CT による頸部郭清術を伴う舌半側切除症例に対する嚥下時の舌骨運動の評価、第 38 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2020 年 1 月 24 日 学士会館
186. 中村安孝、中村美伽代、笠原典夫、橋本正次：口腔内 3D モデルの重ね合わせによる個人識別法、第 88 回日本法医学会学術関東地方集会、2019 年 10 月 12 日、慶応義塾大学信濃町キャンパス
187. 中村圭喜、半場秀典、石塚久子、村松敬：カゼイン含有再石灰化液による脱灰エナメル質への影響、第 307 回東京歯科大学学会、2019 年 6 月 1 日、東京
188. 中村圭喜、半場秀典、石塚久子、村松敬：唾液タンパク質のエナメル質再石灰化への影響を想定したカゼイン含有、再石灰化液による初期エナメル質う蝕に関する検討、第 151 回日本歯科保存学会、2019 年 11 月 7-8 日、福岡
189. 成田真人、渡邊美貴、吉田秀児、渡邊章、澁井武夫、河角久美子、森川泰紀、石井武展、坂本輝雄、中野洋子、末石研二、齊藤力、高野伸夫：わが大学における最近 5 年間の口唇口蓋裂患者の臨床統計的検討：第 43 回 日本口蓋裂学会総会・学術集会、2019 年 5 月 30 日、31 日、新潟県、新潟市 朱鷺メッセ、日本口蓋裂学会雑誌 44 (2) 145、2019
190. 西井康、飯島由貴、丸山友貴、立木千恵、森川泰紀、野嶋邦彦、末石研二、高木多加志、柴原孝彦、片倉朗：骨格性上顎前突症における外科的矯正治療の安定性—第一報 下顎頭の形態的評価—、第 29 回日本顎変形症学会総会・学術大会、2019 年 6 月 8、9 日、東京都千代田区
191. 西田大輔、荒井敦、宇田川信之、中村美どり、堀部寛治、小林泰浩、高橋直之、溝口利英：破歯/破骨細胞形成を負に制御する歯髄環境の解析、第 5 回日本骨免疫学会ウインタースクール 2020 年 1 月 24 日、Hotel マロウド軽井沢
192. 西田大輔、荒井敦、宇田川信之、中村美どり、堀部寛治、小林泰浩、高橋直之、溝口利英：破歯/破骨細胞形成を負に制御する歯髄環境の解析、第 61 回歯科基礎医学会学術大会 2019 年 10 月 14 日、東京歯科大学
193. 西山明宏、小高研人、小石沢理央、前山恵理、福田謙一、佐々木研一、柴原孝彦、片倉朗：下歯槽神経修復術にフュージョン画像から作製したサージカルガイドを用いた 1 例、第 207 回日本口腔外科学会関東支部学術集会、2019 年 5 月 18 日、東京
194. 新國農、西山秀昌、池真樹子、坂井幸子、小林太一、林孝文、後藤多津子：3T MRI を用いた T2map による顎関節症患者の咬筋内部性状の検討、NPO 法人日本歯科放射線学会 第 229 回関東地方会・第 39 回北日本地方会・第 27 回合同地方会 2019 年 7 月 13 日、文京区、東京都

195. 根本淳、明石良彦、鷺見正美、中條貴俊、中島啓、國分克寿、松坂賢一、井上孝：部分損傷した下歯槽神経に対する bFGF の影響、第 308 回東京歯科大学学会、2019 年 10 月 19 日、東京歯科大学
196. 野村武史：上顎歯肉癌の外科的治療 -上顎部分切除術を安全に行うための基本テクニック-、第 64 回日本口腔外科学会総会・学術大会、2019 年 10 月 25 日、札幌コンベンションセンター
197. 橋本圭史、山本将仁、廣内英智、松永智、北村啓、佐藤正樹、阿部伸一：食道入口部における筋束の構成に関する組織学的検討 -高齢者における括約筋の機能低下と誤嚥の関係に 関する考察-、第 307 回東京歯科大学学会（例会）、2019 年 6 月 1 日、東京歯科大学水道橋校舎新館
198. 濱田裕嗣、吉田秀児、高野正行、柴原孝彦：顎変形症に対する Sassouni 分析法を応用した三次元分析法の考案 正常咬合乾燥頭蓋骨での検討、特定非営利活動法人第 29 回日本顎変形症学会総会・学術大会、日本顎変形症学会雑誌 (0916-7048)29 巻 2 号 Page160(2019.05)
199. 半沢篤、大久保真衣、三浦慶奈、大多和由美、石田瞭、福田謙一：当科における訪問診療での周術期口腔機能管理の実態、第 36 回日本障害者歯科学会総会および学術大会、2019 年 11 月 24 日、長良川国際会議場
200. 東川明日香、木村麻記、戸田はる菜、嶋田みゆき、大房航、大山定男、河野恭祐、望月浩之、澁川義幸：三叉神経節ニューロンの機械刺激感受性、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 12 日-14 日、東京都千代田区
201. 久永幸乃、青木栄人、佐藤正敬、齋藤暁子、東俊文、齋藤淳：歯周組織再生に向けた iPS 細胞とエナメルマトリックスタンパク質の応用、第 307 回東京歯科大学学会例会、2019 年 6 月 1 日、東京都千代田区、歯科学報 119:249, 2019
202. 平山雄三、石川昂、菊池布恵、北村啓、山本仁：ヒトの頭蓋冠とカメの甲羅の構造学的差異に関する検討、第 307 回東京歯科大学学会・例会 2019 年 6 月 1 日、東京都
203. 廣内英智、小川雄大、橋本千明、高木貴博、山本悠太郎、松永智、阿部伸一：顎顔面再建手術後の歯科インプラント埋入を想定した日本人腭骨の形態学的基礎研究、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 12 日、東京歯科大学水道橋校舎
204. 廣内英智、石束叡、山本将仁、菅野亜紀、佐藤正樹、四ツ谷護、阿部伸一：顎関節“筋一腱一骨”複合体における形態形成と損傷後の治癒過程に関する組織学的研究、第 307 回東京歯科大学学会（例会）、2019 年 6 月 1 日、東京歯科大学水道橋校舎新館
205. 深澤俊也、北村友里恵、山下慶子、菊池有一郎、国分栄仁、奥山慶子、藤本芳弘、齋藤淳、石原和幸：*Treponema denticola* の環境ストレス応答機構の解明、第 62 回秋季日本歯周病学会学術大会、2019 年 10 月 25 日、北九州市小倉北区、日歯周誌 61（秋季特別号）：36, 140, 2019.
206. 福島圭子、佐藤瑞樹、熊井鈴子、鈴木奈穂、久木留宏和、小杉謙介、斉藤崇、黒田真右、辻野啓一郎、横尾聡、新谷誠康、一戸達也：思春期以降に歯科受診への拒否を示した Down 症患者に行動変容を行い義歯装着に至った 1 例、第 36 回日本障害者歯科学会、2019 年 11 月 24 日、長良川国際会議場（岐阜）
207. 布施俊、菅原圭亮、小谷地雅秀、小山侑、西山明宏、柴原孝彦、片倉朗：下顎骨内神経鞘腫に対して神経再生誘導チューブを用いて口内法で神経修復術を施行した 1 例、第 64 回日本口腔外科学会総会、2019 年 10 月 25 日-27 日・札幌

208. 布施俊, 西山明宏, 菅原圭亮, 笠原清弘, 渡辺章, 山本信治, 高野正行, 柴原孝彦, 片倉朗: 東京歯科大学水道橋病院口腔外科における顎関節症の臨床統計、第 29 回日本口腔内科学会、2019 年 9 月 21 日、東京
209. 布施俊, 西山明宏, 高野正行, 柴原孝彦, 片倉朗: 東京歯科大学水道橋病院口腔外科における顎関節症の臨床的検討、ジャパンオーラルヘルス学会第 22 回学術大会、2019 年 12 月 7 日、東京千代田区
210. 星野照秀, 菅原圭亮, 加藤禎彬, 片倉朗: メタボローム解析を用いたマウス咬筋の老化関連代謝物質の探索、第 30 回日本老年歯科医学会学術大会、2019 年 6 月 6-8 日、岩手 仙台
211. 細川僚子, 河野通良, 関口文世, 高橋慎一: 水疱性類天疱瘡に対し PSL 内服治療中に穿孔性皮膚症が発症したと考えられた 1 例、第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会、2019 年 11 月 17 日、京王プラザホテル
212. 堀川正, 中條貴俊, 國分克寿, 國分栄仁, 松坂 賢一: 口腔粘膜上皮細胞の骨芽細胞様細胞への影響 共培養による検討、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 13 日、東京歯科大学
213. 本多佑名, 恩田健志, 林宰央, 小澤夏生, 柴原孝彦: 難治性口内炎を改善する半夏瀉心湯構成生薬の検討、第 64 回日本口腔外科学会総会、日本口腔外科学会雑誌 (0021-5163)65 巻総会特別号 Page388(2019.10)
214. 本田健太郎, 斎藤寛一, 酒井克彦, 伊川裕明, 大金寛, 河地誉, 高野正行, 片倉朗, 柴原孝彦, 高野伸夫, 野村武史: 頭頸部癌重粒子線治療患者における口腔細菌叢の変化と重症度の検討、第 308 回東京歯科大学学会、2019 年 10 月 19、20 日、東京
215. 松永真由美, 木村麻記, 戸田はる菜, 石崎元樹, 矢崎龍彦, 大山定男, 大房航, 井上博之, 東川明日香, 澁川義幸, 一戸達也: ヒト象牙芽細胞の機械刺激は細胞内遊離 Ca^{2+} 濃度を増加する、第 18 回釧路ニューロサイエンスワークショップ、2019 年 7 月 5-6 日、釧路市
216. 松永真由美, 木村麻記, 戸田はる菜, 大山定男, 大房航, 東川明日香, 澁川義幸, 一戸達也: Mechanical stimulation-induced intracellular cAMP-and Ca^{2+} -signaling in human odontoblast、第 97 回日本生理学会大会、2020 年 3 月 17 日-19 日、別府市
217. 松永真由美, 木村麻記, 戸田はる菜, 大山定男, 大房航, 東川明日香, 澁川義幸, 一戸達也: ヒト象牙芽細胞における機械刺激誘発性細胞内遊離 Ca^{2+} 濃度増加、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 12 日-14 日、東京都千代田区
218. 松永智, 是澤和人, 奥寺元, 鈴木正史, 吉成正雄, 矢島安朝, 阿部伸一: 歯科インプラント周囲に新生された顎骨のミクロ/ナノ構造特性、49 回日本口腔インプラント学会、2019 年 9 月 21 日、福岡国際会議場
219. 松永智, 小高研人, 笠原典夫, 笠原正彰, 北村啓, 山田雅司, 阿部伸一: 歯科インプラント周囲に新生されたオステオンの構造特性、第 46 回日本臨床バイオメカニクス学会、2019 年 11 月 1 日、久留米シティプラザ
220. 丸山友貴, 飯島由貴, 立木千恵, 森川泰紀, 西井康, 野嶋邦彦, 末石研二, 高木多加志, 柴原孝彦, 片倉朗: 骨格性上顎前突症における外科的矯正治療の安定性(第二報) 下顎頭の計測評価、特定非営利活動法人第 29 回日本顎変形症学会総会・学術大会、日本顎変形症学会雑誌 (0916-7048)29 巻 2 号 Page203(2019.05)
221. 溝口利英: 象牙芽細胞の枯渇は象牙芽細胞の分化と石灰化を誘導する、第 4 回 Skeletal Science Retreat、2019 年 11 月 16 日、札幌北広島クラッセホテル
222. 三友啓介, 松永智, 北村啓, 中村貴, 齋藤暁子, 村松敬, 山口朗: 鎖骨頭蓋異形成症における蝶形骨形成障害の病態解明、第 307 回東京歯科大学学会、2019 年 6 月 1 日、東京

223. 宮崎晴代, 内野真由子, 石井武展, 坂本輝雄, 末石研二: 上顎顎裂側の矮小側切歯を使用して矯正治療を行った口唇口蓋裂患者 2 症例の治療後安定性について. 第 43 回日本口蓋裂学会総会・学術集会、2019 年 5 月 30 日、31 日、朱雀メッセ新潟コンベンションセンター.
224. 村松賢太郎, 大野啓介, 西山明宏, 加藤宏, 吉田秀児, 渡邊章, 山本信治, 高野正行, 片倉朗, 柴原孝彦: 副腎皮質ステロイド薬内服が奏功した開口部形質細胞症の 1 例、第 12 回日本口腔検査学会第 30 回日本臨床口腔病理学会第 29 回日本口腔内科学会第 32 回日本口腔診断学会合同学術大会、第 12 回日本口腔検査学会第 30 回日本臨床口腔病理学会第 29 回日本口腔内科学会第 32 回日本口腔診断学会合同学術大会プログラム・抄録集 Page122 (2019.9)
225. 森川貴迪, 野村武史, 柴原孝彦: 早期舌扁平上皮癌の治療における光学機器を用いた切除範囲の設定、第 64 回日本口腔外科学会総会、日本口腔外科学会雑誌(0021-5163)65 巻総会特別号 Page226(2019.10)
226. 森田奈那, 小野寺晶子, 中村ゆり子, 渡邊豪士, 小倉弘之, 斎藤暁子, 中村貴, 高橋慎一, 野村武史, 東俊文: 基底細胞母斑症候群特異的 iPS 細胞の角化細胞への分化誘導および紫外線反応性、第 307 回 東京歯科大学学会、2019 年 6 月 1 日、東京都
227. 矢崎龍彦、大山定男、大房航、戸田はる菜、黒田英孝、東川明日香、木村麻記、澁川義幸、一戸達也: Mechanical stimulation-induced intercellular communication among trigeminal ganglion neurons、第 97 回日本生理学会大会、2020 年 3 月 17 日-19 日、別府市
228. 矢崎龍彦、大山定男、大房航、戸田はる菜、黒田英孝、東川明日香、木村麻記、澁川義幸、一戸達也: 三叉神経節ニューロンの機械刺激誘発性細胞間コミュニケーション、第 61 回歯科基礎医学会学術大会、2019 年 10 月 12 日-14 日、東京都千代田区
229. 矢崎龍彦、大山定男、大房航、戸田はる菜、石崎元樹、松永真由美、井上博之、東川明日香、木村麻記、澁川義幸、一戸達也: 三叉神経節ニューロンの機械刺激誘発性細胞間コミュニケーション、第 18 回釧路ニューロサイエンスワークショップ、2019 年 7 月 5-6 日、釧路市
230. 安松啓子、岩田周介、二ノ宮裕三: T1R3-KO マウスの鼓索神経単一神経記録および行動応答測定によるグルコースの味覚情報解析、日本味と匂学会第 53 回大会、2019 年 9 月 17-19 日、高知市文化プラザ
231. 山崎梓, 関根理予, 林幸央, 関川翔一, 柴野正康, 池田千早, 恩田健志, 橋本和彦, 高木多加志, 柴原孝彦: 小児の下顎前歯部に発生したエナメル上皮線維腫の 1 例、第 207 回 (公社) 日本口腔外科学会関東支部学術集会
232. 山下慶子, 北村友里恵, 国分栄仁, 菊池有一郎, 齋藤淳, 石原和幸: *Treponema denticola* TDE 0344 は鞭毛のスイッチング制御に関与する、第 307 回東京歯科大学学会例会、2019 年 6 月 1 日、東京都千代田区、歯科学報 119:249, 2019
233. 山下慶子、国分栄仁、菊池有一郎、齋藤淳、石原和幸: An investigation of the role of a gene encoding a transcriptional regulator in *Treponema denticola*、第 92 回日本細菌学会総会、2019 年 4 月 23 日-25 日、札幌市
234. 山田雅司、松永智、小高研人、笠原正彰、笠原典夫、北村啓、鈴木穂、田宮資己、佐古亮、古澤成博: 外傷由来の外部吸収に歯根端切除術を行なった一症例、第 46 回日本臨床バイオメカニクス学会、2019 年 11 月 1 日、久留米シティプラザ
235. 山田雅司、松永智、小高研人、笠原正彰、北村啓、笠原典夫、佐古亮、田宮資己、古澤成博: 外傷由来で生じた炎症性歯根外部吸収の歯根端切除による治療の調査、第 46 回日本臨床バイオメカニクス学会、2019 年 11 月 1-2 日、久留米市

236. 山本雅絵、西井康、高木多加志、末石研二、柴原孝彦、片倉朗：著しい上顎前突症に対し馬蹄形骨切り併用 Le FortI型骨切り術による骨切除と下顎枝矢状分割術を行った1例、第29回日本顎変形症学会総会・学術大会、2019年6月8、9日、東京都千代田区
237. 山本恵史、芝清隆、橋本貞充、笠原正貴：全唾液から遠心法を用いて分離した唾液 exosome のポジティブ染色による透過型電子顕微鏡観察、第61回歯科基礎医学会学術大会、2019年10月12日、東京歯科大学
238. 山本将仁、是澤智久、北村啓、阿部伸一：顎舌骨筋の下顎骨付着部における形態形成獲得のプロセス、日本解剖学会第107回関東支部学術集会、2019年11月2日、東京女子医科大学
239. 山本将仁、石束叡、内藤哲、橋本千明、北村啓、阿部伸一：形態学的視点からみた筋-骨のインターアクション、第61回歯科基礎医学会学術大会、2019年10月14日、東京歯科大学水道橋校舎
240. 山本悠、童正大、上田貴之、佐々木良紀、櫻井薫：弾性アプライアンスを使用した咀嚼様運動が前頭葉の活動性に与える影響、公益社団法人日本補綴歯科学会第128回学術大会、2019年5月11日、札幌市
241. 山本悠太郎、北村啓、廣内英智、石束叡、内藤哲、山本将仁、松永智、阿部伸一：マウスの下顎頭および蝶形骨における二次軟骨の発育特性、第308回東京歯科大学学会（総会）、2019年10月19日、東京歯科大学水道橋校舎新館
242. 山本裕義、西山明宏、小石沢理央、山崎梓、有泉高晴、藤本侑子、村山雅人、佐々木研一、柴原孝彦、片倉朗：本学急性期神経機能修復外来患者の過去8年間における臨床的統計、第29回日本口腔内科学会、2019年9月21日、東京
243. 吉川幸輝、喜田大智、菊池有一郎、国分栄仁、山下慶子、北村友里恵、深澤俊也、今村健太郎、齋藤淳、石原和幸：*Treponema denticola* への *Porphyromonas gingivalis* Hgp44 の付着ドメイン解析、第307回東京歯科学会（例会）、2019年6月1日、東京歯科大学新館
244. 吉川幸輝、菊池有一郎、国分栄仁、北村友里恵、齋藤淳、石原和幸：*Porphyromonas gingivalis* Hgp44 の *Treponema denticola* との共凝集における付着ドメインの解明、第61回歯科基礎医学会学術大会 2019年10月12日-14日、東京
245. 吉田航、今村健太郎、勢島典、齋藤淳：副甲状腺ホルモンの全身投与および局所応用での中性自己組織化ペプチドとの併用がラットの歯周組織欠損の治癒に及ぼす影響。日本歯科保存学会 2019年度春季学術大会（第150回）、2019年6月26日、金沢市、日本歯科保存学会 2019年度春季学術大会（第150回）プログラムおよび講演抄録集、p.xxvi, 101.
246. 吉田航、武内崇博、備前島崇浩、松上大亮、村上侑、今村健太郎、勢島典、中崎俊克、大島みどり、齋藤淳：副甲状腺ホルモンの間歇的全身投与と中性自己組織化ペプチドの局所応用の併用がラットの歯周組織欠損の治癒に及ぼす影響、第62回秋季日本歯周病学会学術大会、2019年10月25日、北九州市小倉北区、日歯周誌 61（秋季特別号）：38, 142, 2019.
247. 吉田秀児、渡邊章、山本信治、西山明宏、菅原圭亮、笠原清弘、小高研人、高野正行、片倉朗、柴原孝彦：三次元シミュレーションソフトを用いた学生実習—口腔外科手術の理解のために—第三報、第64回日本口腔外科学会総会・学術大会、2019年10月25日、札幌コンベンションセンター
248. 吉見佳那子、古屋純一、中島純子、竹内純、水口俊介：回復期病院における口腔機能管理の必要性～有病高齢者のインプラントケアと補綴治療を行った症例～、第128回日本補綴歯科学会学術大会、2019年5月12日 札幌コンベンションセンター

249. 童正大、根津裕一、石原和幸、櫻井薫：ヒト歯科インプラント周囲顎骨における構造特性、第 307 回東京歯科大学学会、2019 年 6 月 1 日、東京
250. 童正大、根津裕一、石原和幸、櫻井薫：義歯床用材料に付着したマイクロバイオームの 16s rRNA シークエンサーを用いた網羅的検討、第 307 回東京歯科大学学会、2019 年 6 月 1 日、東京歯科大学
251. 童正大、中村舞音、泉澤貴、石崎憲、上田貴之、櫻井薫：無歯顎用既製トレー製作のための無歯顎高齢者における顎堤の形態学的検討、一般社団法人日本老年歯科医学会第 30 回学術大会、2019 年 6 月 7 日、仙台市
252. 渡辺多恵、北村啓、小高研人、石川昂、山本仁：喉頭軟骨構成要素の発生学的研究～三次元的形態計測と免疫組織化学的観察～、第 307 回東京歯科大学学会・例会 2019 年 6 月 1 日、東京都
253. 渡邊豪士、森田奈那、小倉弘之、齋藤暁子、小野寺晶子、中村貴、山口朗、東俊文、柴原孝彦：CRISPR-nicase 法を用いた機能亢進型 GNAS 変異 iPS 細胞の樹立、第 307 回東京歯科大学学会
254. 渡邊章、石井武展、吉田秀児、渡邊美貴、成田真人、澁井武夫、坂本輝雄、中野洋子、末石研二、齊藤力、高野伸夫：口唇形成術、上唇小帯形成術、顎裂部骨移植術を同時に行った上唇正中裂の一例、第 43 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2019 年 5 月 30 日、朱鷺メッセ
255. 渡邊美貴、渡邊章、吉田秀児、成田真人、澁井武夫、中野洋子、大畠仁、齊藤力、高野伸夫：唇顎口蓋裂の翼突上顎縫合部に影響を及ぼす因子について、第 43 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2019 年 5 月 30 日、朱鷺メッセ

特許取得

- ・菅野亜紀 特許証 特許第 6673877 号「口腔ケア支援ツール」

VI. 各賞受賞者

2017 年度

山口 朗

- ・平成29年度 日本骨代謝学会学会賞

阿部伸一

- ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会奨励賞『高齢者の輪状甲状関節に関する組織学的研究』

後藤多津子

- ・Award for Outstanding Research Postgraduate Student, The University of Hong Kong, 2016-12017. (as the supervisor). December 2018.

鈴木瑛一

- ・Osteology Japan 2017 Poster Presentation Basic Research 部門 最優秀賞

2018 年度

溝口利英

- ・2018 年度 武田科学振興財団 医学系研究継続助成(基礎)
骨髄間葉系幹細胞を制御する微小環境の解析ら

小野寺晶子

- ・2018 年度 第 50 回日本臨床分子形態学会優秀演題賞
Gorlin 症候群患者由来 iPS 細胞の骨芽細胞分化能の異常

中村 貴

- ・中富健康科学振興財団 平成 30 年度（第 31 回）研究助成金
鎖骨頭蓋骨異形成症の発症メカニズム解明に基づく治療法の開発

齋藤 淳

- ・Osteology Foundation, Advanced Researcher Grant (2018, 2019)
Clinical evaluation of a novel combination regenerative therapy using fibroblast growth factor-2 and deproteinized bovine bone mineral: a two-center randomized controlled trial (No.17-136)

村松 敬

- ・2018 年度 日本歯科保存学会雑誌年間優秀論文賞
半場秀典、中村圭喜、二階堂徹、村松敬、古澤成博、田上順次
ヒト小臼歯における脱灰とマイクロクラックの進行の検討ーマイクロ CT を用いたアブフラクションモデルによる解析ー

国分栄仁

- ・平成 30 年度東京歯科大学学賞奨励研究助成
Treponema denticola の宿主免疫回避機構の解明

木村麻記

- ・平成 30 年度東京歯科大学学長奨励研究賞（論文）
High pH-sensitive store-operated Ca^{2+} entry mediated by Ca^{2+} release-activated Ca^{2+} channels in rat odontoblasts

今村健太郎

- ・Osteology Education Grant 2018 (Osteology Foundation)
- ・平成 30 年度東京歯科大学学長奨励研究賞（論文）
Role of mitogen-activated protein kinase pathways in migration of gingival epithelial cells in response to stimulation by cigarette smoke condensate and infection by *Porphyromonas gingivalis*
- ・平成 30 年度東京歯科大学学賞奨励研究助成
タバコ煙刺激と歯周病原細菌感染が歯周病と動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響を miRNA レベルから解明する

竜 正大

- ・第 127 回日本補綴歯科学会学術大会の優秀ポスター賞（カボデンタル賞）
竜正大、山崎枝里、櫻井薫：要介護高齢者に対し CAD/CAM による総義歯製作法を応用した 1 症例、

松永 智

- ・第 48 回日本口腔インプラント学会 デンツプライシロナ賞（2018 年 9 月）
歯科インプラント周囲に新生された顎骨のマイクロ/ナノ構造特性

佐々木穂高

- ・UCLA, School of Dentistry, Division of advanced Prosthodontics, Science day
Poster presentation award (2nd prize)
Sasaki H, Morinaga K, Wu Q, Hokugo A, Nihimura I
- ・Peripheral clock gene, *Npas2* in oral and skin wound healing
第 38 回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会
学術賞：基礎系ポスター発表最優秀賞

佐々木穂高、森永健三、北郷明成、矢島安朝、西村一郎
線維芽細胞における時計遺伝子 Npas2 の発現制御による軟組織の治癒促進

2019 年度

溝口利英

- ・ 第 37 回日本骨代謝学会学術集会
2019 年度日本骨代謝学会 フロンティア研究者助成
- ・ 第 4 回 Skeletal Science Retreat 優秀ディスカッション賞
- ・ 第 5 回日本骨免疫ウインタースクール 優秀演題賞

石井武展

- ・ 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会 優秀演題発表賞

松永 智

- ・ 第 48 回日本口腔インプラント学会 デンツプライシロナ賞
「歯科インプラント周囲に新生された顎骨のマイクロ/ナノ構造特性」

VII. 社会への情報発信

テレビ出演

安松啓子

- 1) クローズアップ現代+NHK 総合 2019 年 6 月 13 日放送
「あなたは”脂肪味”を感じますか？最新研究！味覚が健康を左右する」
- 2) 世界一受けたい授業 日テレ 2019 年 10 月 12 日放送
「第 6 の味覚「脂肪味」を研ぎ澄まして痩せる方法教えます！」
- 3) 健康カプセルゲンキの時間 TBS 系列 2019 年 10 月 27 日放送
「デブ味覚」
- 4) あさイチ NHK 総合 2020 年 2 月 26 日放送
「新情報！本当にカラダによい食事スペシャル」

片倉 朗

- ・ カンブリア宮殿 テレビ東京 2020 年 4 月 23 日放送
「もう神の手はいらない！？VR で最先端医療」

新聞掲載

松永智 他

- ・ 日刊工業新聞 2020 年 1 月 14 日
「下顎骨の構造解明：東京歯科大学・阪大 疾患治療に道」

「歯科学報」に「顎骨疾患プロジェクトからの情報発信」シリーズ掲載

- 1) 薬剤関連顎骨壊死の概念、診断、治療
山口 朗、久保四郎、松永智、柴原孝彦
歯科学報 118 巻 3 号 165-176, 2018
- 2) 人工多能性幹 (iPS) 細胞を用いた顎骨疾患病態解明へのアプローチ
小野寺晶子、柴原孝彦、東俊文
歯科学報 118 巻 4 号 293-299, 2018
- 3) デジタルファブリケーションが変える歯科医療～基礎と臨床の架け橋ファブラボ TDC～
片倉朗、松永智、菅原圭亮、小高研人、後藤多津子
歯科学報 118 巻 5 号 369-376, 2018
- 4) 歯周炎の病因解析

- 石原和幸
歯科学報 118 巻 6 号 497-504, 2018
- 5) 咀嚼嚥下研究部門の経過と展望
山本将仁、大久保真衣、大平真理子、佐々木穂高、佐藤正樹、菅野亜紀、長坂新、四ツ谷護、阿部伸一
歯科学報 119 巻 1 号 1-9, 2019
- 6) ファブラボ、口腔感覚と脳機能
後藤多津子
歯科学報 119 巻 2 号 83-87, 2019
- 7) 感染制御ラボ：歯周病原細菌の病原因子に関する研究の進捗
齋藤淳、今村健太郎、喜田大智、太田功貴、吉川幸輝、山下慶子、北村友里恵、深澤俊也、国分栄仁、柴山和子、菊池有一郎、石原和幸
歯科学報 119 巻 3 号 165-168, 2019
- 8) 胞膜タンパク質を標的とする石灰化機構の解明と応用
木村麻記、東川明日香、村松敬、石原和幸、齋藤淳、国分栄仁、柴山和子、菊池有一郎、櫻井敦朗、喜田大智、大野建州、澁川義幸
歯科学報 119 巻 4 号 301-306, 2019
- 9) 根尖部歯周組織の病態生物学
村松敬、木村麻記、東川明日香、大野建州、菊池有一郎、喜田大智、国分栄仁、柴山和子、櫻井敦朗、澁川義幸、齋藤淳、石原和幸
歯科学報 119 巻 5 号 365-370, 2019
- 10) 遺伝疾患における遺伝子治療：低ホスファターゼ症の酵素補充 遺伝子治療
笠原正貴、高橋有希、新谷誠康、東俊文
歯科学報 119 巻 6 号 469-474, 2019

VIII. 事業収支決算

1. 事業全体の収支決算

表7に示すように、本事業に対し文部科学省より私学事業団を通じて経常費補助金（特別補助金）として2017年度3500万円、2018年度は3600万円、2019年度は2000万円が大学に交付された。各年度の大学からの補助金及び本事業の事業費は表7に示す。3年間の事業において文部科学省からの特別補助金は9100万円、大学からの補助金は2300万円で、本事業の事業費は9900万円であった。

年度	文科省特別補助金	大学補助金	事業費
2017	3500	0	2000
2018	3600	200	3800
2019	2000	2100	4100
合計	9100	2300	9900

(万円)

2. 各年度事業の収支決算

2017年度事業収支

予算2,000万円

【支出内訳】

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. <u>基礎・臨床融合研究チームへの配分</u> | 計1200万円 |
| ・分子・細胞生物学グループ（リーダー：東俊文教授） | 400万円 |
| ・感染制御グループ（リーダー：石原和幸教授） | 400万円 |
| ・ファブラボグループ（リーダー：後藤多津子教授） | 400万円 |
| 2. <u>若手研究者への研究費助成</u> | 計660万円 |
| ・顎骨疾患プロジェクト研究助成（8名×50万円） | 400万円 |
| ・顎骨疾患プロジェクト大学院研究助成（5名×40万円） | 200万円 |
| ・Travel Award（4名×15万円） | 60万円 |
| 3. <u>共通費</u> | 計140万円 |
| ・研究ブランディング事業ホームページ制作費 | |
| ・共催セミナー謝金 | |
| ・会議費 | |
| ・その他 | |

2018年度事業収支

予算3,800万円

【支出内訳】

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. <u>基礎・臨床融合研究チームへの配分</u> | 計1,600万円 |
| ・分子・細胞生物学グループ（リーダー：東俊文教授） | 400万円 |
| ・感染制御グループ（リーダー：石原和幸教授） | 400万円 |
| ・ファブラボグループ（リーダー：後藤多津子教授） | 400万円 |
| ・咀嚼嚥下グループ（リーダー：阿部伸一教授） | 400万円 |
| 2. <u>顎骨疾患プロジェクト内競争的研究資金</u> | 計600万円 |
| 3. <u>若手研究者への研究費助成</u> | 計1,255万円 |

・顎骨疾患プロジェクト研究助成 (8名×50万円)	400万円
・顎骨疾患プロジェクト大学院研究助成 (7名×40万円)	280万円
・Travel Award (5名×25万円)	125万円
・ワーキンググループへの配分	450万円
4. 共通費	計345万円
・顎骨疾患プロジェクト英文校正費助成	
・共催セミナー謝金、旅費	
・会議費	
・その他	

2019年度事業収支

予算4,100万円

【支出内訳】

1. 基礎・臨床融合研究チームへの配分	計1,600万円
・分子・細胞生物学グループ (リーダー：東俊文教授)	400万円
・感染制御グループ (リーダー：石原和幸教授)	400万円
・ファブラボグループ (リーダー：片倉朗教授)	400万円
・咀嚼嚥下グループ (リーダー：阿部伸一教授)	400万円
2. 顎骨疾患プロジェクト内競争的研究資金	計600万円
3. 若手研究者への研究費助成	計1,230万円
・顎骨疾患プロジェクト研究助成 (8名×50万円)	400万円
・顎骨疾患プロジェクト大学院研究助成 (7名×40万円)	280万円
・Travel Award (5名×20万円)	100万円
・ワーキンググループへの配分	450万円
4. 共通費	計670万円
・顎骨疾患プロジェクト英文校正費助成	
・共催セミナー謝金、旅費	
・会議費	

IX. おわりに

本事業は2017-2022年までの5年間の予定で「東京歯科大学の研究ブランド力を向上させる目的」で立案したが、文部科学省の都合で2017-2019年の3年間に短縮された。短縮された期間で以下のような実績を積み重ねることができた。

- 1) 当初計画されたブランディング戦略の多くの工程を実施した。
- 2) 4つの研究ラボを中心として多くの研究成果を挙げることができた。特に本学における研究を「量」から「質」へ変換させる契機となった。
- 3) 若手・次世代研究者が自発的に講座の壁を超えて研究を推進する研究体制の基盤を構築できた。
- 4) 種々のセミナー、国際学会へのTravel Award、国際シンポジウムなどの実施により「世界展開型」プロジェクトとしての基盤を構築した。
- 5) 本学同窓会と連携して歯科開業医との研究ネットワークの基盤を構築した。
- 6) 国内外の共同研究を推進することにより、本学の研究の幅を広げることができた。

本事業では以上のような成果を挙げて、東京歯科大学の研究ブランド力を向上させることができたが、本事業から次のような今後の課題も見えてきた。

- 1) 各講座、グループの研究レベルをさらに向上させるとともに、学内外の異分野連携・共同研究体制を強化することにより、さらにレベルの高い研究成果を創出し、本学の研究ブランド力のさらなる強化が必要である。
- 2) 本研究の研究成果が教育・臨床へ十分に還元されたとは言い難いので、これらを効果的かつ有効的に推進する学内の有機的システムの構築が必要と考えられた。
- 3) 本研究の研究成果が十分に社会実装の推進に展開したとは言い難いので、今後、企業などとの連携研究などを通じて社会実装の推進を強化する学内の有機的

システムの
構築が必要と考
えられた。



参考資料 1. 外部評価委員会評価

1) 外部評価の方法

2017年度に外部評価委員に参集していただき第1回の外部評価委員会を開催したので、2018年度は外部評価委員会を開催する予定ではなかった。しかし、2019年2月15日付けで文部科学省より「私立大学研究ブランディング事業」を見直し、支援期間を2019年度までとするとの通知が突然届いた。この様な予想外の通知に対応するために、2018年度に委員に参集していただき第2回外部評価委員会を開催しようと試みたが、短期間で委員の日程調整が困難であったために、メール会議で外部評価委員会を実施した。具体的には、各外部評価委員に前ページまでの内容を含んだ印刷物を郵送すると共にPDFにしたファイルをメールで配信し、それらを資料として評価をしていただいた。

- ・2017年度の外部評価委員会の評価は以下のURLに掲載済。

<http://www.tdc.ac.jp/Portals/0/images/college/activity/branding/2017年度東京歯科大学研究ブランディング事業活動報告書1.pdf>

- ・2018年度の外部評価委員会の評価は以下のURLに掲載済。

<http://www.tdc.ac.jp/Portals/0/images/college/activity/branding/2018年度東京歯科大学研究ブランディング事業活動報告書最終版.pdf>

2020年2月25日に2017-2019年度の事業に関して外部評価委員会を開催して、評価を頂く予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大が予想されたので、委員が集合して開催することを断念し、3年間の事業概要、実績などを各委員に配布して書面評価をして頂いた。

2) 3年間の事業に関する外部評価委員会結果(2020年3月書面審査で実施)

評価法としては、以下の6項目について5段階の点数で評価していただき、具体的なコメントは文章でいただいた。

評価結果は以下の通りで、総合の平均点は4.9であった。

評価項目	評価委員A	評価委員B	評価委員C	評価委員D	評価委員E	評価委員F	評価委員G	平均点
①本事業の実施体制について	5	5	5	5	5	5	5	5
②ブランディング戦略の具体的工程の実施状況について	5	5	5	5	5	5	5	5
③研究の進捗状況について	5	5	5	5	5	5	5	5
④若手研究者育成について	5	5	5	5	5	5	5	5
⑤「世界展開型」プロジェクトへの進展状況について	5	5	5	5	4	4	4	4.6
⑥東京歯科大学における研究ブランディング強化への貢献度について	5	5	5	5	5	5	5	5
平均点	5	5	5	5	4.8	4.8	4.8	4.9

外部評価委員会報告

上記の項目について8名の外部評価委員が5点満点で点数化を行うことで外部評価を行った。別途、各委員よりコメントを得たのでその概略を報告する。

その結果、⑤に3名4点(平均4.6点)であったが、他は全て5点満点という非常に高い評価であり、東京歯科大学の研究ブランドはこの事業によって十分強化されたものと判断できる。⑤については、研究成果の世界への発信は十分であった

が、研究成果を世界展開するには時間が必要であり事業期間の短縮が影響したものと思われる。

【本事業の実施体制について】

世界初の顎骨疾患の集学的研究拠点を形成して、口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現に貢献する」という目標を設定し、学長の強いリーダーシップのもとで、講座の壁を越えた異分野連携・共同研究体制を構築してブランディング戦略を実現するとともに、次世代研究者の育成にも力を入れて世界展開を図った点は、私立歯科大学の新しいロールモデルを世に示す結果となった

【ブランディング戦略の具体的工程の実施状況について】

実工程は極めて具体的であり、文科省の支援が3年間に短縮されたにも関わらず、36項目の目標のうち、十分に達成が30項目、ほぼ達成が2項目と極めて高い目標達成率を成し遂げている。また中間評価の段階で、産業界の視点から日本社会が直面する高齢社会に対応する事業の追加が提案されたが、咀嚼・嚥下ラボが本事業の研究推進体制に加わり、高齢社会に対して歯科医療が貢献するための研究戦略の立案、関連研究が推進されたことは評価される。

【研究の進捗状況について】

学術的研究は、国内外との共同研究やシンポジウムなど充実した事業が展開され、顎骨疾患プロジェクトとして総合的かつ飛躍的に進捗・向上しており高く評価される。その成果は研究論文の質の向上、外部資金獲得の増加などに反映されている。一方、Cell, Nature, Scienceとその姉妹誌、NEJM, JCI, JEMなどのトップジャーナルへの掲載には至っていない点は今後に期待したい。

【若手研究者育成について】

「若手サイエンスアカデミー」や若手（大学院生）の研究助成制度は、素晴らしいものであり、さらに国際シンポジウムの開催や国際会議へのTravel Awardを設定することで、自発的な研究や成果の公開を促している。これにより次世代を担う若手研究者の育成に成功している。特に世界最先端の研究者との交流や議論を通して、「質」の高い研究を意識した研究活動が認められ、今後、益々研究力の向上が期待される。

【「世界展開型」プロジェクトへの進展状況について】

3年間で海外の16の研究施設との共同研究を実施するとともに、Asian Rising Sun Symposiumさらには国際的著名人をspeakerとして集めた2019 International Symposium: Tokyo Dental College Research Branding Projectを開催するなど、質の高い先端研究の海外への発信や若手研究者の国際交流が活性化され、貴学のブランディングに大きく貢献している。今後は、それらの事業の継続と研究成果の世界展開を期待したい

【東京歯科大学における研究ブランディング力強化への貢献度について】

社会的ニーズの高い健康寿命社会の実現に対して、歯科大学の強みである顎口腔機能面から包括的に研究課題を拡大、展開している点は貴学の研究力のブランド化の向上において特筆すべき点である。今後、これらの研究成果がさらなる発展を促し、歯科から医学全般にも幅広く貢献できる社会実装への展開が大いに期待される。なお期間短縮のために貴学のブランディング力についてのアンケート調

査や意見聴取が実施できていなかったことは残念である。本事業による客観評価を外部評価委員とは別の視点から行うことは重要であり、是非、継続して行って頂きたい。

【その他】

事業期間の短縮により、研究の加速がかかったところで事業を終了せざるを得ない点は本当に残念であるが、大学の予算措置により2020年度も継続することになった努力は特筆に値する。将来にわたり、大学（法人）の自助努力により、この研究体制を維持・発展させられることを期待する。

3) 3年間の事業に関する連携研究者による外部評価結果（2020年3月書面審査で実施）

本事業の連携研究者5名に、外部評価委員会と同様に書面審査で評価して頂いた。結果は外部評価委員会よりやや厳しい評点で、全体の平均点は4.7であった。

評価項目	連携研究者					平均点
	A	B	C	D	E	
①本事業の実施体制について	5	5	5	5	5	5
②ブランディング戦略の具体的工程の実施状況について	4	5	5	4	4	4.4
③研究の進捗状況について	4	5	4	5	4	4.4
④若手研究者育成について	5	5	4	5	4	4.6
⑤「世界展開型」プロジェクトへの進展状況について	4	5	5	5	5	4.8
⑥東京歯科大学における研究ブランディング力強化への貢献度について	5	5	5	5	5	5
平均点	4.5	5	4.7	4.8	4.5	4.7

以下に連携研究者からいただいたコメントを記載する。

高く評価できる点

- ・顎骨疾患の集学的研究拠点を形成して、その研究力を核に医療と教育の向上を図りブランド化する、という明確なビジョンの下、アンダーワンルーフで事業を進めています。文部科学省の突然の支援打ち切りに対して、大学として自己資金でサポートを措置した点は、大いに評価されるべきと考えます。魅力的な研究領域を展開しており、アウトプットは量的にはやや落ちたものの、質的には向上が見られ、本来の目的を達成しつつあると考えます。若手の育成、世界展開も着実に事業を進めており、短期的な成果ではなく、長い目で見た成果を待ちたいと思います。
- ・井出吉信学長、山口朗 顎骨疾患プロジェクト推進委員会委員長他の強いリーダーシップの下で、講座の壁を越えた異分野連携・共同研究体制を構築する仕組みができています。加えて、東京歯科大学同窓会との連携により大学・地域医療連携ネットワークを構築し、地域医療連携にも貢献できる体制を整えることに成功している。世界的な研究力の強化とともに、地域にも貢献する「ヒューマニズムとリサーチマインドを堅持する歯科医師を育成する大学」を文字通り実践するための体制作りが整っているものと高く評価される。

- ・2017年の開始当初と比べ、2018年度、2019年度では英文原著論文の質から量への変革が数値として明確に達成されている。平均IF値の増加は目覚ましい。さらに過去に受けた私立大学研究支援事業に比べても、論文の質の向上は目覚ましく、それに付随して2019年度では科研費の採択件数が劇的に向上していることは客観的指標の向上として、極めて高く評価される。
- ・若手・次世代研究者の育成のために「若手サイエンスアカデミー」を設置し、コアメンバーを中心に継続的な運営がなされ、次世代を担う若手研究者の育成に成功している。さらに国際シンポジウムの開催や若手への研究助成、さらには国際会議へのTravel Awardを設定することで、自発的な研究や成果の公開を促している。その結果として、5年後、10年後のリーダーの育成に成功している。
- ・創立130年の歴史を持つ東京歯科大学にとって、元来持つブランド力に甘んじることなく、さらにブランド力を高めることに成功している。多数の高品質な論文に加え、若手研究者の多数の受賞・論文発表は研究力のアップを示す客観的な指標であり、将来にわたる継続的なブランド力の向上にも強く貢献している。2020年度からは大学独自の自己資金での運用となるが、文部科学省からの類似のプロジェクトでの支援を願うとともに、その結果として、継続的なブランド力アップが期待される。
- ・本プロジェクトが厳しい競争の中で採択されたことに敬意を表します。事業は着実な計画の実行を伴いながら東京歯科大学の名が広がっていったことも素晴らしいと思います。今後、研究論文の数と質、若手研究者育成の更なる進歩を期待しています。
- ・おしなべて見ると、あらゆる方向に気配りがなされ、弱点の少ない優れた事業であると考えられる。将来的には、本事業の強化によって、より大きな外部資金の獲得を目指して頂きたい。
- ・ブランディング事業関連研究助成により選ばれた若手研究者が国内外で研究発表まで行うことができた点。
- ・大学院セミナーの講師選定の手順の変更による大学院生の研究指向性を促進した点。
- ・奨学寄付金の件数が2019年度に急増した中でも産学連携のさらなる活性化を目指した担当部署の設置の構想を描いた点。
- ・科研性獲得が確実に伸びている点に、ブランディング事業が目指す方向性とその効果・実績が短期間に現れていると理解でき、全体として組織的な取組みの成果があったものと判断される。
- ・2020年度も大学内の予算措置で継続する計画とのことで、今後の継続的発展が期待される。

検討が必要な点

- ・今後の課題があるとなれば、産学連携の推進であり、持続可能性を担保するためにも、企業との連携をより積極的に推進していく必要があると思われます。そのためには、科学・技術シーズと社会・医療ニーズのマッチングをワンストップで行うような、触媒となる組織の形成が必要かもしれません。
- ・事業の4つの研究グループに学内すべての分野が参画しているのか不明。

- ・ IF2 及び IF3 以上の論文数が 2019 年度に大きく減少している。
- ・ 若手育成の数的効果が不明である。今後は若手育成に更に注力し、良質の研究を世に出すことが期待される。
- ・ 「講座の壁を超えた異分野研究共同研究体制」という点についての具体的取組みの内容や成果あるいは変化が読み取れなかった。たとえば連名論文などで当該事業助成を受ける前と変化が生じたのか？ 単に 4 つのラボを設置したというだけでは、具体的な活動内容、ラボ設置の効能まで見えなかった。
- ・ 世界展開型に関して、一朝一夕にはいかないが、この 3 年間の論文の中で、海外の研究者との連名論文については、新たに論文本数や具体的な連携先機関名・論文題目雑誌名などを抜き出して再整理し、6 ページの情報とあわせて纏めると有益であろう。
- ・ 工学系との連携も進められたが、医歯工連携は具体的には困難点も多いので、この点に関しても 3 年間の取組みの分析と今後について加筆いただけるとありがたい。
- ・ 英文誌論文数が 2018 年度をピークに伸びていないのは IF が見つからない論文誌を避けた結果か、表 4 の国際学術誌への論文発表数は増加傾向を維持しているから伸び続けていると理解したら良いのか、まず表 4 の疑問点をクリアにさせていただき結果を分析した上で、論文発表の大学としての戦略について、IF と論文本数の両方について（IF だけでなく）のストラテジーを改めて明確に示していただきたい。

参考資料 2. 自己点検・評価委員会評価結果

1) 自己点検・評価の方法

新型コロナウイルス感染症の影響で自己点検・評価委員会の各委員が集合して会議を開催するのが出来ない状況であったために、2020年5月12日の11:00～12:00までWeb会議で委員会を開催した。委員は26ページ「4) 顎骨疾患プロジェクト 自己点検・評価委員」参照。

具体的には、各委員に前ページまでの内容を含む本活動報告書印刷物のPDFを以前に配信し、Web会議でその内容を紹介する形で以下の項目について自己点検、自己評価を行った。

- 1) 本事業の実施体制について
- 2) ブランディング戦略の具体的工程の実施状況について
- 3) 研究成果について
- 4) 若手研究者育成について
- 5) 「世界展開」プロジェクトへの進展状況について
- 6) 東京歯科大学の研究ブランディング力強化への貢献について
- 7) 外部評価委員会の評価結果について
- 8) 本事業から見えてきた今後の課題について

本事業推進委員会委員長より上記項目に関して具体的な内容を説明した。その後、各委員の意見交換が行われ、以下の意見が出た。

- ・東京歯科大学における新たな研究体制が構築された。
- ・開始時に設定した具体的工程のほとんどを達成する事ができた。
- ・研究成果から、論文の「量」から「質」への変換の基盤が構築できた。
- ・若手研究者育成に関しては大きな成果が得られた。
- ・国際シンポジウムやアジア若手シンポジウムの開催などをはじめ「世界展開」への基盤が構築できた。
- ・外部評価委員会からも高評価をいただき、重要なポイントを指摘されたので、今後の研究に活かしてもらいたい。
- ・さらに本学の研究ブランド力の強化を図るとともに、その成果を社会実装に活かすような有機的なシステムの構築が必要である。
- ・PDCAサイクルを回しながら本事業を充実したものにできた。
- ・5年間の予定であった文部科学省の支援が3年間で終了することは残念であるが、2020年度は大学からの補助金で本事業を継続するので、さらに本学の研究ブランド力の強化を図る必要がある。